
豊田市の教育に関するアンケート調査 報告書

令和3年3月
豊田市教育委員会

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法及び調査期間	1
4 回収結果	2
5 報告書の見方	2
6 調査項目	3
7 結果概要	5
第2章 回答者の属性	11
1 市民	11
2 小学生・中学生	14
3 保護者	16
4 教員、校長・教頭	18
第3章 学校教育について	21
1 学校全般	21
2 授業	29
3 特色ある教育	33
4 教師	38
5 給食	46
第4章 家庭や地域と連携した教育について	49
1 地域ぐるみの教育	49
2 子どもの生活	56
3 家庭の状況	61
4 地域の教育力	65
第5章 生涯学習について	76
1 交流館	76
2 中央図書館	79
3 読書	83

第6章 歴史・文化について	86
1 文化への関心や活動状況	86
2 文化振興、文化財保護	95
3 子どもと文化	98
第7章 スポーツについて	105
1 するスポーツ	105
2 みるスポーツ	112
3 支えるスポーツ	115
4 スポーツ振興に向けて	119
第8章 教育行政について	123
1 教育委員会による学校支援	123
2 教育情報や計画の推進	126
資料編	131

第1章 調査の概要

1 調査目的

新たな教育行政計画を策定するにあたり、本市の教育行政を取り巻く現状を把握するとともに、今後の重点施策として検討が必要な事柄についてアンケート調査を行った。また、現在の計画において設定されている数値目標の達成状況を把握し、計画の進捗状況に関する評価に利用することとした。

2 調査対象

調査	対象者	配布数	備考
(1) 市民	16歳以上の市民	3,693件	うち約140名は外国人
(2) 小学生	市内の小学校5年生	1,678件	
(3) 中学生	市内の中学校2年生	1,469件	
(4) 保護者	(2)(3)の対象者の保護者	3,147件	
(5) 教員	市内の公立小・中学校の教員	2,199件	
(6) 校長・教頭	市内の公立小・中学校の校長・教頭	206件	
合 計		12,392件	

3 調査方法及び調査期間

○配布・回収方法

調査	配布・回収方法
(1) 市民	<pre> graph LR A[豊田市] -- ①配布(郵送) --> B[市民] B -- ②回収(郵送) --> A </pre>
(2) 小学生	<pre> graph LR A[豊田市] -- ①送付 --> B[学校] B -- ②配布 --> C[児童生徒] C -- ③配布 --> D[保護者] D -- ④提出 --> B B -- ⑤提出 --> A B -- ⑥送付 --> A </pre>
(3) 中学生	
(4) 保護者	
(5) 教員	<pre> graph LR A[豊田市] -- ①送付 --> B[学校] B -- ②配布 --> C[教員等] C -- ③提出 --> B B -- ④送付 --> A </pre>
(6) 校長・教頭	

○調査期間

対象	アンケート調査発送・配布・締切日
(1) 市民	2020年7月～8月
(2) 小学生	2020年8月～9月
(3) 中学生	
(4) 保護者	
(5) 教員	
(6) 校長・教頭	

4 回収結果

対象	配布数	有効回収数	回収率
(1) 市民	3,693 件	1,900 件	51.4%
(2) 小学生	1,678 件	1,638 件	97.6%
(3) 中学生	1,469 件	1,424 件	96.9%
(4) 保護者	3,147 件	2,951 件	93.8%
(5) 教員	2,199 件	2,057 件	93.5%
(6) 校長・教頭	206 件	204 件	99.0%

5 報告書の見方

- 基数となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数を表す。
- 集計は、小数点第2位を四捨五入している。そのため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。そのため、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- 同じ項目の設問であるが、対象によって設問文が異なるものについて、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- グラフや表、本文中に「今回」「前回」「前々回」と記載している箇所がある。「今回」については、2020年7月～9月に実施した調査、「前回」については、2016年7月～10月に実施した調査、「前々回」については、2011年10月に実施した調査を指している。
- 前回調査との比較を掲載している表については、今回調査の結果に薄い網掛けをしている。
- クロス集計結果の表を掲載している設問がある。表については、項目ごとに上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。ただし、Nが10未満の場合は網掛けをせず、コメントの記載もしていない。また、表側部分における無回答については記載していないため、クロス集計の回答者数の合計と全体の回答者数の合計が一致しないことがある。

6 調査項目

			市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭	
第3章 学校教育	1 学校全般	①学校生活の満足度		問1	問1	問1			
		②学校生活に満足している理由		問2	問2				
		③学校生活に満足していない理由		問3	問3				
		④学校が一層力を入れるべきこと	問1			問2	問7	問6	
		⑤現在の学校教育の問題点	問2						
		⑥学校運営での課題						問10	
	2 授業	①授業の満足度			問4	問4	問3		
		②好きな授業・学習内容			問5	問5			
		③授業に対する子どもの理解度						問1	
	3 特色ある教育	①特色のある教育として重要なこと	問3				問6	問3	問2
		②インクルーシブ教育システムの推進に必要なこと					問7	問4	問3
		③将来の職業を考えるために必要なこと				問10			
		④国際化・多文化共生について						問10	問9
	4 教師	①教師に期待すること					問4		
		②児童・生徒の指導で大切と思うこと					問5	問2	問1
		③教師の教育活動の状況						問6	問5
		④校外研修について						問8	問7
		⑤今後充実を希望する研修内容						問9	問8
	5 給食	①給食の満足度			問6	問6	問9		
②給食に満足している理由				問7	問7	問10			
③給食に満足していない理由				問8	問8	問11			
第4章 家庭や地域と連携した教育	1 地域ぐるみの教育	①身につけたい、伸ばしたいこと		問9	問9				
		②家庭、学校、地域それぞれの役割	問10			問16	問11	問11	
		③家庭や地域の教育への評価	問8			問17	問14	問14	
		④地域ぐるみでの教育への評価	問9						
	2 子どもの生活	①学習塾への通塾状況			問11	問12			
		②習い事の状況			問12	問13			
		③電子メディアの閲覧頻度			問13	問14			
		④オンライン利用に関すること	問6		問14	問15	問8	問5	問4
	3 家庭の状況	①学校や勉強についての会話			問10	問11	問12		
		②現在の暮らしむき					問13		
		③家庭の教育力が低下している原因					問14	問12	問12
	4 地域の教育力	①近所の子どもの会話	問7						
		②学校と地域の連携で重要なこと	問4						
		③保護者・住民の協力・参加	問5				問18	問15	問15
		④地域の行事や活動への参加状況			問15	問16			
		⑤参加している地域活動の内容			問16	問17			
		⑥地域の大人の見守り			問17	問18			
		⑦登下校で怖い思いをした経験			問18				
		⑧住んでいる地域への愛着			問28	問28			
⑨地域の教育力の課題						問15	問13	問13	
第5章 生涯学習	1 交流館	①利用状況	問11						
		②利用した目的	問12						
		③利用したことがない理由	問13						
	2 中央図書館	①利用状況	問14						
		②利用した目的	問15						
		③利用したことがない理由	問16						
		④図書館に求めるもの・学校との連携					問16	問16	
	3 読書	①学校以外での読書頻度			問19	問19			
		②図書コーナーの利用頻度			問20	問20			

		市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭		
第6章 歴史・文化	1 文化への 関心や活動 状況	①文化等に関する興味	問17	問21	問21				
		②市内の文化施設の利用状況	問18						
		③鑑賞・見学した分野	問19						
		④鑑賞・見学する上で困ること	問20						
		⑤日頃行っている文化活動の分野	問21						
		⑥文化活動をする上で困ること	問22						
		⑦文化活動への支援状況	問23						
	2 文化振興、 文化財保護	①地域の文化的環境の充実に向けて	問24						
		②市の歴史・文化財の継承、魅力発信	問25						
		③地域の文化的環境が充実する効果	問26						
	3 子どもと 文化	①子どもと利用したい文化・スポーツ施設				問19	問17	問17	
		②郷土資料館・くらし発見館との連携					問18	問18	
		③鑑賞・見学した回数		問22	問22				
④文化鑑賞や文化活動の意向と内容			問23	問23					
⑤子どもの文化鑑賞・活動などで困ること					問20				
⑥充実していくとよい催しものや取組					問21				
第7章 スポーツ	1 する スポーツ	①運動・スポーツの実施状況と内容	問27						
		②運動・スポーツの実施頻度	問28						
		③運動・スポーツをする理由	問29						
		④運動・スポーツをしなかった理由	問30						
		⑤子どもの学校以外での運動・スポーツの実施頻度		問24	問24				
		⑥子どもの軽い運動を加えたスポーツの実施頻度		問25	問25				
		⑦子どもの学校以外での運動・スポーツの実施状況				問22			
	2 みる スポーツ	①スポーツの観戦状況	問32	問26	問26				
		②観戦した種目	問33	問27	問27				
		3 支える スポーツ	①スポーツ推進委員等の認知度	問31					
			②ボランティア活動等への参加状況	問35					
	③参加した/参加したいボランティア活動等の内容		問36						
	4 スポーツ振興 に向けて	④学校以外でのスポーツ指導の状況					問19		
		①運動・スポーツに関する情報	問37						
		②情報不足を感じた内容	問38						
		③豊田スタジアム等の利活用	問34						
	第8章 教育行政	1 教育委員会 による学校 支援	④市が力を入れるべきこと	問39					
①職務上の多忙感							問20		
②教育委員会の専門的な支援							問21	問19	
2 教育情報や 計画の推進		③学校の組織的な対応					問22	問20	
		①市内の教育行政情報の入手方法	問40						
		②教育行政の情報提供の満足度	問41						
		③今後提供すべき教育行政の情報	問42						
		④学校からの情報提供の状況				問23			
⑤学校評価の課題					問24				
回答者		回答者の属性	性別	F 1	F 1	F 1	F 1	F 1	
	年齢		F 2			F 2	F 2	F 2	
	同居家族		F 3	F 2	F 2				
	同居している子どもの年齢		F 4						
	子どもとの続柄					F 3			
	子どもの通学先					F 4			
	中学校区		F 5	F 3	F 3	F 5			
	豊田市の在住年数		F 6						
	職業		F 7						
	クラスの人数			F 4	F 4				
	職位							F 3	
	通算の教職・職位期間						F 3	F 4	
	勤務先						F 4	F 5	
	担当教科						F 5		
	勤務先の学校規模						F 6	F 6	
自由意見		F 8	F 5	F 5	F 6	F 7	F 7		

7 結果概要

■ 学校教育について

【学校全般】

- 学校生活について「満足」「ほぼ満足」と回答した小・中学生は、前回と比べてわずかに増加している。
- 学校生活に満足している理由としては、小・中学生ともに「友達といっしょに遊んだりするのが楽しいから」が最も多くなっている。次いで、小学生では、「勉強がおもしろいから」「運動会や学芸会などの学校の行事が楽しいから」が多くなっている。中学生では、「部活動が楽しいから」「学校の行事が楽しいから」が多くなっている。
- 学校生活に満足していない理由としては、小・中学生ともに「勉強がよくわからないから」が最も多くなっており、次いで「楽しいと思うことがない」「ゆとりや自由がないから」となっている。
- 学校が一層力を入れる必要があることとしては、「自分で考え、判断する力」「基礎的な知識や技能」「様々な考えを持つ人と協力して行動する力」が多くなっている。
- 現在の学校教育の問題について、「いじめ、学級崩壊などの問題行動や不登校の子どもが多い」「教師が多忙すぎる」「教師の立場が弱すぎる」が多くなっている。「教師が多忙すぎる」については、25.2%(前々回)→35.8%(前回)→41.1%(今回)と一貫して増加している。

【授業】

- 授業について「満足」「ほぼ満足」と回答した小・中学生は、前回と比べて増加している。
- 好きな授業や学習内容について、小・中学生ともに「パソコンやタブレットを使うわかりやすい学習」が最も多い。この他には、「グループで考えたり協力したりする学習」「学校の外で見たり体験したりする学習」「興味があることにじっくりと取り組む学習」も多くなっている。

【特色ある教育】

- 特色のある教育として重要な分野について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても、「ものづくり・科学」が最も多く、次いで「国際化・多文化共生」となっている。この他には、市民、保護者、教員は「キャリア教育(人生設計・職業体験)」、校長・教頭は「地域の伝統や歴史」となっている。
- インクルーシブ教育システムの推進に必要なこととして、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「学校の施設整備の拡充・充実」「教員数の確保・増員」「支援人材の確保・増員」の3つが多い。
- 国際化・多文化共生が進む中で、学校で力を入れるとよいことについて、教員は「外国人英語講師による英会話の授業」、校長・教頭は「海外の暮らしや多様な文化等について学ぶ国際理解教育」が最も多くなっている。

【教師】

- 教師に期待することについて、「子どもの気持ちを理解しようとする事」「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」が多く、前回よりも増加している。「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」においては、36.9%(前々回)→41.4%(前回)→47.2%(今回)と一貫して増加している。
- 児童・生徒の指導で特に大切と思うことについて、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること」が最も多くなっている。この他に、「ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること」も多くなっている。
- 今後充実を希望する研修内容としては、教員、校長・教頭ともに「情報教育(コンピュータ等)」が、前回と比べて大幅に増加している。教員は 22.9%(前回)から 43.8%(今回)、校長・教頭は 11.3%(前回)から 58.3%(今回)となっている。

【給食】

- 給食について、「満足」「ほぼ満足」と回答した小・中学生は、前回と比べてやや増加している。
- 満足の理由として、小・中学生ともに「おいしいから」が最も多くなっている。不満の理由として、小学生は「食べられなかったり、きれいなものばかりになる日があるから」、中学生は「みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から」が最も多くなっている。

■家庭や地域と連携した教育について

【地域ぐるみの教育】

- 身につけたい、伸ばしたいことについて、小・中学生ともに「学力」が最も多く、次いで「健康や体力」となっている。この他に、小学生では「自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」「アイデアや新しいものを考え出す力」が多く、中学生では「コミュニケーション能力」「感情のコントロール(心の強さ)」が多くなっている。
- 家庭に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「基本的な生活習慣」が最も多くなっている。この他には、「感情のコントロール(心の強さ)」、「健康や体力」「相手の気持ちになって考えることができる力」も家庭の役割として期待されている。
- 学校に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「学力」が最も多くなっている。この他には、「自ら進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」「相手の気持ちになって考えることができる力」「いろいろな人と協力する力」も学校の役割として期待されている。
- 地域に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと」が最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」となっている。この他には、「美しいものや自然に感動する心」「コミュニケーション能力」も地域の役割として期待されている。

【子どもの生活】

- 電子メディアの閲覧頻度として、学校に行く日は、小学生で「1時間以下」、中学生では「2時間ぐらい」が最も多くなっている。学校が休みの日は、小学生で「2時間ぐらい」、中学生で「4時間以上」となっており、学校が休みの日は使用時間が長くなっている。
- 友達との会話や学校の授業などインターネット(オンライン)を通してやりとりすることについて、小・中学生ともにメリットは「感染症の病気やケガをする機会が減る」や「学校が休みでもインターネットを通して授業が受けられる」が多くなっている。また、デメリットは「体力や視力が落ちる」が多くなっている。市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても、メリットは「休校があっても授業が進められる」が最も多くなっている。デメリットは、市民、保護者、校長・教頭では「体力や視力の低下」が最も多くなっているが、その他の回答も多くあげられている。

【家庭の状況】

- 家庭の教育力が低下している原因について、保護者では「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が多く、教員では「親子のコミュニケーションが減っている」が多く、校長・教頭では「しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない」が多くなっている。

【地域の教育力】

- 学校と地域の連携について、市民は「児童・生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」「地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く」などが重要だという回答が多い。
- 学校等との協力や参加について、市民は「登下校など子どもの安全管理」が最も多く、保護者では「学校公開日や授業参観への参加」が最も多く、この他には「学校行事の事前準備や片付けの協力」「登下校など子どもの安全管理」「PTA活動」が多くなっている。教員、校長・教頭においては、「登下校など子どもの安全管理」「花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備」「学校行事の事前準備や片付けの協力」などを期待している。
- 地域の教育力の課題として、保護者、教員、校長・教頭すべてにおいて、「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が最も多く、次いで「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」となっている。

■生涯学習について

【交流館】

- ここ3年間で、交流館を利用したことがある市民は49.3%となっており、前回よりも17.8ポイント増加している。
- 利用目的として、「図書の利用」「コミュニティ会議、自治区等の地域活動」「講座やイベントの参加」が多くなっている。また、利用したことがない理由として、「家事や仕事等で行く時間がないから」「特に理由はない」「参加したい講座や事業がないから」が多くなっている。

【中央図書館】

- ここ3年間で、中央図書館を利用したことがある市民は33.8%となっている。
- 利用目的として、「本や雑誌、CDを借りるため」が84.6%と多くを占めている。また、利用したことがない理由として、「自宅から遠くて行くのに不便だから」「特に理由はない」「家事や仕事等で行く時間がないから」が多くなっている。
- 図書館に求めるもの・学校との連携について、教員、校長・教頭ともに、「調べ学習の出前授業の充実」が最も多くなっている。

【読書】

- 学校以外での読書頻度が週に1日以上(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1日ぐらい」の合計)である小学生は53.1%、中学生は38.3%となっている。
- 中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーの1年間での利用頻度は、小・中学生ともに「年に数回程度」が最も多くなっている。

■歴史・文化について

【文化への関心や活動状況】

- 文化・芸術に関する興味について、「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計は、市民が60.9%、小学生が58.6%、中学生が51.1%となっている。
- 文化に関してこの1年間に直接鑑賞や見学をした市民(全体から「まったく鑑賞・見学していない」と「無回答」を除いた割合)は69.6%となっている。鑑賞や見学をした分野として、映画・メディア芸術(映像作品、アニメ、マンガなど)が最も多く、前回と比べて5.7ポイント増加している。
- この1年間に文化活動をしたことがある市民(全体から「まったく活動していない」と「無回答」を除いた割合)は、27.6%となっている。文化活動をする上で困っていることとしては、「活動のきっかけがない」「自分にはできないと思う」「活動するための情報が少ない」が多くなっている。

【文化振興、文化財保護】

- 地域の文化的環境の充実に向けて必要なこととして、市民は「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が45.6%と最も多く、次いで「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」が29.0%となっている。
- 地域の文化的環境が充実することにより期待される効果について、「子どもが心豊かに成長する」と回答した市民は49.6%と最も多く、次いで「市や地域への愛着が高まる」が47.5%となっている。

【子どもと文化】

- 教員、校長・教頭は、「豊田中央図書館・交流館図書室」「郷土資料館・近代の産業とくらし発見館」などの活用、連携をしたいと考えている。

- 文化に関してこの1年間に直接鑑賞や見学をした小学生（全体から「0回」と「無回答」を除いた割合）は77.6%、中学生は60.8%となっている。文化鑑賞・活動の意向や内容について、小・中学生ともに「映画を見る」が最も多く、この他に「絵をかいいたり、彫刻を作ったりする」「楽器を演奏したり、歌を歌ったりする」が多くなっている。中学生においては、「歌手などのライブやクラシックコンサートを見る」も多い。
- 子どもの文化鑑賞・活動などで困ることとして、保護者は「子どもが関心を示す催しものが少ない」「子どもの関心がない」「親が連れていけない」が多くなっている。また、充実していくとよい催しものや取組について、「音楽・演劇などの学校公演」が48.1%と最も多く、次いで「入門講座や体験講座」「授業として文化施設での展示や公演の鑑賞」となっている。

■スポーツについて

【するスポーツ】

- この1年間に運動やスポーツをした市民(全体から「運動やスポーツをしなかった」と「無回答」を除いた割合)は79.4%となっている。また、週に1日以上運動・スポーツをしている市民(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1~2日」の合計)は70.1%、小学生は75.2%、中学生は78.6%となっている。
- 運動・スポーツをする理由について、市民は「健康・体づくり」が最も多く、次いで「運動不足を感じるから」「楽しみ・気晴らしとして」となっている。
- 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施状況について、「学校以外のスポーツ活動(市内)」と「学校の部活動、クラブ活動」が多く、次いで「体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない」となっている。

【みるスポーツ】

- この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがある市民は29.1%、小学生は45.8%、中学生は58.5%(小・中学生については、全体から「特になし」「無回答」を除いた割合)となっている。市民、小学生、中学生すべてにおいて、前回よりも割合が減少している。

【支えるスポーツ】

- この1年間にスポーツを支える活動をしたことがある市民は、5.2%にとどまっている。「活動をした」又は「活動はしていないが、機会があれば活動したかった」と回答した人の具体的な活動の内容としては、「市民向けのイベント運営や準備」が38.0%と最も多く、次いで「国際的・全国的なイベント運営や準備」「地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの団体の運営」となっている。

【スポーツ振興に向けて】

- 運動・スポーツに関して、豊田市が今後力を入れていくべきこととして、「年齢層にあったスポーツの普及」「市民が参加できるスポーツイベントの開催」「身近な地域のスポーツ施設の整備」が多くなっている。

■教育行政について

【教育委員会による学校支援】

- 職務上の多忙感について、「ほとんど毎日忙しい」と回答した教員の割合は、60.3%(前々回)→58.1%(前回)→43.1%(今回)と調査を重ねるごとに減少しているが、「忙しい日が多い」との回答も含めた割合は75.7%と、依然として高い数値となっている。
- 教育委員会の専門的な支援としては、教員、校長・教頭ともに「不登校・ひきこもり」「発達障がい・特別支援教育」が多くなっている。

【教育情報や計画の推進】

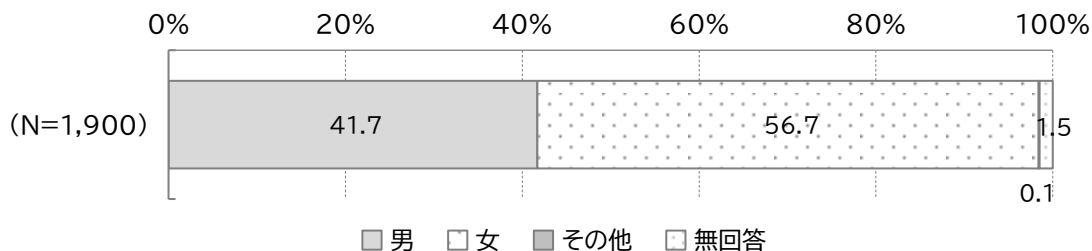
- 市内の教育行政情報の入手方法について、市民は「広報とよた」が最も多く、次いで「回覧板」「新聞」となっている。より提供すべき教育行政の情報は、「地元の小中学校の状況」「市内での文化やスポーツのイベント」「学校教育に関する全市的な取組」といった内容となっている。
- 学校の教育方針や学校での子どもの様子などの情報について、「十分に得られている」と回答した保護者は、前回と同様8.9%にとどまっている。

第2章 回答者の属性

1 市民

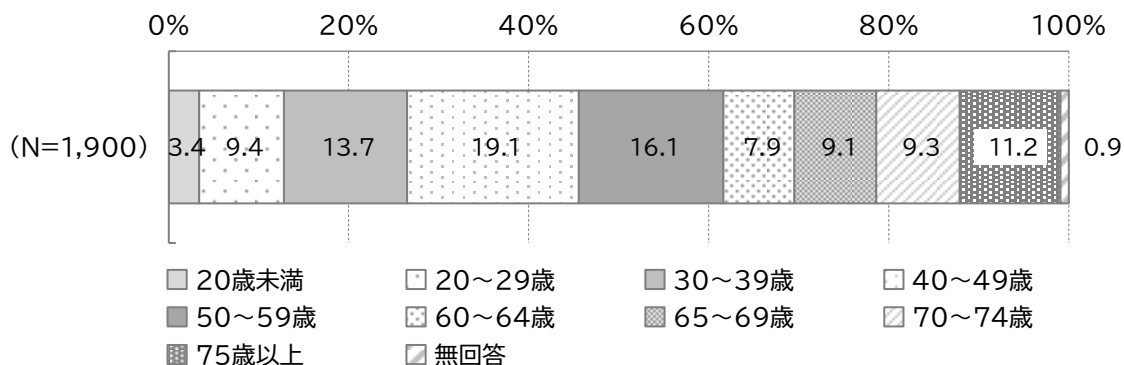
①性別

「男」が41.7%、「女」が56.7%となっている。



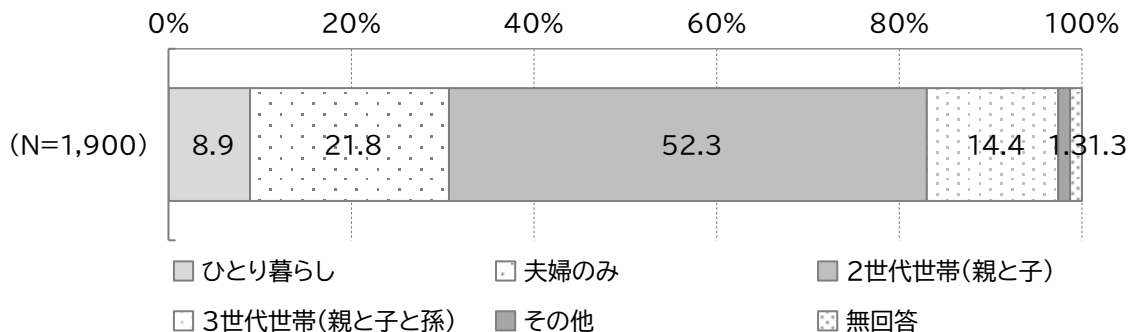
②年齢

「40～49歳」が19.1%と最も多く、次いで「50～59歳」が16.1%、「30～39歳」が13.7%となっている。



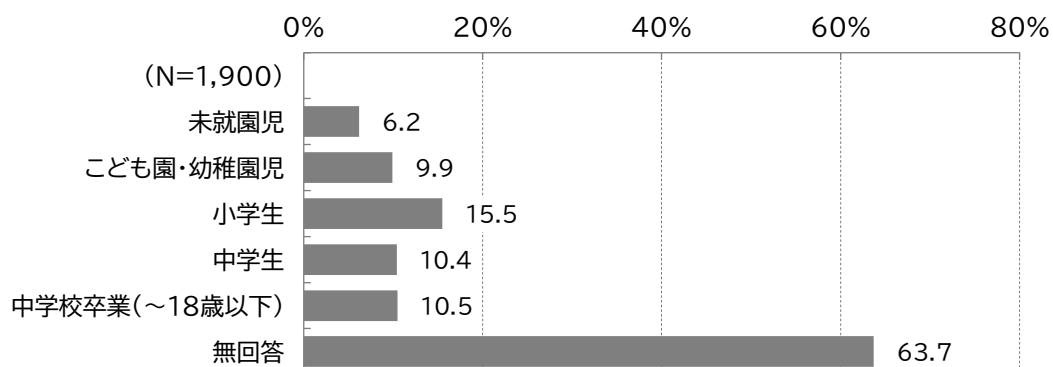
③同居家族

「2世代世帯（親と子）」が52.3%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が21.8%、「3世代世帯（親と子と孫）」が14.4%となっている。



④同居している子どもの年齢

「小学生」が15.5%と最も多く、次いで「中学校卒業（～18歳以下）」が10.5%、「中学生」が10.4%となっている。



⑤中学校区

「逢妻」が6.8%と最も多く、次いで「朝日丘」が6.7%、「末野原」が6.3%となっている。

N=1,900

(%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台
6.8	0.9	6.7	2.4	3.3	1.1	1.1	3.3

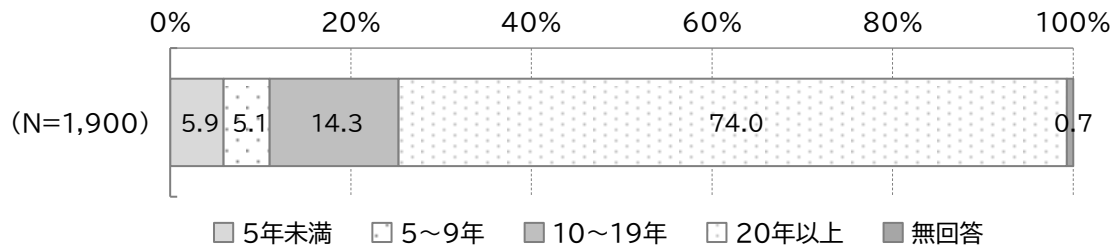
小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
1.1	4.5	2.8	3.3	1.2	3.3	6.3	4.8

高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
4.4	4.5	3.0	2.1	5.9	2.6	3.9	3.4

松平	美里	竜神	若園	無回答
2.7	4.4	5.5	3.0	1.8

⑥ 豊田市の在住年数

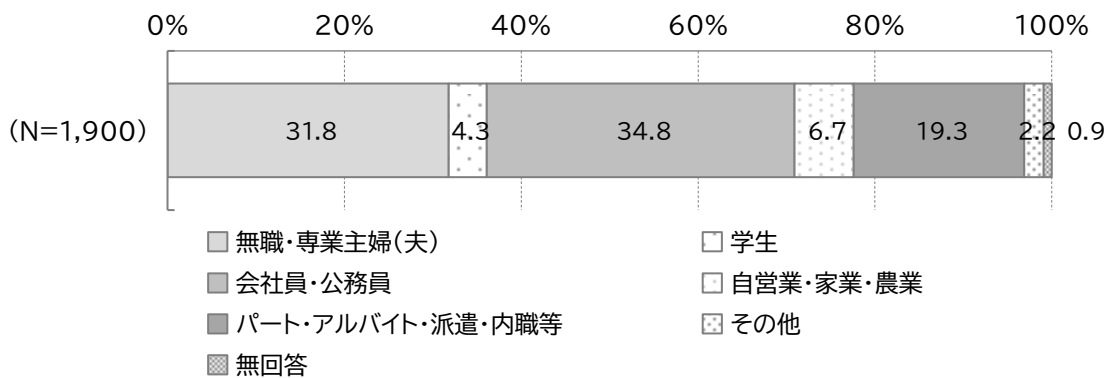
「20年以上」が74.0%と最も多く、次いで「10～19年」が14.3%、「5年未満」が5.9%となっている。



回答者の属性

⑦ 職業

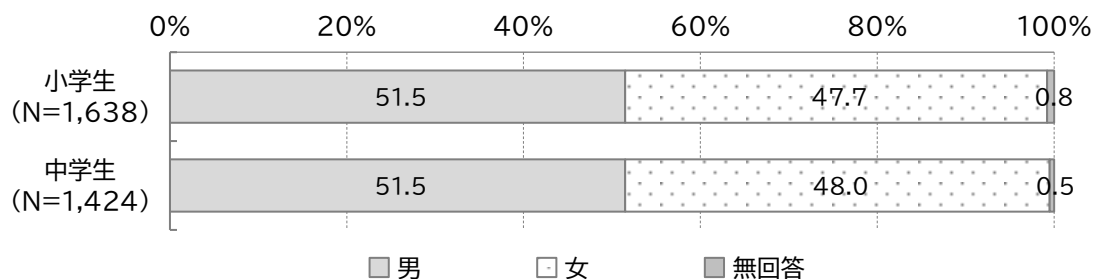
「会社員・公務員」が34.8%と最も多く、次いで「無職・専業主婦(夫)」が31.8%、「パート・アルバイト・派遣・内職等」が19.3%となっている。



2 小学生・中学生

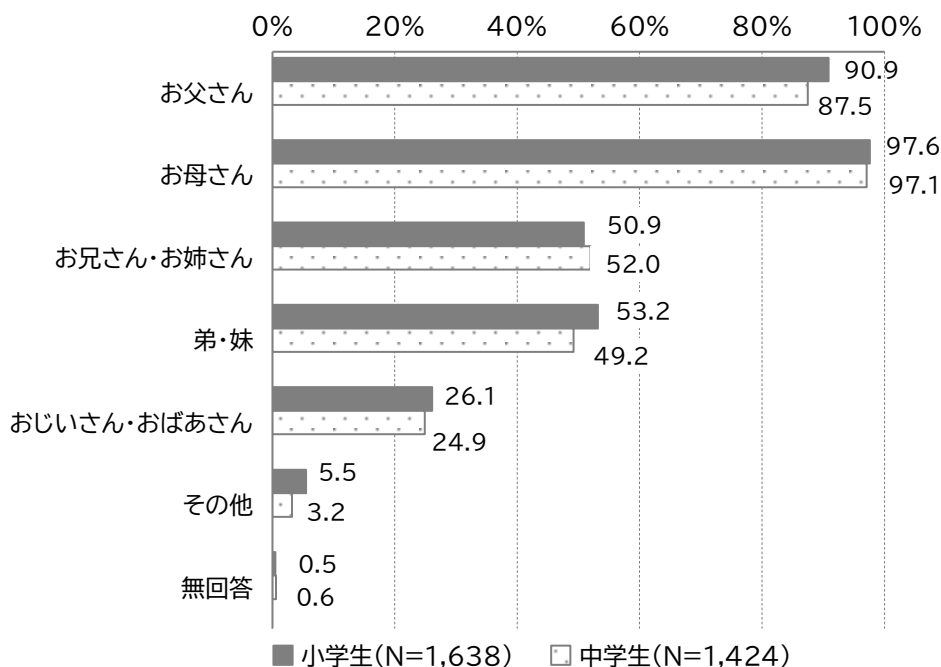
①性別

小学生は「男」が51.5%、「女」が47.7%、中学生は「男」が51.5%、「女」が48.0%となっている。



②同居家族

「お父さん」は小学生で90.9%、中学生で87.5%、「お母さん」は小学生で97.6%、中学生で97.1%となっている。



③中学校区

小学生は、「高橋」が6.4%と最も多く、次いで「美里」が6.1%、「朝日丘」が5.6%となっている。中学生は、「梅坪台」が5.0%と最も多く、次いで「上郷」「益富」が4.9%、「朝日丘」「松平」が4.8%となっている。

小学生 (N=1,638)

(%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台
4.0	0.7	5.6	3.4	3.2	2.0	1.0	2.0

小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
1.6	4.2	3.3	2.8	1.3	4.0	4.0	4.9

高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
3.8	6.4	3.4	1.8	4.2	5.4	3.8	3.8

松平	美里	竜神	若園	無回答
4.9	6.1	5.1	2.0	1.2

中学生 (N=1,424)

(%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台
4.6	0.7	4.8	2.3	4.0	2.3	0.7	5.0

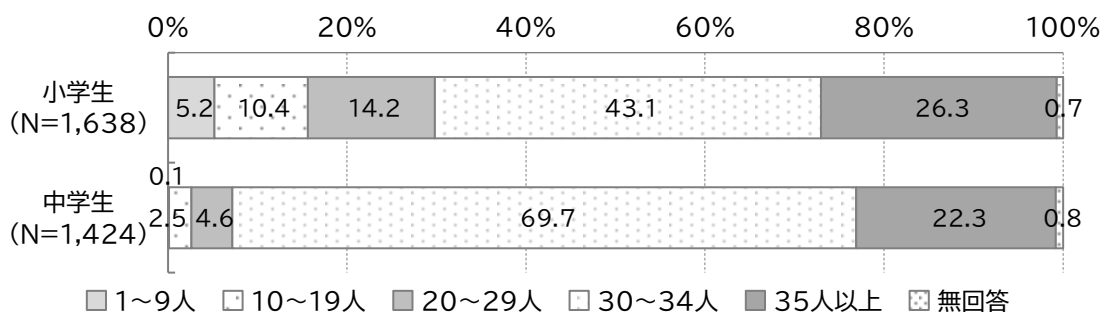
小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
0.9	4.9	4.0	3.9	2.0	4.5	4.2	4.1

高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
4.6	4.7	2.1	2.3	4.3	1.8	4.4	4.9

松平	美里	竜神	若園	無回答
4.8	4.0	4.6	4.0	0.4

④クラスの人数

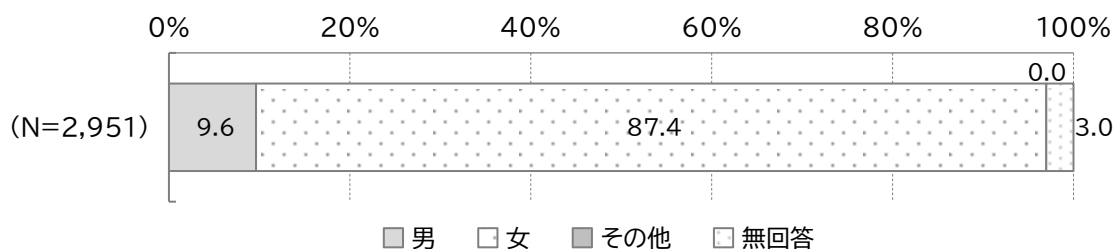
小学生は「30～34人」が43.1%、中学生は「30～34人」が69.7%と最も多くなっている。



3 保護者

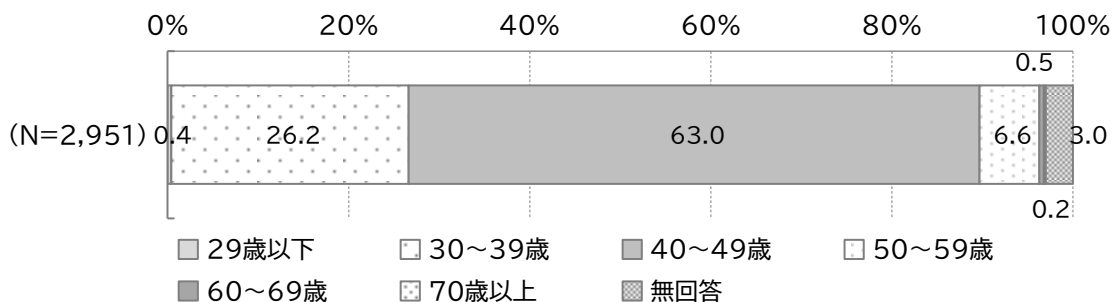
①性別

「男」が9.6%、「女」が87.4%となっている。



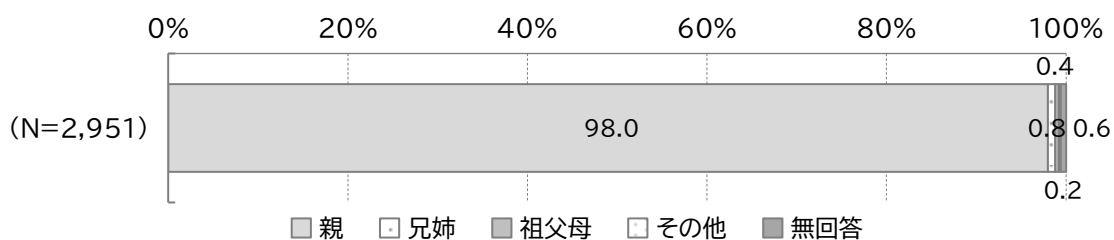
②年齢

「40～49歳」が63.0%と最も多く、次いで「30～39歳」が26.2%、「50～59歳」が6.6%となっている。



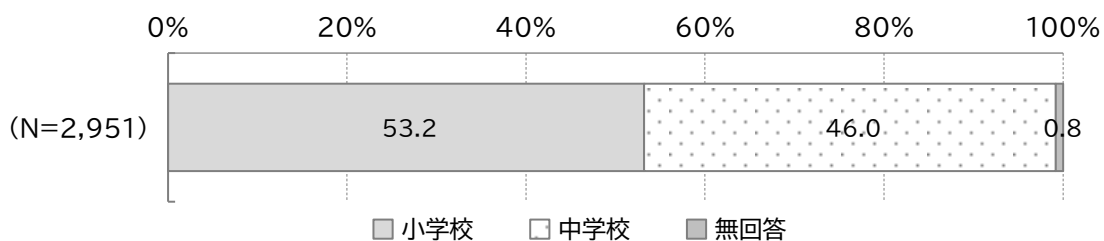
③子どもとの続柄

「親」が98.0%、「兄弟」が0.8%、「祖父母」が0.4%となっている。



④子どもの通学先

「小学校」が53.2%、「中学校」が46.0%となっている。



⑤中学校区

「高橋」が5.4%と最も多く、次いで「朝日丘」「松平」「美里」が5.0%、「竜神」が4.8%となっている。

N=2,951

(%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台
4.3	0.7	5.0	2.9	3.6	2.0	0.9	3.5

小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
1.3	4.6	3.7	3.3	1.7	4.3	3.9	4.1

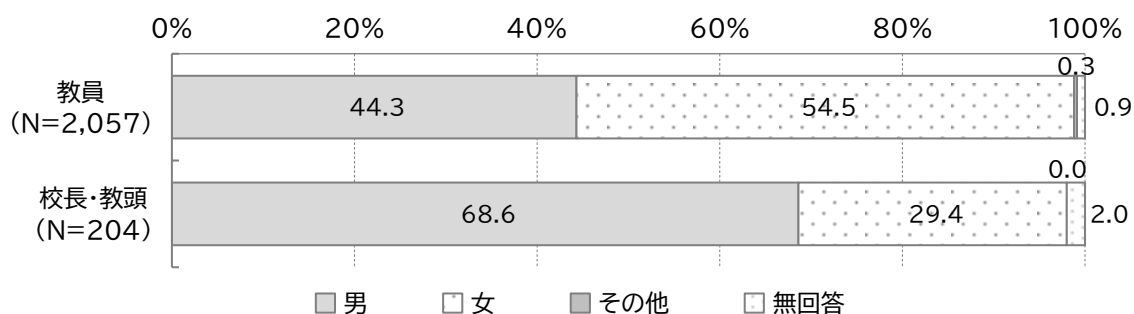
高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
4.1	5.4	3.2	1.9	4.2	3.5	4.3	4.5

松平	美里	竜神	若園	無回答
5.0	5.0	4.8	2.9	1.2

4 教員、校長・教頭

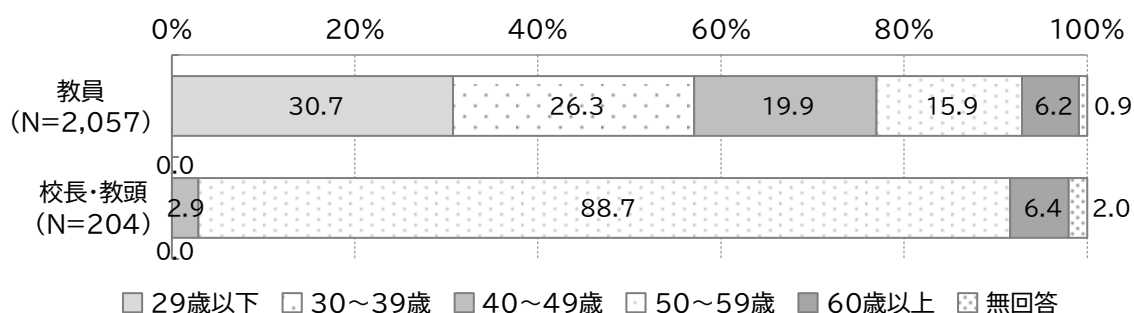
①性別

教員は「男」が44.3%、「女」が54.5%、校長・教頭は「男」が68.6%、「女」が29.4%となっている。



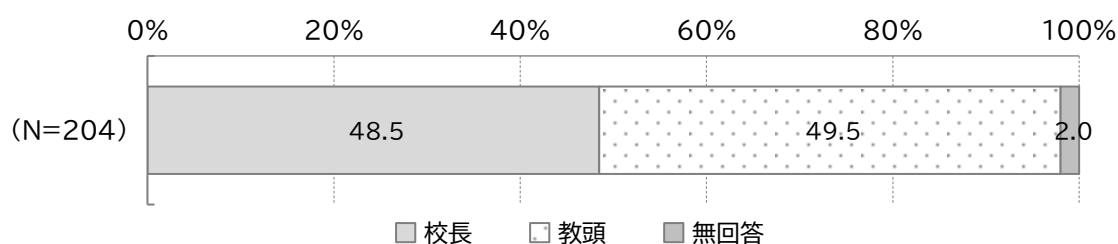
②年齢

教員は「29歳以下」が30.7%と最も多く、次いで「30～39歳」が26.3%、「40～49歳」が19.9%となっている。校長・教頭は「50～59歳」が88.7%を占めている。



③職位 [校長・教頭]

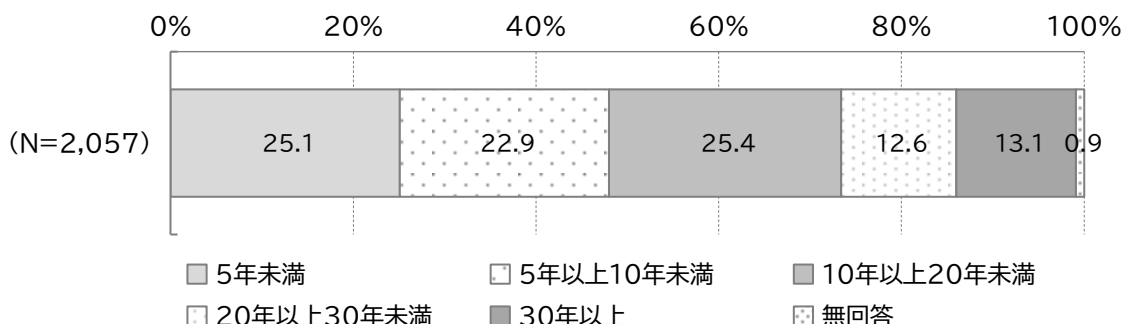
「校長」が48.5%、「教頭」が49.5%となっている。



④通算の教職・職位期間

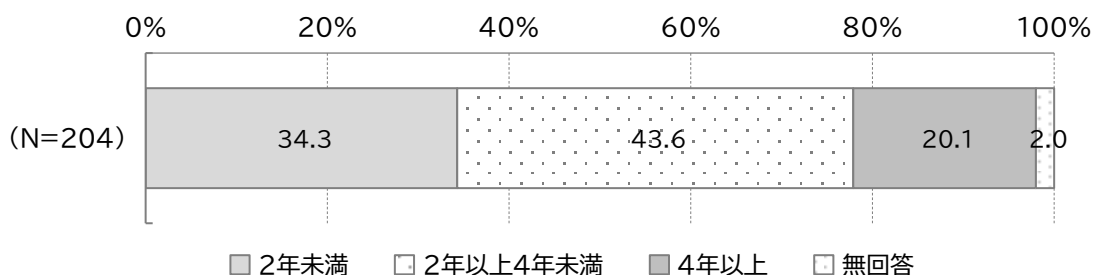
[教員]

「10年以上20年未満」が25.4%と最も多く、次いで「5年未満」が25.1%、「5年以上10年未満」が22.9%、「5年以上10年未満」が22.9%となっている。



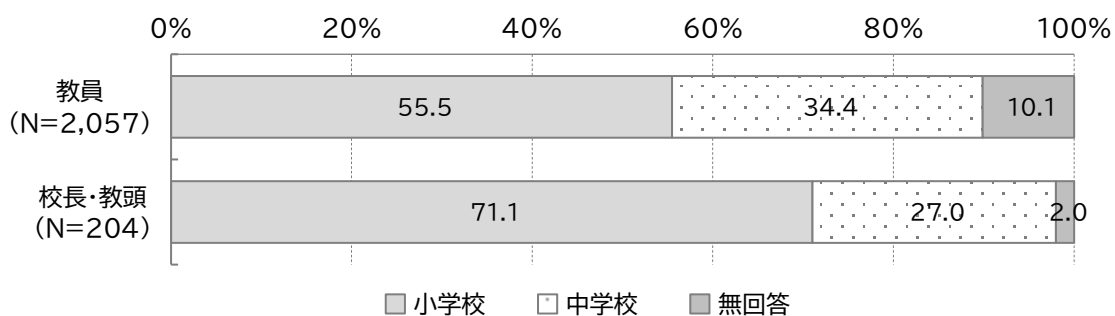
[校長・教頭]

「2年以上4年未満」が43.6%と最も多く、次いで「2年未満」が34.3%、「4年以上」が20.1%となっている。



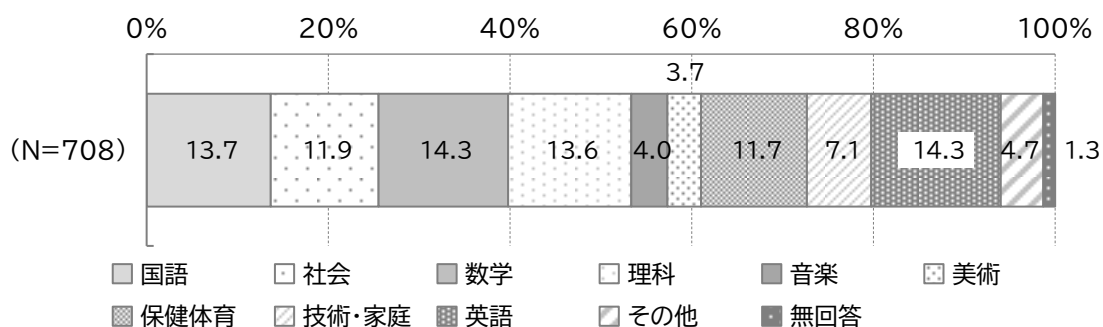
⑤勤務先

教員は「小学校」が55.5%、「中学校」が34.4%、校長・教頭は「小学校」が71.1%、「中学校」が27.0%となっている。



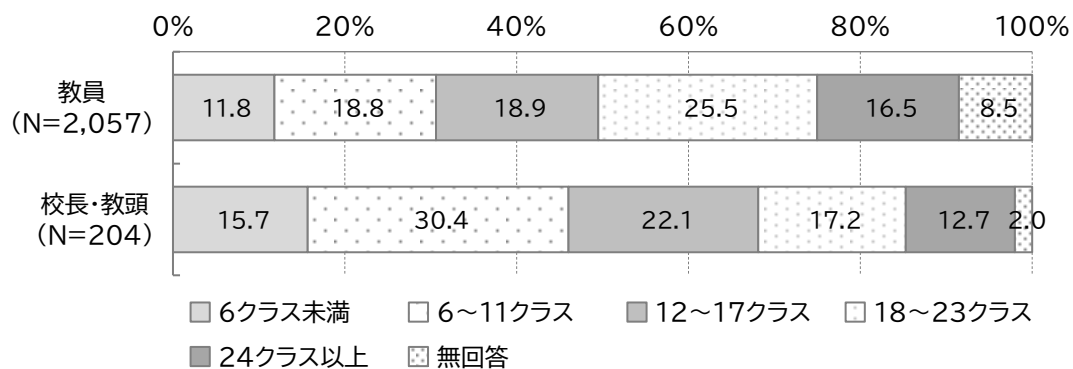
⑥担当教科 [中学校教員]

「数学」「英語」が14.3%と最も多く、次いで「国語」が13.7%、「理科」が13.6%となっている。



⑦勤務先の学校規模

教員は「18～23 クラス」が25.5%、校長・教頭は「6～11 クラス」が30.4%と最も多くなっている。



第3章 学校教育について

1 学校全般

① 学校生活の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問1	問1	問1		

【小学生、中学生】

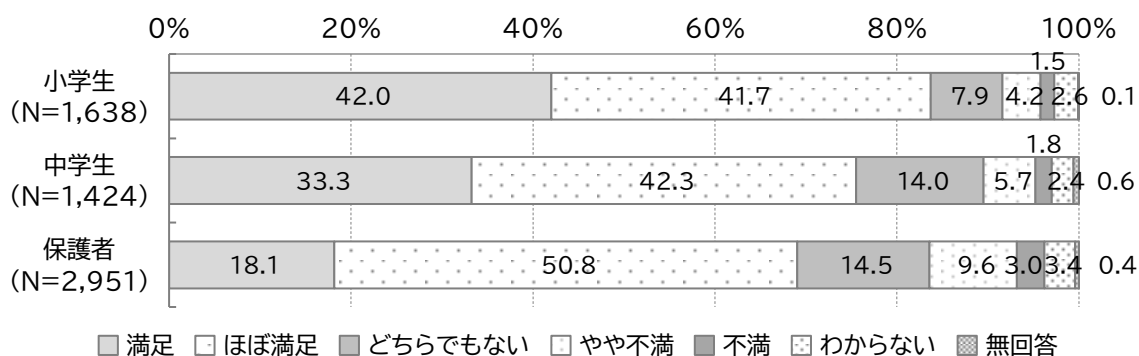
問. あなたは、今の学校生活に満足していますか。(1つに○)

【保護者】

問. あなたのお子さん(この調査票を持ち帰ったお子さん)は、今の学校生活に満足していると思いますか。(1つに○)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生で83.7%、中学生で75.6%、保護者で68.9%となっている。

前回と比較すると、「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生(82.3%→83.7%)、中学生(75.3%→75.6%)でわずかに増加しており、小学生保護者(78.6%→75.3%)、中学生保護者(67.2%→61.4%)で減少している。



	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (N=1,638)	前回 (N=1,663)	今回 (N=1,424)	前回 (N=1,324)	今回 (N=1,570)	前回 (N=1,461)	今回 (N=1,358)	前回 (N=1,375)
満足	42.0	38.2	33.3	29.9	22.0	22.6	13.5	16.0
ほぼ満足	41.7	44.1	42.3	45.4	53.3	56.0	47.9	51.2
どちらでもない	7.9	7.9	14.0	12.8	11.8	11.8	17.7	15.4
やや不満	4.2	4.5	5.7	5.4	8.3	5.2	11.3	10.0
不満	1.5	1.3	1.8	2.5	2.2	1.2	3.9	3.2
わからない	2.6	3.3	2.4	3.8	2.0	2.8	5.0	3.8
無回答	0.1	0.7	0.6	0.2	0.3	0.4	0.6	0.4

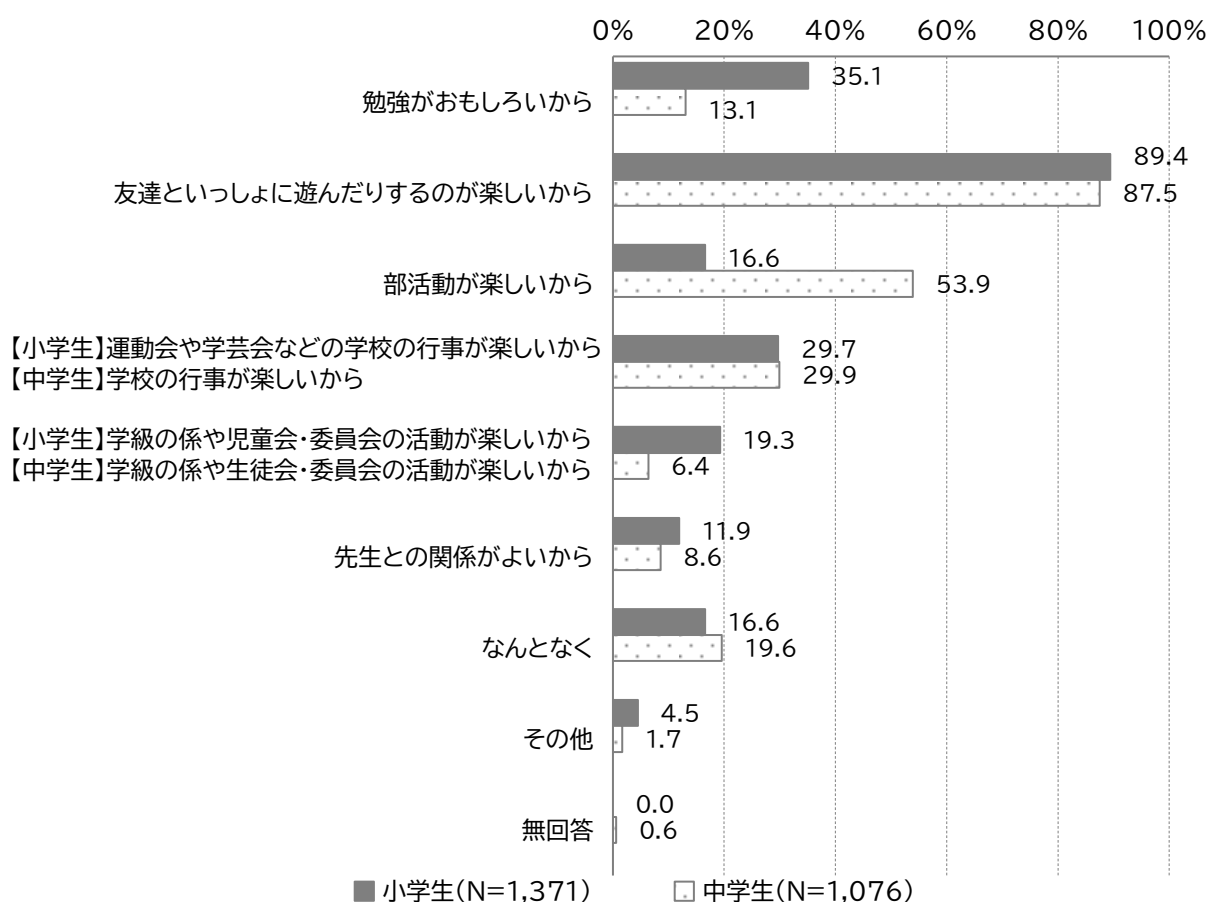
②学校生活に満足している理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問2	問2			

※学校生活の満足度で「1. 満足」「2. ほぼ満足」を選んだ人

問. その理由は何ですか。(3つまで○)

小・中学生ともに、「友達といっしょに遊んだりするのが楽しいから」(小学生 89.4%、中学生 87.5%)が最も多くなっている。次いで、小学生では「勉強がおもしろいから」が 35.1%、「運動会や学芸会などの学校の行事が楽しいから」が 29.7%となっている。中学生では「部活動が楽しいから」が 53.9%、「学校の行事が楽しいから」が 29.9%となっている。



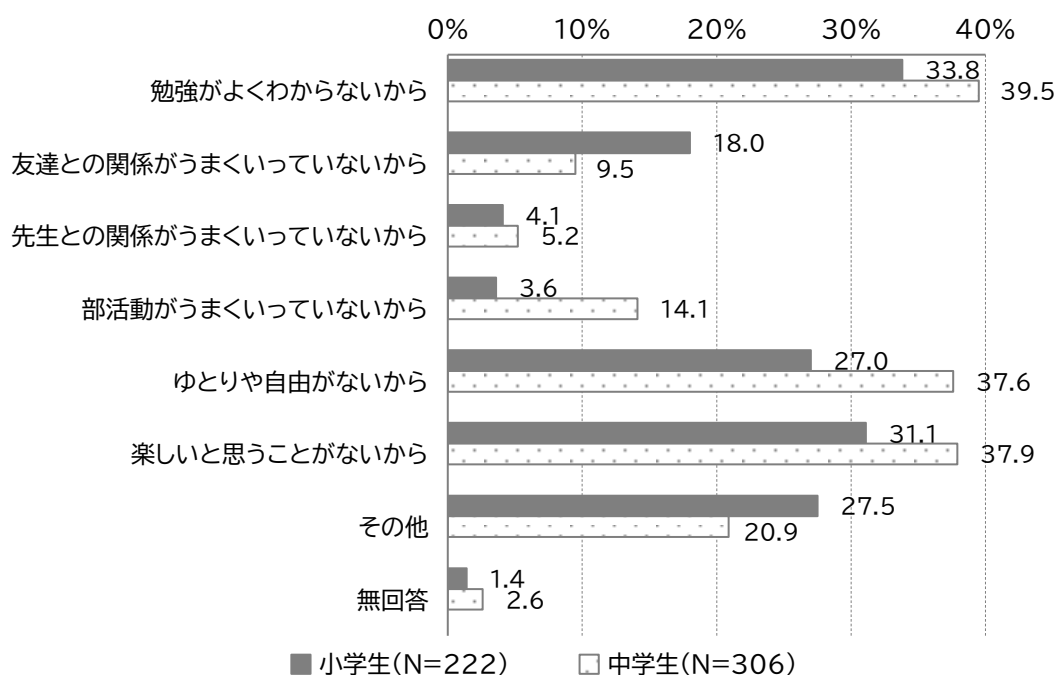
③ 学校生活に満足していない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問3	問3			

※学校生活の満足度で「3. どちらでもない」「4. やや不満」「5. 不満」を選んだ人

問. その理由は何ですか。(3つまで○)

小・中学生ともに、「勉強がよくわからないから」(小学生 33.8%、中学生 39.5%)が最も多くなっており、次いで「楽しいと思うことがない」(小学生 31.1%、中学生 37.9%)、「ゆとりや自由がないから」(小学生 27.0%、中学生 37.6%)となっている。



【その他の回答】

【小学生】

- ・色々なことが制限されて、やりたいことができない
- ・友達と話をしたり、給食を食べたりすることができないから
- ・行事やイベントなどが全て中止で楽しみがないから
- ・いじめられたり、悪口を言われたりするから

【中学生】

- ・コロナウイルスの影響で、友達と話す時間や行事などがなくなったから
- ・宿題や課題が多くて大変だから
- ・朝が早いから
- ・校則が厳しい、決まりが多い

など

※本設問での「その他」の回答内容は、特に小学生で新型コロナウイルス感染症に関する回答が多くなっています。

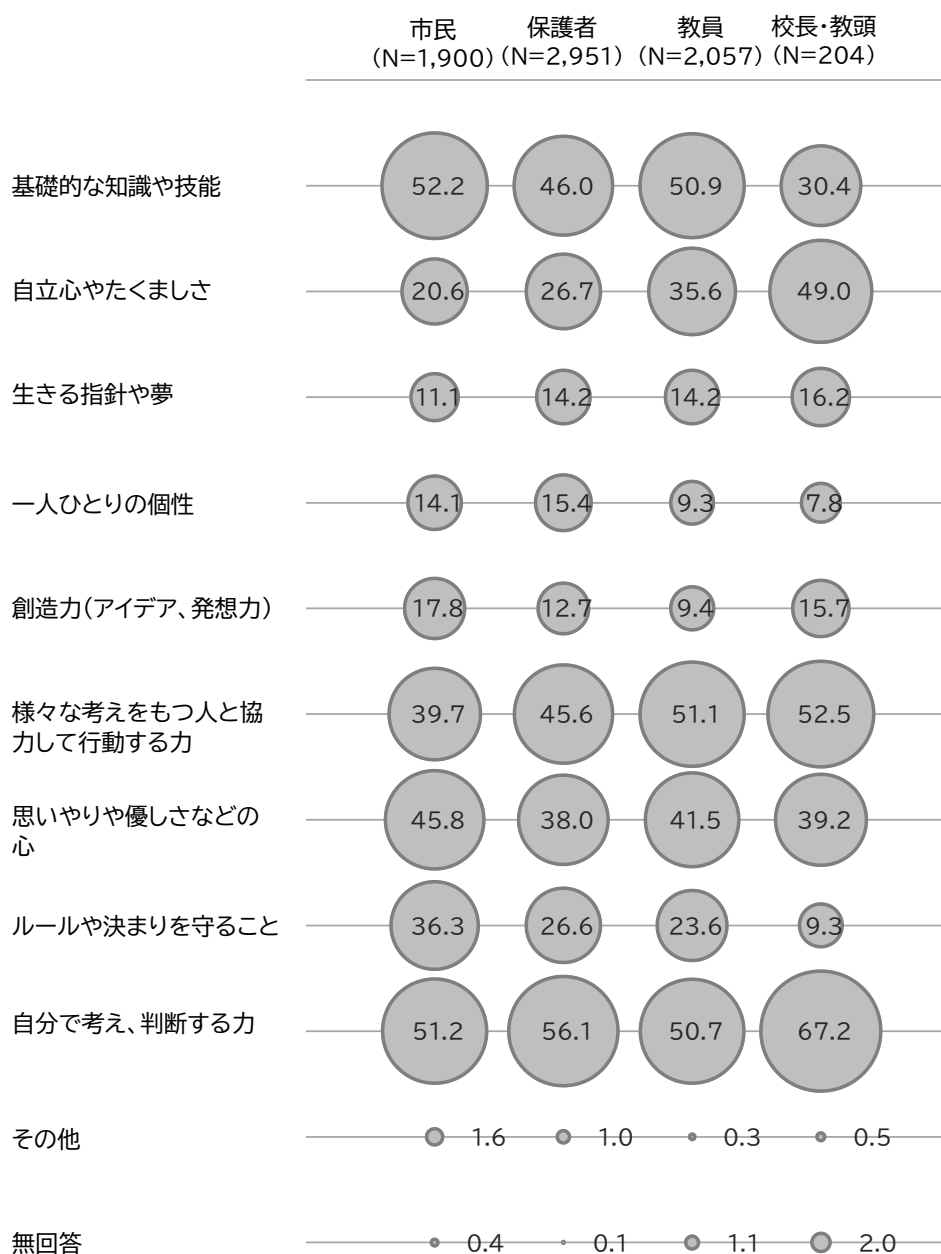
④学校が一層力を入れるべきこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問1			問2	問7	問6

問. あなたは、学校が児童・生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○)

市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても、「自分で考え、判断する力」への回答が多くなっている。市民、保護者、教員においては「基礎的な知識や技能」が多く、保護者、教員、校長・教頭においては「様々な考えを持つ人と協力して行動する力」も多くなっている。

最も回答が多い項目を対象者別にみると、市民では「基礎的な技能や知識」が52.2%、保護者では「自分で考え、判断する力」が56.1%、教員では「様々な考えを持つ人と協力して行動する力」が51.1%、校長・教頭では「自分で考え、判断する力」が67.2%となっている。



年齢別にみると、市民において39歳以下、50～59歳では「自分で考え、判断する力」、40～49歳、60歳以上では「基礎的な知識や技能」が最も多くなっている。

保護者では、29歳以下で「ルールや決まりを守ること」、30～59歳で「自分で考え、判断する力」、60歳以上で「基礎的な知識や技能」が最も多くなっている。

教員では、39歳以下で「自分で考え、判断する力」、40～59歳で「様々な考えを持つ人と協力して行動する力」、60歳以上で「基礎的な知識や技能」が最も多くなっている。

		基礎的な知識や技能	自立心やたくましさ	生きる指針や夢	一人ひとりの個性	創造力（アイデア、発想力）	様々な考えをもつ人と協力して行動する力	思いやりや優しさなどの心	ルールや決まりを守ること	自分で考え、判断する力	その他	無回答
%												
市民	20歳未満	39.1	7.8	15.6	34.4	32.8	34.4	29.7	29.7	51.6	4.7	0.0
	20～29歳	49.2	18.4	11.7	16.8	22.3	42.5	40.8	32.4	57.0	2.2	0.0
	30～39歳	48.5	20.0	11.2	13.1	17.3	44.2	45.0	36.5	54.2	1.5	0.0
	40～49歳	54.7	24.0	11.0	10.2	18.2	43.1	42.5	33.1	54.1	1.4	0.0
	50～59歳	48.2	21.0	9.2	13.4	17.0	44.9	42.0	40.3	52.8	1.3	0.3
	60～64歳	55.0	16.6	11.9	14.6	20.5	35.1	54.3	33.8	47.0	1.3	1.3
	65～69歳	57.8	13.9	14.5	15.0	17.9	41.6	47.4	34.1	45.7	1.7	1.2
	70～74歳	52.8	24.4	9.1	13.6	15.3	33.0	50.0	39.8	51.1	1.7	1.1
	75歳以上	56.1	25.0	10.4	14.6	11.3	28.8	55.7	41.0	42.5	0.9	0.5
保護者	29歳以下	38.5	30.8	23.1	30.8	0.0	23.1	15.4	53.8	30.8	0.0	0.0
	30～39歳	42.8	25.2	13.2	15.8	11.4	45.7	41.2	28.9	54.5	1.0	0.0
	40～49歳	47.2	27.2	14.2	14.9	12.5	46.8	36.5	25.8	57.4	0.9	0.1
	50～59歳	50.8	26.2	16.4	15.9	19.0	39.5	37.4	24.1	55.4	2.1	1.0
	60～69歳	71.4	14.3	35.7	7.1	28.6	14.3	57.1	50.0	14.3	0.0	0.0
		70歳以上	80.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
教員	29歳以下	49.4	34.0	14.4	12.7	9.7	47.6	44.6	19.6	54.7	0.3	0.5
	30～39歳	48.1	37.0	16.5	8.7	7.6	49.0	40.7	26.4	51.9	0.4	0.6
	40～49歳	50.5	37.1	15.9	7.1	8.8	58.3	41.7	24.6	47.3	0.0	1.2
	50～59歳	54.7	33.0	8.9	5.8	12.2	57.5	35.8	25.7	49.5	0.9	1.5
		60歳以上	60.2	36.7	13.3	12.5	11.7	41.4	46.1	24.2	40.6	0.0

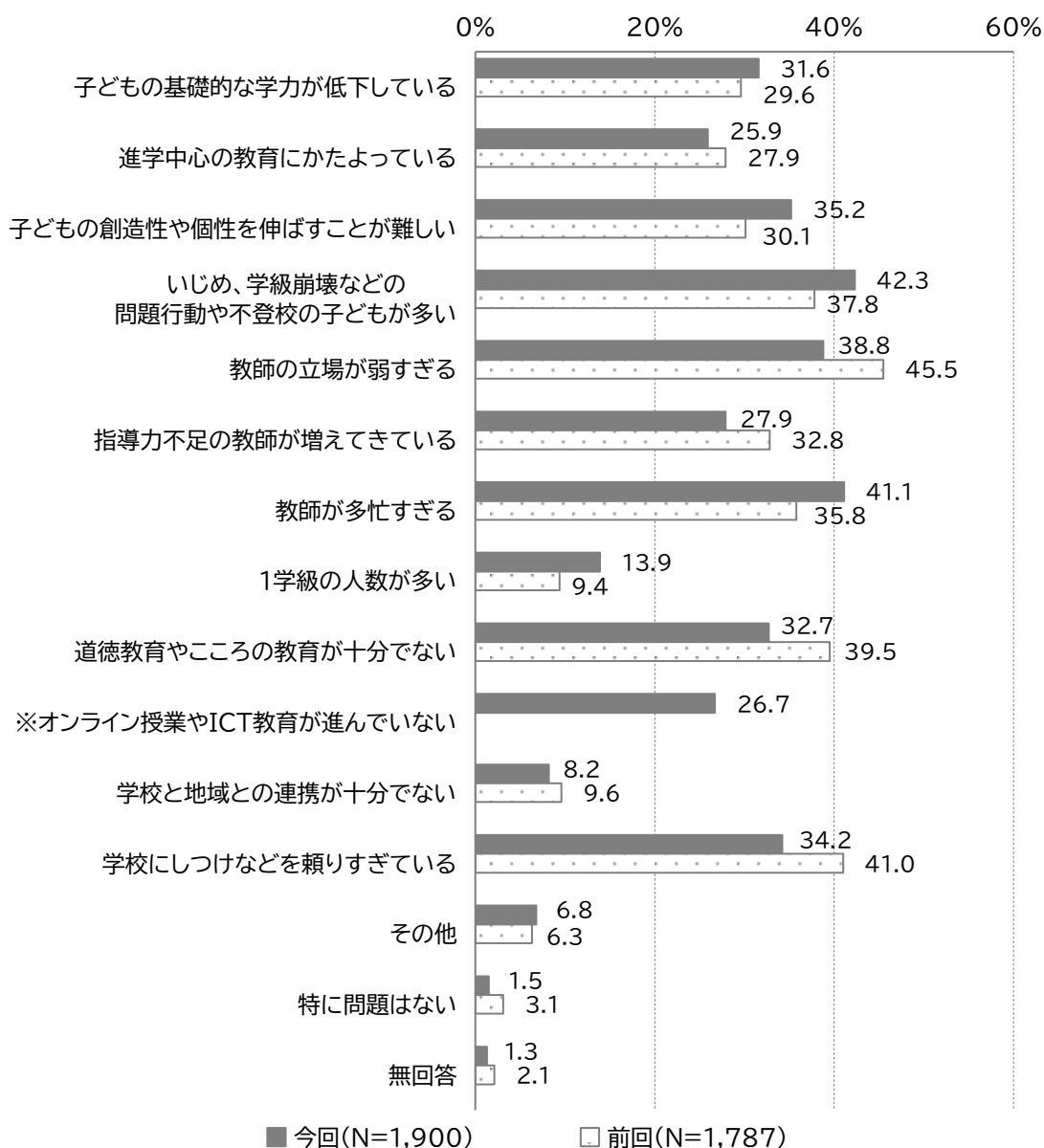
⑤現在の学校教育の問題点

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問2					

問. 現在の学校教育について、どのような問題があると思いますか。(5つまで○)

「いじめ、学級崩壊などの問題行動や不登校の子どもが多い」が42.3%と最も多く、次いで「教師が多忙すぎる」が41.1%、「教師の立場が弱すぎる」が38.8%となっている。

「子どもの基礎的な学力が低下している」「子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい」「いじめ、学級崩壊などの問題行動や不登校の子どもが多い」「教師が多忙すぎる」「1学級の人数が多い」は、前回と比べて増加している。「教師が多忙すぎる」については、25.2%(前々回)→35.8%(前回)→41.1%(今回)と一貫して増加している。



※前回は「オンライン授業やICT教育が進んでいない」という選択肢はありません。

年齢別にみると、49歳以下において「いじめ、学級崩壊などの問題行動や不登校の子どもが多い」が多くなっている。65歳以上では、「道徳教育やこころの教育が十分でない」が多くなっている。

%		が子どもとしての基礎的な学力	よって中心の教育にかた	を伸ばす創造性や個性	子どもの問題行動や学級崩壊など	教師の立場が弱すぎる	え指導力不足の教師が増	教師が多忙すぎる	1学級の人数が多い	道徳教育やこころの教育が十分でない
市民	20歳未満	26.6	25.0	28.1	37.5	28.1	35.9	32.8	6.3	14.1
	20～29歳	24.0	25.7	36.3	48.6	31.3	18.4	47.5	11.2	22.3
	30～39歳	31.5	17.3	32.7	46.5	36.2	21.9	45.4	14.6	25.0
	40～49歳	35.1	21.3	36.2	37.8	37.6	27.9	35.1	14.9	23.8
	50～59歳	27.5	26.2	37.4	42.3	39.7	33.1	49.5	16.1	27.9
	60～64歳	26.5	35.1	35.1	49.0	38.4	32.5	40.4	20.5	42.4
	65～69歳	30.1	30.6	41.0	44.5	41.6	32.4	40.5	13.9	48.0
	70～74歳	40.9	27.3	31.3	38.1	42.6	31.3	38.6	12.5	44.3
	75歳以上	34.4	32.5	31.6	37.7	46.2	23.6	34.4	9.0	47.6

%		オンラインがインディペンデントなICT	学校と地域との連携が	り学校にしているなどを頼	その他	特に問題はない	無回答
市民	20歳未満	34.4	3.1	23.4	9.4	3.1	0.0
	20～29歳	26.3	8.4	30.7	5.0	2.2	0.0
	30～39歳	36.2	7.3	23.8	6.2	2.3	0.8
	40～49歳	33.4	5.8	23.8	8.0	2.2	0.6
	50～59歳	25.2	6.6	44.9	9.2	0.7	0.7
	60～64歳	16.6	9.3	45.7	7.3	0.0	0.0
	65～69歳	24.3	8.7	38.2	7.5	0.6	1.7
	70～74歳	29.0	13.6	33.0	4.5	1.7	2.3
	75歳以上	11.8	9.9	44.3	4.7	1.4	4.7

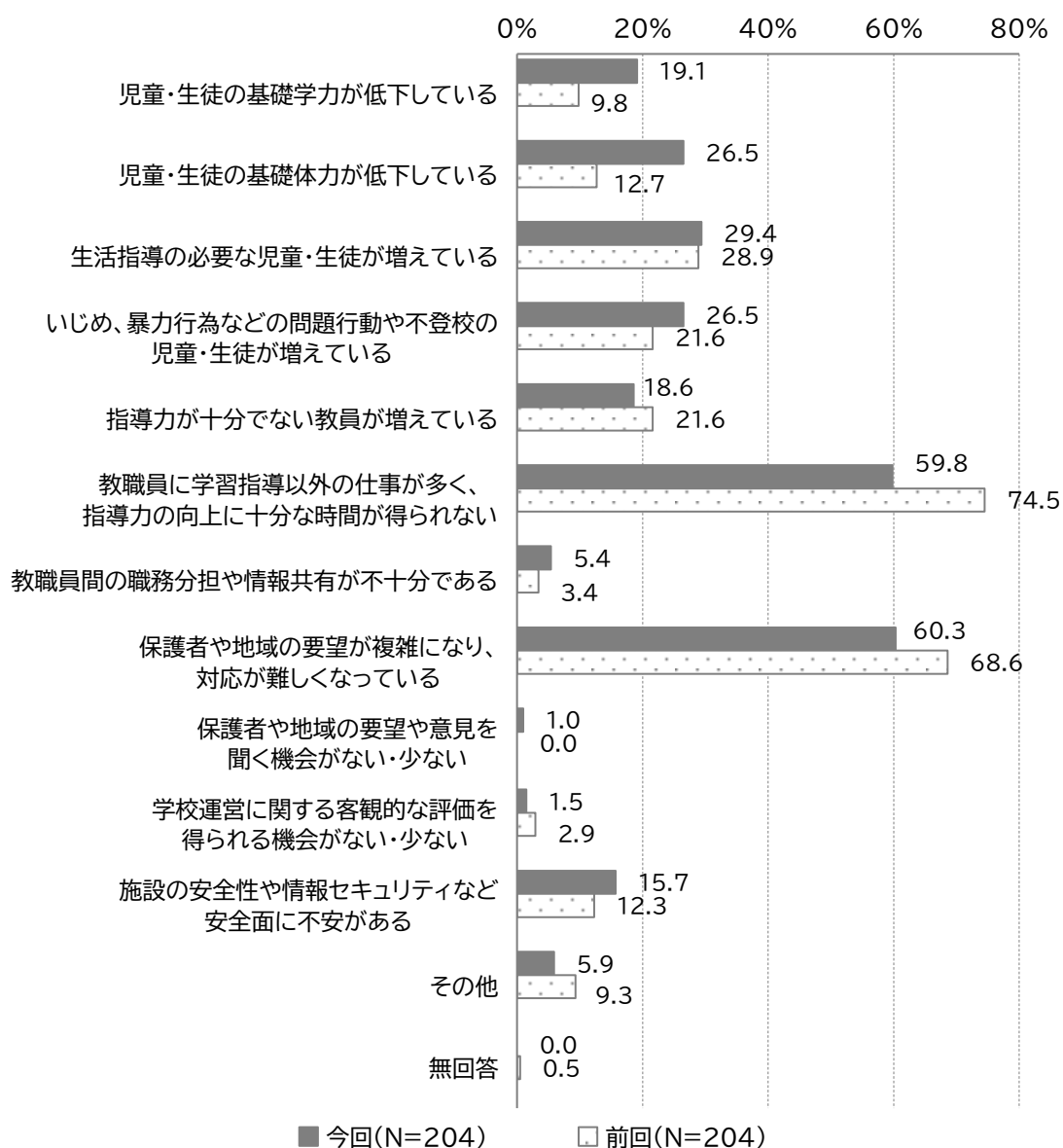
⑥ 学校運営での課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
					問 10

問. 学校運営について、どのようなことに特に課題を感じていますか。(3つまで○)

「保護者や地域の要望が複雑になり、対応が難しくなっている」が60.3%と最も多く、次いで「教職員に学習指導以外の仕事が多く、指導力の向上に十分な時間が得られない」が59.8%、「生活指導の必要な児童・生徒が増えている」が29.4%となっている。

「保護者や地域の要望が複雑になり、対応が難しくなっている」、「教職員に学習指導以外の仕事が多く、指導力の向上に十分な時間が得られない」は上位となっているものの、前回よりも減少している。



2 授業

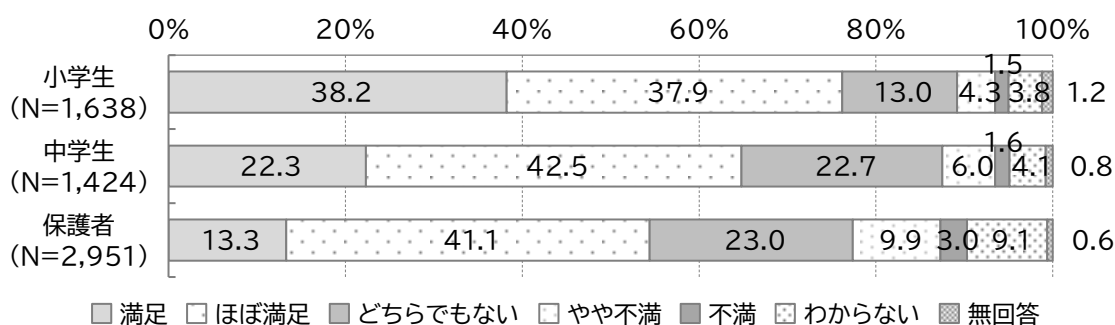
①授業の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問4	問4	問3		

問. あなたは、学校の授業に満足していますか。(1つに○)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生で76.1%、中学生で64.8%、保護者で54.4%となっている。

前回と比較すると、「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生(74.4%→76.1%)、中学生(55.7%→64.8%)で増加しており、小学生保護者(62.5%→61.5%)、中学生保護者(47.3%→46.1%)で減少している。



%	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (N=1,638)	前回 (N=1,663)	今回 (N=1,424)	前回 (N=1,324)	今回 (N=1,570)	前回 (N=1,461)	今回 (N=1,358)	前回 (N=1,375)
満足	38.2	33.8	22.3	19.2	16.4	10.8	9.6	6.8
ほぼ満足	37.9	40.6	42.5	36.5	45.1	51.7	36.5	40.5
どちらでもない	13.0	14.5	22.7	29.5	20.5	21.1	26.0	25.7
やや不満	4.3	3.9	6.0	6.8	7.5	8.5	12.7	13.7
不満	1.5	2.0	1.6	2.7	2.6	2.0	3.5	3.2
わからない	3.8	4.4	4.1	5.0	6.9	5.3	11.4	9.9
無回答	1.2	0.8	0.8	0.3	0.9	0.5	0.4	0.2

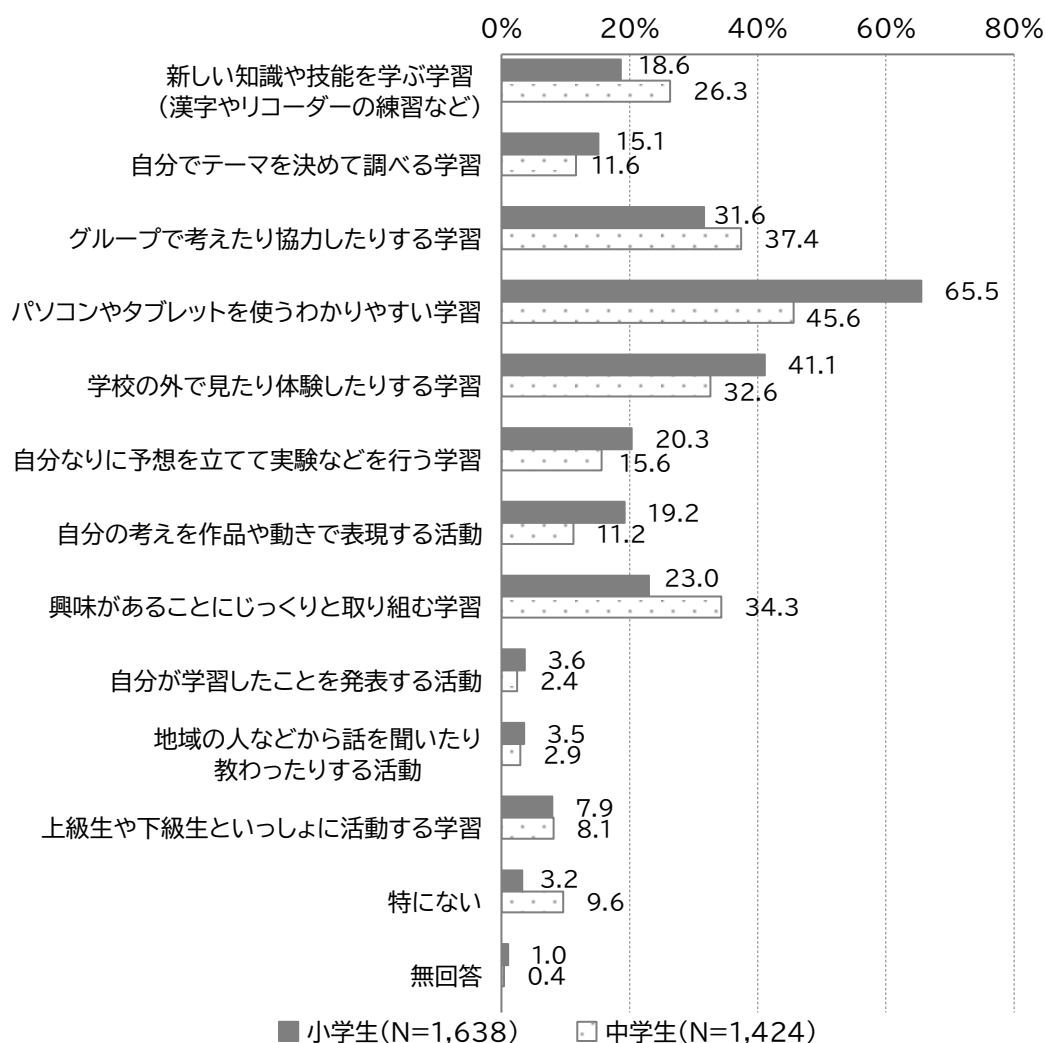
②好きな授業・学習内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問5	問5			

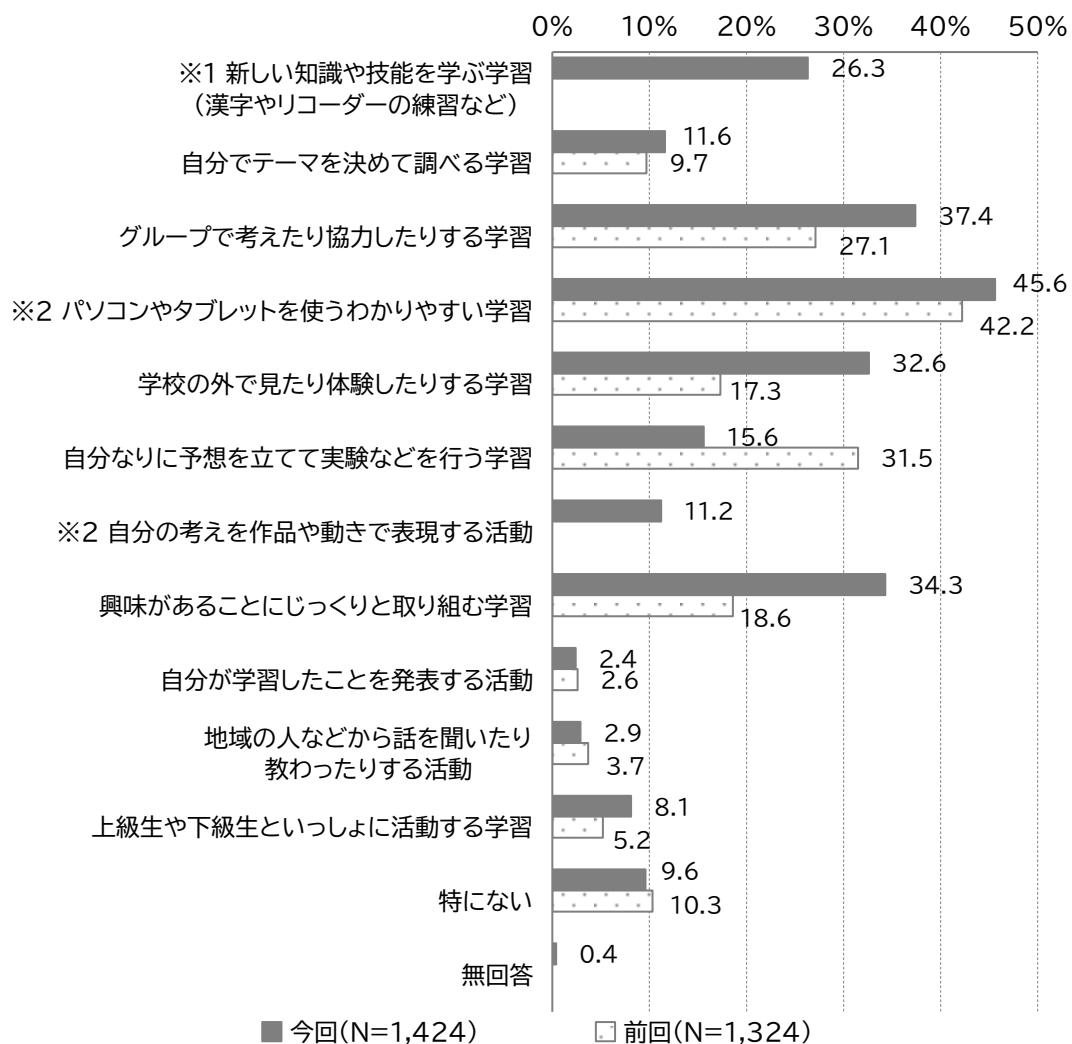
問. 学校でどのような授業や学習が好きですか。(3つまで○)

小・中学生ともに、「パソコンやタブレットを使うわかりやすい学習」(小学生 65.5%、中学生 45.6%)が最も多くなっている。この他には、「グループで考えたり協力したりする学習」「学校の外で見たり体験したりする学習」も多い。

また、中学生においては「興味があることにじっくりと取り組む学習」が、前回の 18.6%から 34.3%と 15.7 ポイントの増加がみられる。



【中学生】 前回との比較



※は前回から大きな変更のある選択肢

※1：「先生が黒板を使って教えてくれる授業」「計算や漢字などの練習」の2つの選択肢となっている。

※2：該当する選択肢なし

③授業に対する子どもの理解度

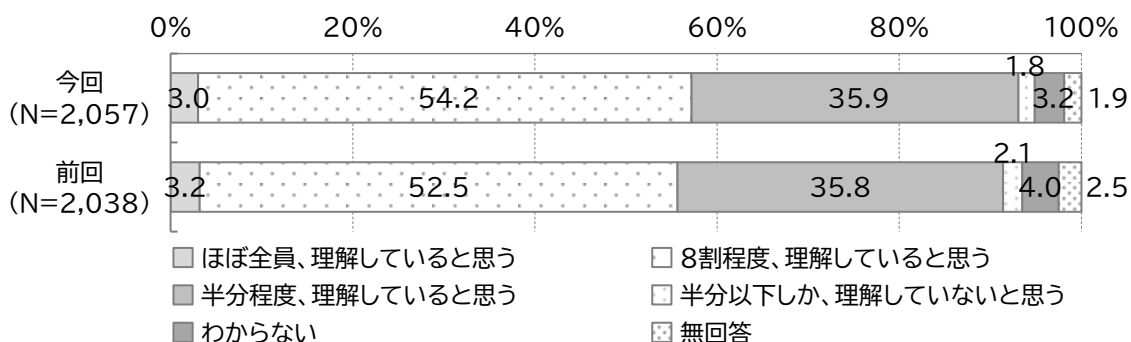
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問1	

問. ご自身の授業に対して、子どもの理解度はどの程度だと思いますか。(1つに○)

*小学校では担当教科を平均してください。

「8割程度、理解していると思う」が54.2%と最も多く、次いで「半分程度、理解していると思う」が35.9%、「わからない」が3.2%となっている。

前回と比べても、大きな変化はみられない。



年齢別にみると、29歳以下において「半分程度、理解していると思う」、30歳以上では「8割程度、理解していると思う」が最も多くなっている。

学校別でみると、いずれも「8割程度、理解していると思う」が最も多い。

	%	ほぼ全員、理解している	8割程度、理解している	半分程度、理解している	半分以下しか、理解していない	わからない	無回答
		29歳以下	2.1	44.5	46.7	2.4	3.3
30~39歳	1.5	50.6	42.0	1.7	3.3	0.9	
40~49歳	2.2	60.7	28.8	1.7	3.9	2.7	
50~59歳	6.1	67.3	20.5	0.9	2.4	2.8	
60歳以上	7.8	61.7	19.5	2.3	2.3	6.3	
小学校	4.4	56.1	31.9	1.4	3.8	2.5	
中学校	1.4	49.3	44.4	1.7	2.3	1.0	

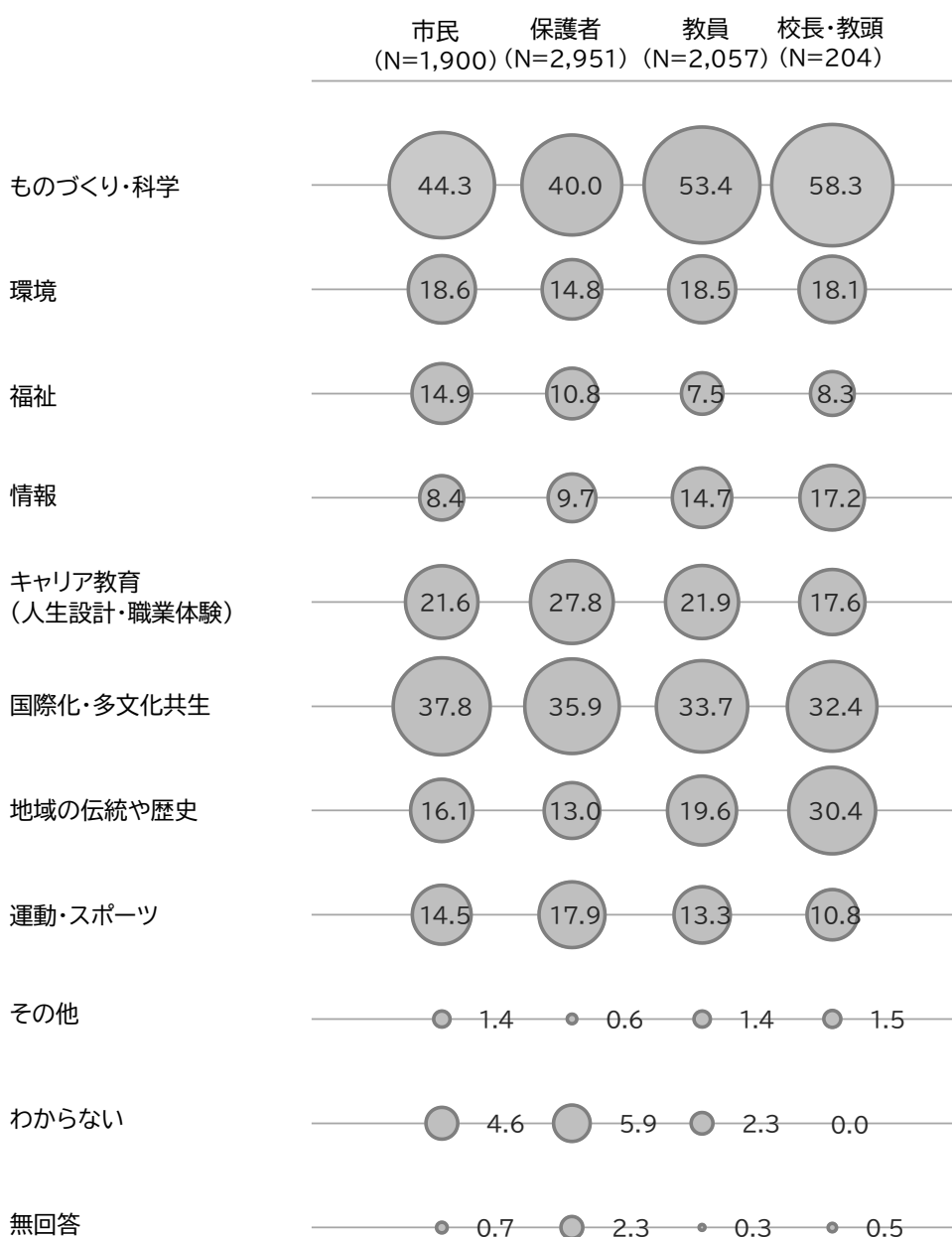
3 特色ある教育

①特色のある教育として重要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問3			問6	問3	問2

問. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いますか。(2つまで○)

市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「ものづくり・科学」が最も多く、それぞれ44.3%、40.0%、53.4%、58.3%となっている。次いで「国際化・多文化共生」となっており、この他には、市民、保護者、教員は「キャリア教育(人生設計・職業体験)」、校長・教頭は「地域の伝統や歴史」となっている。



前回と比べると、いずれの対象においても「ものづくり・科学」、「情報」は増加している。一方で、「福祉」、「地域の伝統や歴史」「運動・スポーツ」は減少している。

%	市民		保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=1,900)	前回 (N=1,787)	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
ものづくり・科学	44.3	40.3	40.0	37.5	53.4	48.8	58.3	50.5
環境	18.6	16.7	14.8	14.8	18.5	17.2	18.1	14.7
福祉	14.9	20.1	10.8	15.8	7.5	11.3	8.3	15.7
情報	8.4	3.4	9.7	5.7	14.7	8.5	17.2	4.9
キャリア教育 (人生設計・職業体験)	21.6	19.3	27.8	25.4	21.9	21.5	17.6	19.1
国際化・多文化共生	37.8	31.3	35.9	33.1	33.7	33.1	32.4	34.3
地域の伝統や歴史	16.1	18.4	13.0	14.1	19.6	21.6	30.4	41.2
運動・スポーツ	14.5	19.0	17.9	23.0	13.3	19.3	10.8	14.2
その他	1.4	1.1	0.6	0.7	1.4	1.3	1.5	2.0
わからない	4.6	7.0	5.9	6.3	2.3	2.6	0.0	0.0
無回答	0.7	1.5	2.3	1.8	0.3	1.5	0.5	1.0

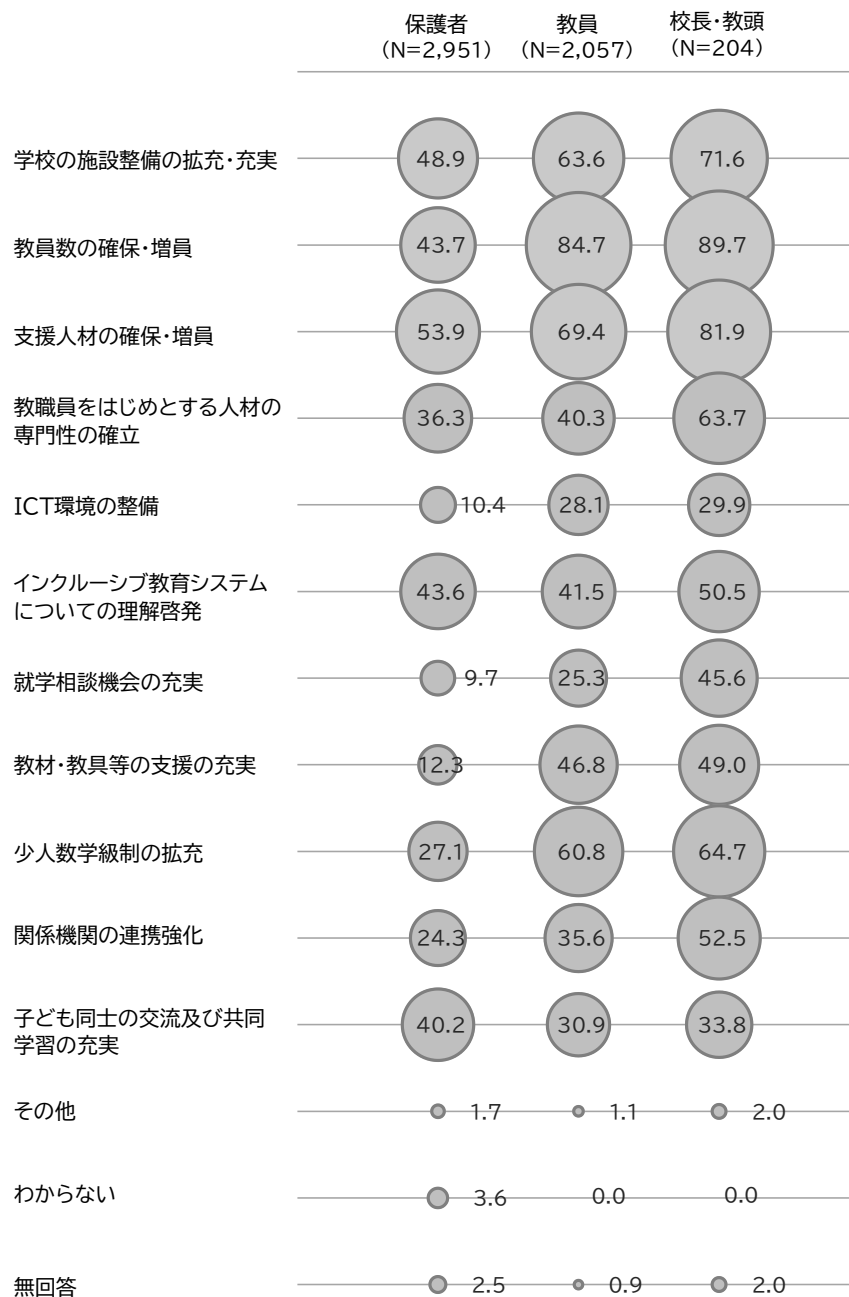
②インクルーシブ教育システムの推進に必要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問7	問4	問3

問. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システムを推進するために、どういったことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場所を提供できるシステム

保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「学校の施設整備の拡充・充実」「教員数の確保・増員」「支援人材の確保・増員」の3つが多くなっている。

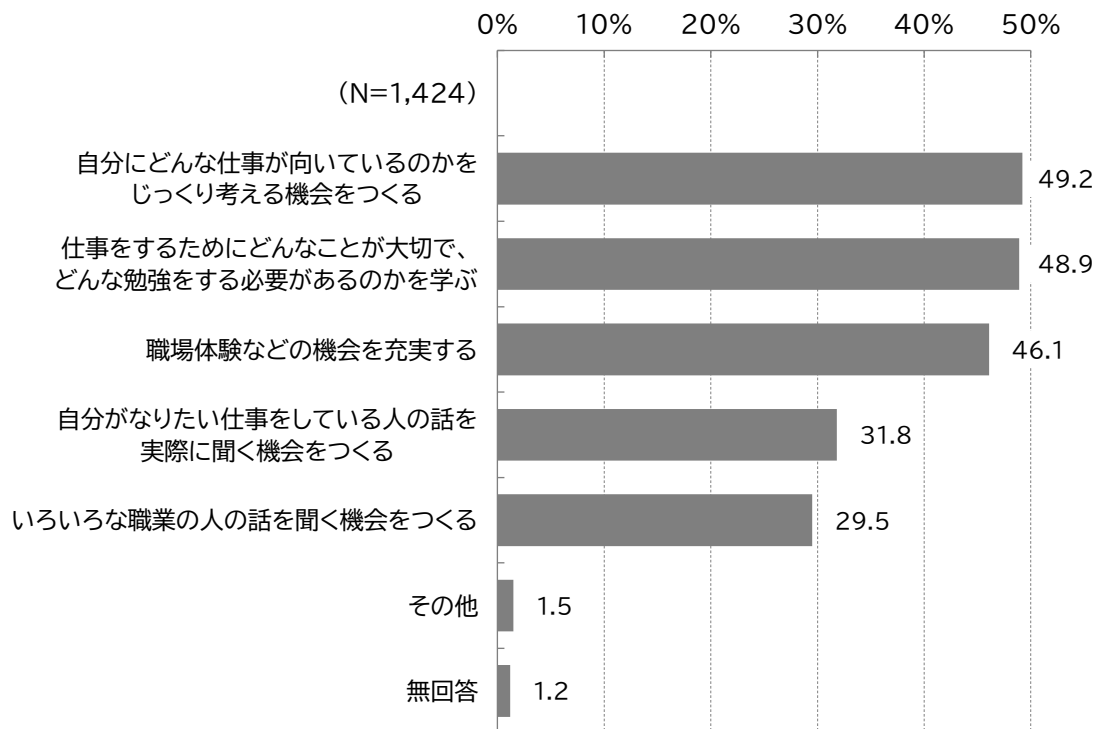


③ 将来の職業を考えるために必要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
		問 10			

問. 将来の職業を考えるために、学校でどのようなことがあればよいと思いますか。
(3つまで○)

「自分にどんな仕事に向いているのかをじっくり考える機会をつくる」が 49.2%と最も多く、次いで「仕事をするためにどんなことが大切で、どんな勉強をする必要があるのかを学ぶ」が 48.9%、「職場体験などの機会を充実する」が 46.1%となっている。



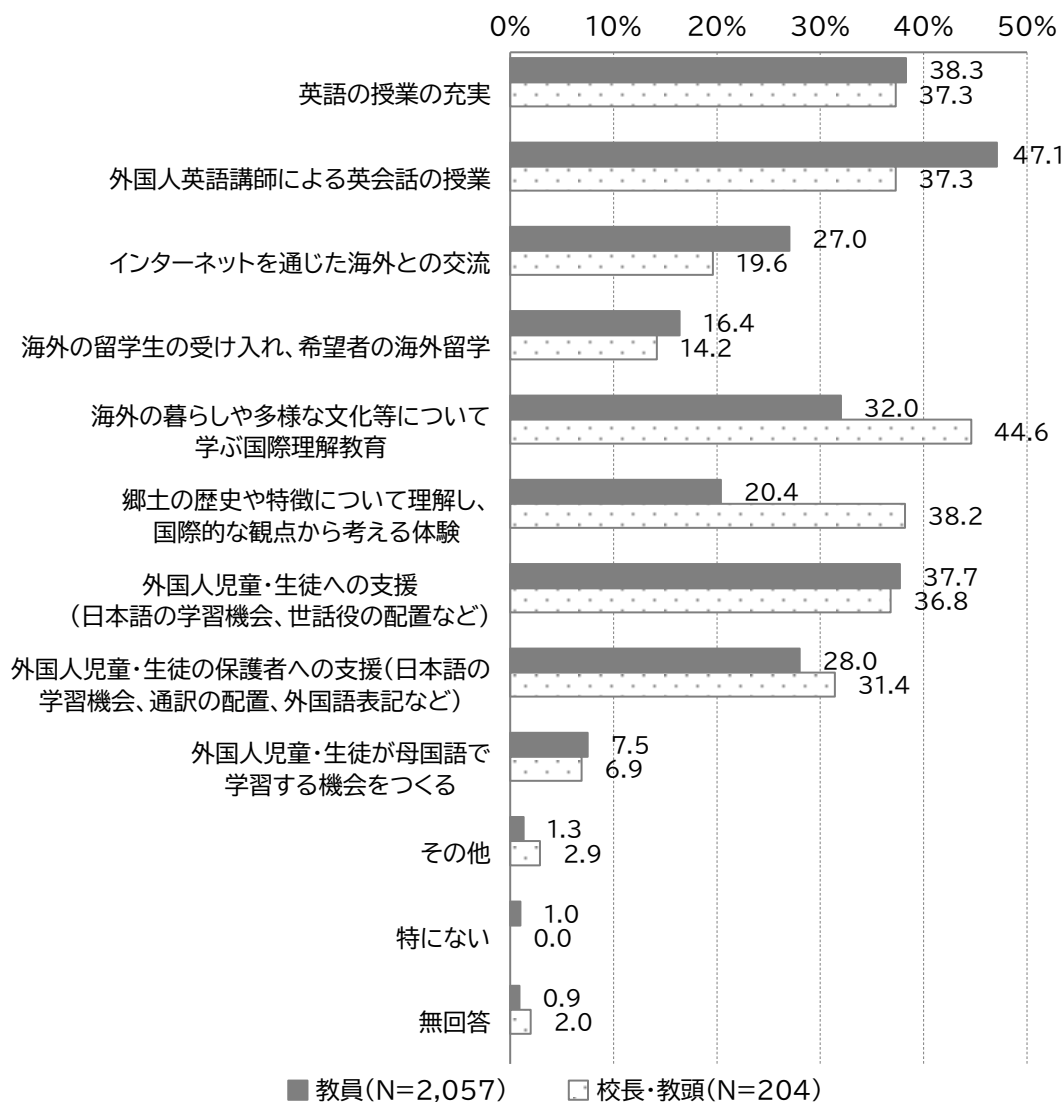
④国際化・多文化共生について

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 10	問 9

問. 国際化・多文化共生が進む中で、「学校」ではどのようなことに、力を入れたらよいと思いますか。(3つまで○)

教員は「外国人英語講師による英会話の授業」が47.1%、校長・教頭は「海外の暮らしや多様な文化等について学ぶ国際理解教育」が44.6%と最も多くなっている。

この他に、教員では「英語の授業の充実」「外国人児童・生徒への支援(日本語の学習機会、世話役の配置など)」が多く、校長・教頭では「郷土の歴史や特徴について理解し、国際的な観点から考える体験」「英語授業の充実」「外国人英語講師による英会話の授業」が多くなっている。



4 教師

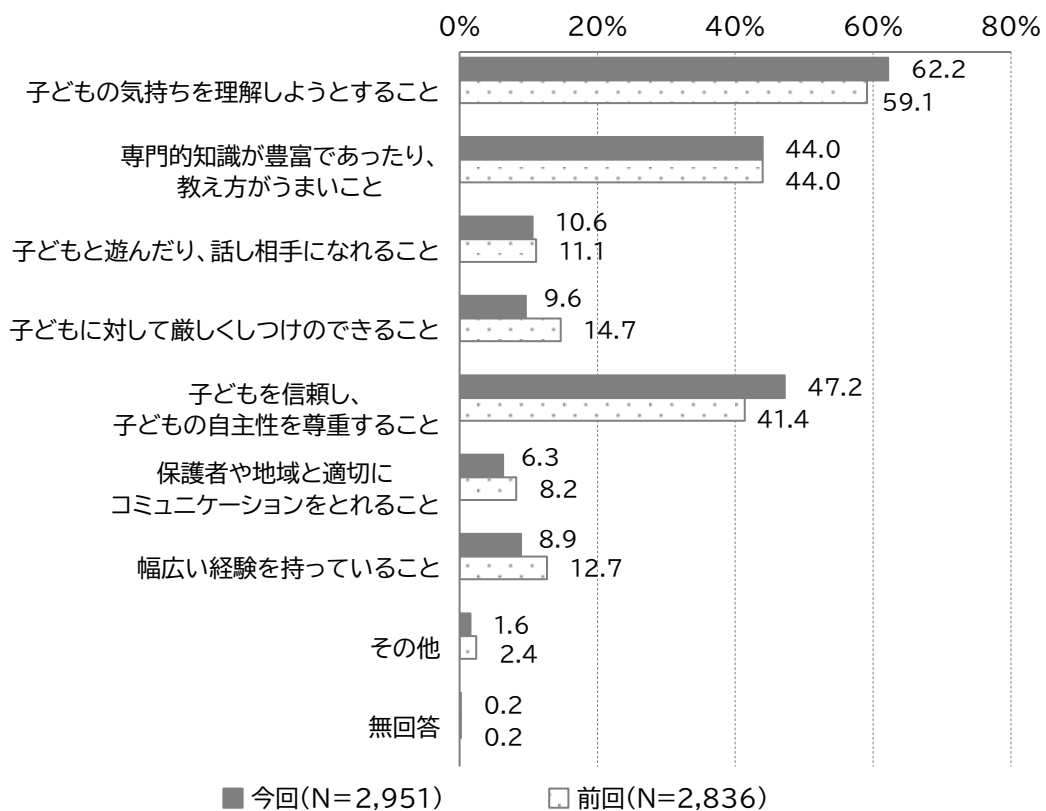
①教師に期待すること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問4		

問. 学校の教師にどのようなことを期待しますか。(2つまで○)

「子どもの気持ちを理解しようとする事」が62.2%と最も多く、次いで「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」が47.2%、「専門的知識が豊富であったり、教え方がうまいこと」が44.0%となっている。

前回と比べると、「子どもの気持ちを理解しようとする事」「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」は増加している。「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」においては、36.9%(前々回)→41.4%(前回)→47.2%(今回)と一貫して増加している。

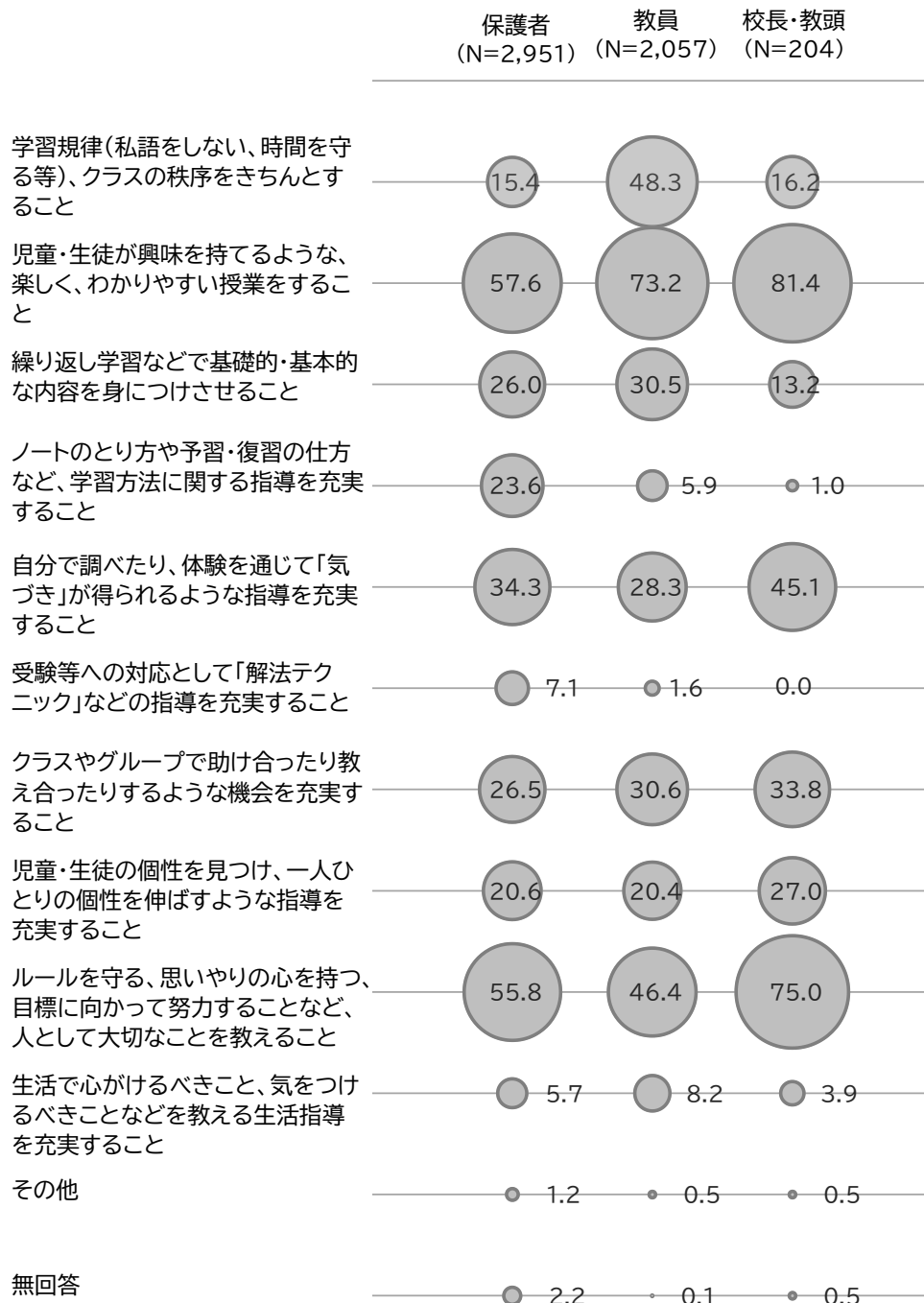


②児童・生徒の指導で大切と思うこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問5	問2	問1

問. 児童・生徒の指導において、特にどのようなことが大切であると思いますか。
(3つまで○)

保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること」(保護者 57.6%、教員 73.2%、校長・教頭 81.4%)が最も多くなっている。この他に、「ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること」も多くなっている。



前回と比べると、保護者、教員ともに「児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること」「自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られるような指導を充実すること」「クラスやグループで助け合ったり教え合ったりするような機会を充実すること」「児童・生徒の個性を見つけ、一人ひとりの個性を伸ばすような指導を充実すること」では増加している。

また、保護者、教員ともに「ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること」では減少がみられ、教員では「学習規律(私語をしない、時間を守る等)、クラスの秩序をきちんとすること」でも減少がみられる。

%	小学生保護者		中学生保護者		小学校教員		中学校教員	
	今回 (N=1,570)	前回 (N=1,461)	今回 (N=1,358)	前回 (N=1,375)	今回 (N=1,142)	前回 (N=1,268)	今回 (N=708)	前回 (N=721)
学習規律(私語をしない、時間を守る等)、クラスの秩序をきちんとすること	15.3	23.3	15.7	20.5	48.1	54.1	47.2	57.2
児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること	58.6	53.7	56.5	53.7	73.3	70.8	72.0	64.8
繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身につけさせること	25.7	30.9	26.5	32.9	30.9	36.6	29.4	35.3
ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実すること	20.8	22.0	26.4	23.7	5.7	4.9	6.4	5.5
自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られるような指導を充実すること	37.6	34.0	30.8	24.5	29.0	25.3	27.1	22.7
受験等への対応として「解法テクニック」などの指導を充実すること	2.3	3.1	12.4	11.6	0.4	0.5	3.7	2.5
クラスやグループで助け合ったり教え合ったりするような機会を充実すること	29.2	24.7	23.6	18.0	27.8	27.0	36.6	28.7
児童・生徒の個性を見つけ、一人ひとりの個性を伸ばすような指導を充実すること	20.4	16.4	20.7	16.3	22.7	16.1	17.9	15.1
ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること	57.7	62.1	53.9	60.0	48.4	53.4	42.5	49.9
生活で心がけるべきこと、気をつけるべきことなどを教える生活指導を充実すること	6.0	6.6	5.3	8.1	7.5	5.8	9.3	10.7
その他	1.3	0.7	1.0	1.0	0.3	0.3	1.1	0.7
無回答	2.6	1.9	1.7	1.3	0.2	0.2	0.1	0.1

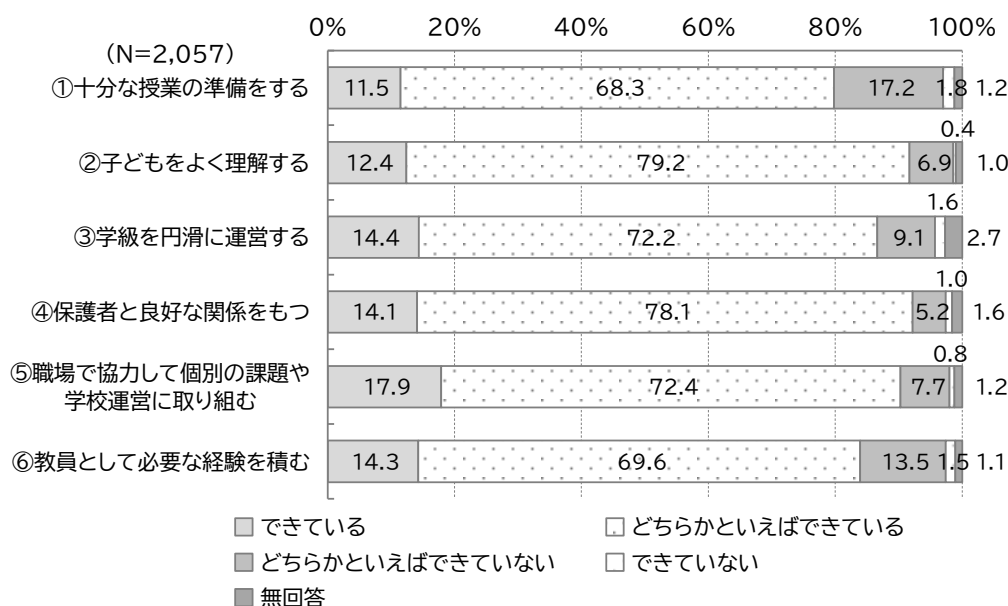
③教師の教育活動の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問6	問5

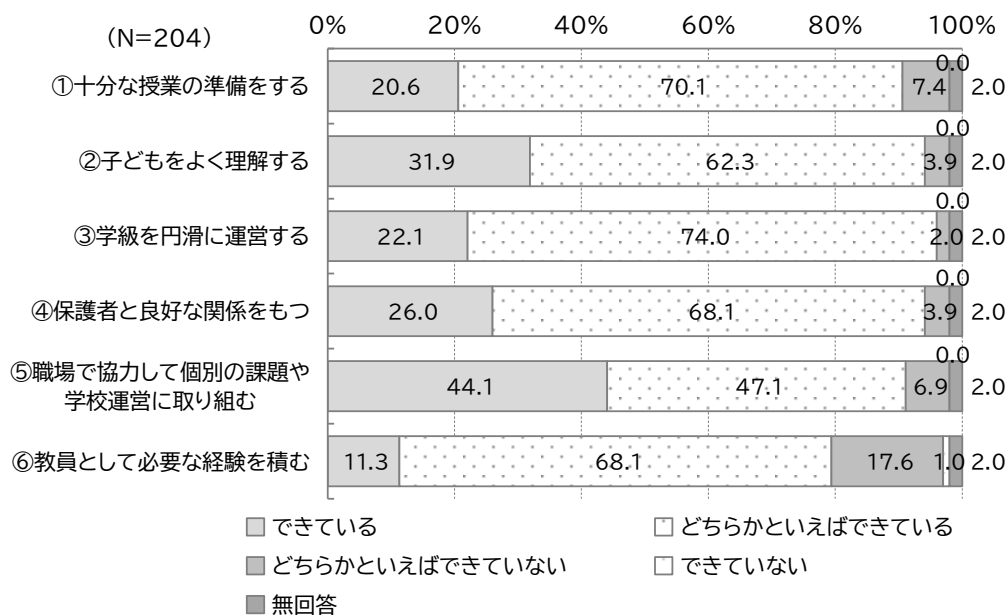
問. あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

教員、校長・教頭ともに、「できている」「どちらかといえばできている」の合計は、いずれの項目においても高くなっている。「できていない」「どちらかといえばできていない」の合計は、教員では「①十分な授業の準備をする」、校長・教頭では「⑥教員として必要な経験を積む」について、他の項目よりも高くなっている。

【教員】



【校長・教頭】



【「できていない」「どちらかといえばできていない」の割合】

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「十分な授業の準備をする」が最も多くなっている。

学校別では、小学校で「十分な授業の準備をする」、中学校で「教員として必要な経験を積む」が最も多くなっている。

		① 十分な 授業の 準備を する	② 子ども をよく 理解 する	③ 学級を 円滑に 運営 する	④ 保護者 と良好 な関係 をもつ	⑤ 職場で 協力し て個別 の課題 や学校 運営に 取り組 む	⑥ 教員と して必 要な 経験 を積む
%							
教員	29歳以下	24.8	10.0	18.0	7.1	10.2	21.7
	30～39歳	20.9	8.5	7.9	7.2	9.2	16.3
	40～49歳	17.1	5.4	6.4	3.9	6.4	9.5
	50～59歳	12.2	3.1	7.0	4.6	6.4	10.4
	60歳以上	8.6	6.3	8.6	8.6	7.9	6.3
	小学校	23.2	6.5	10.2	4.9	8.1	15.2
	中学校	12.1	8.2	10.9	7.2	8.6	13.9

④校外研修について

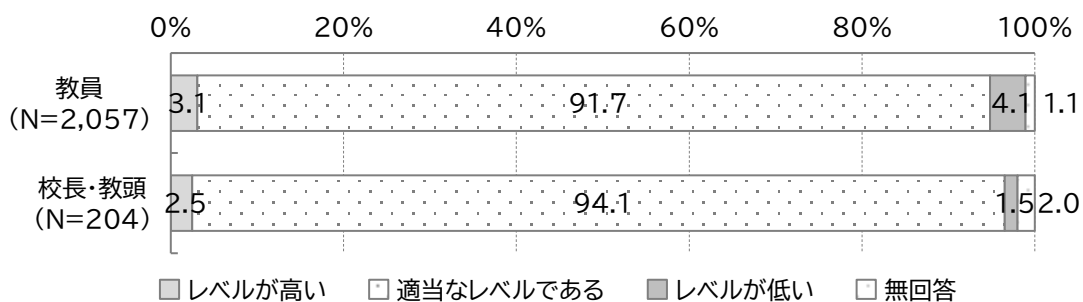
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問8	問7

問. 現在の校外での研修（市、県主催）について、どのようにお考えですか。
（1つに○）

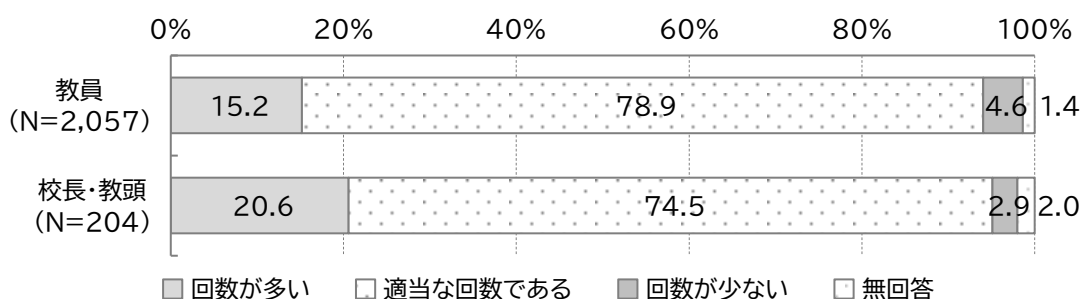
研修の内容について、教員、校長・教頭ともに「適切なレベルである」が最も多く、それぞれ91.7%、94.1%となっている。

研修の機会について、教員、校長・教頭ともに「適切な回数である」が最も多く、それぞれ78.9%、74.5%となっている。「回数が多い」という回答については、教員で15.2%、校長・教頭で20.6%となっている。

【内容】



【機会】



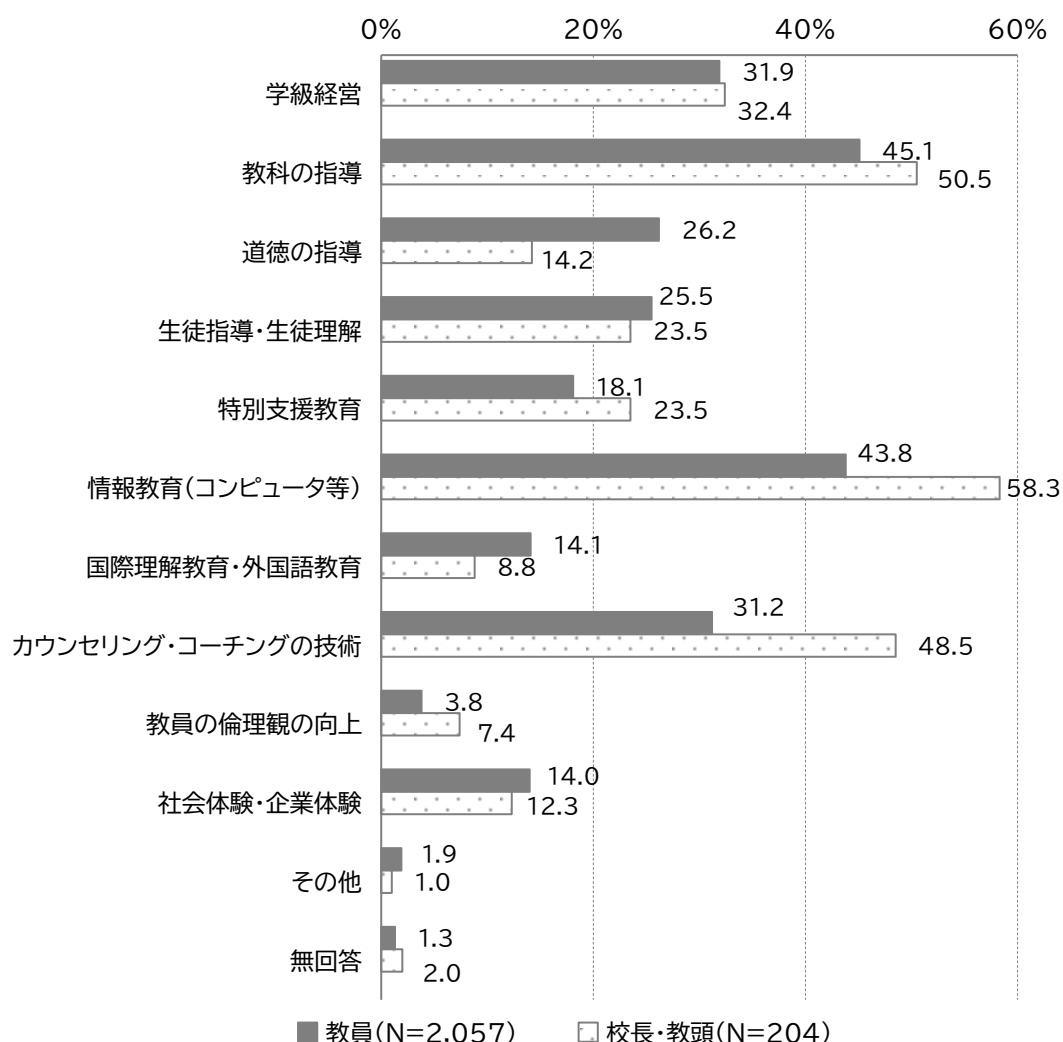
⑤ 今後充実を希望する研修内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問9	問8

問. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。(3つまで○)

教員では、「教科の指導」が45.1%と最も多く、次いで「情報教育(コンピュータ等)」が43.8%、「学級経営」が31.9%となっている。校長・教頭では、「情報教育(コンピュータ等)」が58.3%と最も多く、次いで「教科の指導」が50.5%、「カウンセリング・コーチングの技術」が48.5%となっている。

前回と比べると、教員、校長・教頭ともに「情報教育(コンピュータ等)」が大幅に増加している。教員は、22.9%(前回)から43.8%(今回)、校長・教頭は、11.3%(前回)から58.3%(今回)となっている。



年齢別にみると、39歳以下では「教科の指導」、40歳以上では「情報教育(コンピュータ等)」が最も多くなっている。

学校別にみると、小学校では「情報教育(コンピュータ等)」、中学校では「教科の指導」が最も多くなっている。

		学級経営	教科の指導	道徳の指導	生徒指導・生徒理解	特別支援教育	情報教育(コンピュータ等)	国際理解教育・外国語教育	カウンセリングの技術・向上	教員の倫理観の向上	社会体験・企業体験	その他	無回答
	%												
教員	29歳以下	49.7	55.7	32.6	30.4	13.6	32.1	12.7	19.3	2.4	10.0	1.4	1.3
	30～39歳	32.9	44.4	26.4	28.5	15.3	38.6	12.4	28.7	5.2	20.0	1.8	0.6
	40～49歳	21.5	40.5	24.4	21.5	19.3	52.4	14.6	39.5	4.4	14.9	1.7	1.2
	50～59歳	15.6	33.0	18.0	16.8	26.9	62.4	17.7	42.2	2.1	13.8	2.1	1.8
	60歳以上	15.6	42.2	17.2	24.2	28.1	47.7	18.0	46.9	7.8	7.8	3.1	1.6
	小学校	32.1	45.6	23.5	22.4	21.5	50.1	17.5	30.7	3.0	11.6	1.8	1.1
	中学校	32.5	45.5	29.4	32.1	13.0	33.8	7.8	30.2	4.8	18.1	2.1	1.4

5 給食

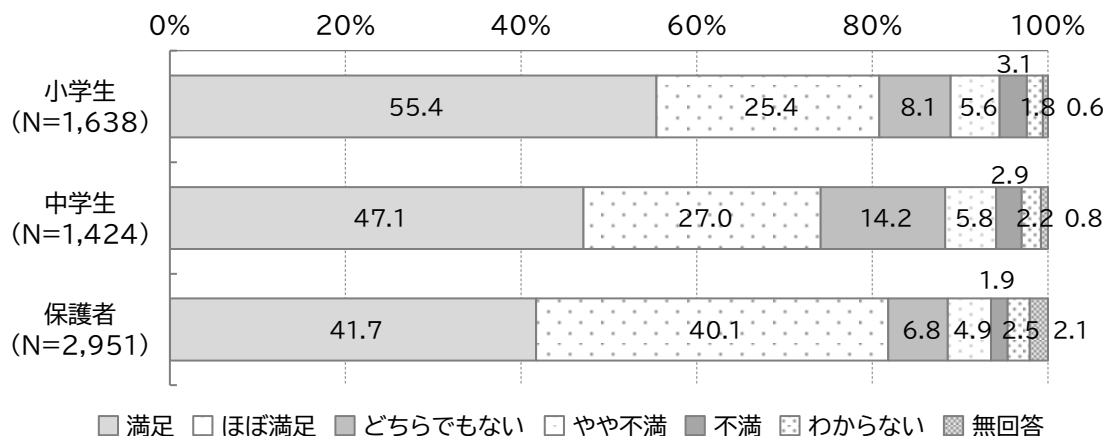
①給食の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問6	問6	問9		

問. 学校の給食に満足していますか。(1つに○)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生で80.8%、中学生で74.1%、保護者で81.8%となっている。

前回と比べると、小学生(79.0%→80.8%)、中学生(72.8%→74.1%)、小学生保護者(84.1%→84.8%)で増加しており、中学生保護者(80.5%→78.2%)で減少している。



%	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (N=1,638)	前回 (N=1,663)	今回 (N=1,424)	前回 (N=1,324)	今回 (N=1,570)	前回 (N=1,461)	今回 (N=1,358)	前回 (N=1,375)
満足	55.4	47.9	47.1	45.5	45.9	39.7	37.0	37.6
ほぼ満足	25.4	31.1	27.0	27.3	38.9	44.4	41.2	42.9
どちらでもない	8.1	8.9	14.2	15.6	5.4	7.1	8.5	7.7
やや不満	5.6	6.6	5.8	6.1	4.3	3.0	5.6	5.4
不満	3.1	2.2	2.9	3.5	1.5	1.2	2.3	1.8
わからない	1.8	2.2	2.2	1.8	1.8	3.0	3.5	3.9
無回答	0.6	1.0	0.8	0.2	2.2	1.6	1.9	0.8

②給食に満足している理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 7	問 7	問 10		

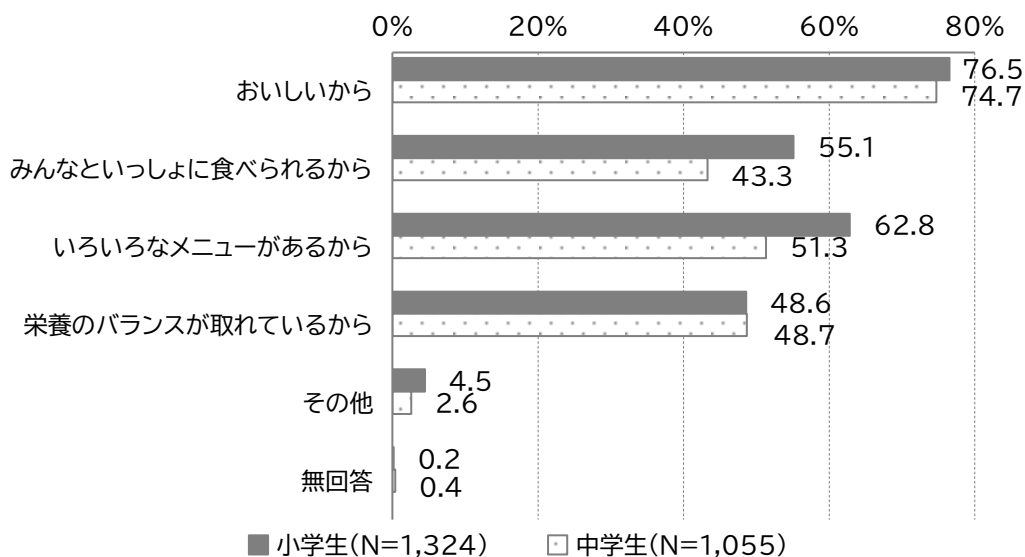
※給食への満足度で「1. 満足」「2. ほぼ満足」を選んだ人

問. 学校の給食のどのようなことに満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

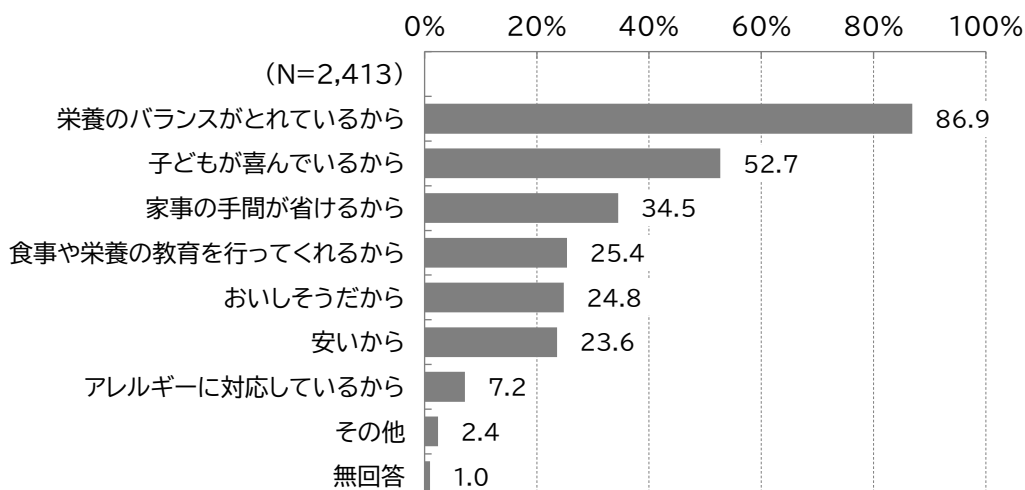
小・中学生ともに、「おいしいから」(小学生 76.5%、中学生 74.7%)が最も多くなっている。次いで、小学生では「いろいろなメニューがあるから」が 62.8%、「みんなとっしょに食べられるから」が 55.1%となっている。中学生では「いろいろなメニューがあるから」が 51.3%、「栄養のバランスが取れているから」が 48.7%となっている。

保護者は「栄養のバランスがとれているから」が 86.9%と最も多く、次いで「子どもが喜んでいるから」が 52.7%、「家事の手間が省けるから」が 34.5%となっている。

【小学生、中学生】



【保護者】



③給食に満足していない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 8	問 8	問 11		

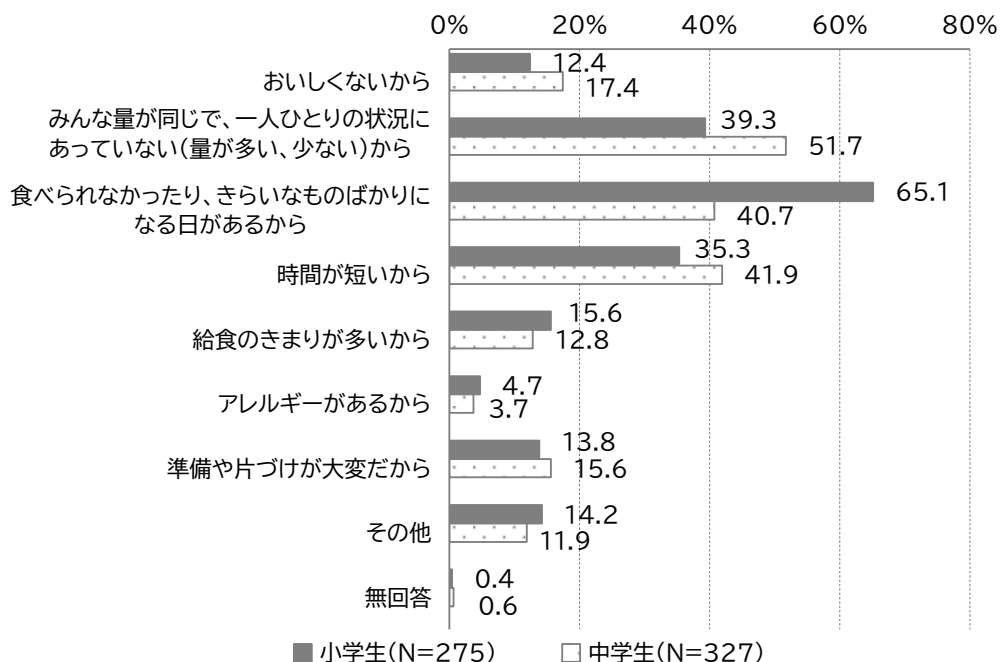
※給食への満足度で「3. どちらでもない」「4. やや不満」「5. 不満」を選んだ人

問. 学校の給食のどのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

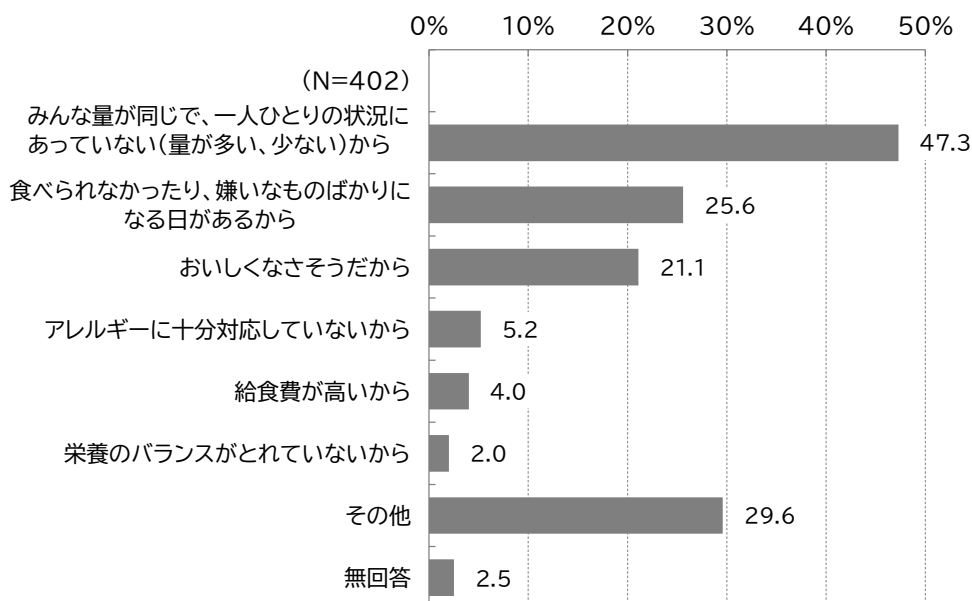
小学生は「食べられなかったり、きれいなものばかりになる日があるから」が65.1%、中学生は「みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から」が51.7%と最も多くなっている。

保護者は「みんな量が同じで、一人一人の状況にあっていない(量が多い、少ない)から」が47.3%と最も多くなっている。その他の回答では、「給食の時間が短い」「使う食材にこだわってほしい」などの記述が多くなっている。

【小学生・中学生】



【保護者】



第4章 家庭や地域と連携した教育について

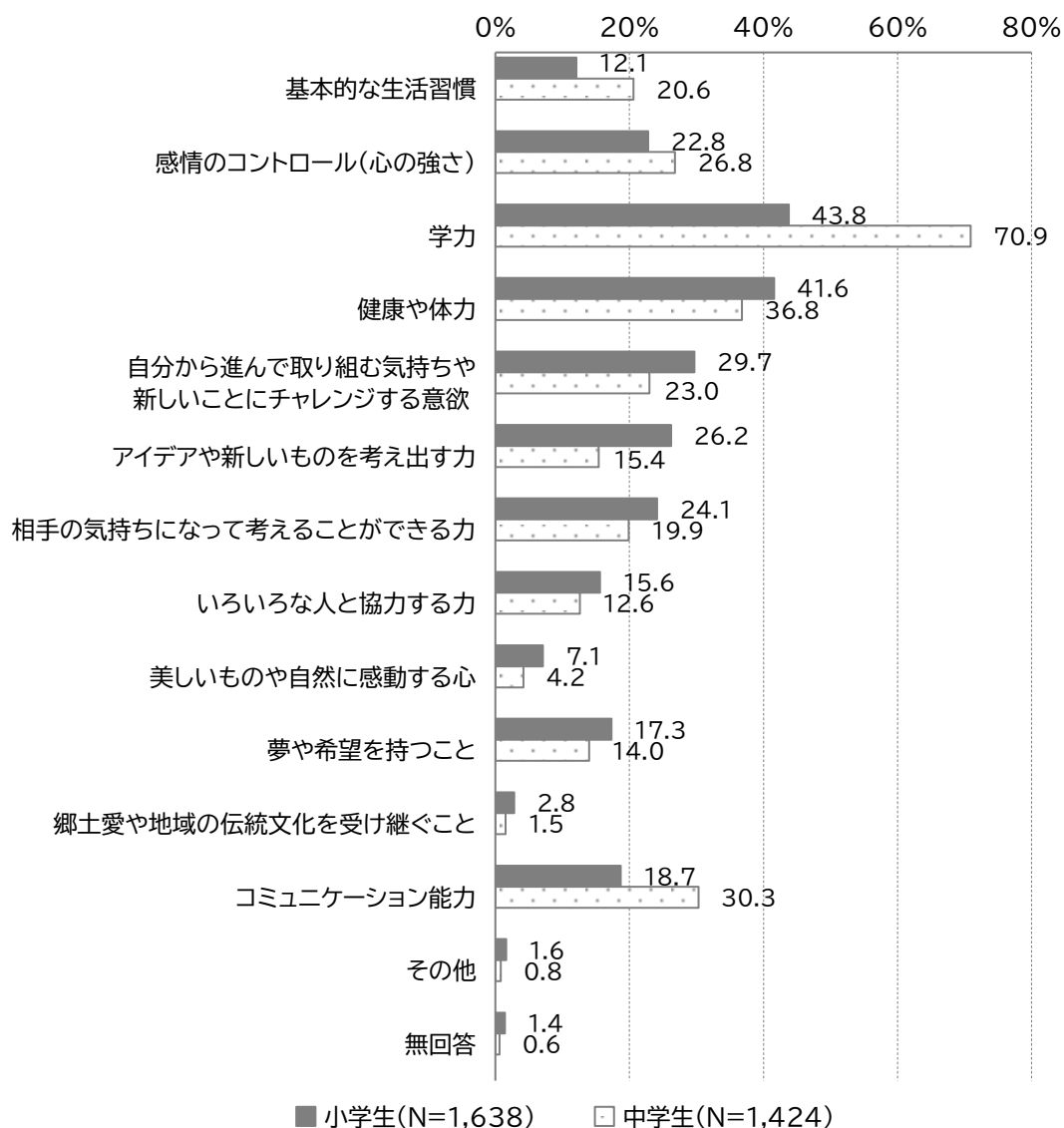
1 地域ぐるみの教育

①身につけたい、伸ばしたいこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問9	問9			

問. あなたは次の内容について、どのようなことを伸ばしていきたい、または身につけたいと思いますか。(3つまで○)

小・中学生ともに、「学力」(小学生 43.8%、中学生 70.9%)が最も多く、次いで「健康や体力」(小学生 41.6%、中学生 36.8%)となっている。この他に、小学生では「自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」「アイデアや新しいものを考え出す力」が多く、中学生では「コミュニケーション能力」「感情のコントロール(心の強さ)」が多くなっている。



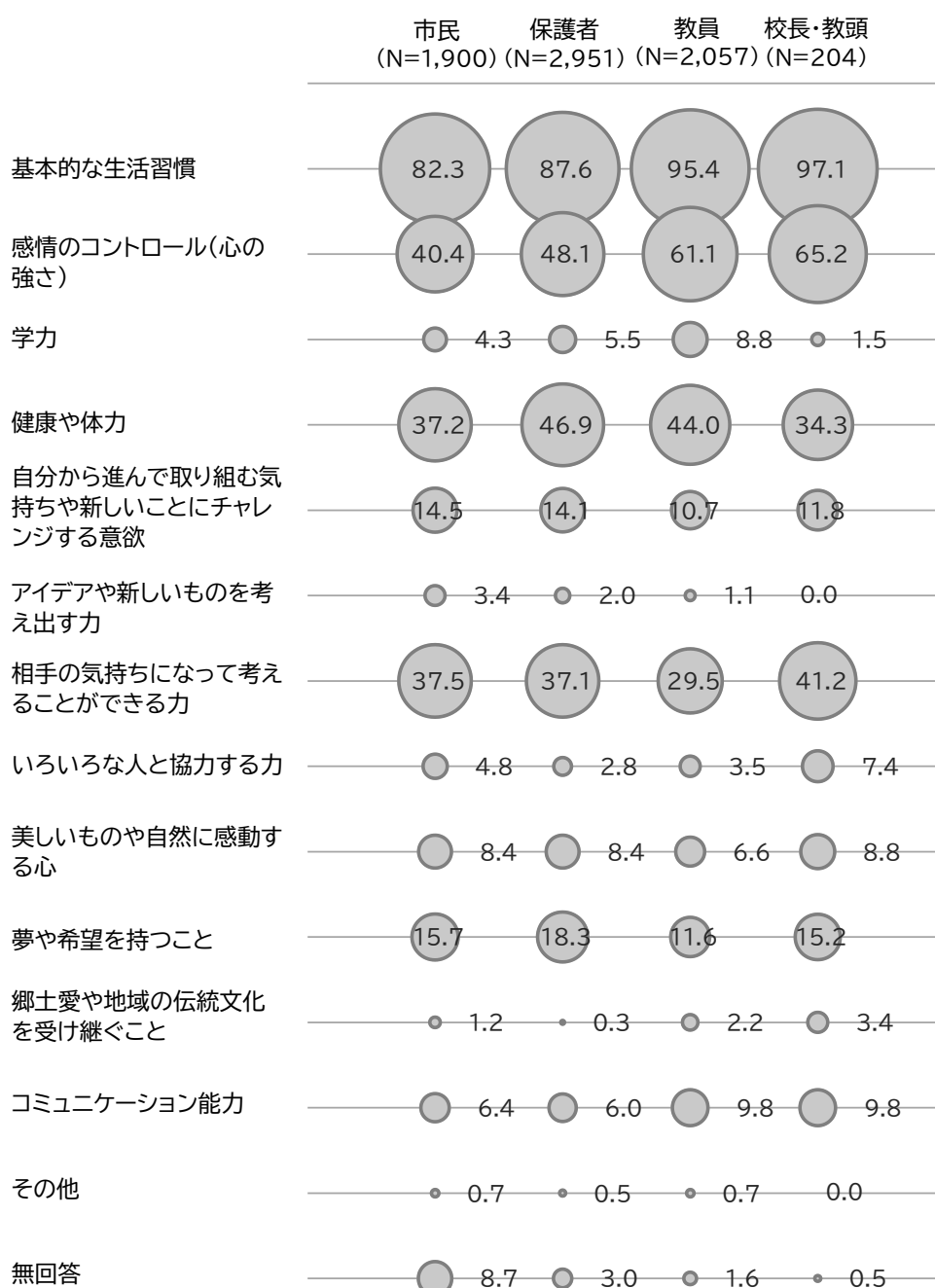
②家庭、学校、地域それぞれの役割

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 10			問 16	問 11	問 11

問. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで記入)

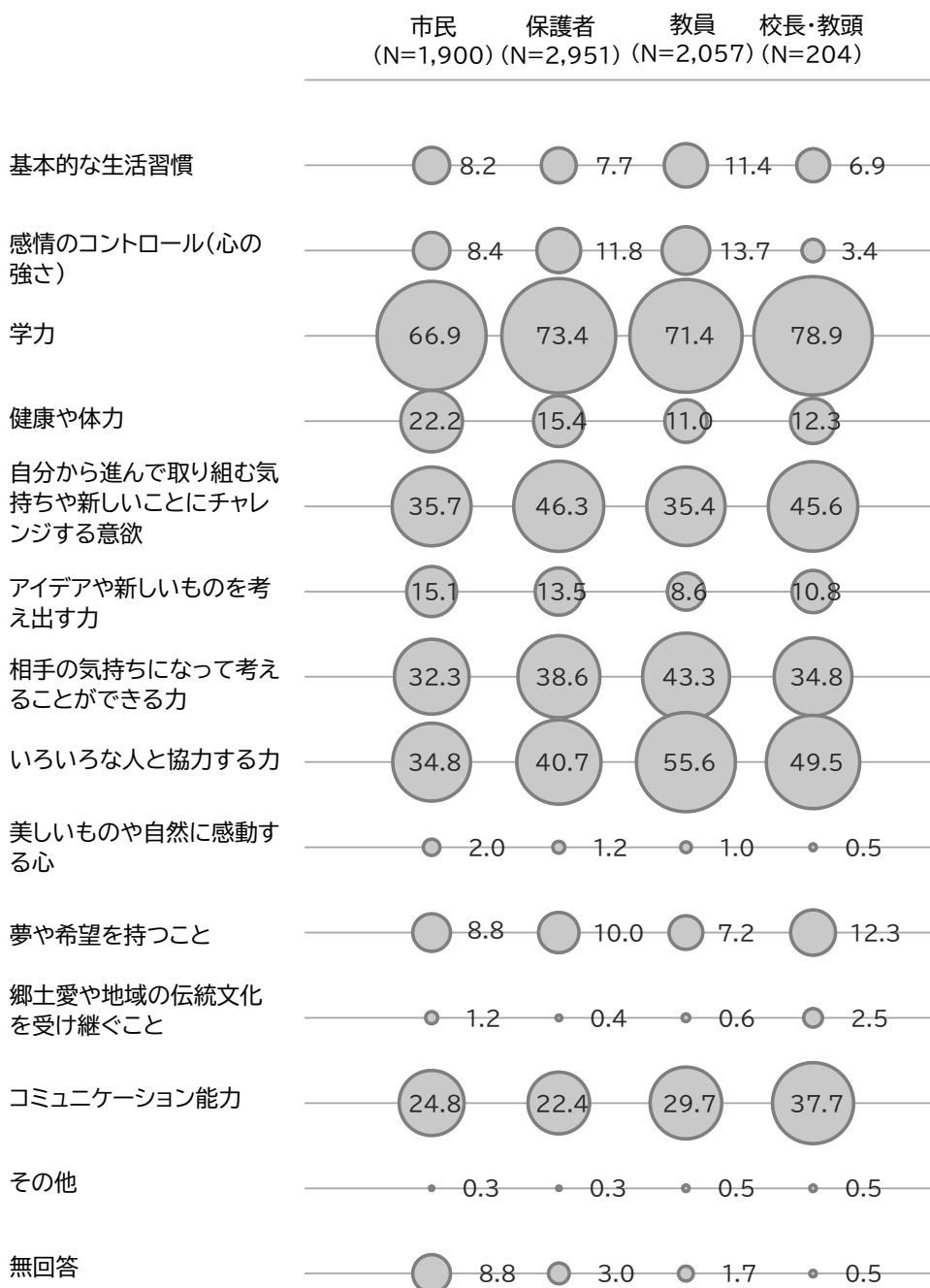
家庭に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「基本的な生活習慣」(市民 82.3%、保護者 87.6%、教員 95.4%、校長・教頭 97.1%)が最も多くなっている。この他には、「感情のコントロール(心の強さ)」、「健康や体力」「相手の気持ちになって考えることができる力」も家庭の役割として期待されている。

【家庭に求める役割】



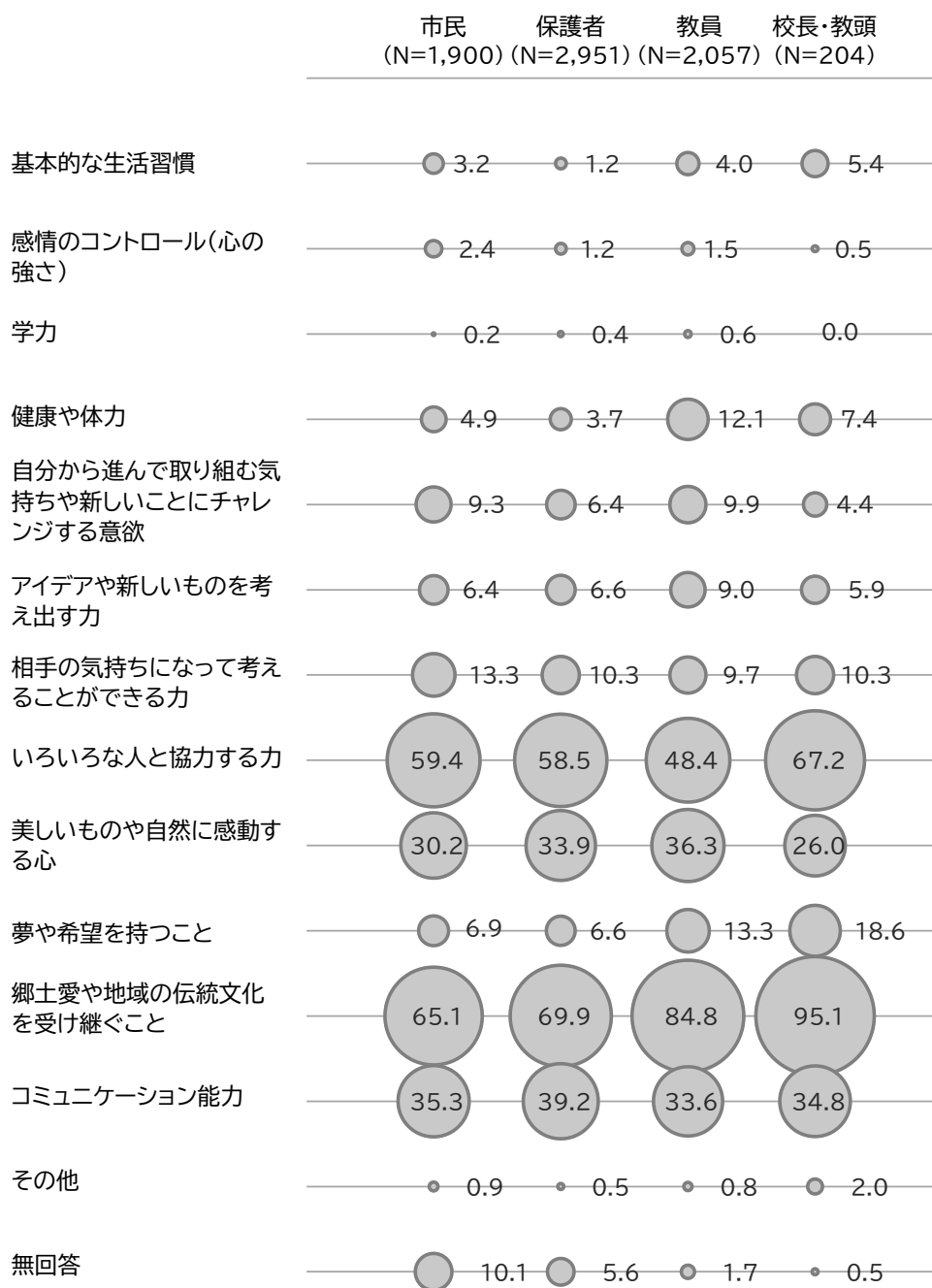
学校に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「学力」(市民 66.9%、保護者 73.4%、教員 71.4%、校長・教頭 78.9%)が最も多くなっている。この他には、「自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」「相手の気持ちになって考えることができる力」「いろいろな人と協力する力」も学校の役割として期待されている。

【学校に求める役割】



地域に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても「郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと」（市民 65.1%、保護者 69.9%、教員 84.8%、校長・教頭 95.1%）が最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」となっている。この他には、「美しいものや自然に感動する心」「コミュニケーション能力」も地域の役割として期待されている。

【地域に求める役割】



③家庭や地域の教育への評価

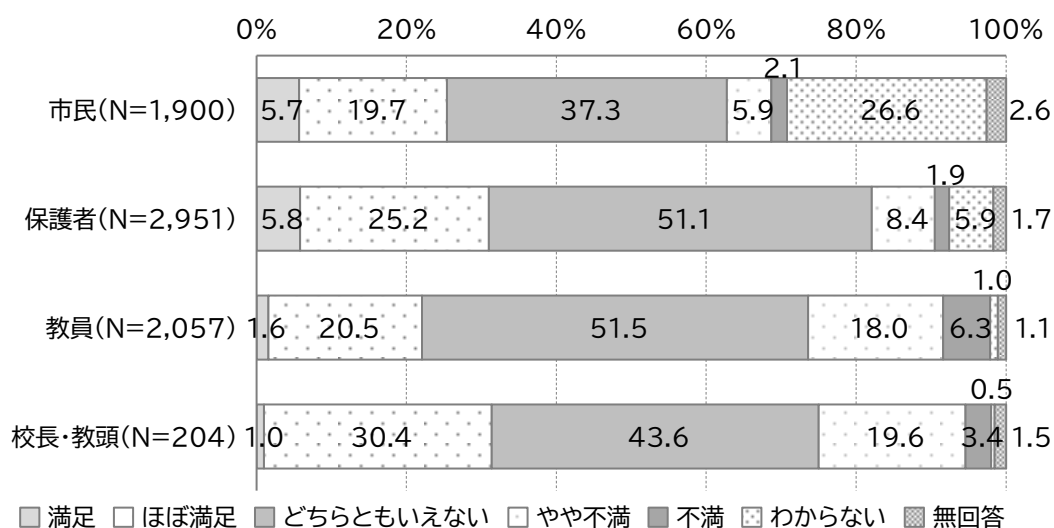
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 8			問 17	問 14	問 14

問. 家庭や地域の教育について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

家庭の教育に対する評価について、「満足」「ほぼ満足」の合計は、市民 25.4%、保護者 31.0%、教員 22.1%、校長・教頭 31.4%となっている。教員、校長・教頭では、「不満」「やや不満」の割合が市民、保護者と比べて高くなっている。

前回と比べると、「満足」「ほぼ満足」の合計は市民(26.6%→25.4%)、校長・教頭(32.9%→31.4%)で減少しており、保護者(30.8%→31.0%)、教員(20.1%→22.1%)と増加している。

【家庭】

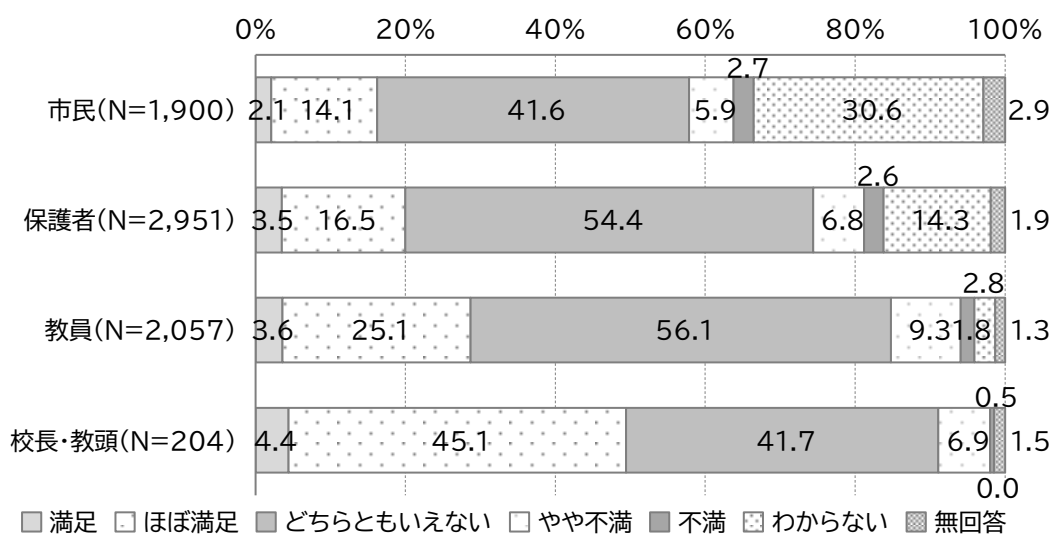


	市民		保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=1,900)	前回 (N=1,787)	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
満足	5.7	5.5	5.8	5.6	1.6	1.1	1.0	0.5
ほぼ満足	19.7	21.1	25.2	25.2	20.5	19.0	30.4	32.4
どちらともいえない	37.3	36.3	51.1	50.9	51.5	50.9	43.6	41.7
やや不満	5.9	7.4	8.4	7.2	18.0	20.1	19.6	22.1
不満	2.1	3.4	1.9	2.2	6.3	6.4	3.4	2.9
わからない	26.6	22.2	5.9	4.8	1.0	0.8	0.5	0.0
無回答	2.6	4.1	1.7	4.1	1.1	1.6	1.5	0.5

地域の教育に対する評価について、「満足」「ほぼ満足」の合計は市民 16.2%、保護者 20.0%、教員 28.7%、校長・教頭 49.5%となっている。校長・教頭では、「ほぼ満足」の割合が最も高く、40%以上となっている。市民、保護者では、「わからない」の割合が教員、校長・教頭と比べて高い。

前回と比べると、「満足」「ほぼ満足」の合計は市民(16.6%→16.2%)、保護者(23.1%→20.0%)、教員(28.9%→28.7%)、校長・教頭(50.0%→49.5%)となっており、いずれにおいても減少している。

【地域】



%	市民		保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=1,900)	前回 (N=1,787)	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
満足	2.1	2.2	3.5	3.2	3.6	2.6	4.4	4.4
ほぼ満足	14.1	14.4	16.5	19.9	25.1	26.3	45.1	45.6
どちらともいえない	41.6	41.3	54.4	51.5	56.1	55.7	41.7	43.1
やや不満	5.9	7.9	6.8	6.1	9.3	9.1	6.9	5.9
不満	2.7	3.6	2.6	2.5	1.8	2.6	0.5	0.0
わからない	30.6	26.0	14.3	12.3	2.8	1.9	0.0	0.5
無回答	2.9	4.5	1.9	4.5	1.3	1.8	1.5	0.5

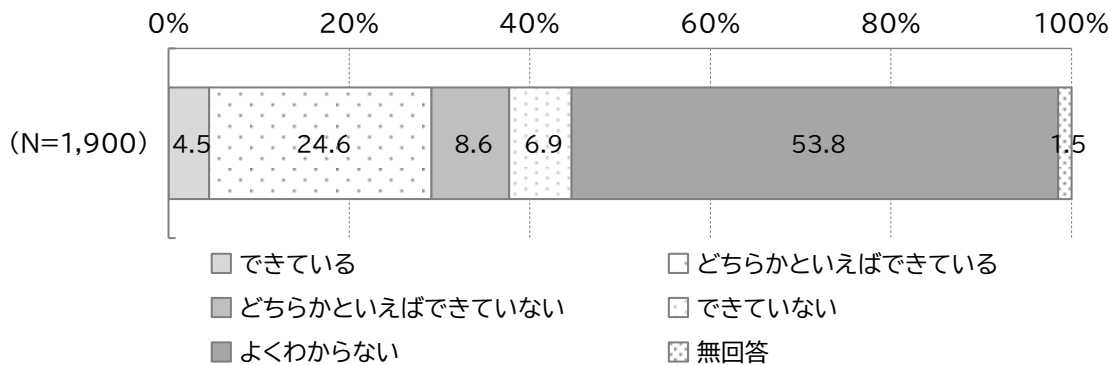
④地域ぐるみでの教育への評価

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問9					

問. 本市では地域ぐるみでの子どもの教育に取り組んでいます。あなたが暮らす地域では、地域ぐるみの教育ができていますか。(1つに○)

「できている」「どちらかといえばできている」の合計が 29.1%、「どちらかといえばできていない」「できていない」の合計が 15.5%となっている。

また、「よくわからない」と回答した割合は、半数以上の 53.8%となっている。



2 子どもの生活

① 学習塾への通塾状況

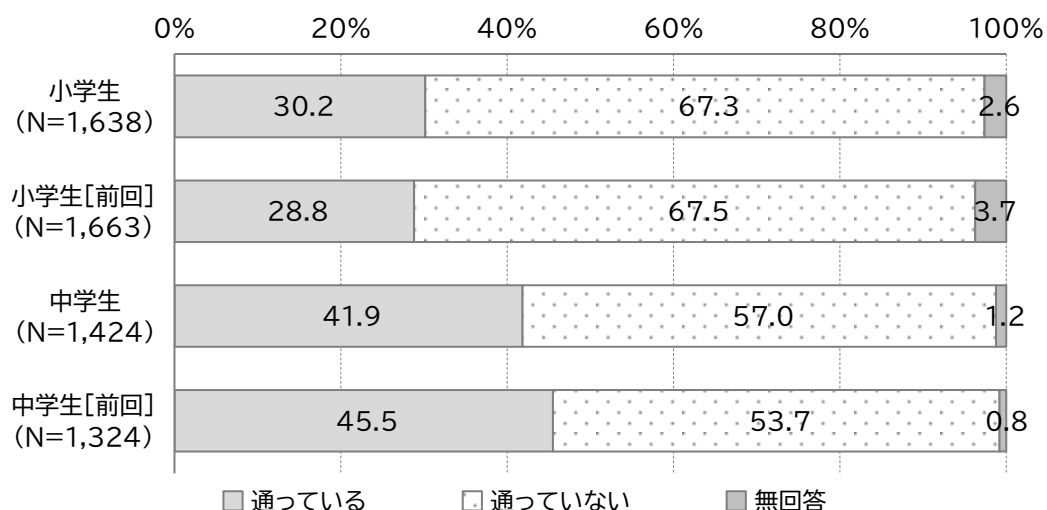
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 11	問 12			

問. 学習塾に通っていますか。(1つに○)

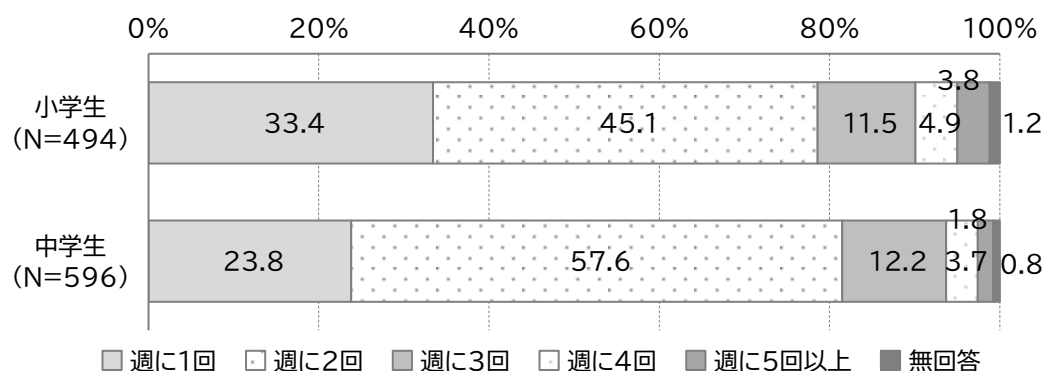
「通っている」は、小学生 30.2%、中学生 41.9%となっている。

前回と比べると、「通っている」と回答した割合は、小学生で増加し、中学生では減少している。

また、「通っている」と回答した人のうち通塾の日数は、小・中学生ともに「週に2回」が最も多く、小学生 45.1%、中学生 57.6%となっている。



【「通っている」と回答した人のうち通塾の日数】



② 習い事の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 12	問 13			

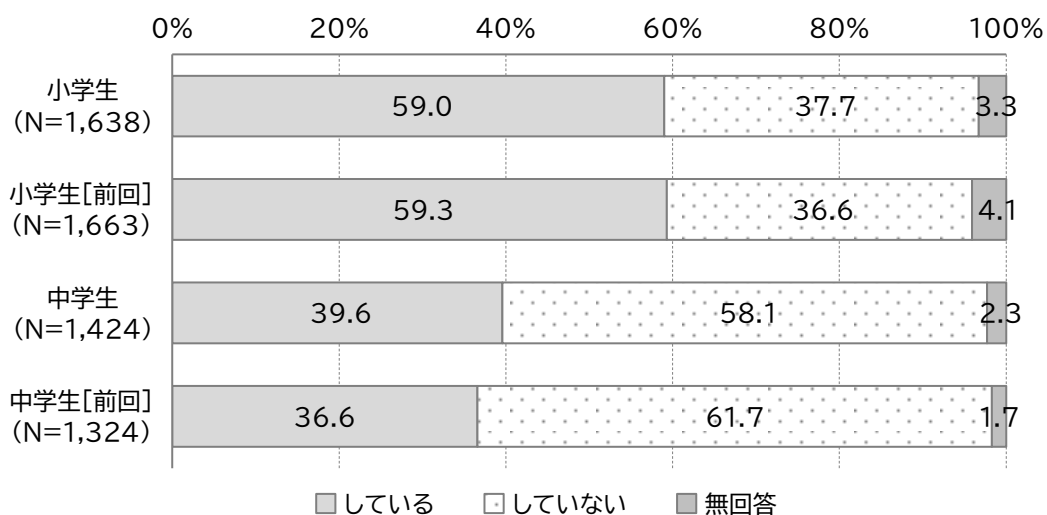
問. 習い事（ピアノ、英会話、書道など）をしていますか。（1つに○）

* スポーツを除きます

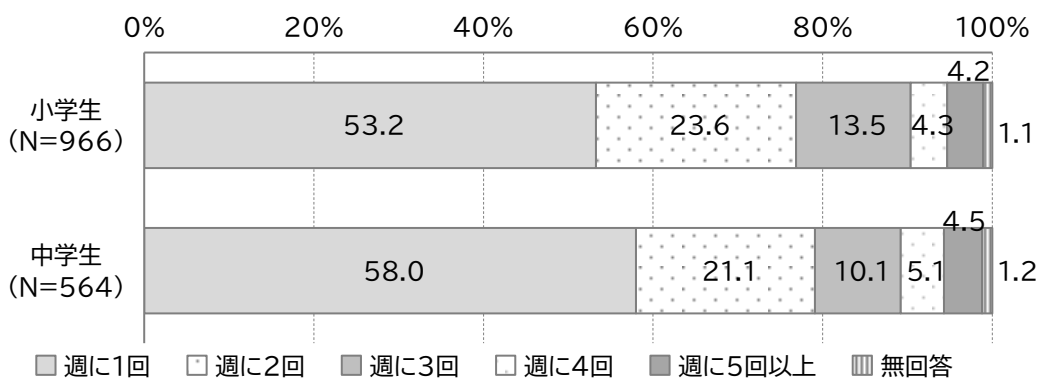
「している」は、小学生 59.0%、中学生 39.6%となっている。

前回と比べると、大きな違いはみられない。

また、「している」と回答した人のうち習い事をしている日数は、小・中学生ともに「週に1回」が最も多く、小学生 53.2%、中学生 58.0%となっている。



【「している」と回答した人のうち習い事をしている日数】



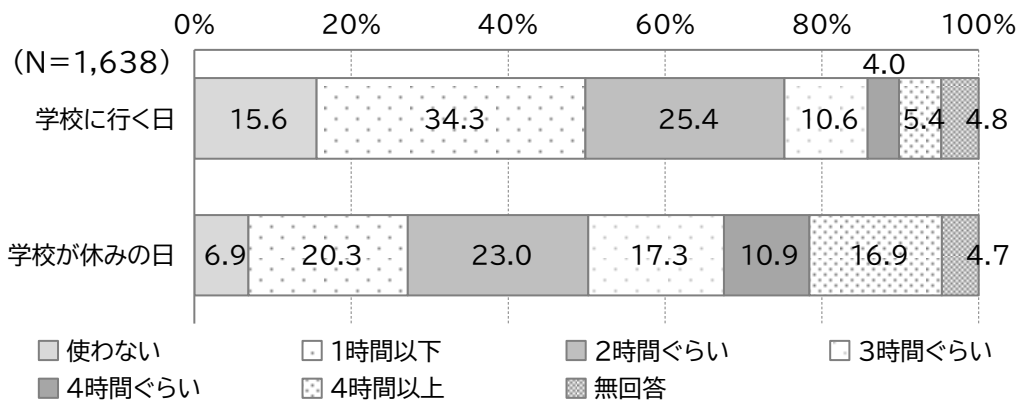
③電子メディアの閲覧頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 13	問 14			

問. あなたは、学校以外で、1日にどのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを見ていますか。(それぞれ1つずつ記入)

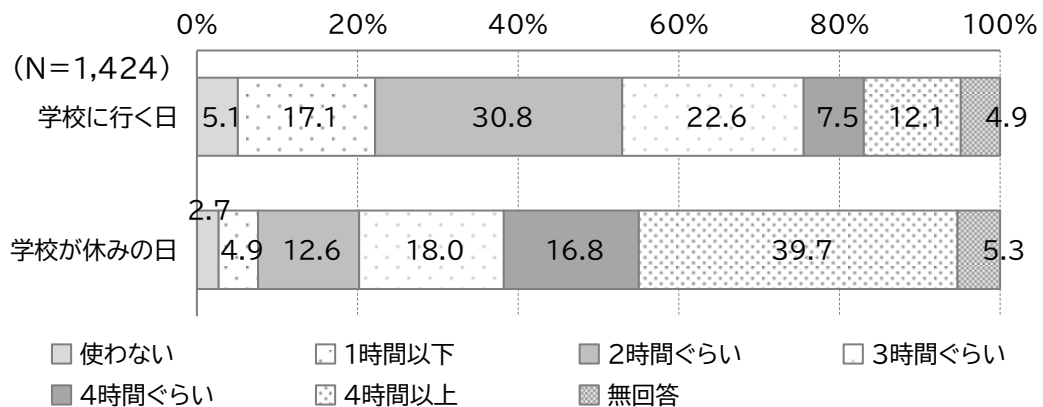
小学生では、学校に行く日が「1時間以下」で34.3%、学校が休みの日が「2時間ぐらい」で23.0%と最も多くなっている。

【小学生】



中学生では、学校に行く日が「2時間ぐらい」で30.8%、学校が休みの日が「4時間以上」で39.7%と最も多くなっている。

【中学生】



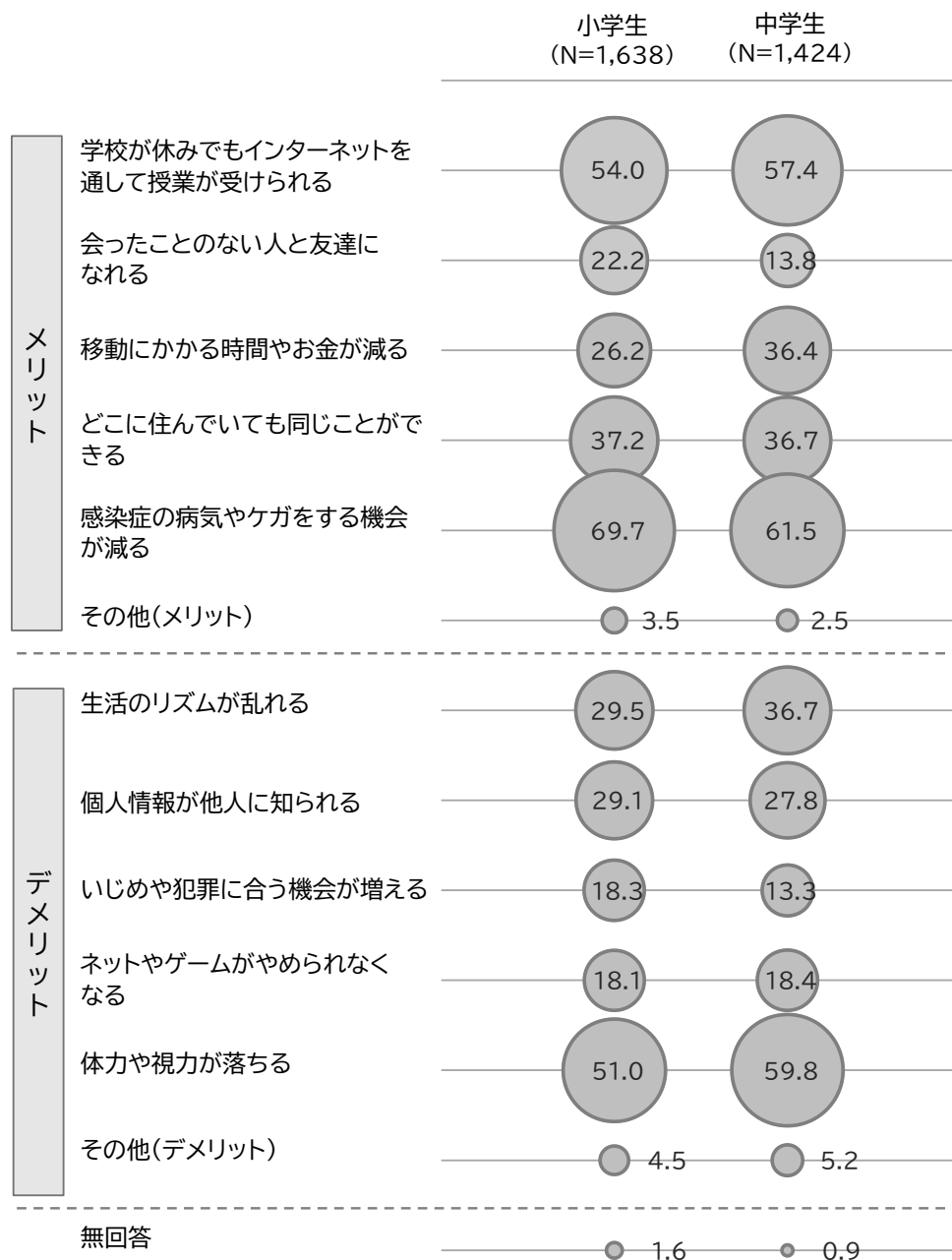
④オンライン利用に関すること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 6	問 14	問 15	問 8	問 5	問 4

問. 今後、友だちとの会話や学校の授業、習い事などを直接会って行うかわりに、インターネット（オンライン）を通してやりとりする可能性があります。そのような生活について、どのように思いますか。（あなたの考えに近いものを5つまで○）

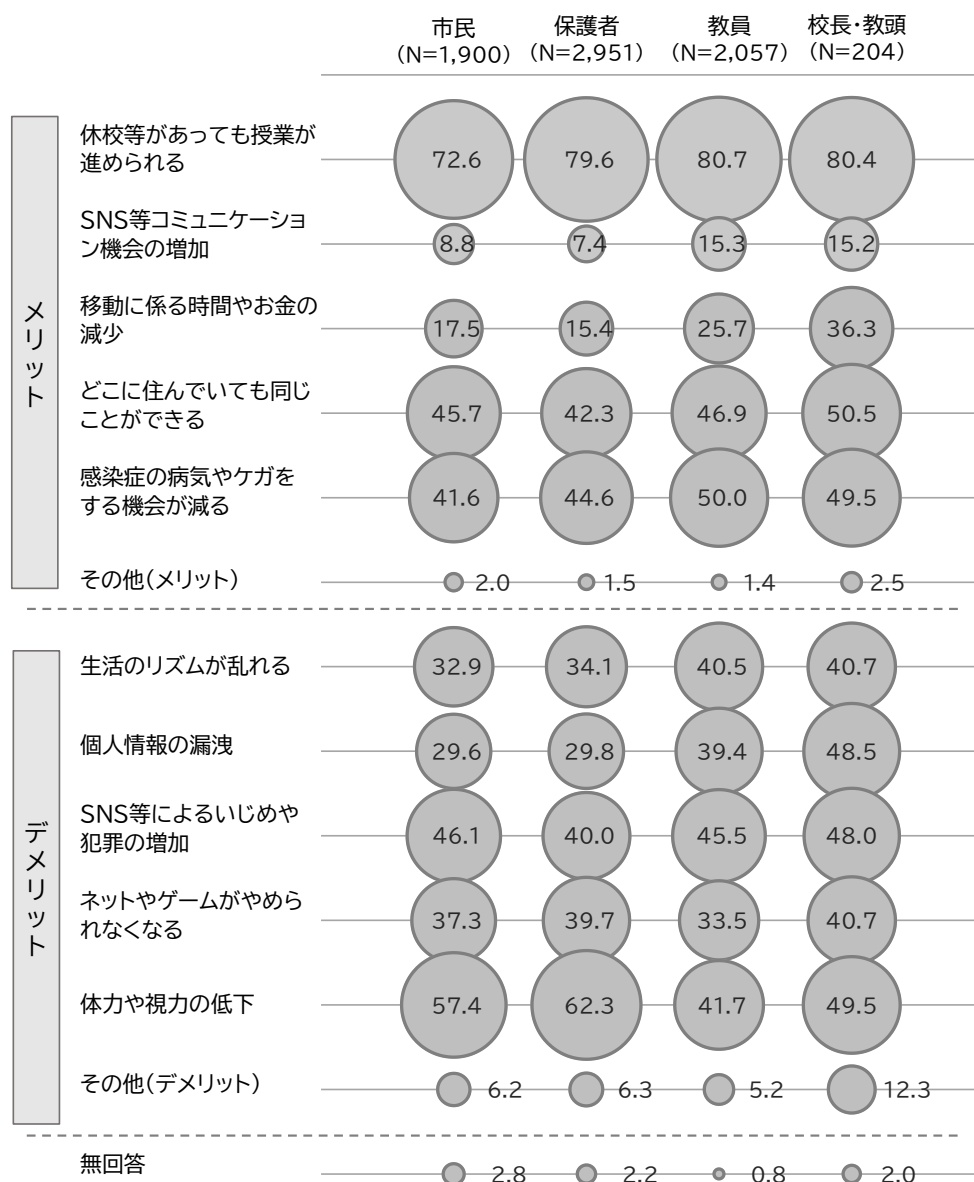
小・中学生ともに、メリットは「感染症の病気やケガをする機会が減る」（小学生 69.7%、中学生 61.5%）が多くなっている。また、デメリットは「体力や視力の低下」（小学生 51.0%、中学生 59.8%）が多くなっている。

【小学生、中学生】



市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても、メリットは「休校等があっても授業が進められる」(市民 72.6%、保護者 79.6%、教員 80.7%、校長・教頭 80.4%)が最も多くなっている。デメリットは、市民、保護者、校長・教頭では「体力や視力の低下」(市民 57.4%、保護者 62.3%、校長・教頭 49.5%)が最も多くなっているが、教員では「SNS等によるいじめや犯罪の増加」が 45.5%と最も多くなっている。

【市民、保護者、教員、校長・教頭】



3 家庭の状況

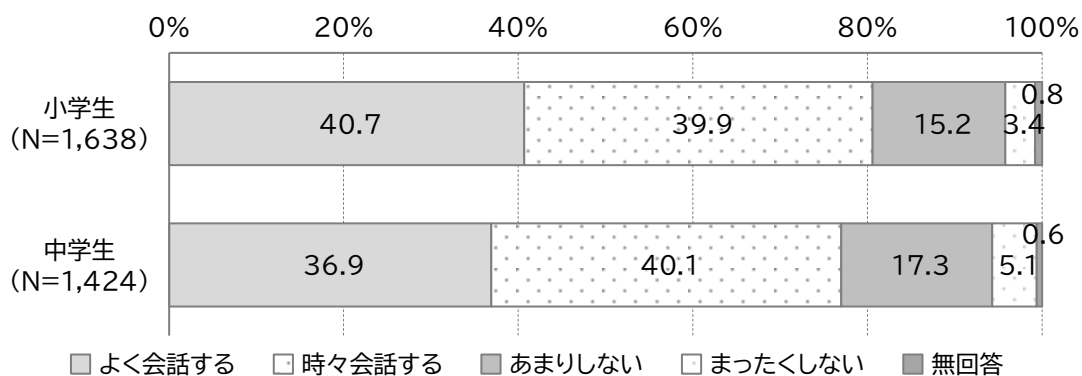
① 学校や勉強についての会話

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 10	問 11	問 12		

【小学生、中学生】

問. あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話をしますか。
(1つに○)

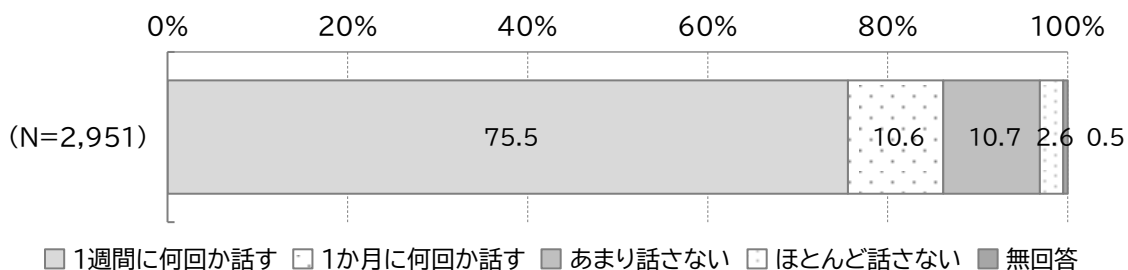
小学生では「よく会話する」が40.7%、中学生では「時々会話する」が40.1%と最も多くなっている。



【保護者】

問. あなたは、お子さんと、学校での生活や学習の状況について話しますか。(1つに○)

保護者は「1週間に何回か話す」が75.5%と最も多く、次いで「あまり話さない」が10.7%、「1か月に何回か話す」が10.6%となっている。

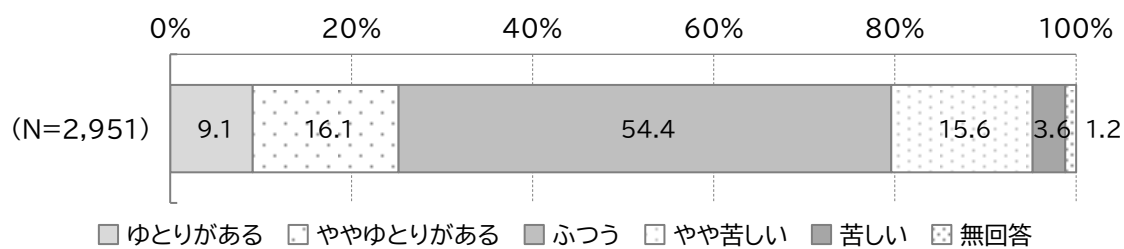


②現在の暮らしむき

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 13		

問. 現在の暮らしむきについて、どのように感じていますか。(1つに○)

「ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計が25.2%、「ふつう」が54.4%、「苦しい」「やや苦しい」の合計が19.2%となっている。



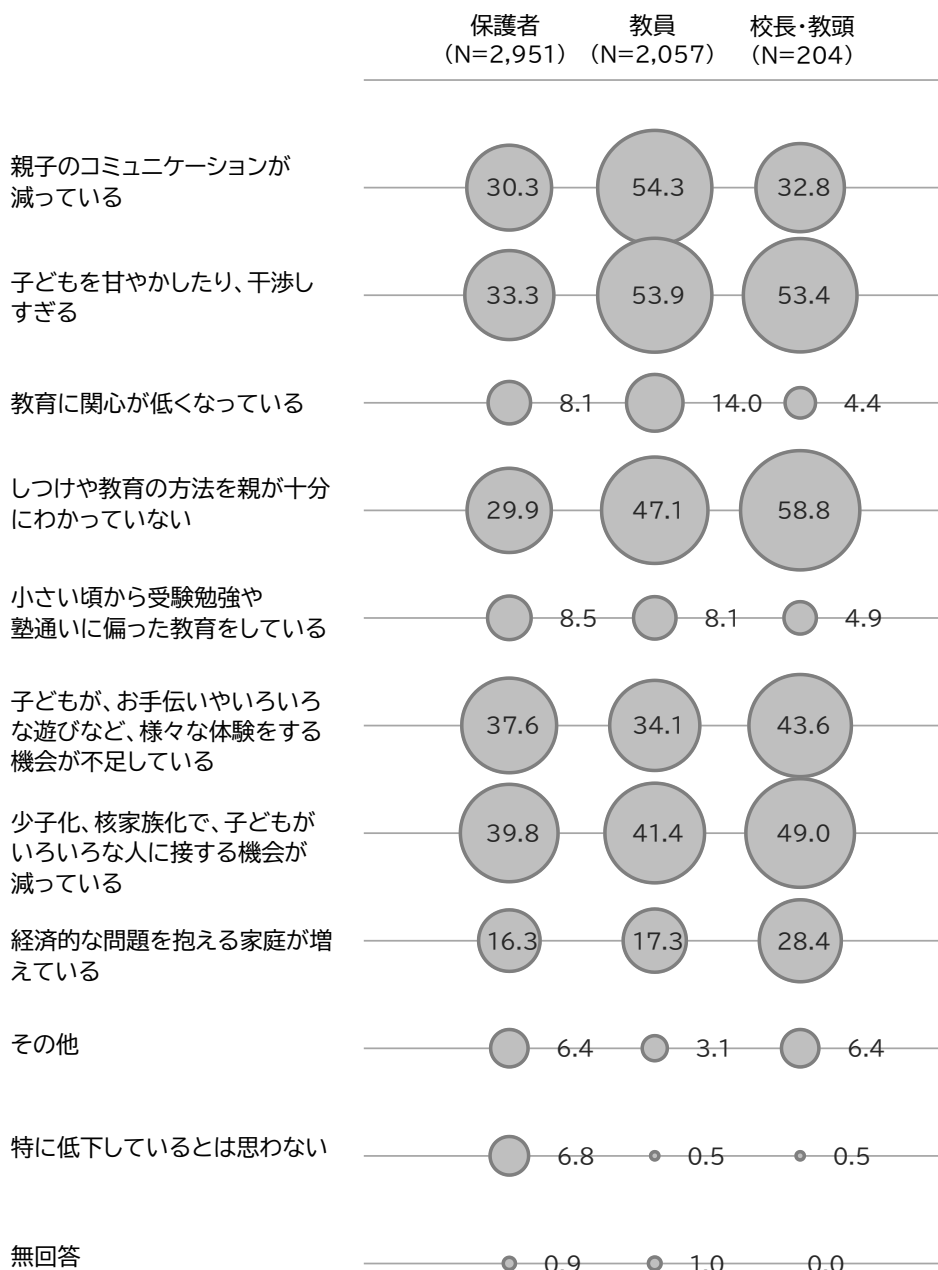
③家庭の教育力が低下している原因

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 14	問 12	問 12

問. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。
(3つまで○)

保護者では「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が39.8%、教員では「親子のコミュニケーションが減っている」が54.3%、校長・教頭では「しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない」が58.8%と最も多くなっている。

保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても上位となっていたものは、「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」であり、教員、校長・教頭では、「しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない」も多くなっている。



「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」は、今回では保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても上位となっていたが、前回と比べると、割合は減少している。

%	保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
親子のコミュニケーションが減っている	30.3	28.1	54.3	52.8	32.8	32.8
子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる	33.3	39.0	53.9	57.5	53.4	54.9
教育に関心が低くなっている	8.1	7.2	14.0	9.9	4.4	4.9
しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない	29.9	33.2	47.1	49.4	58.8	59.8
小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている	8.5	12.1	8.1	7.7	4.9	2.9
子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している	37.6	40.5	34.1	34.8	43.6	46.6
少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている	39.8	42.6	41.4	42.6	49.0	52.0
経済的な問題を抱える家庭が増えている	16.3	19.5	17.3	21.2	28.4	22.1
その他	6.4	4.3	3.1	2.7	6.4	4.4
特に低下しているとは思わない	6.8	4.5	0.5	0.2	0.5	0.5
無回答	0.9	2.9	1.0	1.1	0.0	1.0

4 地域の教育力

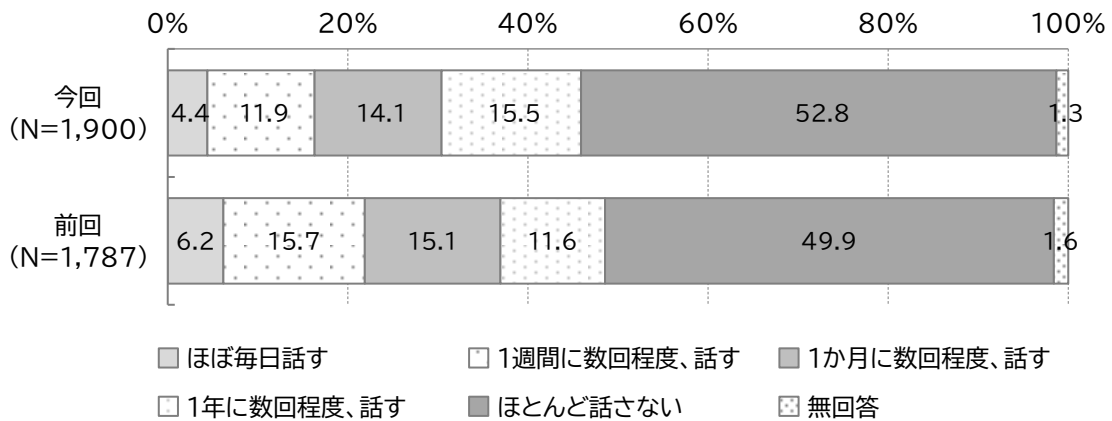
①近所の子どもとの会話

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問7					

問. あなたは、どのくらい近所の子どもと会話をしますか。(1つに○)

「ほとんど話さない」が52.8%と最も多く、次いで「1年に数回程度、話す」が15.5%、「1か月に数回程度、話す」が14.1%となっている。

前回と比べると、「1週間に数回程度、話す」は減少しており、「1年に数回程度、話す」は増加している。



年齢別にみると、いずれの年齢層においても「ほとんど話さない」が最も多くなっている。特に20～29歳では70.9%となっており、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

		ほぼ毎日話す	1週間に数回程度、話す	1か月に数回程度、話す	1年に数回程度、話す	ほとんど話さない	無回答
		%					
市民	20歳未満	1.6	6.3	15.6	9.4	65.6	1.6
	20～29歳	2.8	5.6	8.9	11.2	70.9	0.6
	30～39歳	9.6	14.6	14.2	10.0	50.8	0.8
	40～49歳	6.4	19.1	18.8	14.9	39.8	1.1
	50～59歳	3.0	5.2	12.8	16.7	62.3	0.0
	60～64歳	2.0	9.3	9.3	23.8	53.6	2.0
	65～69歳	3.5	11.6	12.7	16.8	54.9	0.6
	70～74歳	2.8	11.9	16.5	20.5	47.7	0.6
	75歳以上	3.3	14.2	15.6	17.0	46.2	3.8

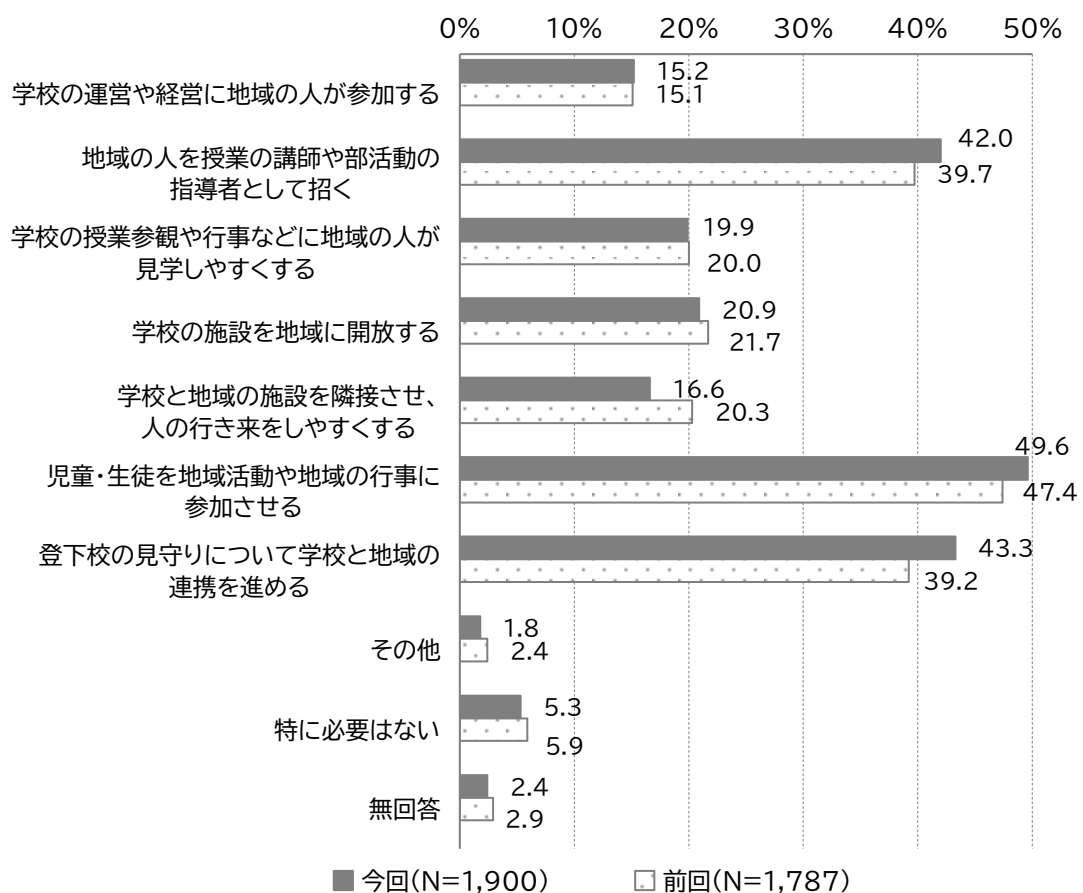
②学校と地域の連携で重要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問4					

問. 学校と地域の連携について、どのような考え方が重要だと思いますか。
(3つまで○)

「児童・生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」が49.6%と最も多く、次いで「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」が43.3%、「地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く」が42.0%となっている。

前回と比べると、今回上位となっている3つの項目については増加している。



③保護者・住民の協力・参加

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 5			問 18	問 15	問 15

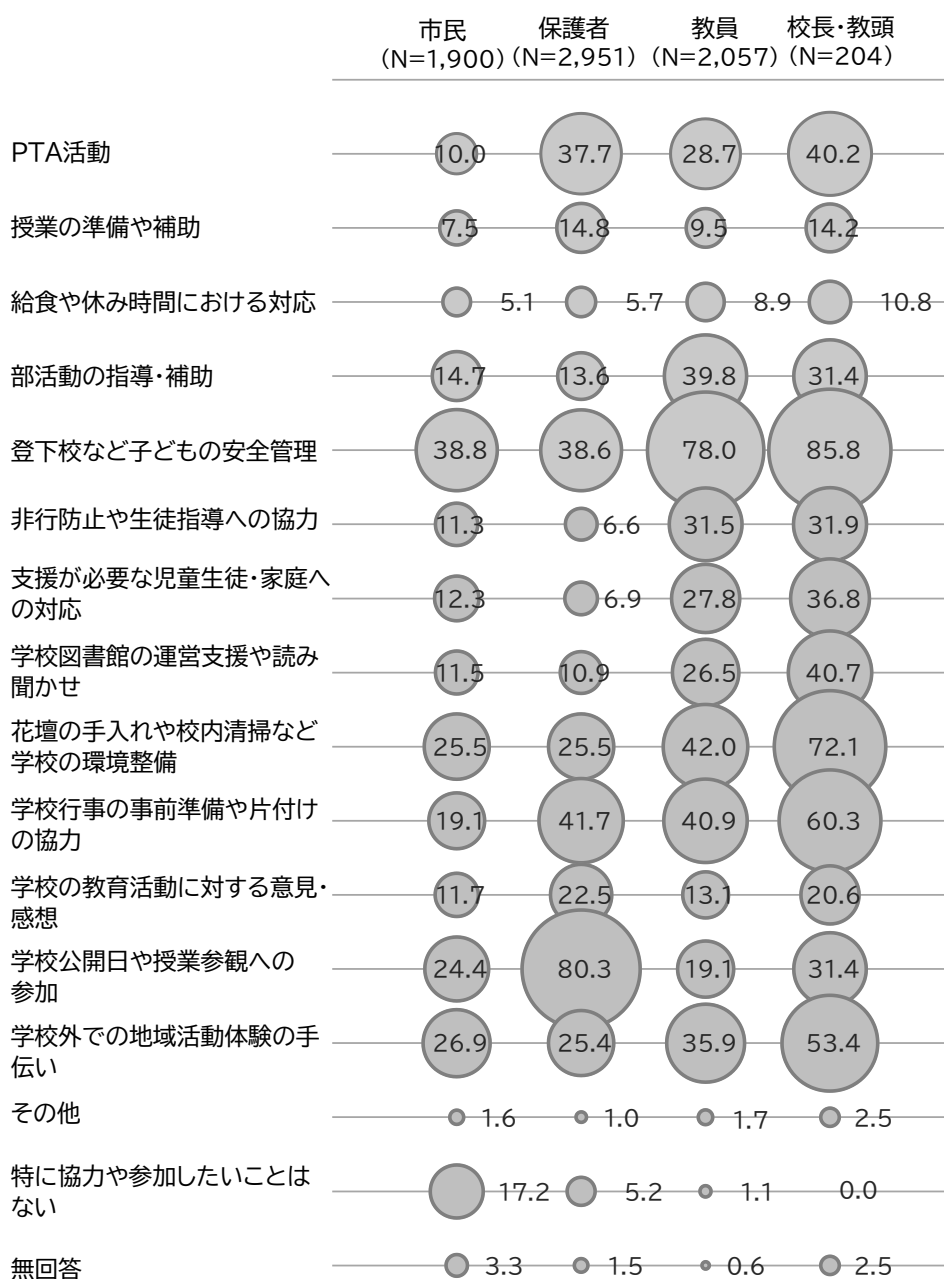
【市民、保護者】

問. 次の行事・活動の中で、今後、あなたが学校等と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【教員、校長・教頭】

問. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

市民は「登下校など子どもの安全管理」が38.8%、保護者では「学校公開日や授業参観への参加」が80.3%と最も多くなっている。教員、校長・教頭においては、「登下校など子どもの安全管理」(教員78.0%、校長・教頭85.8%)「花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備」(教員42.0%、校長・教頭72.1%)などの協力を期待している。



前回と比べると、「登下校など子どもの安全管理」、「花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備」については、市民、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても増加している。

「登下校など子どもの安全管理」では保護者と教員、「花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備」では教員と校長・教頭において、10ポイント以上の増加がみられる。

	市民		保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=1,900)	前回 (N=1,787)	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
PTA活動	10.0	9.8	37.7	41.8	28.7	35.9	40.2	54.4
授業の準備や補助 (授業補助や放課後指導の支援)	7.5	9.5	14.8	11.2	9.5	20.2	14.2	31.9
給食や休み時間における対応	5.1	—	5.7	—	8.9	—	10.8	—
部活動の指導・補助	14.7	11.9	13.6	14.8	39.8	38.7	31.4	29.9
登下校など子どもの安全管理	38.8	35.8	38.6	28.1	78.0	66.1	85.8	77.0
非行防止や生徒指導への協力	11.3	12.4	6.6	8.4	31.5	41.0	31.9	42.2
学校行事への参加	—	23.4	—	66.2	—	31.5	—	46.6
支援が必要な児童生徒・家庭への対応	12.3	—	6.9	—	27.8	—	36.8	—
学校図書館の運営支援や読み聞かせ	11.5	12.3	10.9	9.9	26.5	28.2	40.7	43.1
花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備 (花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備)	25.5	19.9	25.5	15.6	42.0	30.2	72.1	61.3
学校行事の事前準備や片付けの協力	19.1	—	41.7	—	40.9	—	60.3	—
学校の教育活動に対する意見・感想	11.7	10.9	22.5	17.8	13.1	11.9	20.6	24.5
学校公開日や授業参観への参加	24.4	23.4	80.3	75.3	19.1	24.3	31.4	37.3
学校外での地域活動体験の手伝い	26.9	30.2	25.4	23.3	35.9	40.4	53.4	49.0
その他	1.6	1.5	1.0	0.7	1.7	1.0	2.5	1.5
特に協力や参加したいことはない	17.2	19.3	5.2	3.7	1.1	1.2	0.0	1.5
無回答	3.3	3.5	1.5	4.0	0.6	1.9	2.5	1.0

※括弧内は前回の選択肢の表現

学校別にみると、保護者では小・中学校ともに「学校公開日や授業参観への参加」が最も多くなっている。

教員では小・中学校ともに「登下校などの子どもの安全管理」が最も多くなっている。

		PTA活動	授業の準備や補助	給食や休み時間における対応	部活動の指導・補助	登下校など子どもの安全管理	非行防止や生徒指導への協力	支援が必要な児童生徒・家庭への対応	学校図書館の運営支援や読み聞かせ	花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備	学校行事の事前準備や片付けの協力	学校の教育活動に対する意見・感想	学校公開日や授業参観への参加	学校外での地域活動体験の手伝い	その他	特に協力や参加したいことはない	無回答
		%															
保護者	小学校	38.9	17.6	6.6	10.1	46.6	6.8	6.9	12.7	27.1	44.1	24.5	85.0	27.0	0.8	3.8	1.3
	中学校	36.3	11.9	4.5	17.6	29.7	6.5	6.9	8.9	23.8	39.2	20.2	75.2	23.7	1.1	6.7	1.5
教員	小学校	33.4	11.3	9.9	38.5	84.0	30.6	27.8	33.7	49.2	47.6	14.1	21.2	37.9	1.8	0.5	0.7
	中学校	22.3	5.6	5.6	42.8	66.5	34.0	26.7	15.1	28.5	27.1	11.2	16.5	34.2	1.6	2.3	0.3

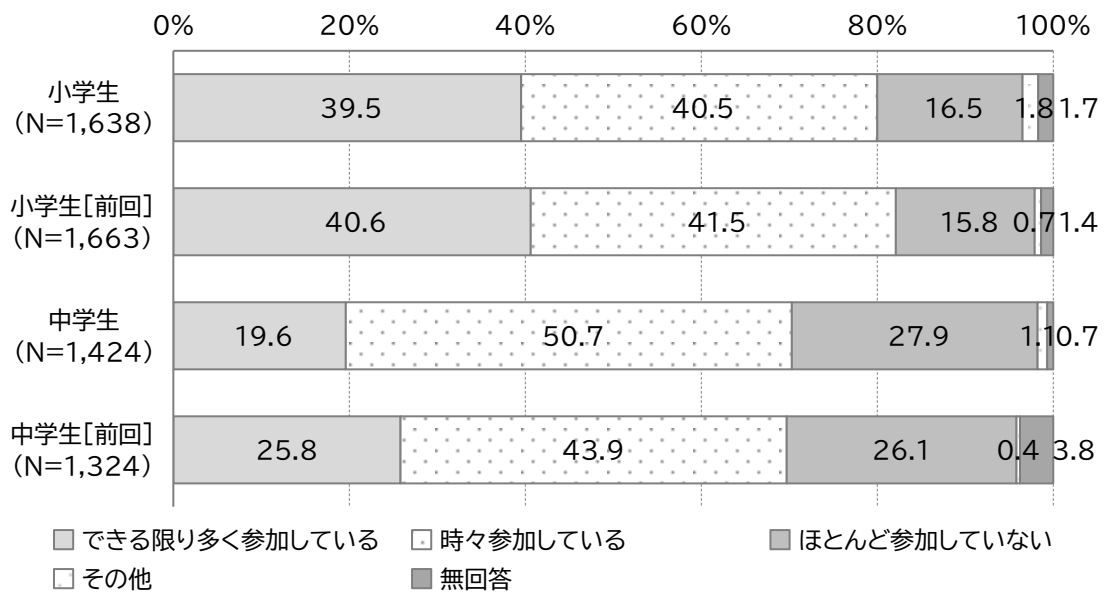
④地域の行事や活動への参加状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 15	問 16			

問. 地域の行事や活動にどの程度参加していますか。(1つに○)

小・中学生ともに、「時々参加している」(小学生 40.5%、中学生 50.7%)が最も多くなっている。「できる限り多く参加している」については、小学生は中学生よりも約 20%上回っている。

前回と比べると、小学生では大きな変化はみられないが、中学生では「できる限り多く参加している」が減少し、「時々参加している」が増加している。



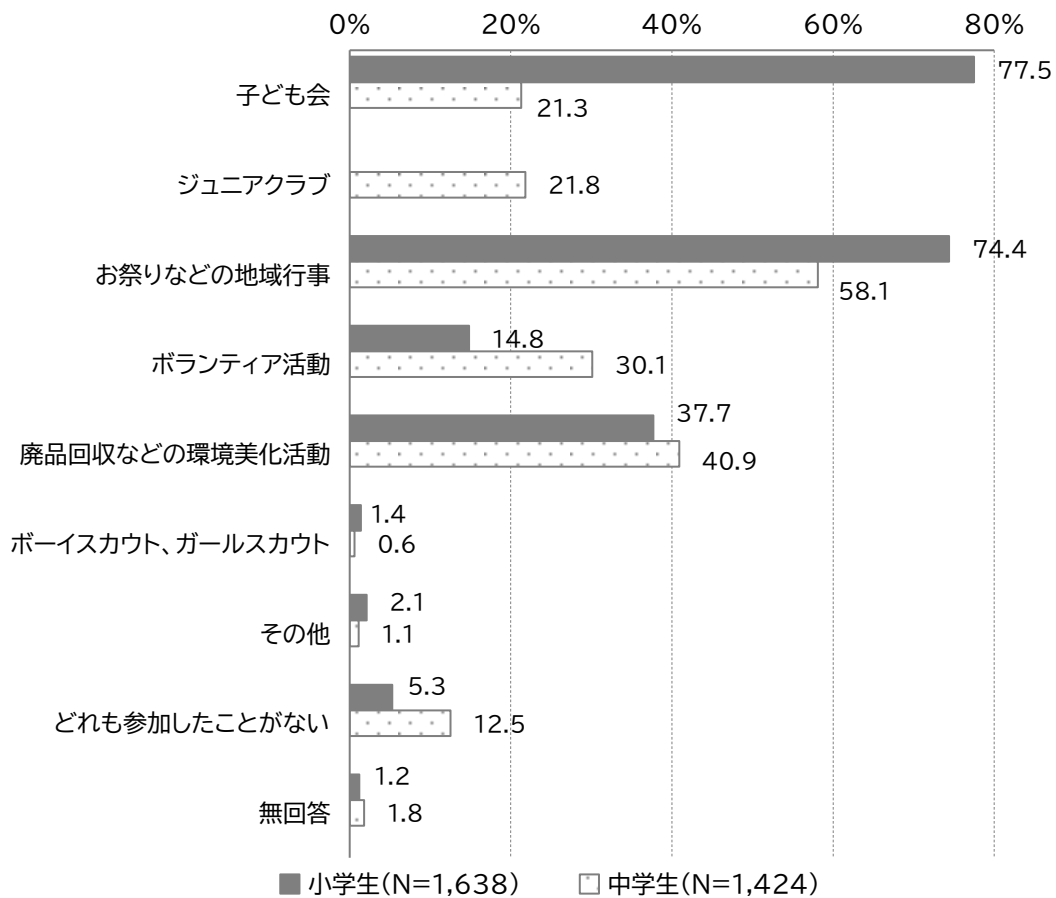
⑤参加している地域活動の内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 16	問 17			

問. 次のような地域の行事や活動などに参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

小学生では「子ども会」が77.5%と最も多く、次いで「お祭りなどの地域行事」が74.4%、「廃品回収などの環境美化活動」が37.7%となっている。中学生では「お祭りなどの地域行事」が58.1%と最も多く、次いで「廃品回収などの環境美化活動」が40.9%、「ボランティア活動」が30.1%となっている。

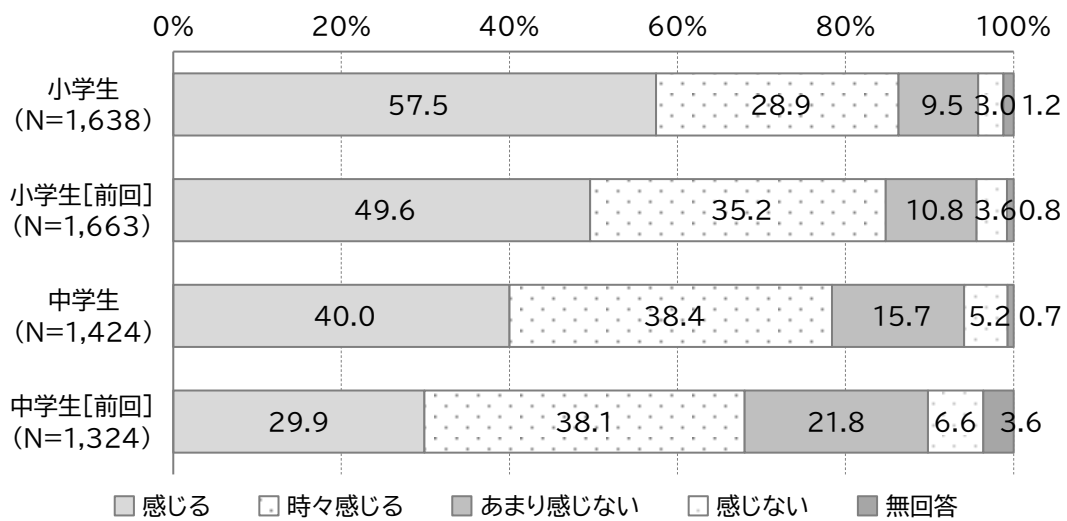


⑥地域の大人の見守り

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 17	問 18			

問. あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(1つに○)

「感じる」「時々感じる」の合計が、小学生で86.4%、中学生で78.4%となっている。
 前回と比べると、「感じる」「時々感じる」の合計は、小・中学生(小学生 84.8%→86.4%、
 中学生 68.0%→78.4%)ともに増加しており、特に中学生において増加がみられる。

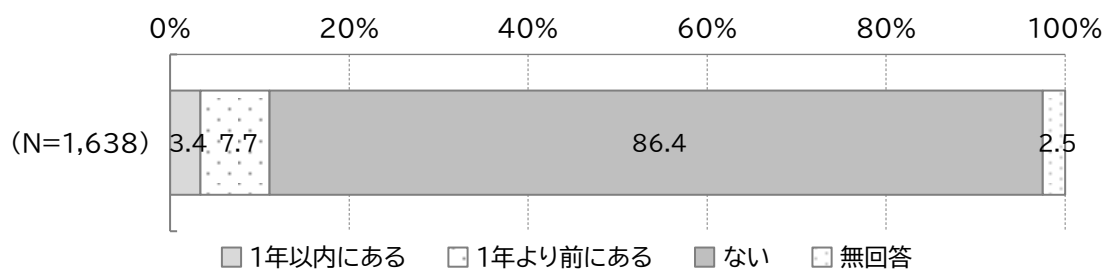


⑦ 登下校で怖い思いをした経験

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 18				

問. あなたは、登下校で知らない人に声をかけられたり、追いかけられたりして、怖いと思ったことがありますか。(1つに○)

「1年以内にある」が3.4%、「1年より前にある」が7.7%、「ない」が86.4%となっている。



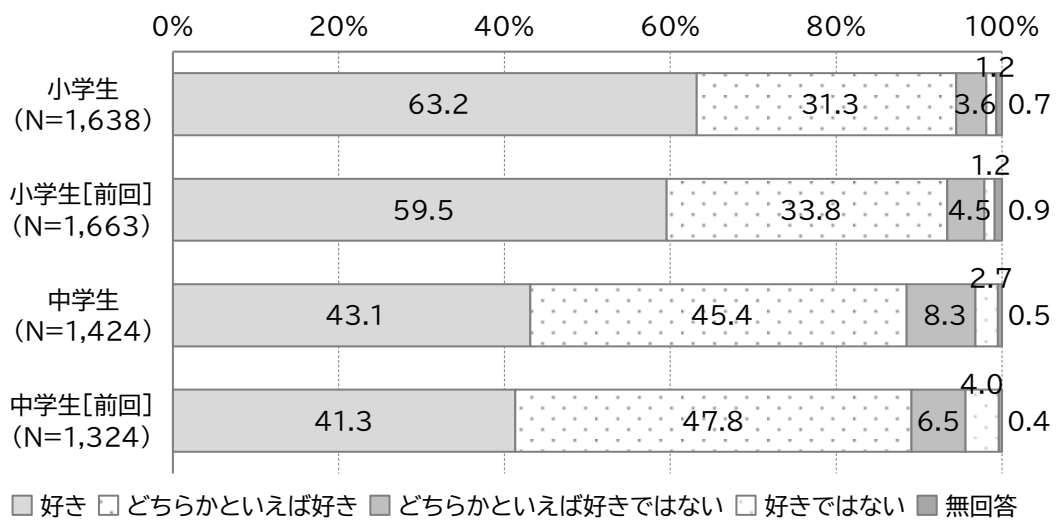
⑧住んでいる地域への愛着

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 28	問 28			

問. あなたは、自分の住んでいる地域が好きですか。(1つに○)

「好き」「どちらかといえば好き」の合計が、小学生で94.5%、中学生で88.5%となっている。

「好き」「どちらかといえば好き」の合計は、前回と比べると、小学生でわずかに増加(93.3%→94.5%)、中学生でわずかに減少(89.1%→88.5%)があるものの、大きな変化はみられない。

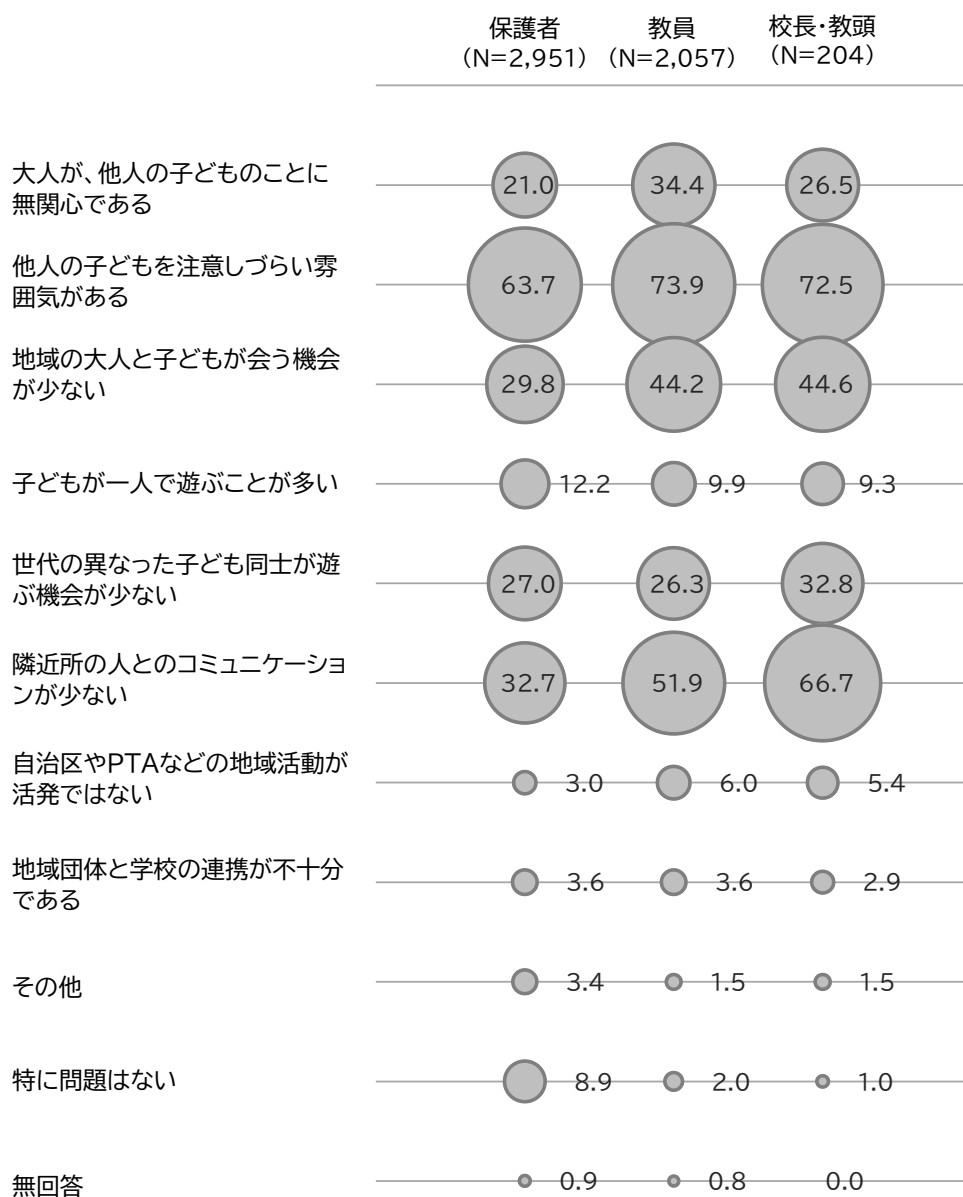


⑨地域の教育力の課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 15	問 13	問 13

問. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

保護者、教員、校長・教頭すべてにおいて、「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」(保護者 63.7%、教員 73.9%、校長・教頭 72.5%)が最も多く、次いで「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」(保護者 32.7%、教員 51.9%、校長・教頭 66.7%)「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」(保護者 29.8%、教員 44.2%、校長・教頭 44.6%)となっている。



「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」、「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」については、保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても、前回よりも増加している。

%	保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
大人が、他人の子どものことに無関心である	21.0	24.0	34.4	36.6	26.5	33.8
他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある	63.7	62.1	73.9	72.4	72.5	65.2
地域の大人と子どもが会う機会が少ない	29.8	25.3	44.2	42.4	44.6	35.3
子どもが一人で遊ぶことが多い	12.2	11.5	9.9	12.0	9.3	13.7
世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない	27.0	29.4	26.3	29.0	32.8	33.3
隣近所の人とのコミュニケーションが少ない	32.7	31.9	51.9	53.3	66.7	66.7
自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない	3.0	1.9	6.0	5.1	5.4	2.5
地域団体と学校の連携が不十分である	3.6	3.4	3.6	3.8	2.9	2.5
その他	3.4	2.2	1.5	1.0	1.5	2.5
特に問題はない	8.9	9.3	2.0	1.4	1.0	2.5
無回答	0.9	2.9	0.8	1.3	0.0	1.5

第5章 生涯学習について

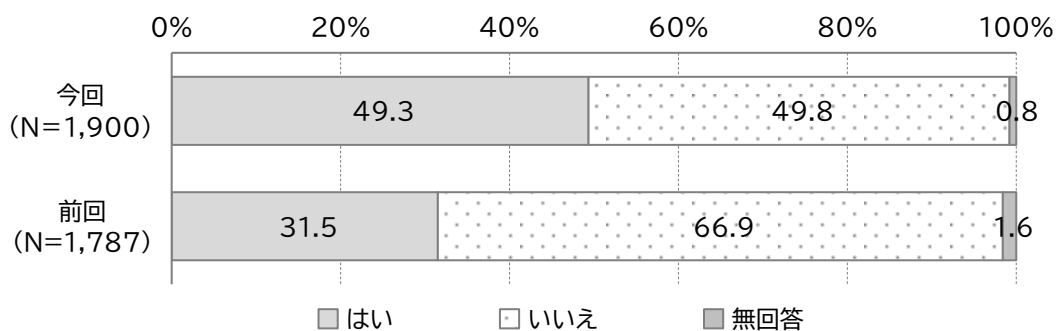
1 交流館

①利用状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 11					

問. ここ3年間で、交流館を利用したことがありますか。(1つに○)

「はい」が49.3%、「いいえ」が49.8%となっている。
 前回と比べると、「はい」と回答した人の割合が17.8ポイント増加している。



年齢別にみると、20歳未満、40～49歳で「はい」、20～29歳で「いいえ」の回答が、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

		はい	いいえ	無回答
%				
市民	20歳未満	64.1	34.4	1.6
	20～29歳	32.4	67.6	0.0
	30～39歳	51.5	48.1	0.4
	40～49歳	60.2	39.5	0.3
	50～59歳	45.9	54.1	0.0
	60～64歳	43.7	55.6	0.7
	65～69歳	48.0	51.4	0.6
	70～74歳	53.4	45.5	1.1
	75歳以上	44.8	51.9	3.3

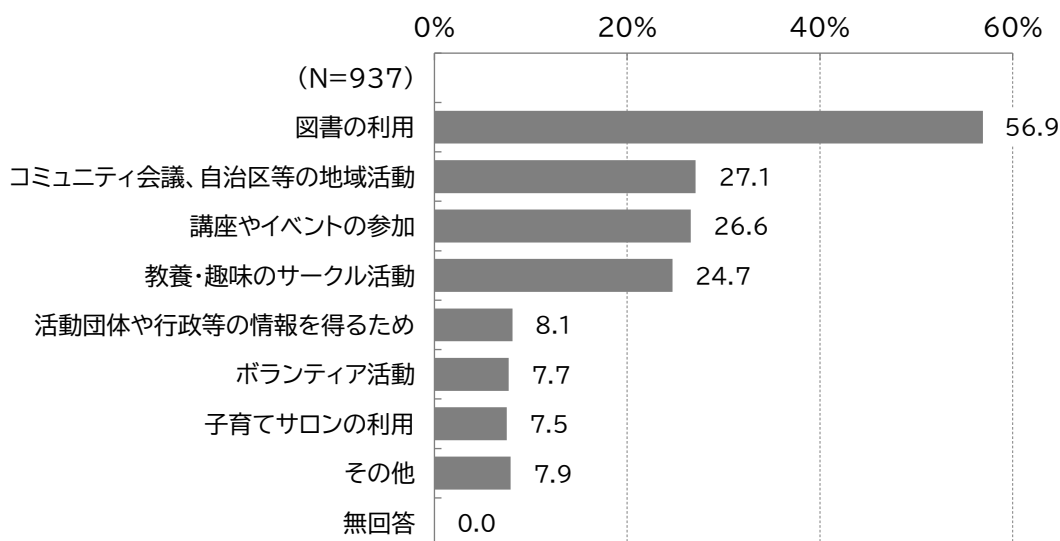
②利用した目的

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 12					

※利用状況で、交流館を利用したことがあると回答した方

問. どのような目的で利用しましたか。(3つまで○)

「図書の利用」が56.9%と最も多く、次いで「コミュニティ会議、自治区等の地域活動」が27.1%、「講座やイベントの参加」が26.6%となっている。



年齢別にみると、69歳以下では「図書の利用」が最も多くなっている。特に30～39歳での「図書の利用」は、他の年齢層に比べて割合が高くなっている。70～74歳では「講座やイベントの参加」、75歳以上では「教養・趣味のサークル活動」が最も多くなっている。

	%	図書の利用	自治区コミュニティ会議、	講座やイベントの参加	教養・趣味のサークル活動	活動団体や行政等の情報を得るため	ボランティア活動	子育てサロンの利用	その他	無回答
		20歳未満	65.9	4.9	19.5	12.2	0.0	12.2	0.0	31.7
20～29歳	63.8	3.4	13.8	13.8	3.4	3.4	13.8	12.1	0.0	
30～39歳	70.1	16.4	20.1	17.2	3.7	3.0	28.4	6.0	0.0	
40～49歳	67.9	34.9	20.6	19.3	5.0	6.4	7.8	7.8	0.0	
50～59歳	62.1	25.0	24.3	18.6	10.0	7.1	1.4	5.7	0.0	
60～64歳	42.4	28.8	30.3	31.8	10.6	7.6	1.5	7.6	0.0	
65～69歳	45.8	42.2	37.3	18.1	14.5	8.4	2.4	6.0	0.0	
70～74歳	39.4	34.0	45.7	44.7	11.7	12.8	1.1	5.3	0.0	
75歳以上	32.6	31.6	32.6	49.5	13.7	12.6	1.1	6.3	0.0	

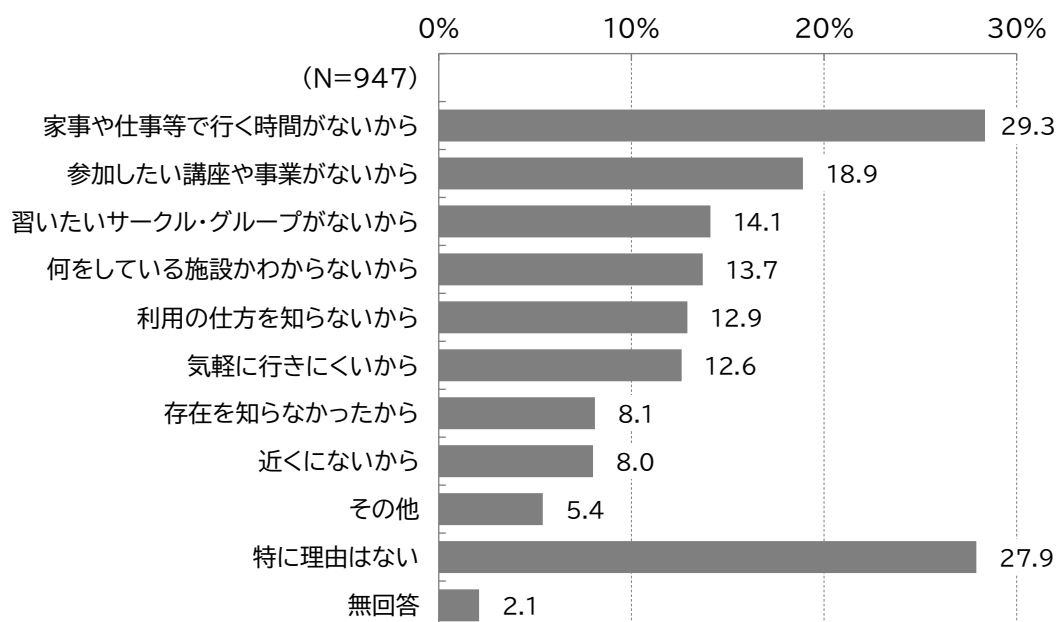
③利用したことがない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 13					

※利用状況で、交流館を利用したことがないと回答した方

問. 交流館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

「家事や仕事等で行く時間がないから」が29.3%と最も多く、次いで「特に理由はない」が27.9%、「参加したい講座や事業がないから」が18.9%となっている。



年齢別にみると、いずれの年齢層においても「家事や仕事等で行く時間がないから」「特に理由はない」が多くなっている。特に60～64歳での「家事や仕事等で行く時間がないから」は、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

	%	家事や仕事等で行く	参加したくない講座や事業	習いたいサークル・グループがないから	何を知らしている施設か	利用の仕方を知らないから	気軽に行きにくいから	存在を知らなかった	近くにないから	その他	特に理由はない	無回答
		市民										
	20歳未満	22.7	18.2	4.5	18.2	9.1	4.5	9.1	22.7	13.6	31.8	0.0
	20～29歳	27.3	10.7	7.4	21.5	18.2	12.4	19.8	6.6	2.5	27.3	2.5
	30～39歳	28.8	12.8	5.6	19.2	20.8	11.2	15.2	2.4	2.4	24.8	4.0
	40～49歳	30.8	21.7	11.2	21.7	14.0	7.7	7.7	4.2	0.7	32.9	0.7
	50～59歳	32.1	27.3	18.8	10.9	10.9	10.3	4.2	3.0	6.7	30.9	0.6
	60～64歳	41.7	20.2	16.7	7.1	10.7	11.9	7.1	8.3	4.8	17.9	1.2
	65～69歳	30.3	21.3	21.3	7.9	10.1	16.9	2.2	11.2	3.4	30.3	2.2
	70～74歳	25.0	22.5	23.8	6.3	10.0	21.3	2.5	10.0	5.0	30.0	0.0
	75歳以上	19.1	10.0	13.6	7.3	6.4	16.4	3.6	20.0	16.4	26.4	5.5

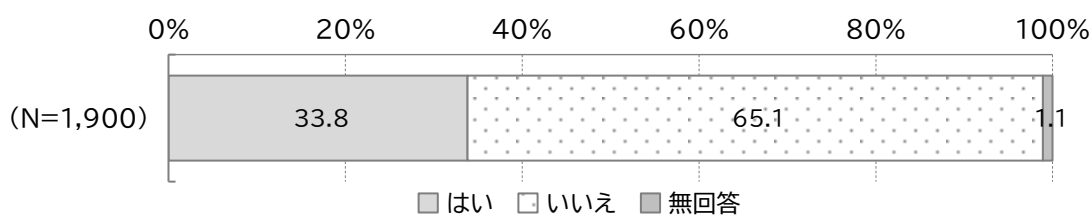
2 中央図書館

①利用状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 14					

問. ここ3年間で、中央図書館を利用したことがありますか。(1つに○)

「はい」が33.8%、「いいえ」が65.1%となっている。



年齢別にみると、20歳未満で「はい」、20歳以上では「いいえ」が多くなっている。特に60歳以上では、「いいえ」の割合が他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

		はい	いいえ	無回答
		%		
市民	20歳未満	57.8	40.6	1.6
	20～29歳	33.0	67.0	0.0
	30～39歳	44.6	55.0	0.4
	40～49歳	47.2	52.2	0.6
	50～59歳	30.5	69.5	0.0
	60～64歳	22.5	77.5	0.0
	65～69歳	26.6	71.7	1.7
	70～74歳	25.6	73.3	1.1
	75歳以上	17.9	77.4	4.7

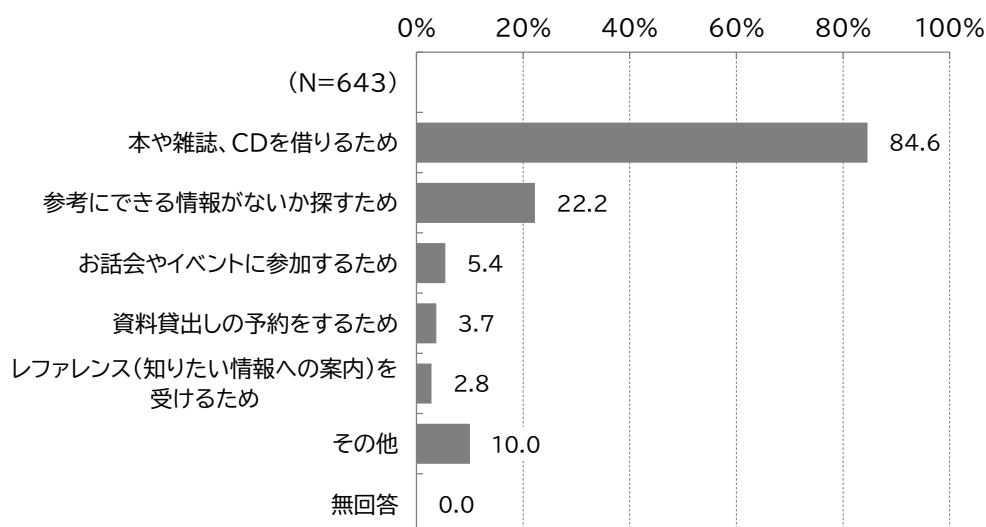
②利用した目的

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 15					

※利用状況で、中央図書館を利用したことがあると回答した方

問. どのような目的で利用しましたか。(3つまで○)

「本や雑誌、CDを借りるため」が84.6%と最も多く、次いで「参考にできる情報がないか探すため」が22.2%、「お話会やイベントに参加するため」が5.4%となっている。



年齢別にみると、いずれの年齢層においても「本や雑誌、CDを借りるため」が最も多くなっている。特に40～49歳では、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。また、20歳未満で「その他」の回答が多くなっており、主な内容としては、「学習や勉強で利用する」となっている。

	%	借本 りや 雑誌 た め、 C D を	が参 考 に か で 探 す る た 情 報	にお 参 話 会 す や イ タ ベ ン ト	を資 料 貸 出 し の 予 約	内リ レ ～ た フ を い ア 受 情 レ け 報 ン る ハ ス た の へ め 案 知	そ の 他	無 回 答
市民	20歳未満	62.2	13.5	0.0	8.1	0.0	51.4	0.0
	20～29歳	81.4	22.0	1.7	5.1	1.7	16.9	0.0
	30～39歳	87.9	14.7	6.9	2.6	0.0	6.9	0.0
	40～49歳	90.1	16.4	5.8	2.9	1.8	5.8	0.0
	50～59歳	87.1	23.7	8.6	2.2	3.2	7.5	0.0
	60～64歳	85.3	20.6	0.0	0.0	5.9	8.8	0.0
	65～69歳	84.8	37.0	2.2	0.0	2.2	8.7	0.0
	70～74歳	82.2	28.9	6.7	6.7	4.4	4.4	0.0
	75歳以上	76.3	47.4	7.9	13.2	13.2	2.6	0.0

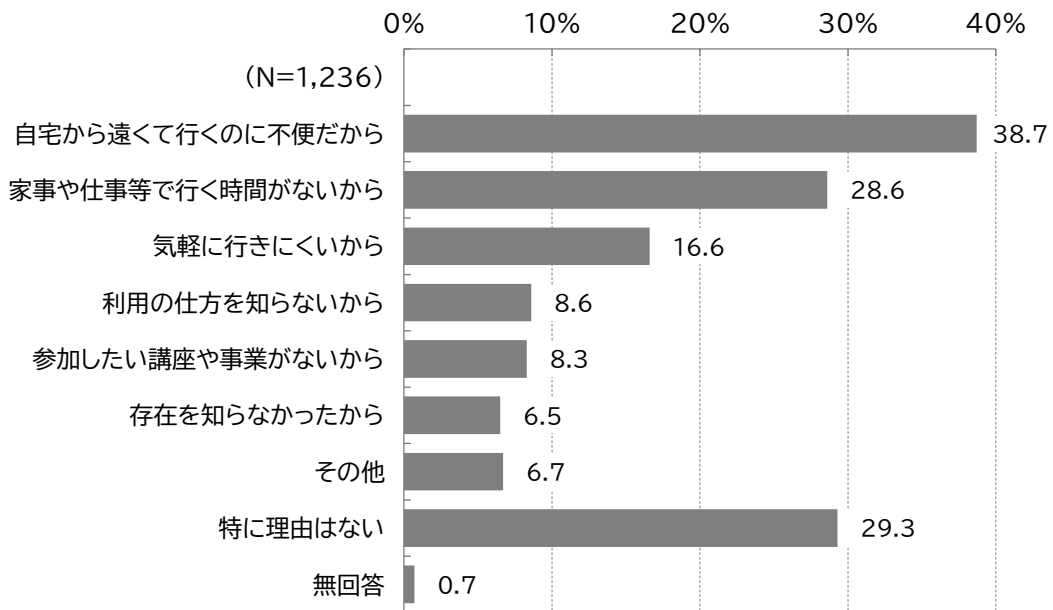
③利用したことがない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 16					

※利用状況で、中央図書館を利用したことがないと回答した方

問. 中央図書館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

「自宅から遠くて行くのに不便だから」が38.7%と最も多く、次いで「特に理由はない」が29.3%、「家事や仕事等で行く時間がないから」が28.6%となっている。



年齢別にみると、30歳以上では「自宅から遠くて行くのに不便だから」が最も多くなっている。特に70～74歳で、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

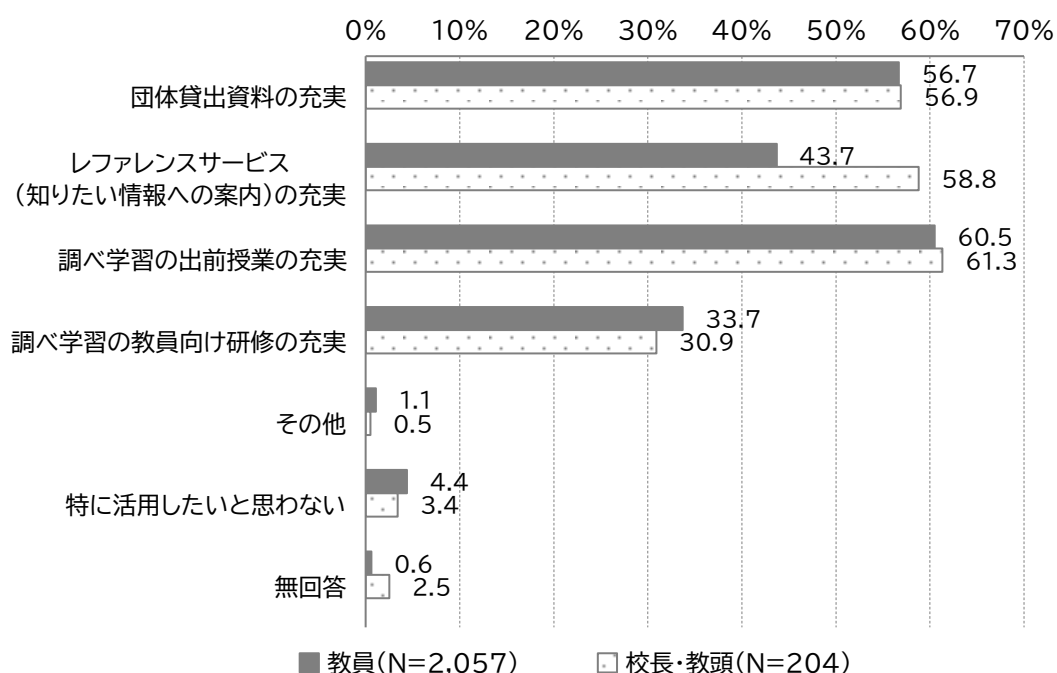
	%	の自	時家	ら気	い利	業参	か存	そ	特	無
		宅に	間事	ら気	利用	参加	存在	他	に理	回答
		宅に	間事	ら気	利用	参加	存在	他	に理	回答
		宅に	間事	ら気	利用	参加	存在	他	に理	回答
市民	20歳未満	34.6	11.5	11.5	0.0	11.5	7.7	7.7	38.5	0.0
	20～29歳	25.8	32.5	14.2	10.0	10.8	12.5	3.3	34.2	0.0
	30～39歳	39.2	26.6	18.9	6.3	2.8	6.3	7.0	27.3	0.7
	40～49歳	37.0	33.9	17.5	6.3	6.3	4.8	5.8	30.2	0.0
	50～59歳	33.0	29.7	13.7	9.0	6.6	4.2	9.0	31.6	0.5
	60～64歳	41.9	36.8	17.9	8.5	12.0	8.5	3.4	23.1	0.0
	65～69歳	38.7	29.0	22.6	12.1	10.5	6.5	3.2	29.8	1.6
	70～74歳	51.9	24.8	17.8	7.8	12.4	7.0	7.0	25.6	0.8
	75歳以上	43.3	19.5	14.0	11.0	7.9	5.5	11.0	30.5	2.4

④図書館に求めるもの・学校との連携

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 16	問 16

問. 学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

教員、校長・教頭ともに、「調べ学習の出前授業の充実」(教員 60.5%、校長・教頭 61.3%)が最も多くなっている。この他には、「団体貸出資料の充実」「レファレンスサービス(知りたい情報への案内)の充実」が多くなっている。



3 読書

①学校以外での読書頻度

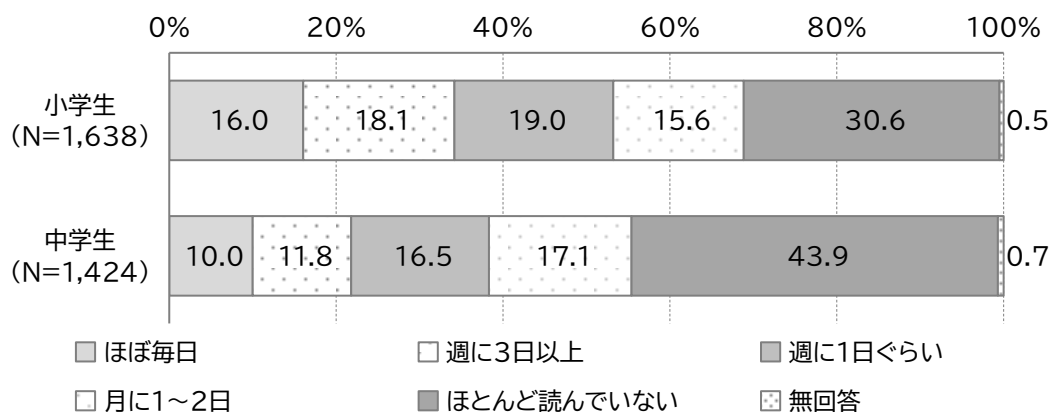
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 19	問 19			

問. 学校以外で、どのくらい読書をしていますか。(1つに○)

*教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。

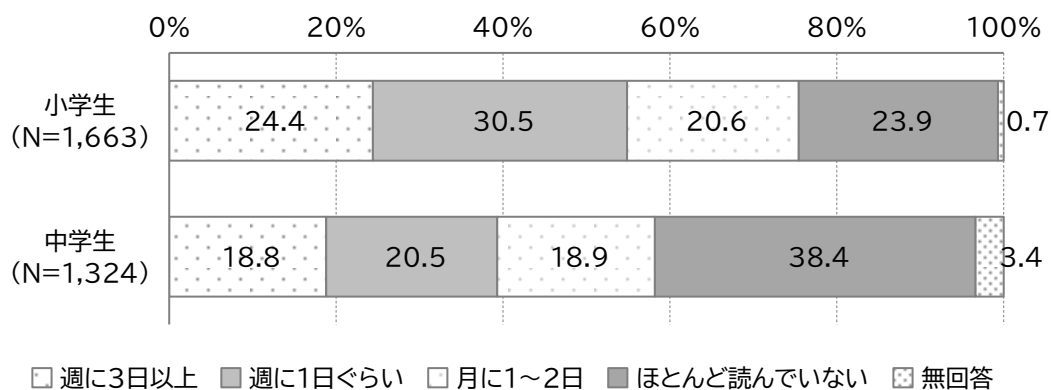
小・中学生ともに、「ほとんど読んでいない」(小学生 30.6%、中学生 43.9%)が最も多くなっている。

読書頻度が週に1日以上(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1日ぐらい」の合計)である割合は、小学生で 53.1%、中学生で 38.3%となっている。



【参考・前回】 ※前回には「ほぼ毎日」の選択肢はない。

読書頻度が週に1日以上(「週に3日以上」「週に1日ぐらい」の合計)である割合は、小学生で 54.9%、中学生で 39.3%となっている。



電子メディアの閲覧頻度別(小学生問 13、中学生問 14)にみると、「ほとんど読んでいない」が多くなっており電子メディアの閲覧頻度が長くほど、その割合が高い傾向にある。また、電子メディアの閲覧頻度の時間が長くなるほど、読書頻度が少ない傾向であることがうかがえる。

		%	ほぼ毎日	週に3日以上	週に1日ぐらい	月に1～2日	ほとんど読んでいない	無回答
小学生	学校に行く日	使わない	20.0	21.6	17.6	12.9	27.5	0.4
		1時間以下	21.5	20.8	20.1	13.5	23.8	0.2
		2時間ぐらい	12.5	18.8	20.7	18.8	28.8	0.5
		3時間ぐらい	9.2	16.2	23.1	17.3	33.5	0.6
		4時間ぐらい	4.6	6.2	21.5	20.0	47.7	0.0
		4時間以上	7.9	7.9	5.6	16.9	61.8	0.0
		無回答	15.4	10.3	11.5	14.1	43.6	5.1
	学校が休みの日	使わない	23.0	17.7	18.6	13.3	27.4	0.0
		1時間以下	23.1	19.2	18.3	13.5	25.5	0.3
		2時間ぐらい	18.4	23.4	22.9	14.1	20.7	0.5
		3時間ぐらい	12.7	23.2	17.3	18.0	28.9	0.0
		4時間ぐらい	10.1	16.3	21.9	21.3	30.3	0.0
		4時間以上	9.7	7.9	17.0	15.5	49.1	0.7
		無回答	11.7	10.4	11.7	14.3	46.8	5.2
中学生	学校に行く日	使わない	22.2	16.7	15.3	15.3	30.6	0.0
		1時間以下	14.4	16.5	21.0	16.9	31.3	0.0
		2時間ぐらい	7.1	13.5	19.2	17.1	43.2	0.0
		3時間ぐらい	9.6	8.7	15.2	15.8	50.0	0.6
		4時間ぐらい	5.6	9.3	14.0	15.0	56.1	0.0
		4時間以上	10.5	7.6	9.3	18.6	54.1	0.0
		無回答	7.1	8.6	12.9	25.7	34.3	11.4
	学校が休みの日	使わない	20.5	20.5	7.7	15.4	35.9	0.0
		1時間以下	25.7	18.6	15.7	14.3	25.7	0.0
		2時間ぐらい	11.2	13.4	24.0	18.4	33.0	0.0
		3時間ぐらい	8.9	14.8	19.1	16.7	40.1	0.4
		4時間ぐらい	7.5	11.3	18.8	18.8	43.5	0.0
		4時間以上	8.7	9.2	13.3	15.4	53.3	0.2
		無回答	8.0	8.0	12.0	26.7	34.7	10.7

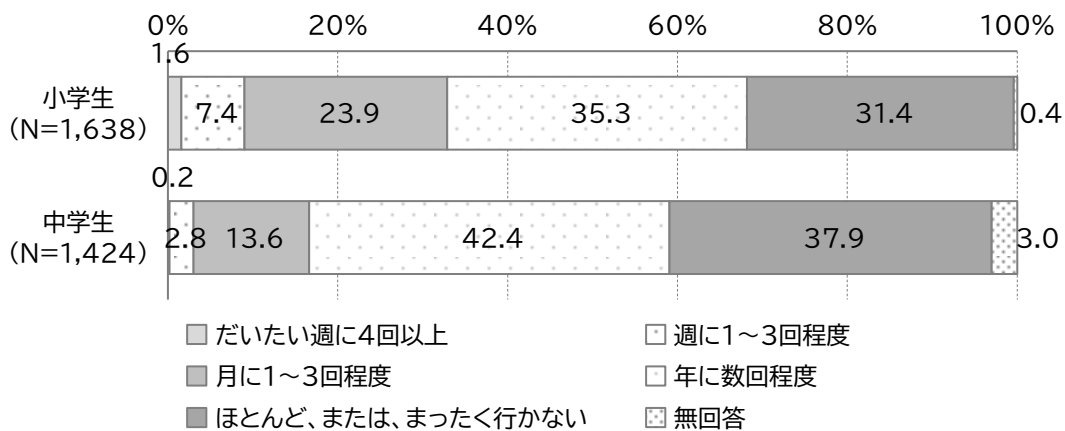
②図書コーナーの利用頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 20	問 20			

問. 中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーを 1 年間にどのくらい利用しますか。(1つに○)

小・中学生ともに、「年に数回程度」(小学生 35.3%、中学生 42.4%)が最も多くなっている。

図書コーナーの利用が、月に1回以上(「だいたい週に4回以上」「週に1～3回程度」「月に1～3回程度」の合計)と回答した人の割合は、小学生で32.9%、中学生で16.6%となっている。



第6章 歴史・文化について

1 文化への関心や活動状況

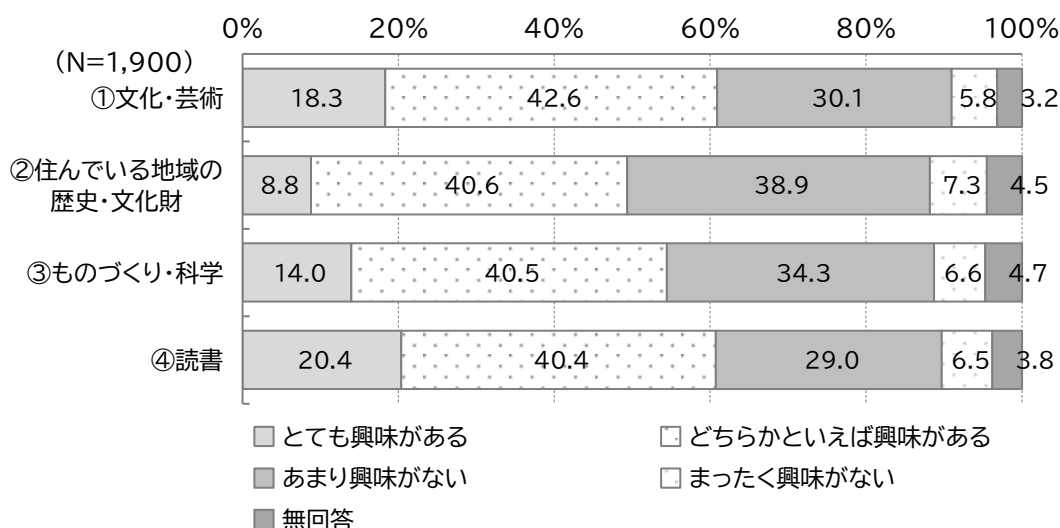
①文化等に関する興味

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 17	問 21	問 21			

問. あなたは、次のことについて、興味がありますか。(それぞれ1つに○)

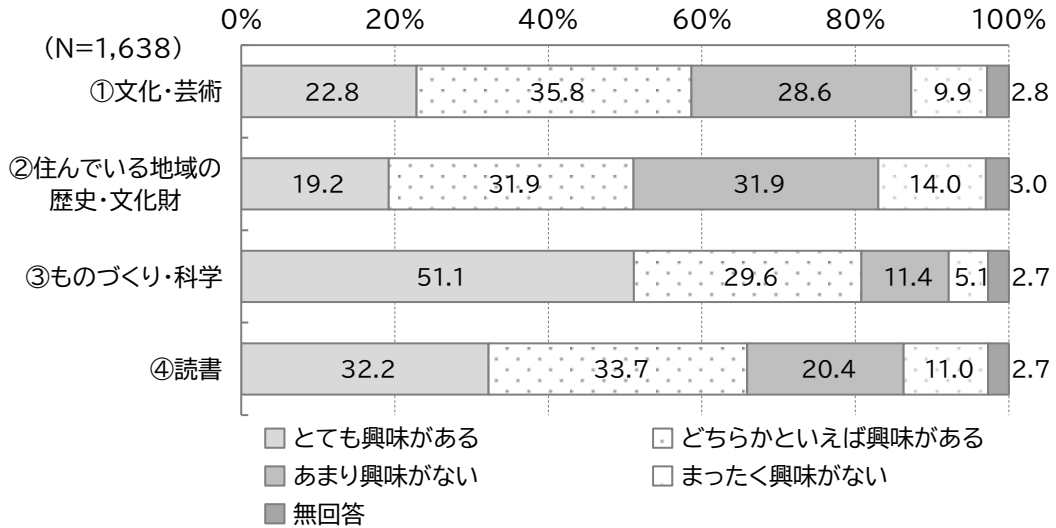
「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、市民では、①文化・芸術で60.9%、②住んでいる地域の歴史・文化財で49.4%、③ものづくり・科学で54.5%、④読書で60.8%となっている。

【市民】



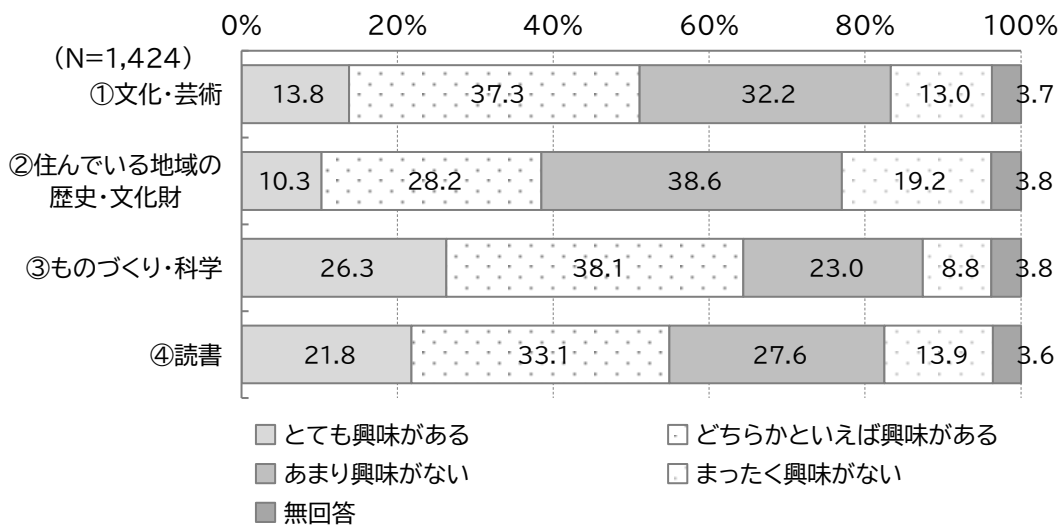
「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、小学生では、①文化・芸術で 58.6%、②住んでいる地域の歴史・文化財で 51.1%、③ものづくり・科学で 80.7%、④読書で 65.9%となっている。

【小学生】



「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、中学生では、①文化・芸術で 51.1%、②住んでいる地域の歴史・文化財で 38.5%、③ものづくり・科学で 64.4%、④読書で 54.9%となっている。

【中学生】

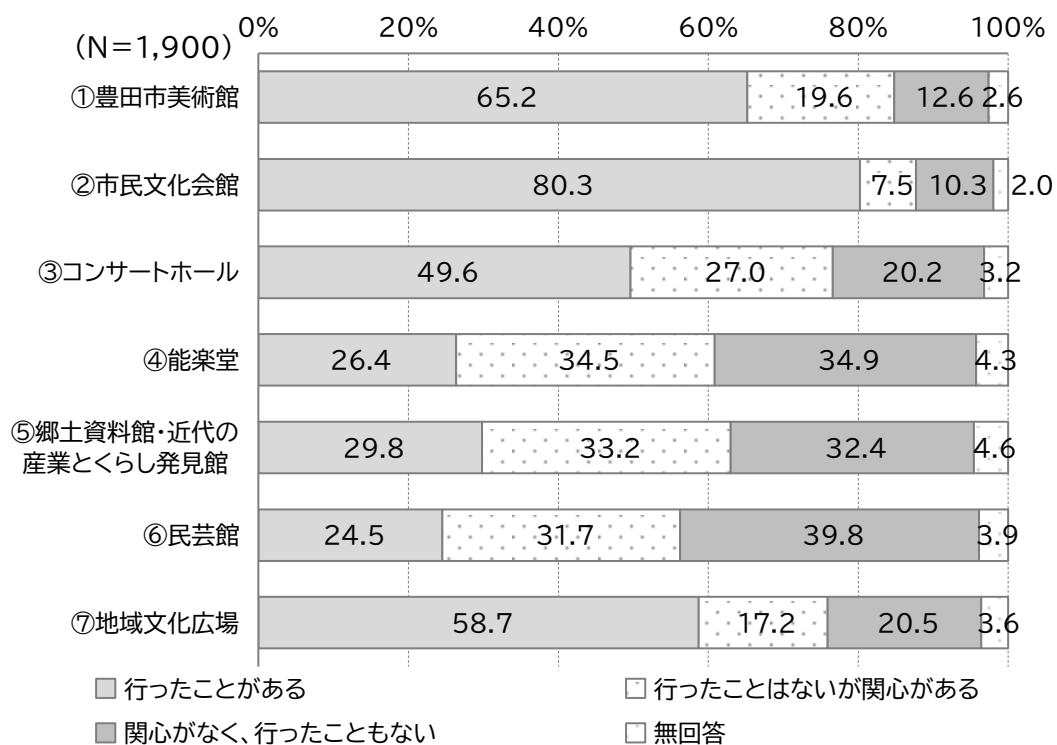


②市内の文化施設の利用状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 18					

問. あなたは、次の文化施設に、これまで行ったことがありますか。
(それぞれ1つに○)

「行ったことがある」は、②市民文化会館(80.3%)、①豊田市美術館(65.2%)、⑦地域文化広場(58.7%)で多くなっている。一方で、「関心がなく、行ったこともない」は、⑥民芸館(39.8%)、④能楽堂(34.9%)、⑤郷土資料館・近代の産業とくらし発見館(32.4%)で多くなっている。



「行ったことがある」と回答した方を年齢別にみると、いずれの年齢層においても「市民文化会館」が最も多くなっている。特に60～64歳で、他の年齢層と比べて割合が高く、割合が低くなっている30～39歳とは22.8ポイントの差がみられる。

		① 豊田市美術館	② 市民文化会館	③ コンサートホール	④ 能楽堂	⑤ 産業郷土資料館・近代の 産とくらし見館	⑥ 民芸館	⑦ 地域文化広場
%								
市民	20歳未満	76.6	87.5	75.0	54.7	42.2	20.3	53.1
	20～29歳	68.7	71.5	56.4	55.3	30.7	12.3	46.4
	30～39歳	66.5	67.3	32.7	23.1	18.8	11.2	56.5
	40～49歳	64.1	83.7	44.5	14.4	30.4	21.5	68.0
	50～59歳	65.6	86.6	56.7	21.6	30.8	27.2	68.5
	60～64歳	71.5	90.1	53.6	23.2	28.5	25.2	64.2
	65～69歳	63.6	83.2	53.8	28.9	31.2	31.8	53.8
	70～74歳	68.8	85.2	54.5	26.7	36.4	43.2	64.8
	75歳以上	51.9	73.1	44.8	24.5	28.8	29.7	39.2

③鑑賞・見学した分野

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 19					

問. あなたは、この1年間に次のような催し物や場所に出かけて行って、「鑑賞・見学」(豊田市外も含む)をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

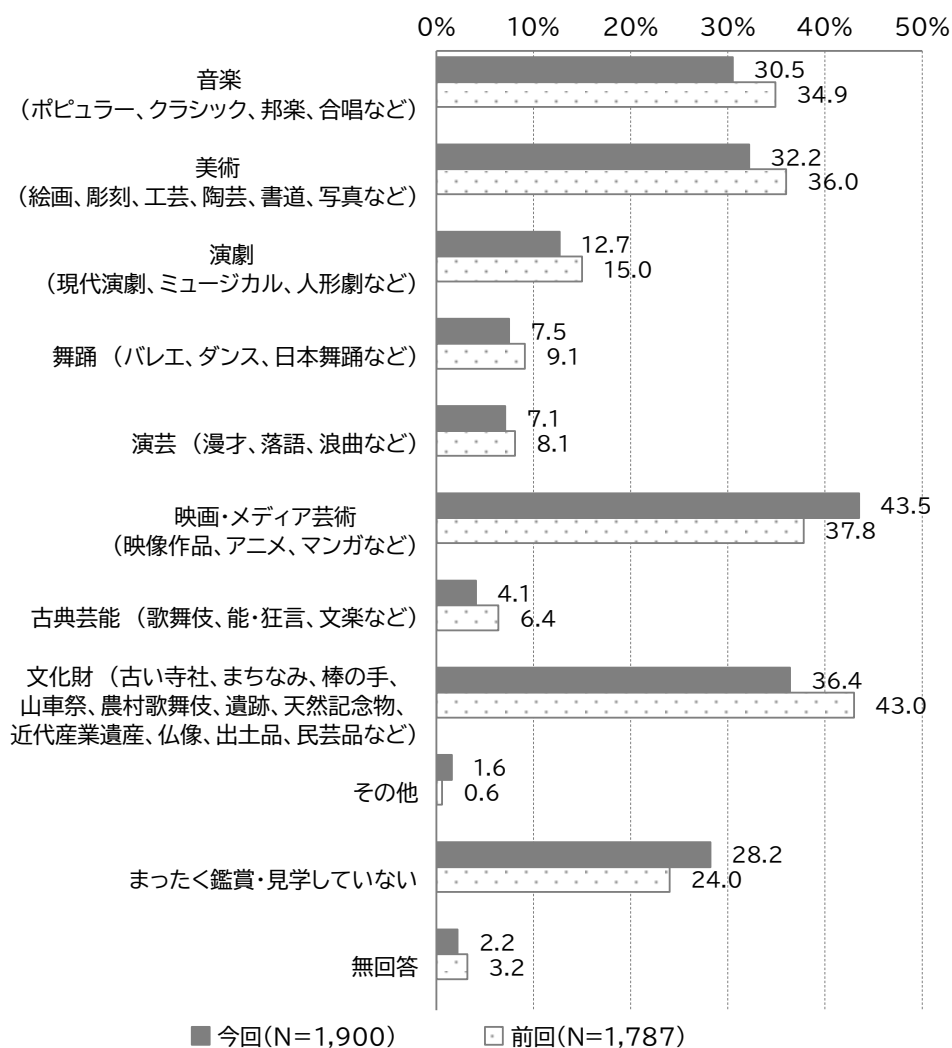
*ホール・美術館・映画館・祭り・旅行等で直接鑑賞することが対象です。

*テレビ、CD、パソコン、図書などを見ることは含みません。

「映画・メディア芸術(映像作品、アニメ、マンガなど)」が43.5%と最も多く、次いで「文化財(古い寺社、まちなみ、棒の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品、民芸品など)」が36.4%、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真など)」が32.2%となっている。

この1年間に直接鑑賞や見学をした(全体から「まったく鑑賞・見学していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、69.6%となっている。

前回と比べると、鑑賞や見学をした分野として、映画・メディア芸術(映像作品、アニメ、マンガなど)において増加がみられる。また、この1年間に直接鑑賞や見学をした(全体から「まったく鑑賞・見学していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、72.8%から69.6%と減少している。



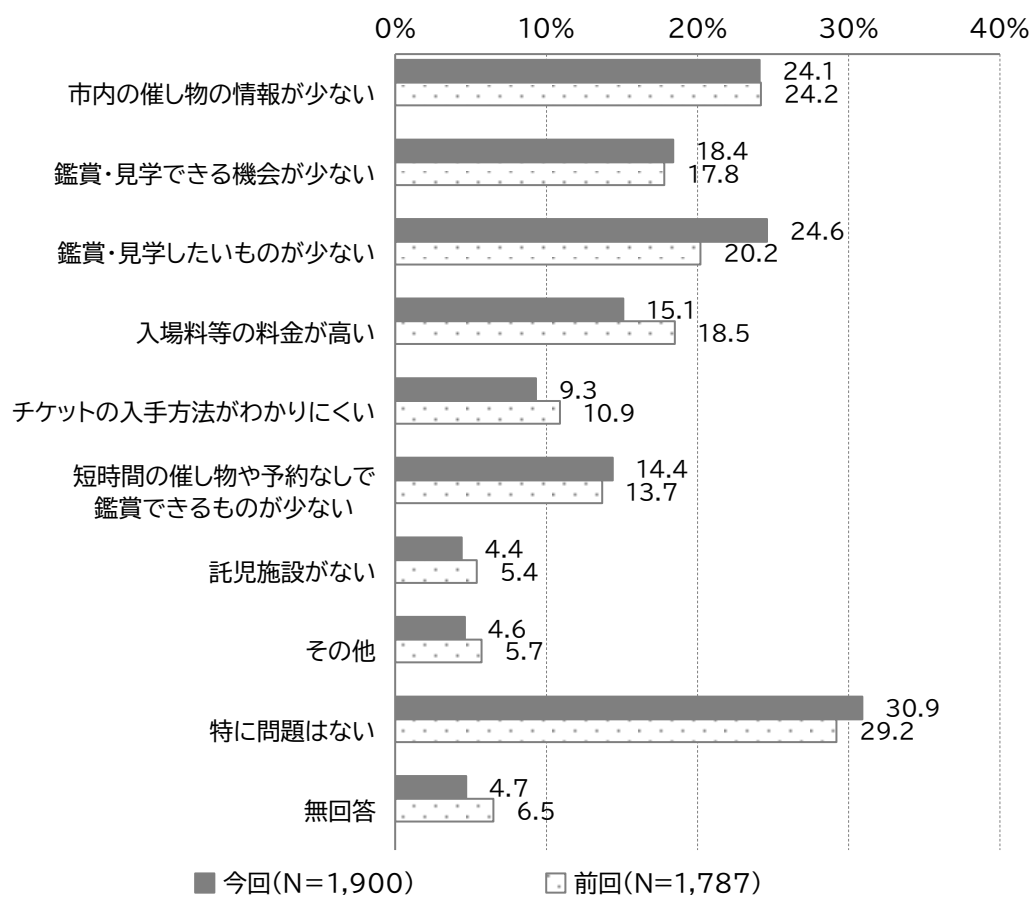
④鑑賞・見学する上で困ること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 20					

問. あなたが「鑑賞・見学」する上で、お困りのことはありますか。(3つまで○)

「特に問題はない」が30.9%と最も多く、次いで「鑑賞・見学したいものが少ない」が24.6%、「市内の催し物の情報が少ない」が24.1%となっている。

前回と比べると、「鑑賞・見学したいものが少ない」において特に増加がみられる。



⑤日頃行っている文化活動の分野

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 21					

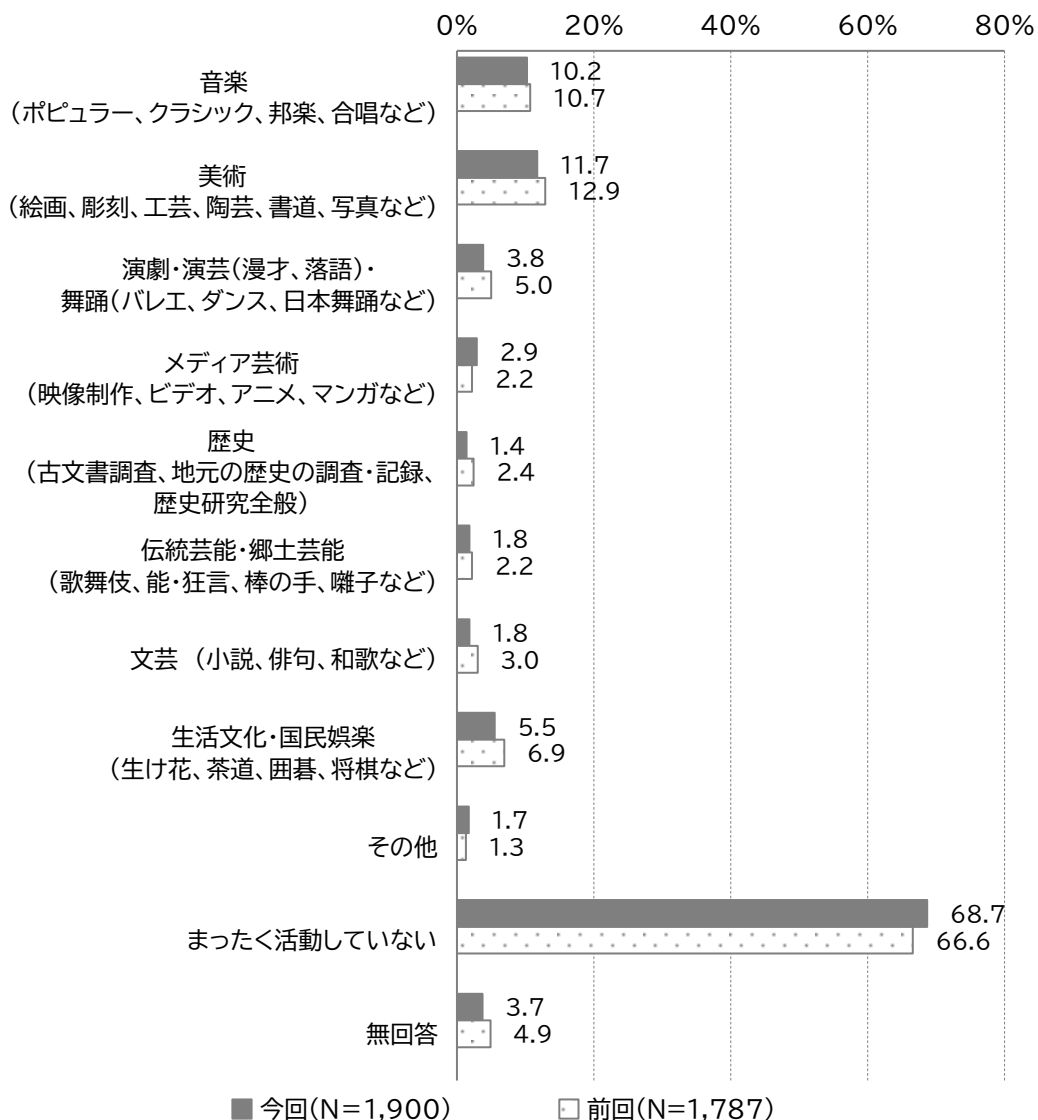
問. あなたは、この1年間に次のような「文化活動」(鑑賞・見学を除く)をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

* 作品の制作・練習・習い事などを対象とします。

「まったく活動していない」が68.7%と最も多く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真など)」が11.7%、「音楽(ポピュラー、クラシック、邦楽、合唱など)」が10.2%となっている。

この1年間に文化活動をしたことがある(全体から「まったく活動していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、27.6%となっている。

前回と比べると、大きな変化はみられない。また、この1年間に文化活動をしたことがある(全体から「まったく活動していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、28.5%から27.6%とわずかに減少している。



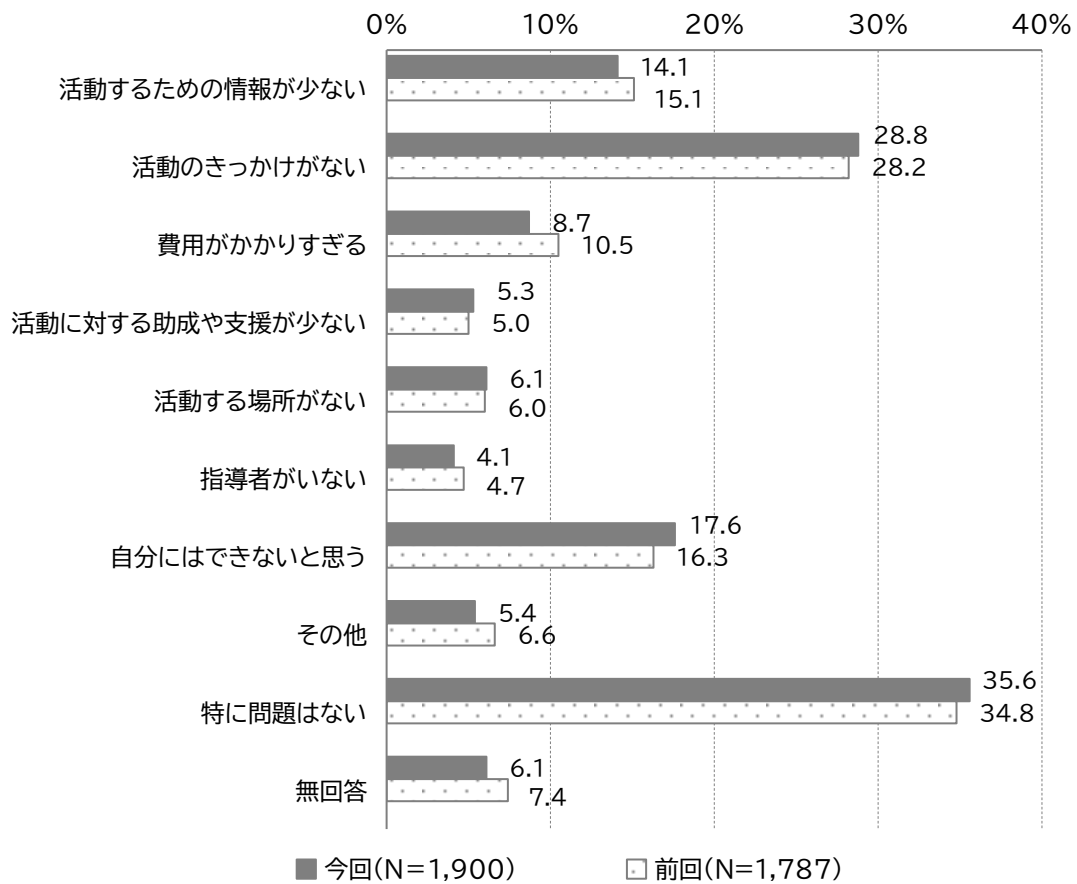
⑥文化活動をする上で困ること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 22					

問. あなたが「文化活動」をする上で、お困りのことはありますか。(3つまで○)

「特に問題はない」が35.6%と最も多く、次いで「活動のきっかけがない」が28.8%、「自分にはできないと思う」が17.6%となっている。

前回と比べると、大きな変化はみられない。



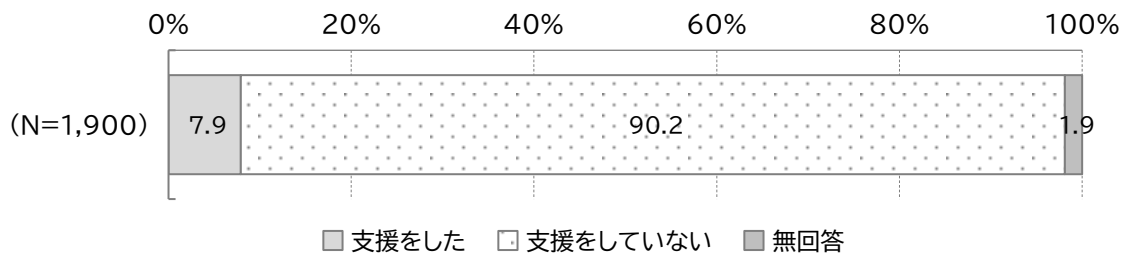
⑦文化活動への支援状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 23					

問. あなたは、この1年間に、文化活動の支援をしたことがありますか。(1つに○)

*文化施設でのボランティア、子どもの文化体験支援、音楽祭の手伝いなど

「支援をした」が7.9%、「支援をしていない」が90.2%となっている。



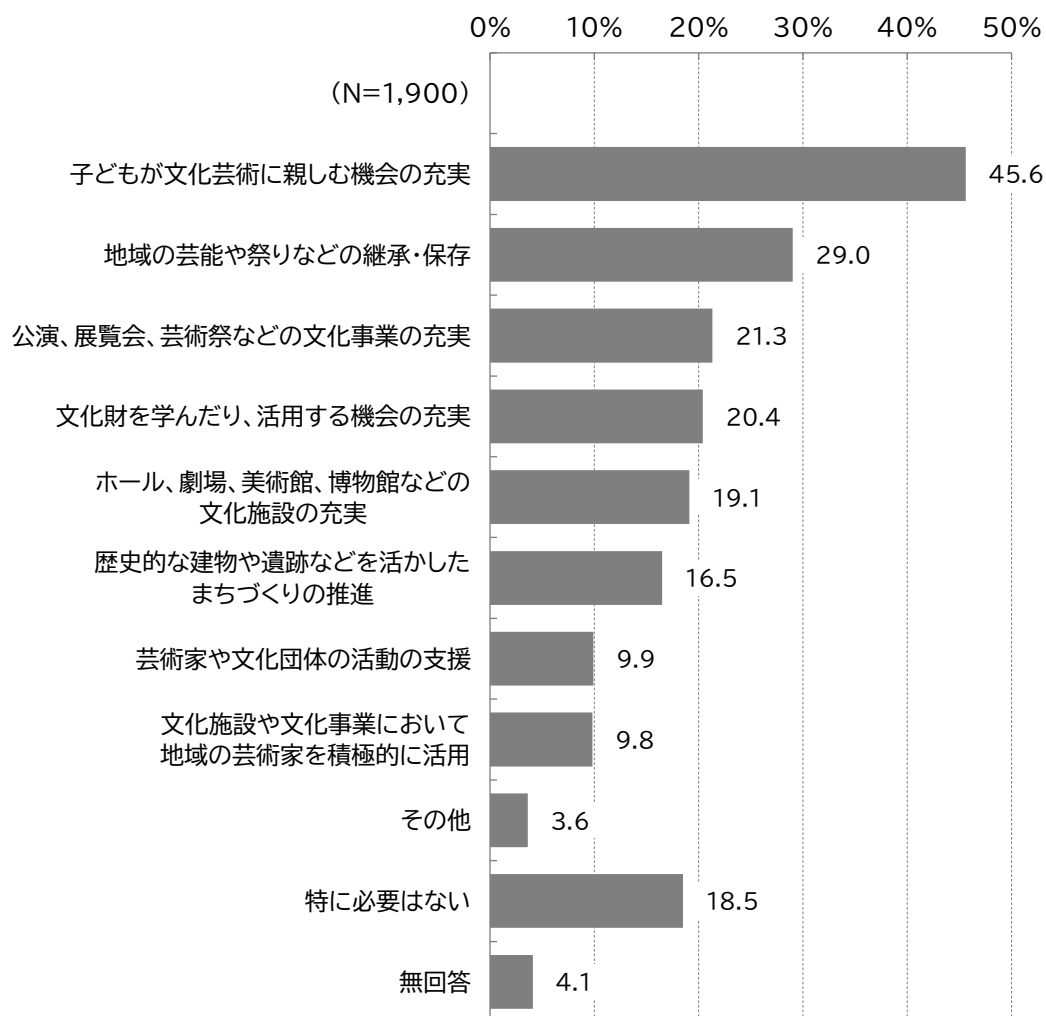
2 文化振興、文化財保護

①地域の文化的環境の充実に向けて

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 24					

問. あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするため、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が45.6%と最も多く、次いで「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」が29.0%、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」が21.3%となっている。

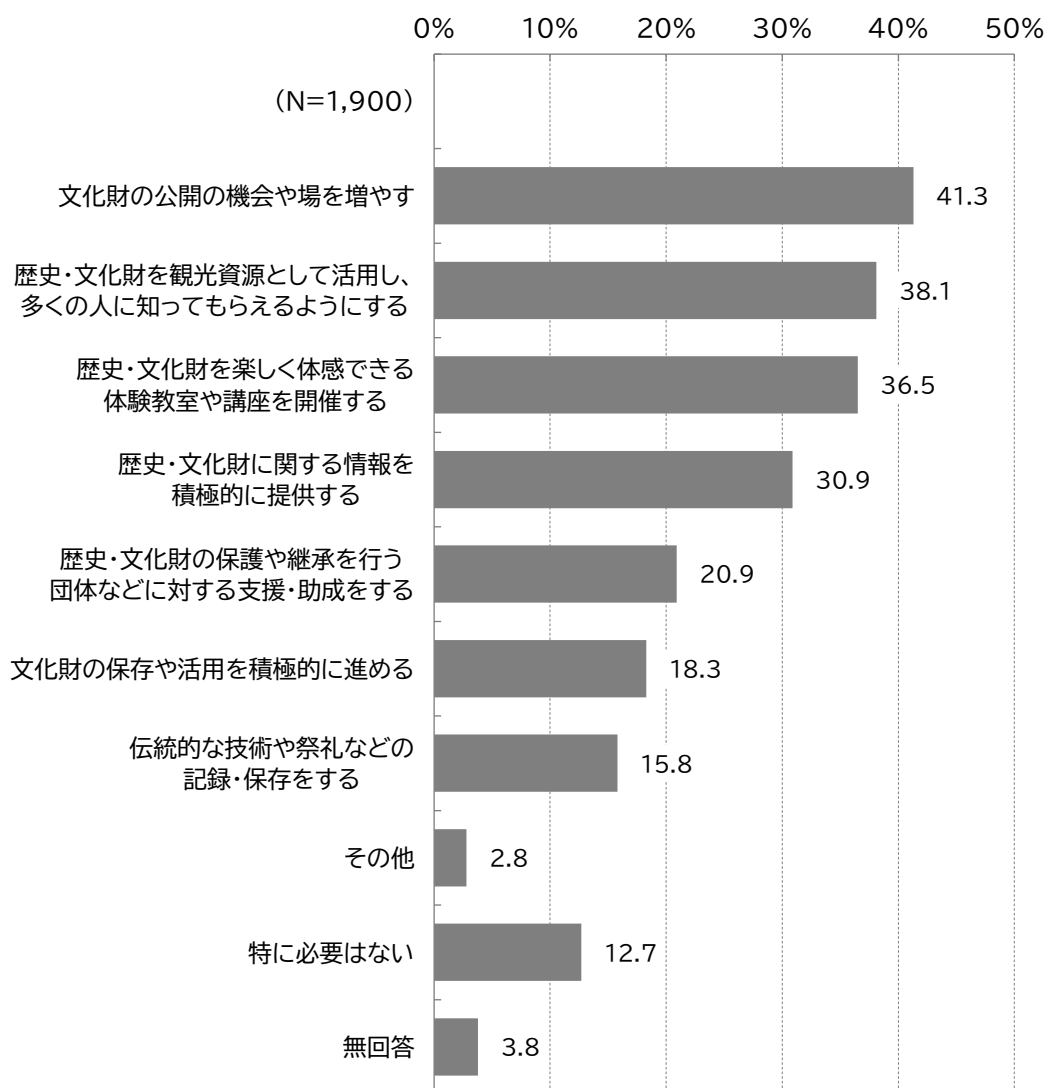


②市の歴史・文化財の継承、魅力発信

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 25					

問. 豊田市の歴史や文化財を継承し、その魅力を発信していくためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「文化財の公開の機会や場を増やす」が41.3%と最も多く、次いで「歴史・文化財を観光資源として活用し、多くの人に知ってもらえるようにする」が38.1%、「歴史・文化財を楽しく体感できる体験教室や講座を開催する」が36.5%となっている。

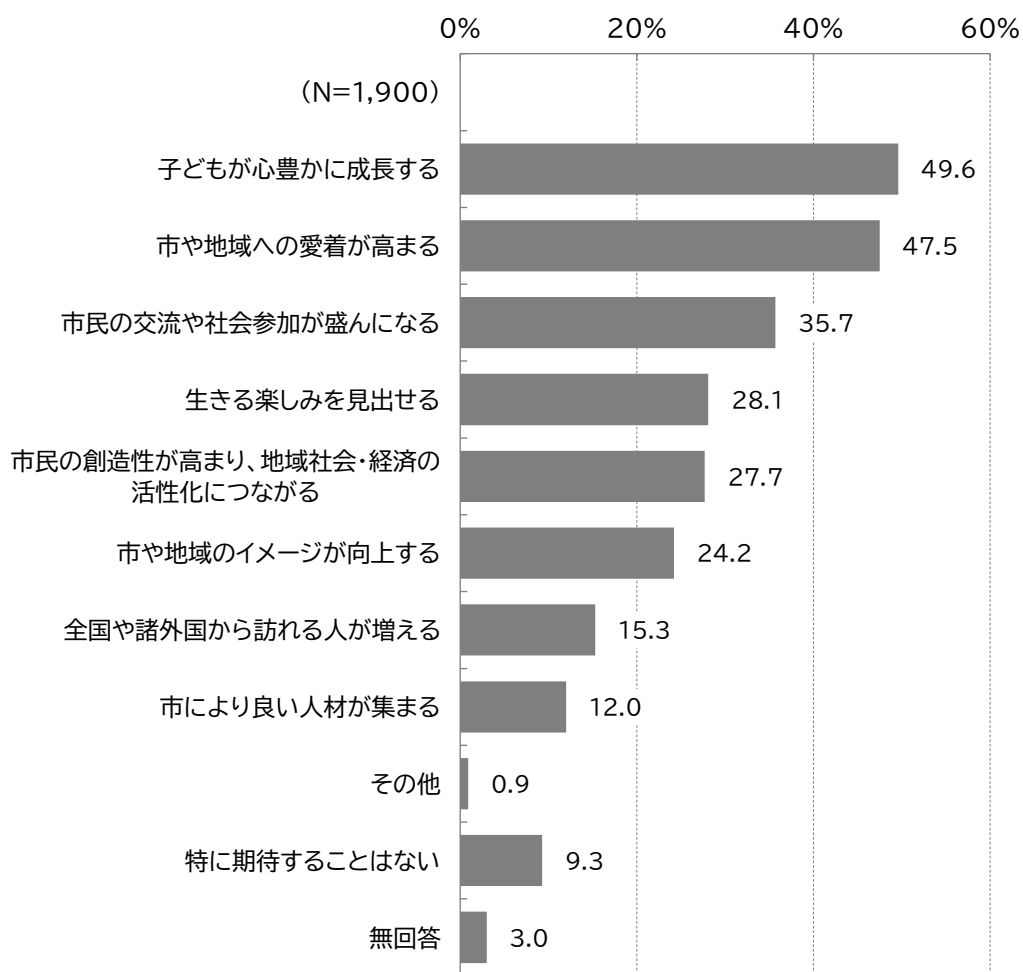


③地域の文化的環境が充実する効果

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 26					

問. 地域の文化的環境が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもが心豊かに成長する」が49.6%と最も多く、次いで「市や地域への愛着が高まる」が47.5%、「市民の交流や社会参加が盛んになる」が35.7%となっている。



3 子どもと文化

①子どもと利用したい文化・スポーツ施設

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 19	問 17	問 17

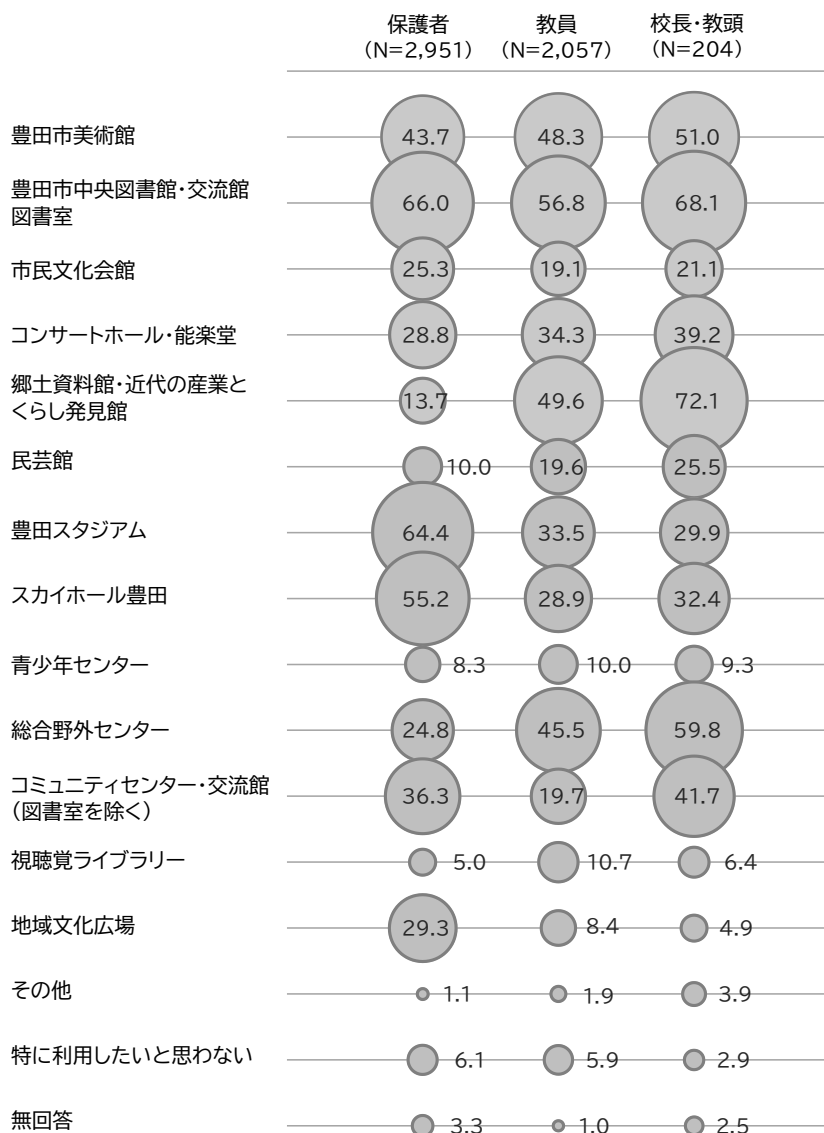
【保護者】

問. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について、お子さんと一緒に利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【教員、校長・教頭】

問. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について、授業等で活用したい、連携したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者が、子どもと一緒に利用したい施設としては、「豊田中央図書館・交流館図書室」が66.0%と最も多く、次いで「豊田スタジアム」が64.4%、「スカイホール豊田」が55.2%となっている。教員、校長・教頭が、授業等で活用・連携したい施設については、「豊田中央図書館・交流館図書室」(教員56.8%、校長・教頭68.1%)、「郷土資料館・近代の産業とくらし発見館」(教員49.6%、校長・教頭72.1%)が多くなっている。



前回と比べると、「豊田スタジアム」は保護者、教員、校長・教頭のいずれにおいても増加している。

	保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (N=2,951)	前回 (N=2,836)	今回 (N=2,057)	前回 (N=2,038)	今回 (N=204)	前回 (N=204)
豊田市美術館	43.7	49.1	48.3	45.9	51.0	57.4
豊田市中央図書館・交流館図書室	66.0	70.9	56.8	56.4	68.1	65.2
市民文化会館	25.3	—	19.1	—	21.1	—
コンサートホール・能楽堂	28.8	33.3	34.3	36.9	39.2	40.2
郷土資料館・近代の産業とくらし発見館	13.7	15.3	49.6	50.4	72.1	70.1
民芸館	10.0	10.4	19.6	23.4	25.5	24.5
豊田スタジアム	64.4	59.2	33.5	30.2	29.9	27.9
スカイホール豊田	55.2	55.4	28.9	33.0	32.4	31.4
青少年センター	8.3	25.6	10.0	37.9	9.3	52.0
総合野外センター	24.8		45.5		59.8	
コミュニティセンター・交流館 (図書室を除く)	36.3	53.8	19.7	33.3	41.7	52.5
視聴覚ライブラリー	5.0	6.9	10.7	13.8	6.4	7.4
地域文化広場	29.3	—	8.4	—	4.9	—
その他	1.1	1.2	1.9	2.1	3.9	5.4
特に利用したいと思わない	6.1	5.1	5.9	6.0	2.9	2.9
無回答	3.3	3.6	1.0	1.9	2.5	1.5

学校別にみると、保護者において小学校では「豊田市中央図書館・交流館図書室」、中学校では「豊田スタジアム」が最も多くなっている。

教員では、小・中学校ともに「豊田市中央図書館・交流館図書室」が最も多くなっているが、中学校は小学校に比べて約 30 ポイント低くなっている。

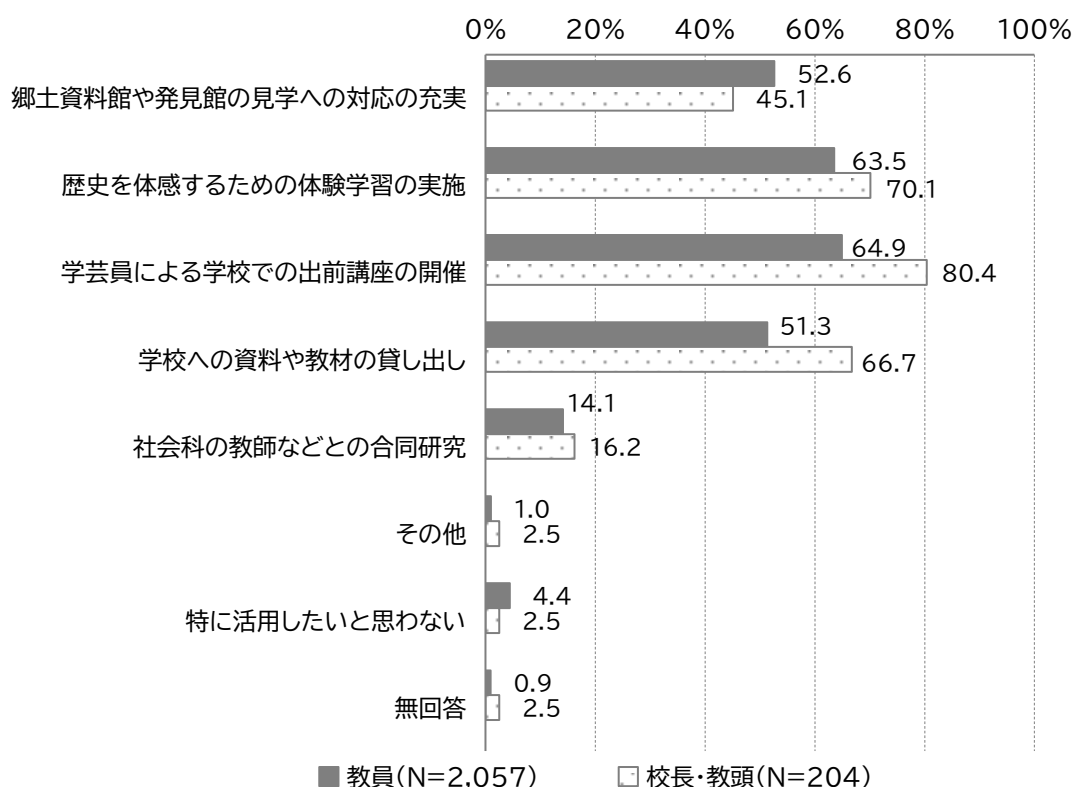
		豊 田 市 美 術 館	館 豊 田 市 中 央 図 書 館 交 流 館 図 書 室	市 民 文 化 会 館	ル コ ン サ ー ト ホ ー ル	見 の 郷 土 資 料 館 と く ら し 発 見 館	民 芸 館	豊 田 ス タ ジ ア ム	ス カ イ ホ ール 豊 田	青 少 年 セ ン タ ー	総 合 野 外 セ ン タ ー	書 室 を 除 く ） タ ー コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー 交 流 館 （ 図 書 室 を 除 く ）	リ 視 聴 覚 ラ イ ブ ラ ー	地 域 文 化 広 場	そ の 他	思 わ な い と 利 用 し た い	無 回 答
保 護 者	小学校	42.8	69.0	25.5	28.0	16.6	11.7	66.0	54.5	9.6	29.1	39.5	6.0	34.3	1.0	4.7	3.6
	中学校	44.8	62.7	25.0	29.8	10.2	7.9	62.8	56.3	6.8	20.0	32.7	3.9	23.3	1.2	7.5	2.7
教 員	小学校	55.3	67.7	17.6	37.0	62.3	25.9	33.3	27.8	12.2	54.6	24.3	12.9	9.8	1.7	3.5	0.8
	中学校	35.6	38.0	21.9	30.9	27.8	8.5	33.2	31.1	6.8	29.8	11.0	7.3	6.4	2.3	10.9	1.3

②郷土資料館・くらし発見館との連携

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 18	問 18

問. 郷土資料館や近代の産業とくらし発見館が学校と連携して、どのようなことに一層力をいれて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

教員、校長・教頭ともに、「学芸員による学校での出前講座の開催」(教員 64.9%、校長・教頭 80.4%)が最も多くなっている。次いで「歴史を体感するための体験学習の実施」(教員 63.5%、校長・教頭 70.1%)が多くなっている。



③鑑賞・見学した回数

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 22	問 22			

問. コンサートや文化財など、出かけて行って「文化鑑賞・見学」(豊田市外も含む)を、1年間に何回ぐらいしますか。(1つに○)

*文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

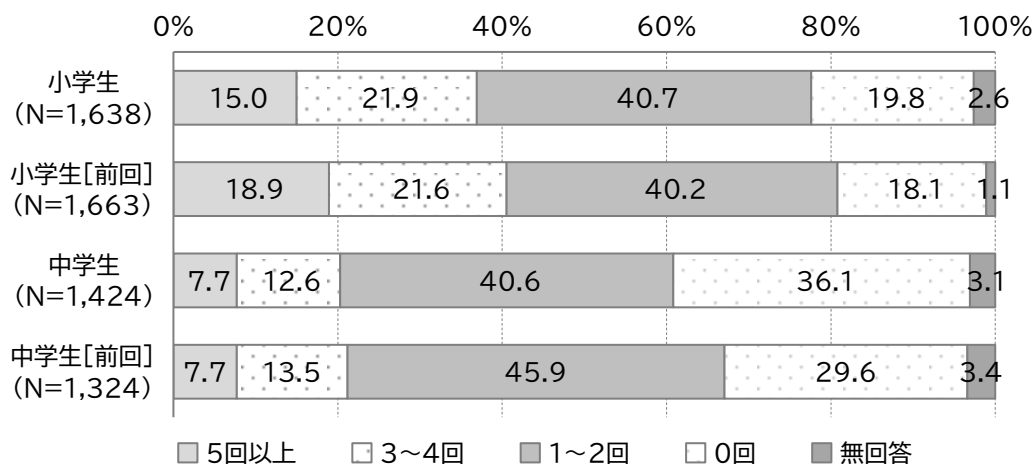
*ホール・美術館・映画館・旅行などで直接鑑賞することが対象です。

*学校の授業や遠足などは含みません。また、テレビ、CD、パソコン、図書などを見ることも含みません。

小学生では、「1～2回」が40.7%と最も多く、次いで「3～4回」が21.9%、「0回」が19.8%となっている。中学生では、「1～2回」が40.6%と最も多く、次いで「0回」が36.1%、「3～4回」が12.6%となっている。

この1年間で鑑賞・見学した(全体から「0回」と「無回答」を除いた割合)小・中学生は、小学生で77.6%、中学生で60.8%となっている。

前回と比べると、「0回」と回答した人の割合は、小・中学生(小学生18.1%→19.8%、中学生29.6%→36.1%)と増加している。

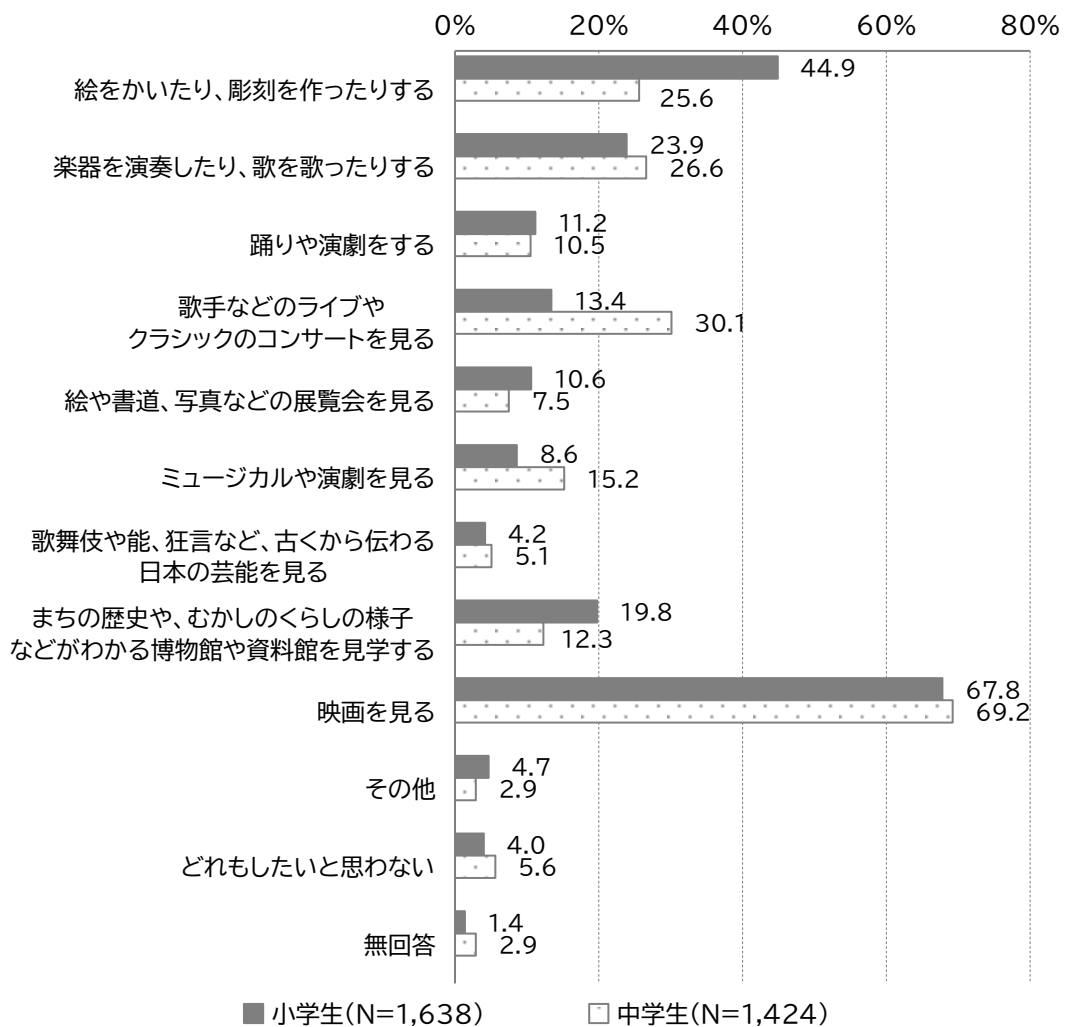


④文化鑑賞や文化活動の意向と内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 23	問 23			

問. あなたは、次のどのようなことをしたいと思いますか。(3つまで○)

小・中学生ともに「映画を見る」(小学生 67.8%、中学生 69.2%)が最も多く、この他に「絵をかいたり、彫刻を作ったりする」(小学生 44.9%、中学生 25.6%)「楽器を演奏したり、歌を歌ったりする」(小学生 23.9%、中学生 26.6%)が多くなっている。中学生においては、「歌手などのライブやクラシックのコンサートを見る」も 30.1%と多くなっている。

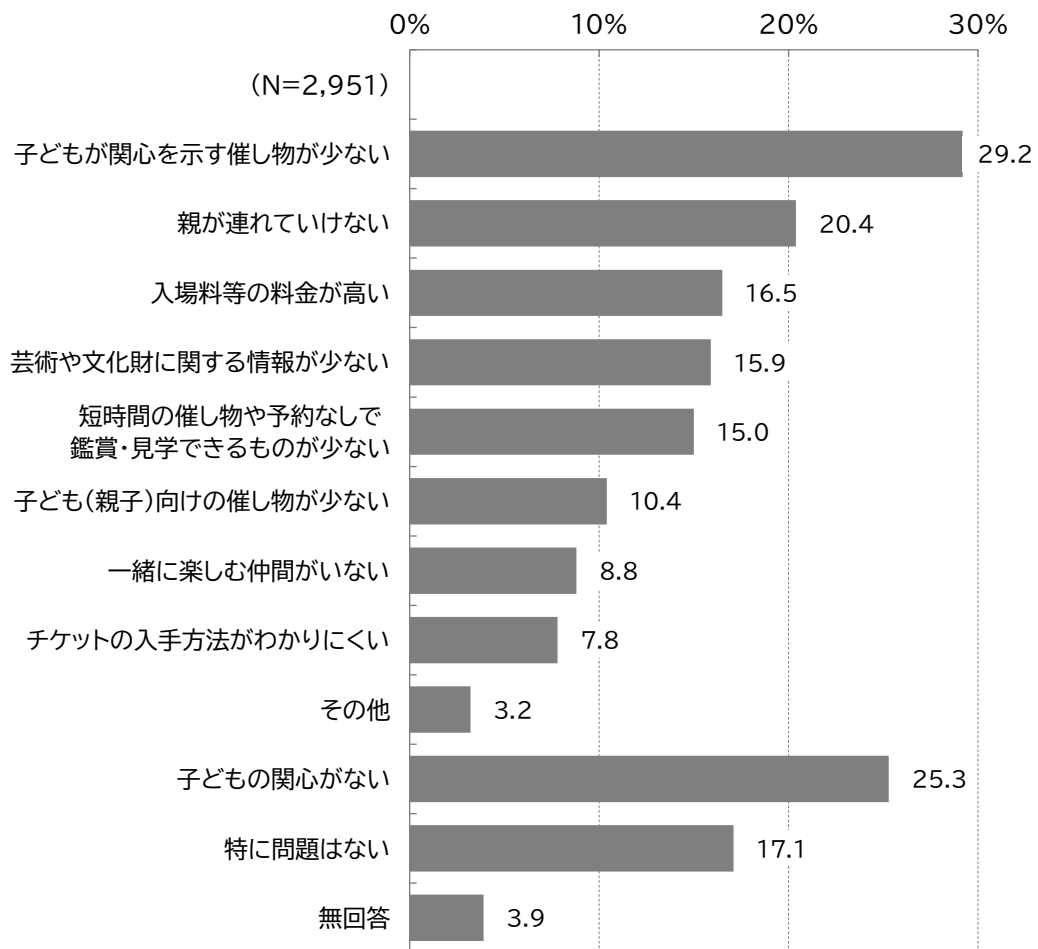


⑤子どもの文化鑑賞・活動などで困ること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 20		

問. お子さんに、芸術や文化財の鑑賞や見学をさせたり、文化活動（習い事やお稽古事を含む）を行わせたいと思ったときに、お困りのことはありますか。（3つまで○）

「子どもが関心を示す催し物が少ない」が 29.2%と最も多く、次いで「子どもの関心がない」が 25.3%、「親が連れていけない」が 20.4%となっている。

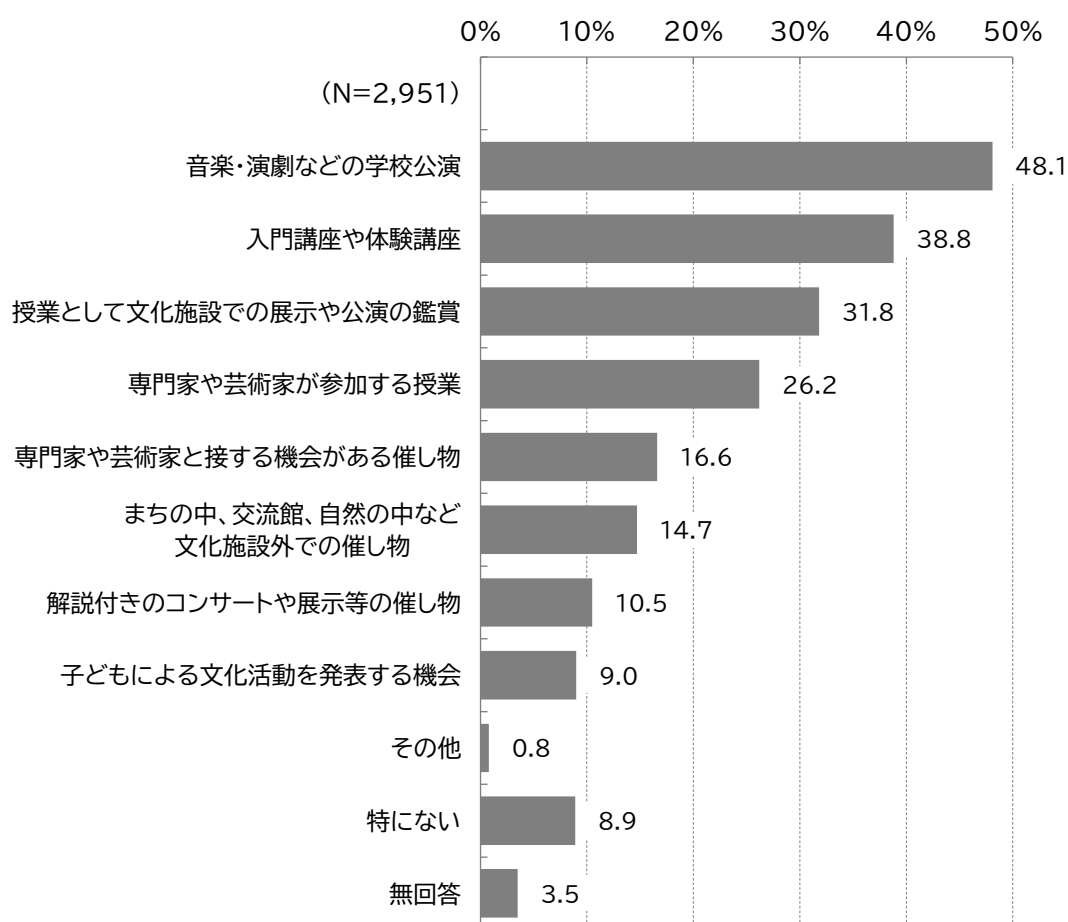


⑥充実していくとよい催しものや取組

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 21		

問. お子さんが参加しやすい芸術や文化財の催し物や取組として、今後、充実していくとよいと思うものは何ですか。(3つまで○)

「音楽・演劇などの学校公演」が48.1%と最も多く、次いで「入門講座や体験講座」が38.8%、「授業として文化施設での展示や公演の鑑賞」が31.8%となっている。



第7章 スポーツについて

1 するスポーツ

①運動・スポーツの実施状況と内容

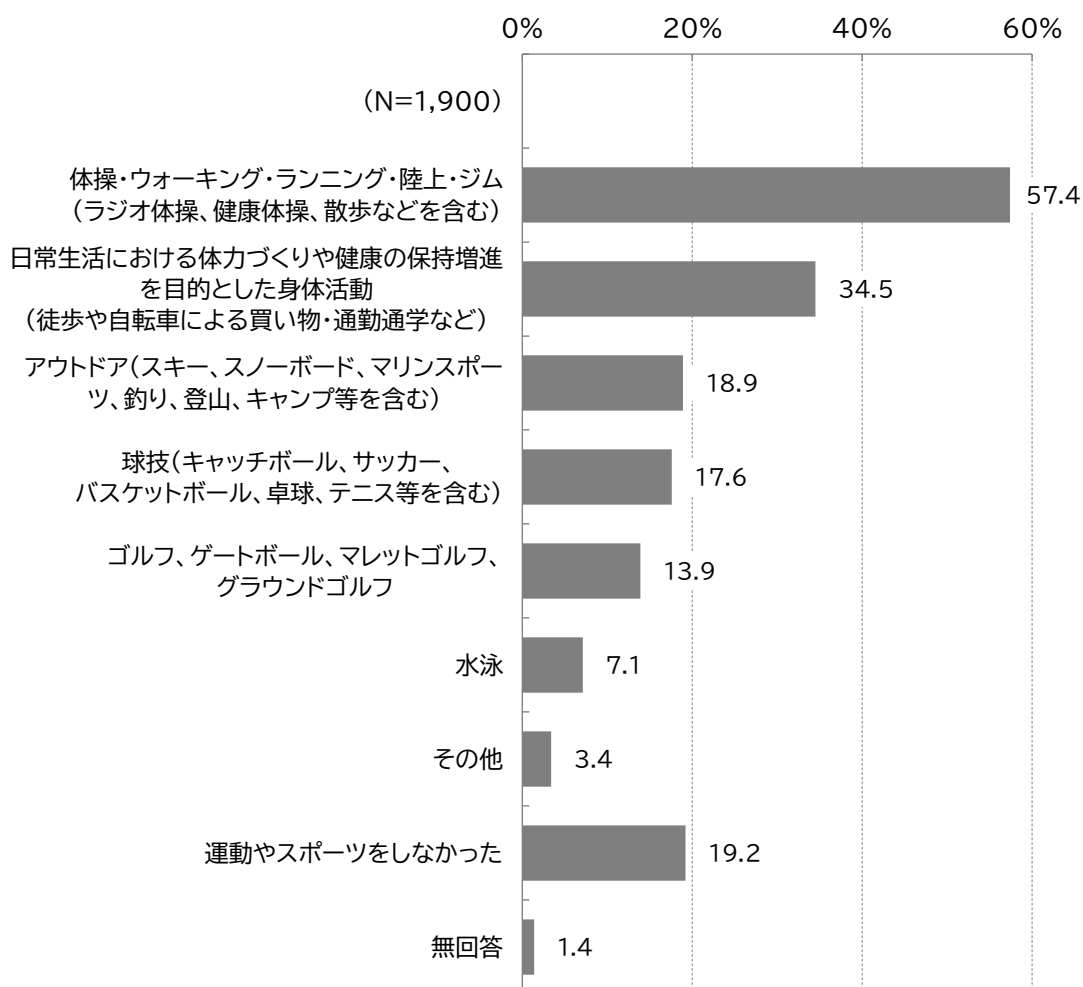
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 27					

問. あなたは、この1年間にどのような運動やスポーツをしましたか。

(あてはまるものすべてに○)

「体操・ウォーキング・ランニング・陸上・ジム（ラジオ体操、健康体操、散歩などを含む）」が57.4%と最も多く、次いで「日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動（徒歩や自転車による買い物・通勤通学など）」が34.5%、「運動やスポーツをしなかった」が19.2%となっている。

この1年間に運動やスポーツをした市民(全体から「運動やスポーツをしなかった」と「無回答」を除いた割合)は79.4%となっている。



②運動・スポーツの実施頻度

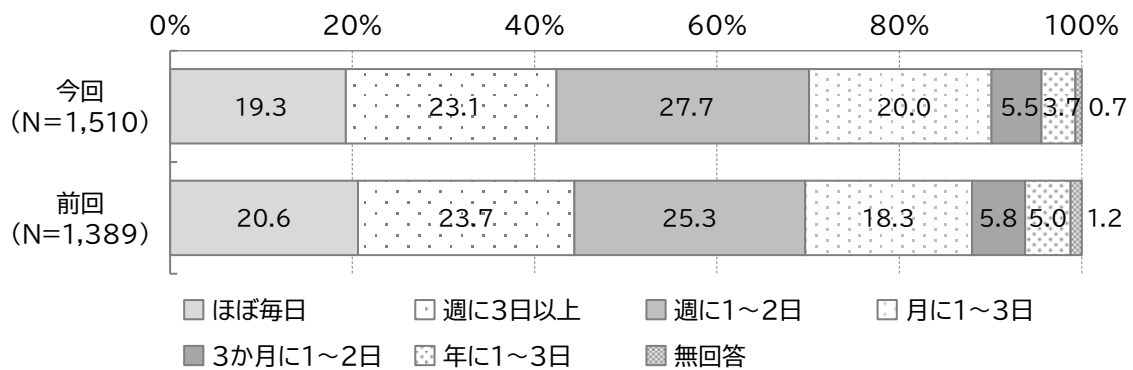
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 28					

※運動・スポーツの実施状況と内容で、運動やスポーツをしたと回答した方

問. 運動やスポーツをした日数を全部合わせると、どのくらいの頻度になりますか。
(1つに○)

「週に1～2日」が27.7%と最も多く、次いで「週に3日以上」が23.1%、「月に1～3日」が20.0%となっている。週に1日以上運動・スポーツをしている市民の割合は、「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1～2日」の合計70.1%に、この1年間に運動やスポーツをした市民の割合79.4%を乗じた55.7%となっている。

前回と比べると、「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1～2日」の合計に、大きな変化はみられない。



③運動・スポーツをする理由

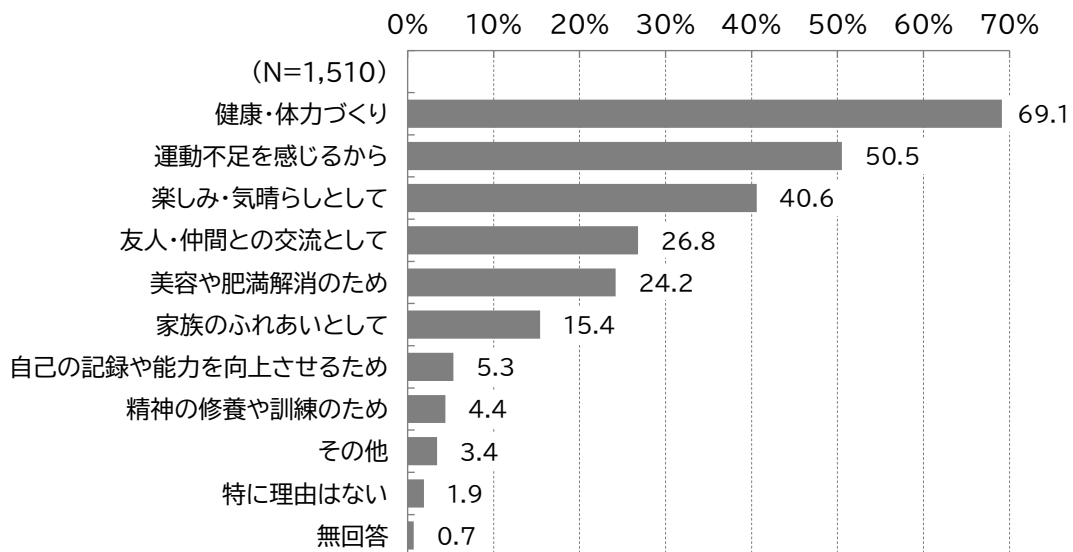
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 29					

※運動・スポーツの実施状況と内容で、運動やスポーツをしたと回答した方

問. 運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

「健康・体力づくり」が 69.1%と最も多く、次いで「運動不足を感じるから」が 50.5%、「楽しみ・気晴らしとして」が 40.6%となっている。



年齢別にみると、いずれの年齢層においても「健康・体力づくり」が最も多くなっている。特に 65～69 歳では、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

また「家族のふれあいとして」では、30～49 歳において、他の年齢層と比べて割合が高くなっている。

スポーツ

		健康・体力づくり	運動不足を感じる	楽しみ・気晴らし	友人・仲間との交流	美容や肥満解消のため	家族のふれあいとして	自己の記録や能力を向上させるため	精神の修養や訓練のため	その他	特に理由はない	無回答
%												
市民	20歳未満	45.8	28.8	40.7	23.7	8.5	5.1	11.9	3.4	11.9	15.3	1.7
	20～29歳	55.2	49.7	46.2	33.8	30.3	8.3	6.9	6.2	2.1	4.8	0.7
	30～39歳	62.1	50.7	40.8	20.9	34.6	31.3	5.2	6.6	4.7	1.4	0.0
	40～49歳	67.1	47.8	37.5	17.9	26.2	28.9	6.0	5.0	3.3	1.3	0.3
	50～59歳	73.8	52.9	39.8	20.5	30.7	13.5	2.9	3.3	4.1	0.8	0.8
	60～64歳	72.1	58.2	48.4	22.1	24.6	7.4	4.1	4.9	1.6	0.8	0.0
	65～69歳	83.2	56.2	42.3	35.0	18.2	4.4	3.6	2.9	2.2	0.0	0.7
	70～74歳	74.6	52.9	42.0	42.8	15.9	5.8	5.1	2.9	2.2	0.7	1.4
75歳以上	76.6	46.2	32.4	39.3	6.2	4.1	6.9	2.8	2.8	1.4	1.4	

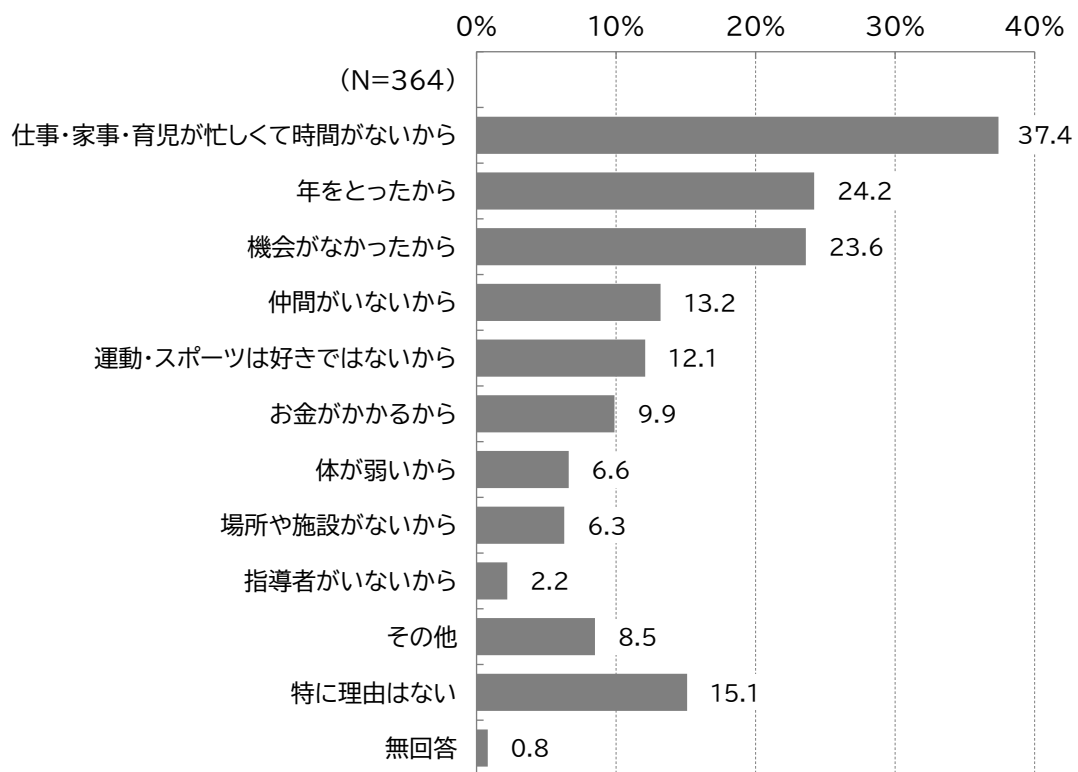
④運動・スポーツをしなかった理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 30					

※運動・スポーツの実施状況と内容で、運動やスポーツをしなかったと回答した方

問. この1年間に運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

「仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから」が37.4%と最も多く、次いで「年をとったから」が24.2%、「機会がなかったから」が23.6%となっている。



⑤子どもの学校以外での運動・スポーツの実施頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 24	問 24			

問. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つに○)

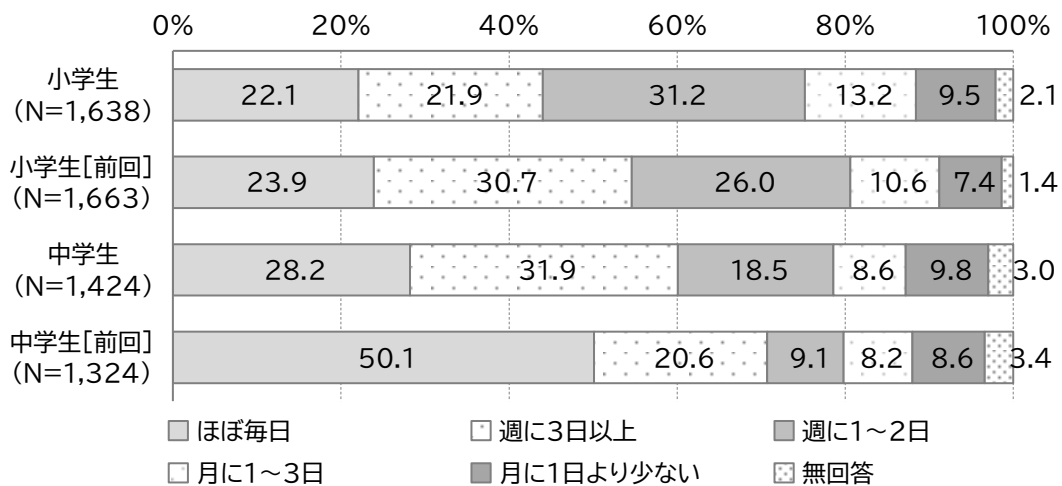
* 学校の体育の授業や行事は除きますが、学校の部活動や地域でのクラブ活動は含みます。

* 体操、ランニング、陸上、水泳、球技、武道、スキー、キャンプ、ダンスなどを含みます。

小学生では、「週に1～2日」が31.2%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が22.1%、「週に3日以上」が21.9%となっている。中学生では、「週に3日以上」が31.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が28.2%、「週に1～2日」が18.5%となっている。

週に1日以上運動・スポーツをしている(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1～2日」の合計)小学生は75.2%、中学生は78.6%となっている。

週に1日以上運動・スポーツをしている児童・生徒を前回と比べると、小学生(80.6%→75.2%)でやや減少、中学生(79.8%→78.6%)では大きな変化はみられない。



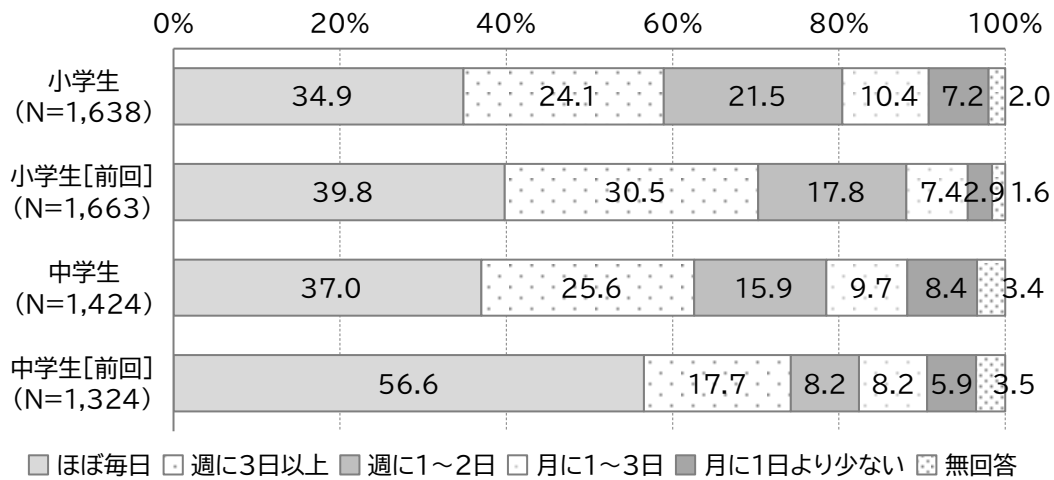
⑥子どもの軽い運動を加えたスポーツの実施頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 25	問 25			

問. 前問の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つに○)

小・中学生ともに、「ほぼ毎日」(小学生 34.9%、中学生 37.0%)が最も多く、次いで「週に3日以上」(小学生 24.1%、中学生 25.6%)、「週に1～2日」(小学生 21.5%、中学生 15.9%)となっている。

前回と比べると、中学生において「ほぼ毎日」と回答した人の割合が、大幅に減少している。

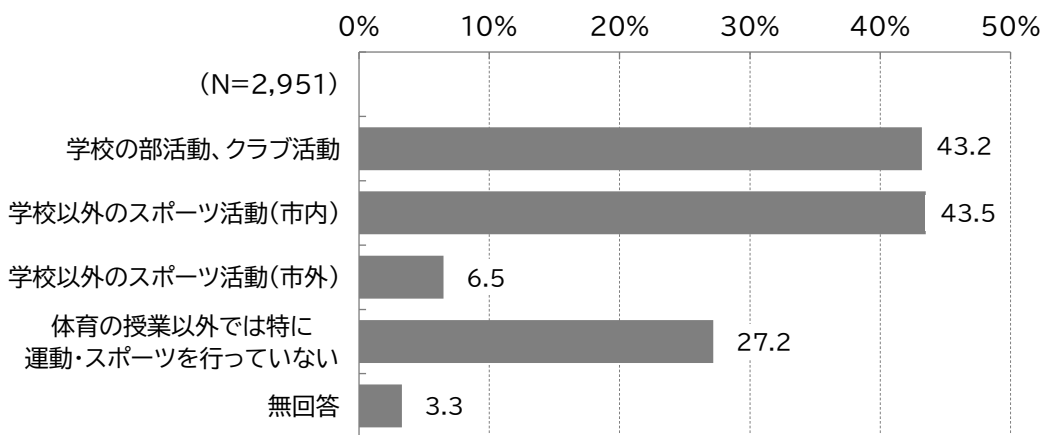


⑦子どもの学校以外での運動・スポーツの実施状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 22		

問. あなたのお子さんは、この1年間に運動・スポーツを学校での体育の授業以外で、どのようなところで取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

「学校以外のスポーツ活動(市内)」が43.5%と最も多く、次いで「学校の部活動、クラブ活動」が43.2%、「体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない」が27.2%となっている。



学校別にみると、小学校では「学校以外のスポーツ活動(市内)」、中学校では「学校の部活動、クラブ活動」が最も多くなっている。

		学校の部活動、クラブ活動 (%)	学校以外(市内)のスポーツ (%)	学校以外(市外)のスポーツ (%)	体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない (%)	無回答 (%)
保護者	小学校	29.2	54.7	6.6	28.3	3.2
	中学校	59.9	30.9	6.5	25.9	2.8

2 みるスポーツ

①スポーツの観戦状況

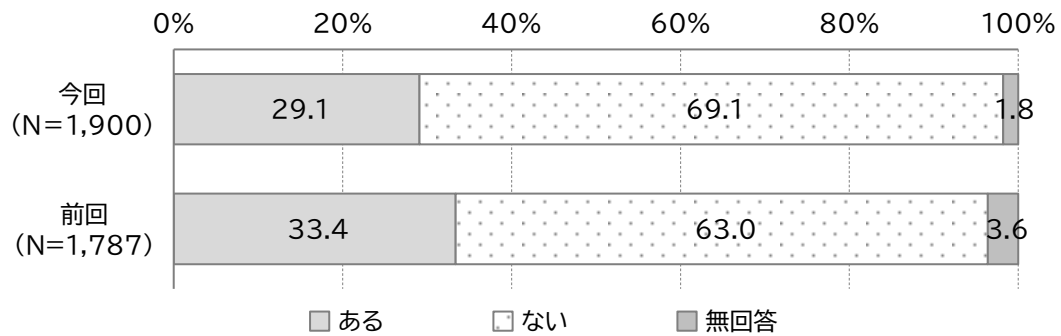
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 32	問 26	問 26			

【市民】

問. あなたはこの1年間に直接スポーツの試合・イベントを観たことがありますか。
(1つに○)

*プロや実業団のスポーツの試合、マラソンや駅伝、少年スポーツなど

「ある」が29.1%、「ない」が69.1%となっている。
前回と比べると、「ある」の割合は減少している。



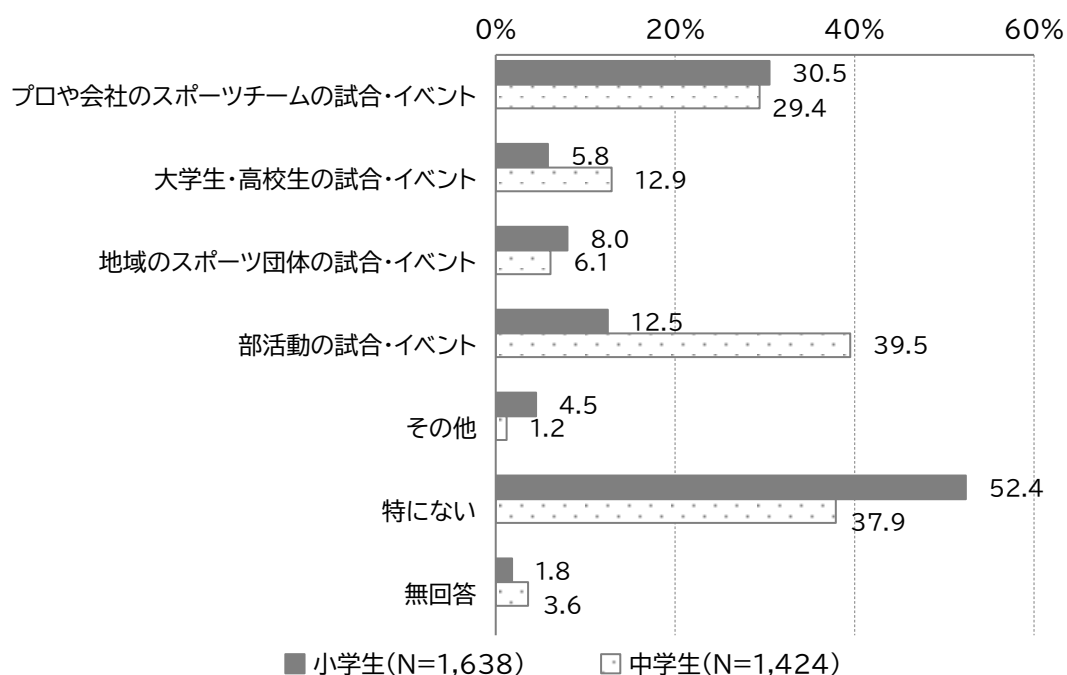
【小学生・中学生】

問. この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

*体操、陸上、水泳、球技、武道、格闘技、ウィンタースポーツ、ダンスなどを含みます。

小学生では、「特にない」が52.4%と最も多く、次いで「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」が30.5%、「部活動の試合・イベント」が12.5%となっている。中学生では、「部活動の試合・イベント」が39.5%と最も多く、次いで「特にない」が37.9%、「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」が29.4%となっている。

この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがある(「全体」から「特にない」と「無回答」を除いた割合)は、小学生で45.8%、中学生で58.5%となっており、前回と比べると、小・中学生(小学生61.0%→45.8%、中学生68.7%→58.5%)ともに減少している。



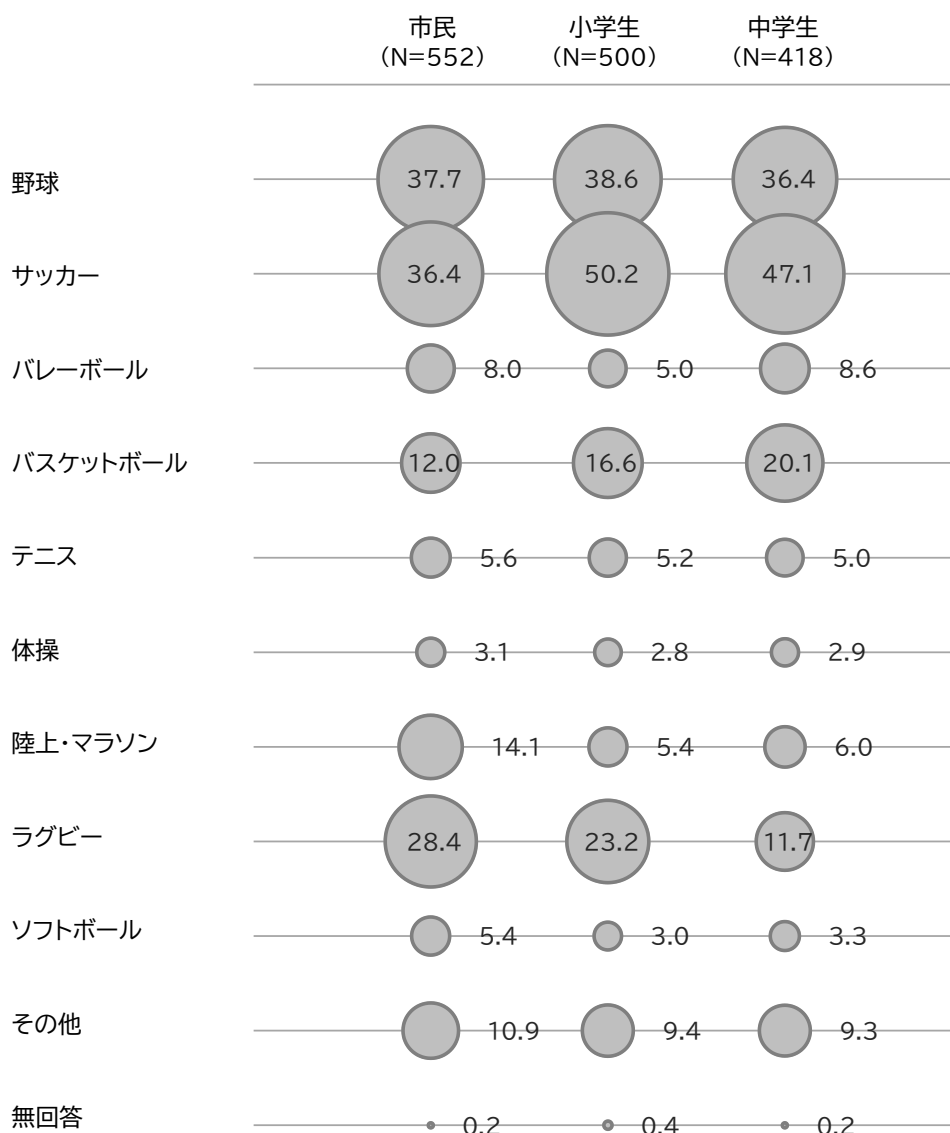
	小学生		中学生	
	今回 (N=1,638)	前回 (N=1,663)	今回 (N=1,424)	前回 (N=1,324)
プロや会社のスポーツチームの試合・イベント	30.5	34.9	29.4	39.1
大学生・高校生の試合・イベント	5.8	12.2	12.9	17.6
地域のスポーツ団体の試合・イベント	8.0	12.1	6.1	7.9
部活動の試合・イベント	12.5	32.3	39.5	52.8
その他	4.5	4.0	1.2	1.2
特にない	52.4	37.9	37.9	30.4
無回答	1.8	1.1	3.6	0.9

②観戦した種目

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 33	問 27	問 27			

※スポーツの観戦状況で、プロや実業団のスポーツの試合・イベントを観たことがあると回答した方問. 試合・イベントで観たスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

市民、小学生、中学生のいずれにおいても、「野球」(市民 37.7%、小学生 38.6%、中学生 36.4%)、「サッカー」(市民 36.4%、小学生 50.2%、中学生 47.1%)が多くなっている。この他には、市民、小学生では「ラグビー」、中学生では「バスケットボール」が多くなっている。



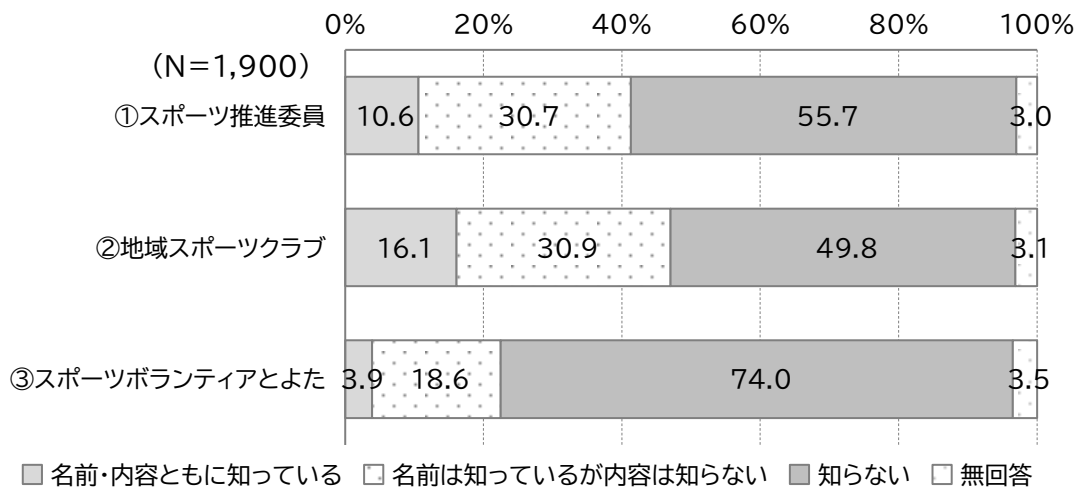
3 支えるスポーツ

①スポーツ推進委員等の認知度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 31					

問. あなたは、次のことをご存知ですか。(それぞれ1つに○)

いずれの項目においても、「知らない」の割合が高くなっている。「名前・内容ともに知っている」をみると、③スポーツボランティアとよたについては、特に少ない結果となっている。



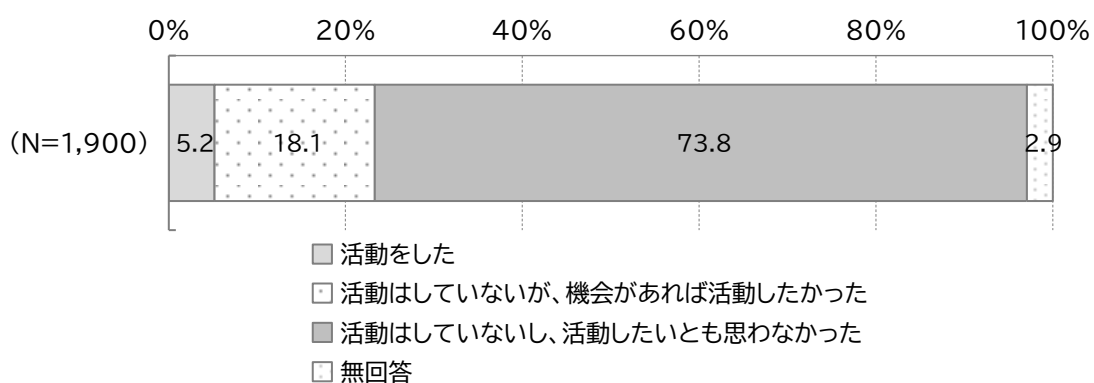
② ボランティア活動等への参加状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 35					

問. この1年間にスポーツを支える活動をしたことがありますか。(1つに○)

* コーチ、審判、大会運営、団体運営、スポーツ施設の管理などスポーツに関わる活動を指します。(報償があるもの、ボランティア活動のもの、いずれも含まれます。)

「活動はしていないし、活動したいとも思わなかった」が73.8%と最も多く、次いで「活動はしていないが、機会があれば活動したかった」が18.1%、「活動をした」が5.2%となっている。



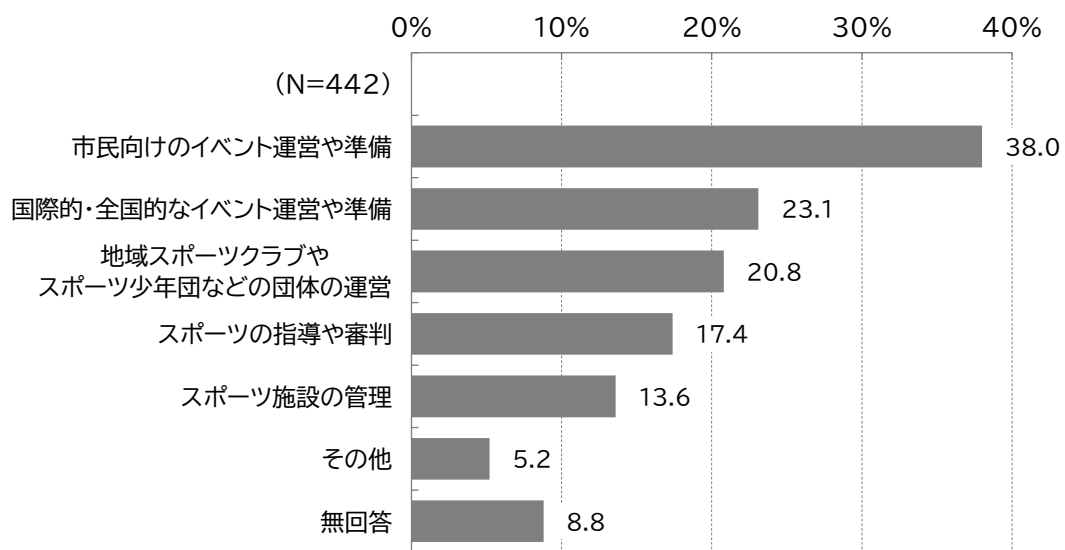
③参加した/参加したいボランティア活動等の内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 36					

※ボランティア活動等への参加状況で、「活動をした」「活動はしていないが、機会があれば活動したかった」と回答した方

問. 具体的にはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

「市民向けのイベント運営や準備」が 38.0%と最も多く、次いで「国際的・全国的なイベント運営や準備」が 23.1%、「地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの団体の運営」が 20.8%となっている。

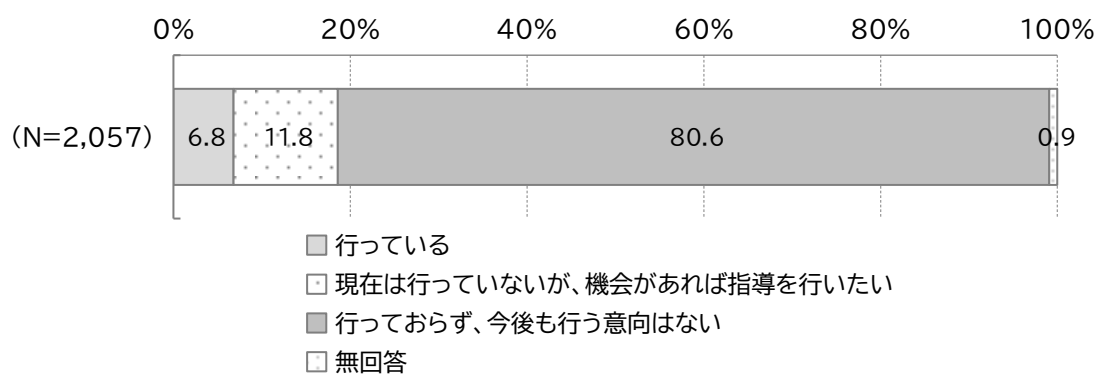


④ 学校以外でのスポーツ指導の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 19	

問. 体育の授業や部活動以外で、業務時間外に地域のクラブなどでスポーツの指導を行っていますか。(1つに○)

「行っておらず、今後も行おう意向はない」が80.6%と最も多く、次いで「現在は行っていないが、機会があれば指導を行いたい」が11.8%、「行っている」が6.8%となっている。



4 スポーツ振興に向けて

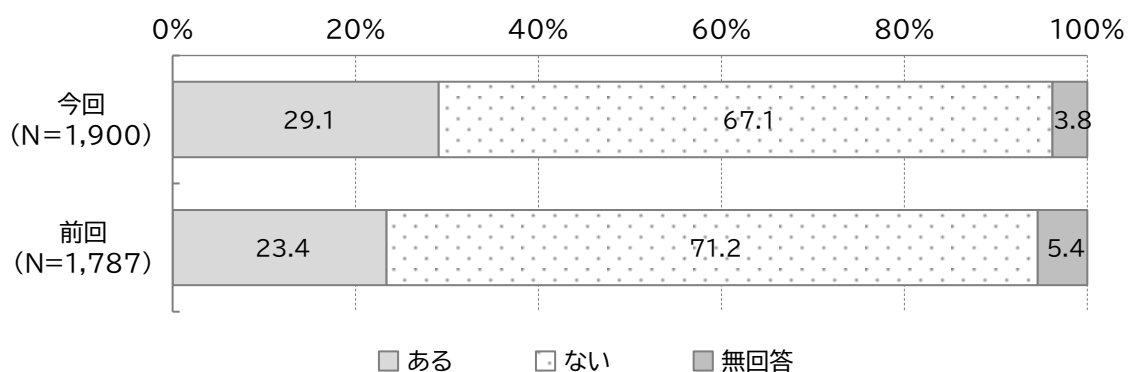
①運動・スポーツに関する情報

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 37					

問. あなたは運動やスポーツをする上で、情報不足のために不便に思ったことがありますか。(1つに○)

「ある」が29.1%、「ない」が67.1%となっている。

前回と比べると、「ある」の割合が増加している。

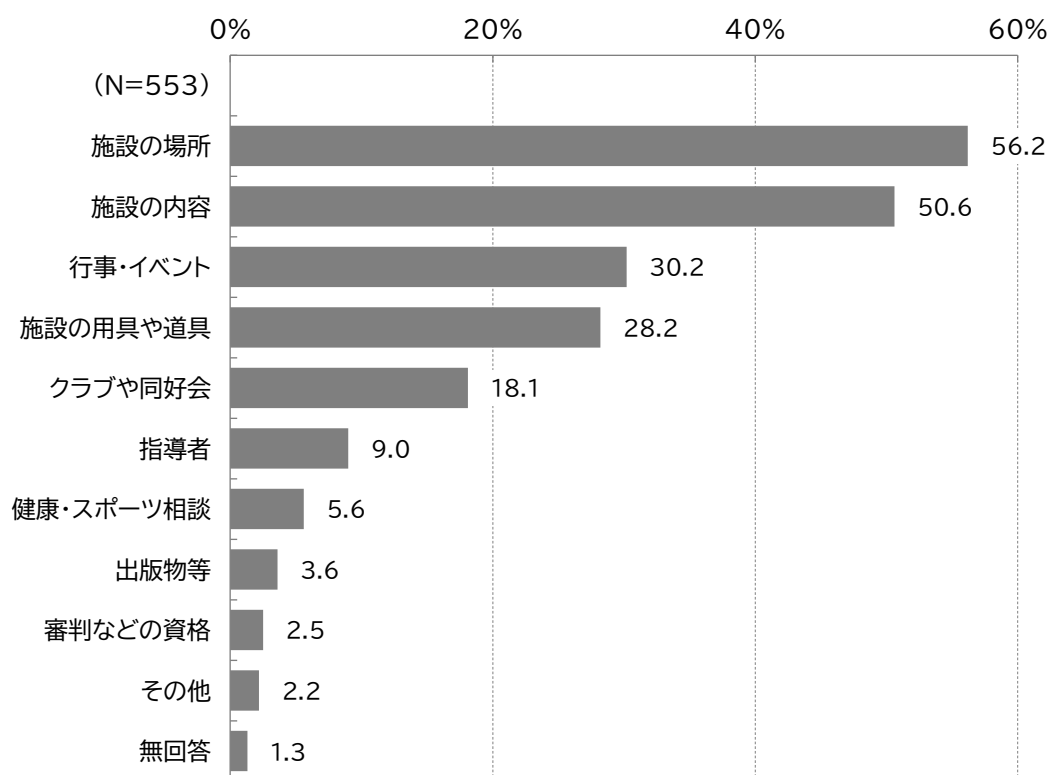


②情報不足を感じた内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 38					

※運動・スポーツに関する情報で、「情報不足のために不便に思ったことがある」と回答した方
問. 情報不足を感じたのは、どのようなことに関してですか。(3つまで○)

「施設の場所」が56.2%と最も多く、次いで「施設の内容」が50.6%、「行事・イベント」が30.2%となっている。

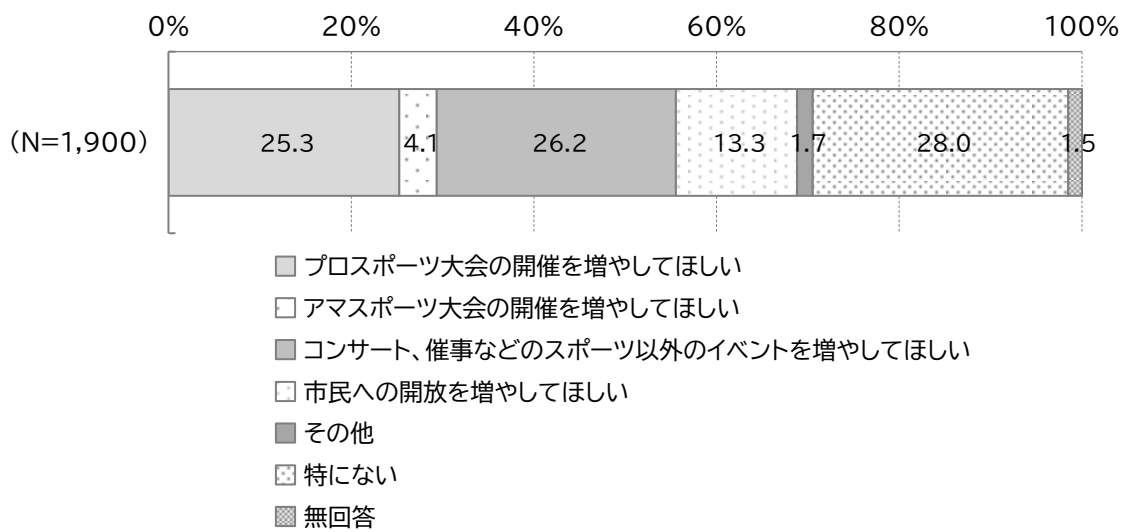


③ 豊田スタジアム等の利活用

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 34					

問. あなたは、豊田スタジアム、スカイホール豊田の利活用について、どのように思いますか。(1つに○)

「特にない」が28.0%と最も多く、次いで「コンサート、催事などのスポーツ以外のイベントを増やしてほしい」が26.2%、「プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい」が25.3%となっている。

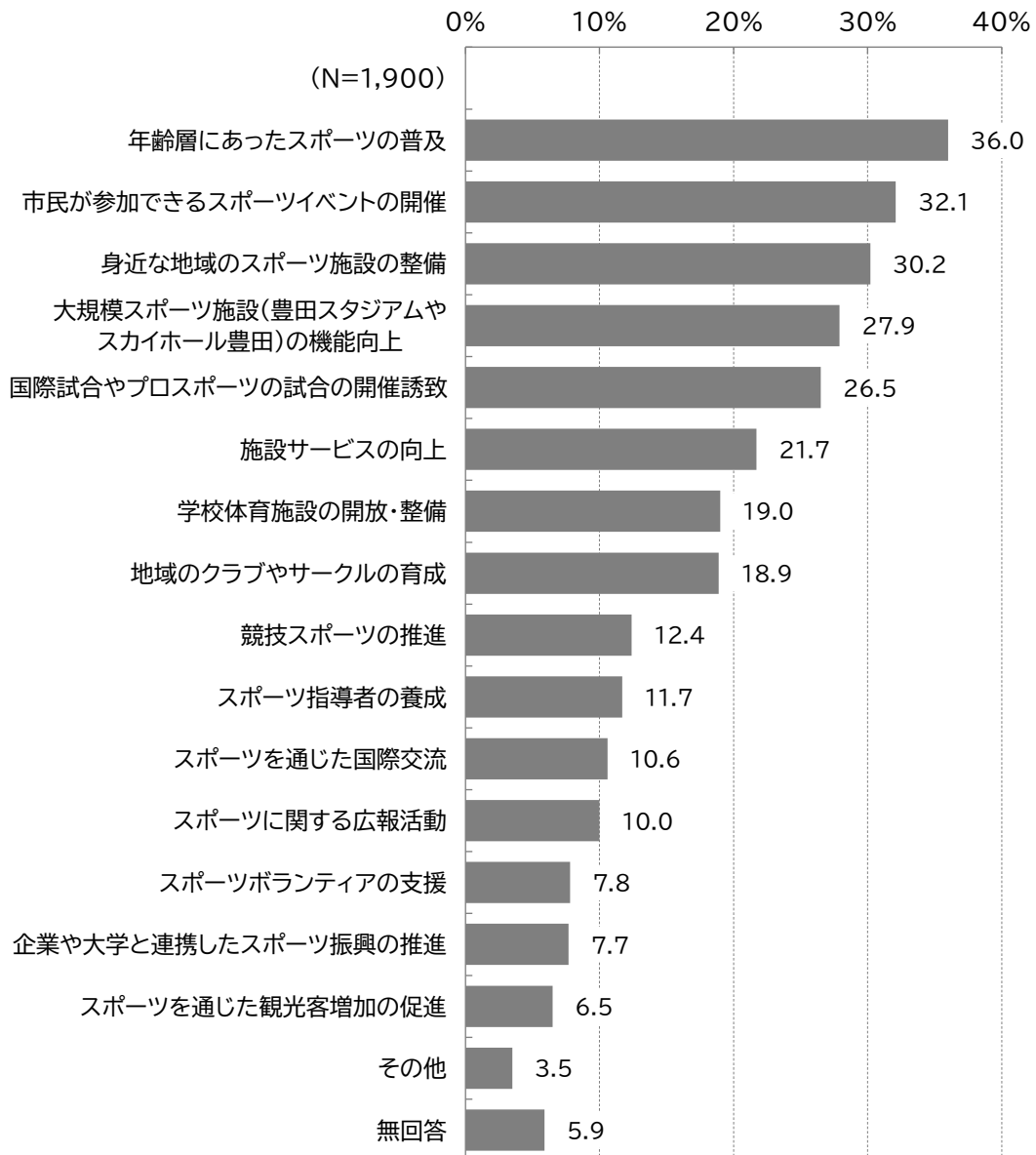


④市が力を入れるべきこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 39					

問. 運動やスポーツに関して、豊田市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(5つまで○)

「年齢層にあったスポーツの普及」が36.0%と最も多く、次いで「市民が参加できるスポーツイベントの開催」が32.1%、「身近な地域のスポーツ施設の整備」が30.2%となっている。



第8章 教育行政について

1 教育委員会による学校支援

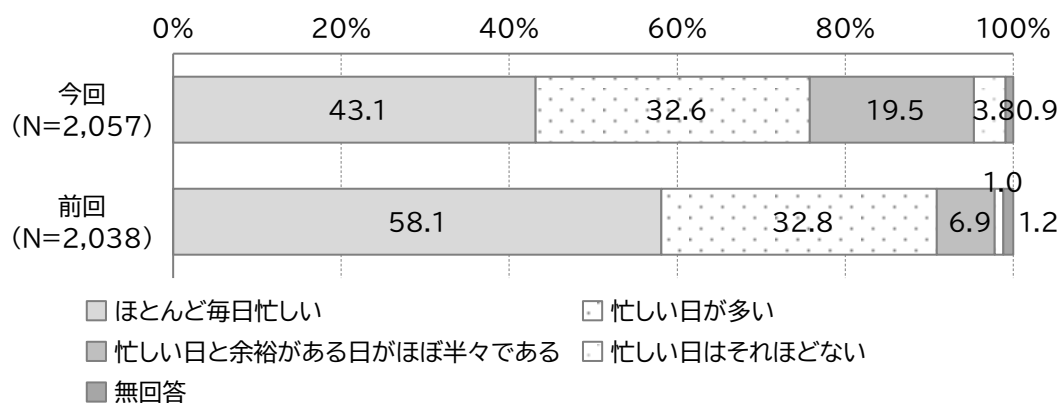
①職務上の多忙感

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 20	

問. あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。
(1つに○)

「ほとんど毎日忙しい」が43.1%と最も多く、次いで「忙しい日が多い」が32.6%、「忙しい日と余裕がある日がほぼ半々である」が19.5%となっている。

前回と比べると、「ほとんど毎日忙しい」と回答した人の割合は、58.1%から43.1%と減少している。



年齢別にみると、29歳以下、60歳以上では「忙しい日が多い」、30～59歳では「ほとんど毎日忙しい」が最も多くなっている。

学校別にみると、小・中学校ともに「ほとんど毎日忙しい」が最も多くなっている。

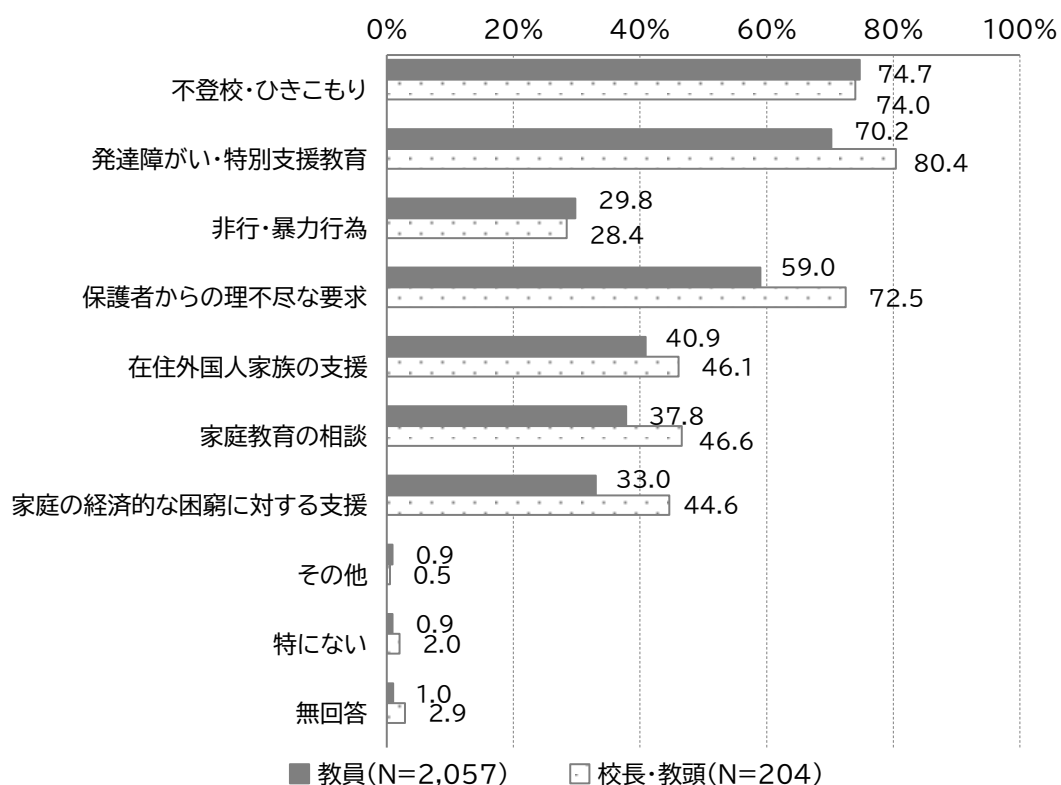
	%	ほとんど毎日忙しい	忙しい日が多い	半が忙しい日もあるが余裕	ほとんど忙しい日はそれほど	無回答
		%	%	%	%	%
教員	29歳以下	33.2	39.6	23.3	3.6	0.3
	30～39歳	46.0	28.3	22.0	3.3	0.4
	40～49歳	53.4	30.5	13.7	2.2	0.2
	50～59歳	52.0	32.1	13.8	2.1	0.0
	60歳以上	27.3	28.1	27.3	17.2	0.0
	小学校	46.0	33.0	16.5	3.5	1.0
	中学校	36.6	33.3	25.3	4.1	0.7

②教育委員会の専門的な支援

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 21	問 19

問. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

教員、校長・教頭ともに「不登校・ひきこもり」(教員 74.4%、校長・教頭 74.0%)、「発達障がい・特別支援教育」(教員 70.2%、校長・教頭 80.4%)、「保護者からの理不尽な要求」(教員 59.0%、校長・教頭 72.5%)が多くなっている。



学校別にみると、小学校では「発達障がい・特別支援教育」、中学校では「不登校・ひきこもり」が最も多くなっている。特に「発達障がい・特別支援教育」においては、小・中学校で 16.1 ポイントの差がみられる。

		不登校・ひきこもり	発達障がい・特別支援教育	非行・暴力行為	保護者からの理不尽な要求	在住外国人家族の支援	家庭教育の相談	家庭の経済的な困窮に対する支援	その他	特にない	無回答
%											
教員	小学校	73.9	76.3	33.9	59.5	43.4	41.7	32.8	0.5	0.9	1.1
	中学校	77.1	60.2	23.0	56.9	36.0	31.2	32.8	1.6	1.1	0.7

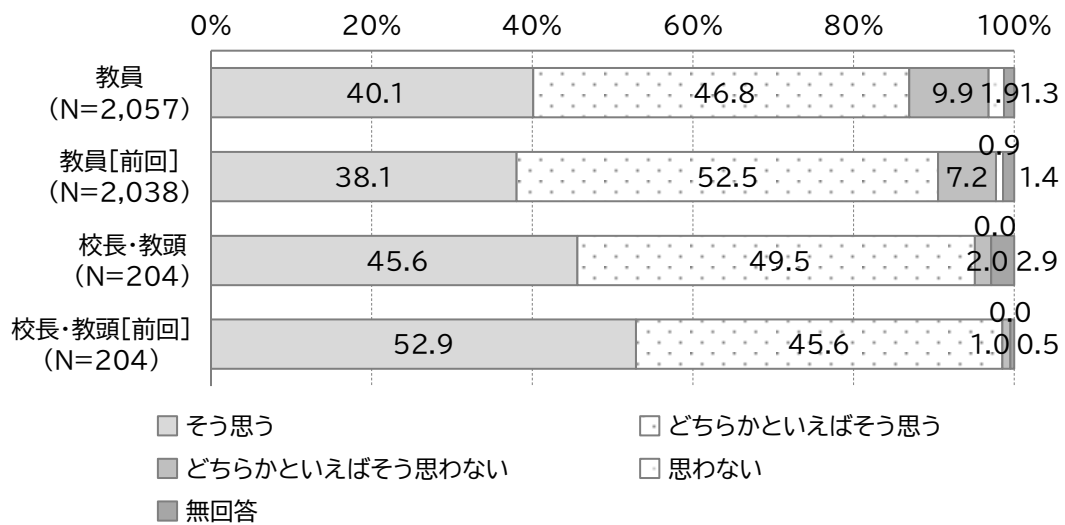
③学校の組織的な対応

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 22	問 20

問. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思いますか。
(1つに○)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、教員で86.9%、校長・教頭で95.1%となっている。

前回と比べると、教員、校長・教頭のどちらにおいても、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合(教員90.6%→86.9%、校長・教頭98.5%→95.1%)は減少している。



2 教育情報や計画の推進

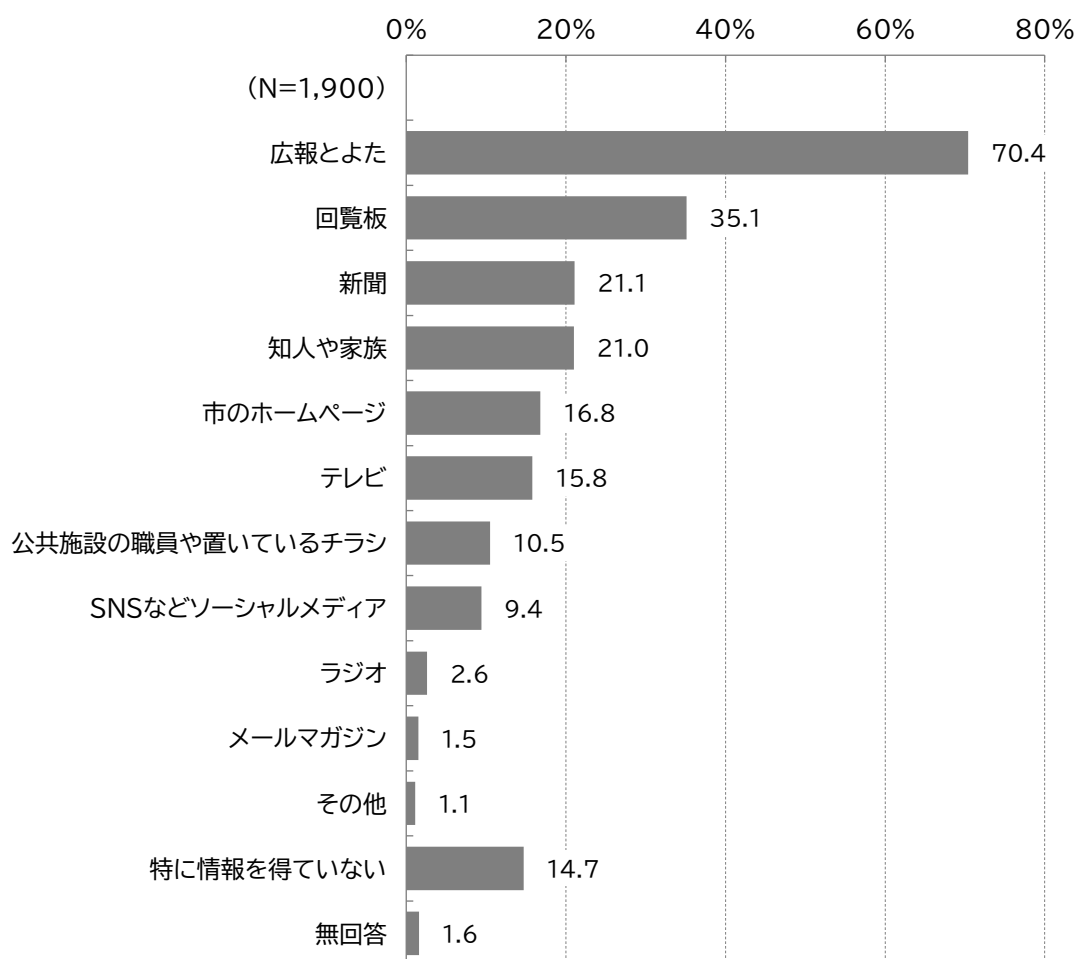
①市内の教育行政情報の入手方法

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 40					

問. あなたは、ここ3年間で、市内の教育行政の情報について、どのような手段で得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

* 学校教育、家庭教育、文化、スポーツなどが対象です。

「広報とよた」が70.4%と最も多く、次いで「回覧板」が35.1%、「新聞」が21.1%となっている。

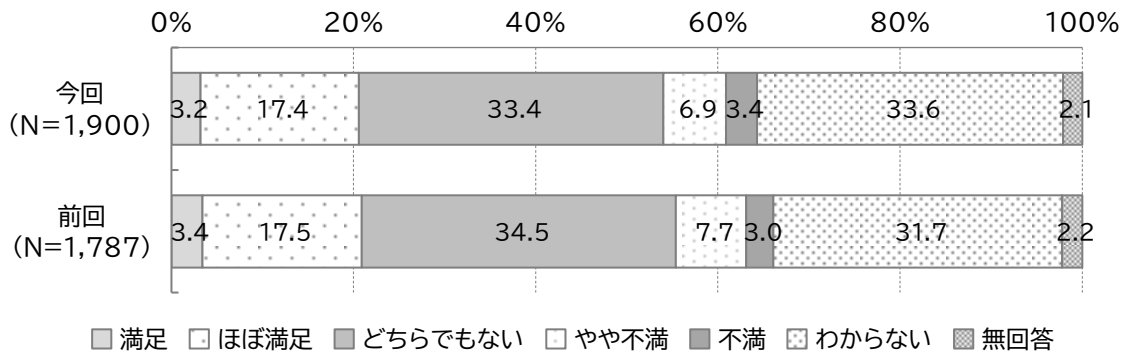


②教育行政の情報提供の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 41					

問. あなたは、本市の教育行政全般にかかる市民への各種情報の提供について、満足していますか。(1つに○)

「満足」「ほぼ満足」の合計が 20.6%、「やや不満」「不満」の合計が 10.3%となっている。前回と比べると、大きな変化はみられない。

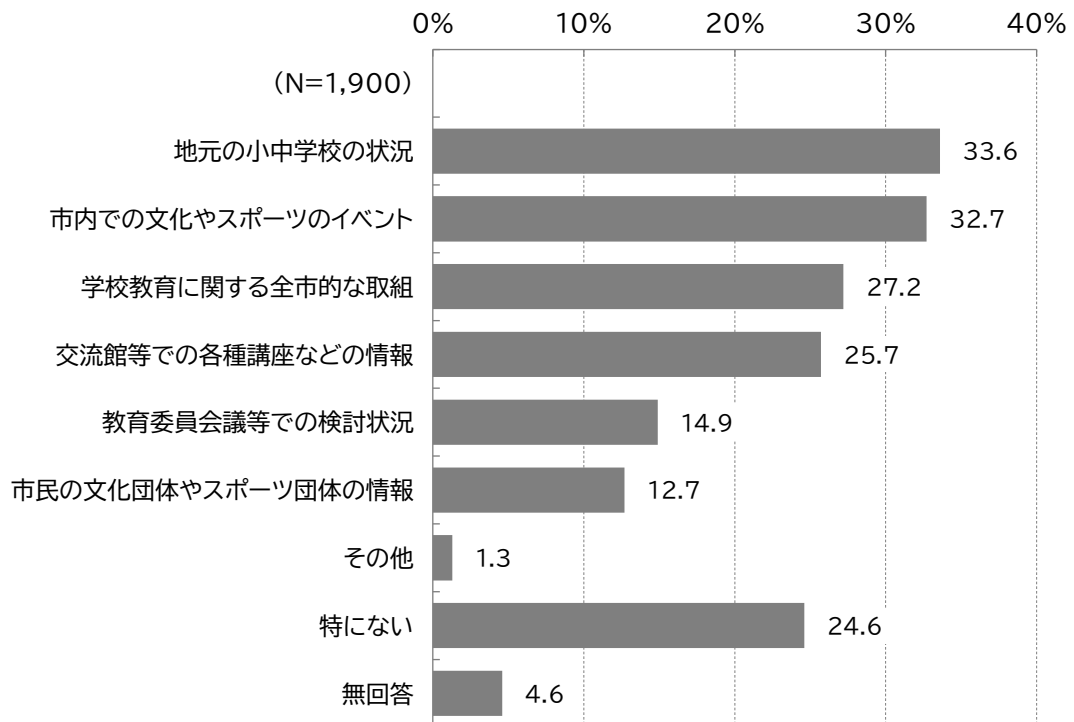


③ 今後提供すべき教育行政の情報

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 42					

問. 今後、教育行政に関するどのような内容の情報をもっと提供すべきだと思いますか。
(3つまで○)

「地元の小中学校の状況」が33.6%と最も多く、次いで「市内での文化やスポーツのイベント」が32.7%、「学校教育に関する全市的な取組」が27.2%となっている。



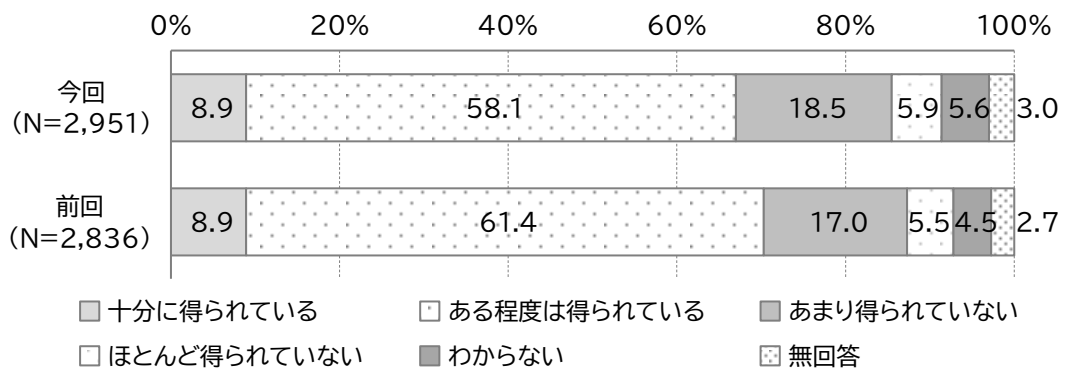
④学校からの情報提供の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 23		

問. あなたは、学校の教育方針や学校でのお子さんの様子などの情報を十分に得られていると思いますか。(1つに○)

「十分に得られている」「ある程度は得られている」の合計が67.0%、「あまり得られていない」「ほとんど得られていない」の合計が24.4%となっている。

「十分に得られている」と回答した保護者は、前回と同様8.9%にとどまっており、「十分に得られている」「ある程度は得られている」の合計は減少している。

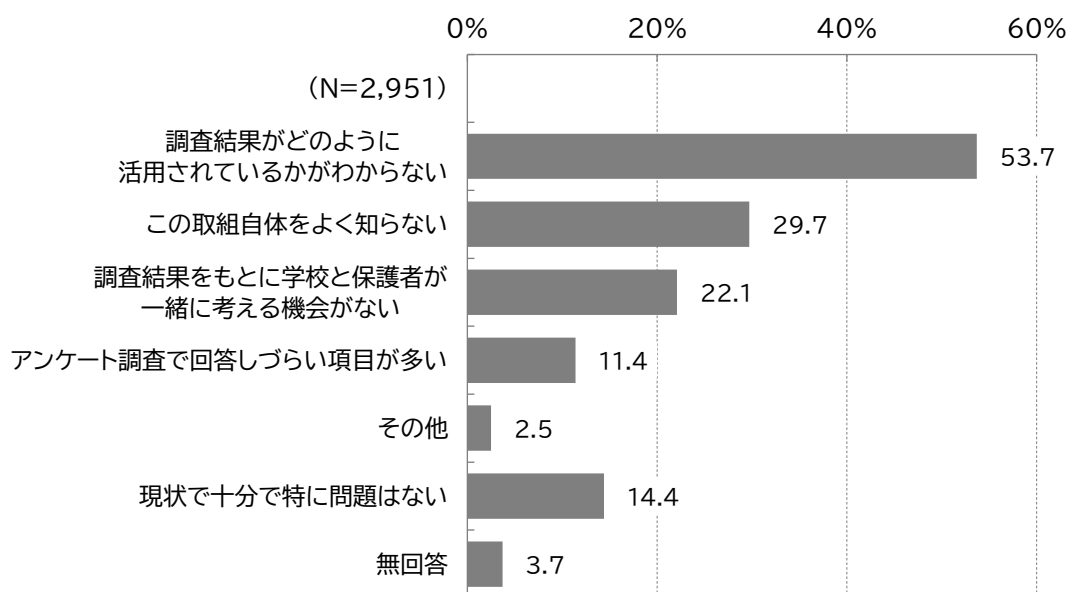


⑤ 学校評価の課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 24		

問. 本市では、保護者やお子さんからの学校評価を各学校の運営に生かしていますが、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

「調査結果がどのように活用されているかがわからない」が53.7%と最も多く、次いで「この取組自体をよく知らない」が29.7%、「調査結果をもとに学校と保護者が一緒に考える機会がない」が22.1%となっている。



豊田市民の皆様へ

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本市では、平成30年3月に教育の総合的な計画である「第3次豊田市教育行政計画」を策定し、それに基づき施策を展開して参りました。

本計画は令和3年度で計画期間の最終年度を迎えるため、数値目標の達成度の検証と、新しい計画策定に向けた課題把握を行う必要があります。そうしたことから、市民の皆様、児童・生徒（小学生・中学生）とその保護者の皆様、教員、校長・教頭を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。つきましては、市内にお住まいの16歳以上の方の中から、3,700人を無作為に選ばせていただき、調査票を送らせていただきました。

このたびの新型コロナウイルス感染症拡大を受け、これまでとは違う生活に不安を感じ、落ち着かない日々が続いていることかと思えます。このような大変な状況において恐縮ではございますが、今後の豊田市の教育行政をより良くしていくための基礎資料となりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年7月
豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司



*「第3次豊田市教育行政計画」は、豊田市のホームページからご覧いただけます。

<調査の取扱い>

- お名前は書かないでください。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

<ご記入に当たってのお願い>

- 回答は、この調査票が送られたご本人が記入してください。ご本人が回答できない場合は、ご家族などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重してご家族などによる代理回答*をお願いします。（※代理回答の場合は、判断できる設問のみご回答ください。）
- 各設問とち、当てはまる番号に○を付けてください。
- 「その他（ ）に○を付けた場合は、（ ）の中にその具体的な内容を記入してください。
- 設問中の「学校」とは、特に断りがなければ「小中学校」を指します。

<調査票の返信>

- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和2年8月21日（金）までに**ご投函ください。（切手不要）

<問合せ先>
豊田市教育委員会 教育部 教育政策課（計画担当）
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前8時30分～午後5時15分）

豊田市の教育に関するアンケート調査

1. 学校教育について

問1. あなたは、学校が児童・生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があるかと思えますか。（3つまで○）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 基礎的な知識や技能 | 6. 様々な考えをもつ人と協力して行動する力 |
| 2. 自立心やたくましさ | 7. 思いやりや優しさなどの心 |
| 3. 生きる指針や夢 | 8. ルールや決まりを守ること |
| 4. 一人ひとりの個性 | 9. 自分で考え、判断する力 |
| 5. 創造力（アイデア、発想力） | 10. その他（ ） |

問2. 現在の学校教育について、どのような問題があるかと思えますか。（5つまで○）

- | |
|--|
| 1. 子どもの基礎的な学力が低下している |
| 2. 進学中心の教育にかたよっている |
| 3. 子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい |
| 4. いじめ、学級崩壊などの問題行動や不登校の子どもの多い |
| 5. 教師の立場が弱すぎる |
| 6. 指導力不足の教師が増えてきている |
| 7. 教師が多忙すぎる |
| 8. 1学級の人数が多い *現在の小中学校1クラスの人数は32~40人です。 |
| 9. 道徳教育やこころの教育が十分でない |
| 10. オンライン授業やICT教育が進んでいない |
| 11. 学校と地域との連携が十分でない |
| 12. 学校に仕上げなどを頼りすぎている |
| 13. その他（ ） |
| 14. 特に問題はない |

問3. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思えますか。（2つまで○）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. ものづくり・科学 | 6. 国際化・多文化共生 |
| 2. 環境 | 7. 地域の伝統や歴史 |
| 3. 福祉 | 8. 運動・スポーツ |
| 4. 情報 | 9. その他（ ） |
| 5. キャリア教育（人生設計・職業体験） | 10. わからない |

市民 1

問4. 学校と地域の連携について、どのような考え方が重要だと思いますか。(3つまで○)

1. 学校の運営や経営に地域の人に参加する	
2. 地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く	
3. 学校の授業参観や行事などに地域の人が見学しやすくなる	
4. 学校の施設を地域に開放する	
5. 学校と地域の施設を隣接させ、人の行き来をしやすくする	
6. 児童・生徒を地域活動や地域の行事に参加させる	
7. 登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める	
8. その他 ()	
9. 特に必要はない	

問5. 次の行事・活動の中で、今後、あなたが学校等と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. P T A活動	9. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
2. 授業の準備や補助	10. 学校行事の事前準備や片付けの協力
3. 給食や休み時間における対応	11. 学校の教育活動に対する意見・感想
4. 部活動の指導・補助	12. 学校公開日や授業参観への参加
5. 登下校など子どもの安全管理	13. 学校外での地域活動体験の手伝い
6. 非行防止や生徒指導への協力	14. その他 ()
7. 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	15. 特に協力や参加したいことはない
8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ	

問6. 新しい生活様式として、オンラインでの会議や授業が進んでいます。子どもがオンラインを通して他者とコミュニケーションをとる場合のメリットとデメリットについて、どのように思いますか。(あなたの考えに近いものを5つまで○)

メリット	デメリット
1. 休校等があっても授業が進められる	7. 生活のリズムが乱れる
2. SNS等コミュニケーション機会の増加	8. 個人情報の漏洩
3. 移動に係る時間やお金の減少	9. SNS等によるいじめや犯罪の増加
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病気やケガをする機会が減る	11. 体力や視力の低下
6. その他 ()	12. その他 ()

※SNSとは、利用者が情報を発信し、形成していくメディア(ツイッター、フェイスブック、ラインを含みます)のことです。

2. 地域ぐるみの教育について

問7. あなたは、どのくらい近所の子どと会話をしますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日話す	4. 1年に数回程度、話す
2. 1週間に数回程度、話す	5. ほとんど話さない
3. 1か月に数回程度、話す	

問8. 家庭や地域の教育について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

	満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
① 家庭	1	2	3	4	5	6
② 地域	1	2	3	4	5	6

問9. 本市では地域ぐるみでの子ども教育に取り組んでいます。あなたが暮らす地域では、地域ぐるみの教育ができていますか。(1つに○)

1. できている	4. できていない
2. どちらかといえばできている	5. よくわからない
3. どちらかといえばできていない	

問10. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで記入)

1. 基本的な生活習慣	7. 相手の気持ちになって考えることができる力
2. 感情のコントロール(心の強さ)	8. いろいろな人と協力する力
3. 学力	9. 美しいものや自然に感動する心
4. 健康や体力	10. 夢や希望を持つこと
5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲	11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
6. アイデアや新しいものを考え出す力	12. コミュニケーション能力
	13. その他 ()



* それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所にご記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

3. 生涯学習について

問 11. この3年間で、交流館を利用したことがありますか。(1つに○)

1. はい ⇒ 問 12 へ 2. いいえ ⇒ 問 13 へ

【問 11 で「1」を回答した方へお尋ねします。】

問 12. どのような目的で利用しましたか。(3つまで○)

1. 教養・趣味のサークル活動
2. 図書の利用
3. 講座やイベントの参加
4. ボランティア活動
5. コミュニティ会議、自治区等の地域活動
6. 子育てサロン利用
7. 活動団体や行政等の情報を得るため
8. その他 ()

【問 11 で「2」を回答した方へお尋ねします。】

問 13. 交流館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

1. 存在を知らなかったから
2. 近くないから
3. 利用の仕方を知らないから
4. 何をしている施設かわからないから
5. 習いたいサークル・グループがないから
6. 気軽に行きにくいから
7. 家事や仕事等で行く時間がないから
8. 参加したい講座や事業がないから
9. その他 ()
10. 特に理由はない

【すべての方にお尋ねします。】

問 14. この3年間で、中央図書館を利用したことがありますか。(1つに○)

1. はい ⇒ 問 15 へ 2. いいえ ⇒ 問 16 へ

【問 14 で「1」を回答した方へお尋ねします。】

問 15. どのような目的で利用しましたか。(3つまで○)

1. 本や雑誌、CD を借りるため
2. レファレンス※ (知りたい情報への案内) を受けるため
3. 資料貸出しの予約をするため
4. 参考のできる情報がないか探すため
5. お話会やイベントに参加するため
6. その他 ()

※レファレンスとは、わからないことや知りたいことがあるときに、職員に直接聞いたり、メールや電話で問い合わせたりすることで、必要な資料・情報の案内を受けられるサービスのことです。

【問 14 で「2」を回答した方へお尋ねします。】

問 16. 中央図書館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

1. 存在を知らなかったから
2. 自宅から遠くて行くのに不便だから
3. 利用の仕方を知らないから
4. 気軽に行きにくいから
5. 家事や仕事等で行く時間がないから
6. 参加したい講座や事業がないから
7. その他 ()
8. 特に理由はない

市民 4

4. 文化について

問 17. あなたは、次のことについて、興味がありますか。(それぞれ1つに○)

	とても興味がある	どちらかといえば興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない
①文化・芸術	1	2	3	4
②住んでいる地域の歴史・文化財	1	2	3	4
③ものづくり・科学	1	2	3	4
④読書	1	2	3	4

問 18. あなたは、次の文化施設に、これまで行ったことがありますか。(それぞれ1つに○)

	行ったことがあります	行ったことはないが関心がある	関心がなく、行ったこともない
①豊田市美術館	1	2	3
②市民文化会館	1	2	3
③コンサートホール	1	2	3
④能楽堂	1	2	3
⑤郷土資料館・近代の産業とくらし発見館	1	2	3
⑥民芸館	1	2	3
⑦地域文化広場	1	2	3

問 19. あなたは、この1年間に次のような催し物や場所に出かけて行って、「鑑賞・見学」(豊田市外も含む)をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

*ホール・美術館・映画館・祭り・旅行等で直接鑑賞することが対象です。

*テレビ、CD、パソコン、図書などを見ることは含みません。

1. 音楽 (ポピュラー、クラシック、邦楽、合唱など)	10. まったく鑑賞・見学していない
2. 美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真など)	
3. 演劇 (現代演劇、ミュージカル、人形劇など)	
4. 舞踊 (バレエ、ダンス、日本舞踊など)	
5. 演芸 (漫才、落語、浪曲など)	
6. 映画・メディア芸術 (映像作品、アニメ、マンガなど)	
7. 古典芸能 (歌舞伎、能・狂言、文楽など)	
8. 文化財 (古い寺社、まちなみ、権の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品、民芸品など)	
9. その他 ()	
10. まったく鑑賞・見学していない	

市民 5

問 20. あなたが「鑑賞・見学」する上で、お困りのことはありますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 市内の催し物の情報が少ない | 6. 短時間の催し物や予約なしで鑑賞できるものが少ない |
| 2. 鑑賞・見学できる機会が少ない | 7. 託児施設がない |
| 3. 鑑賞・見学したいものが少ない | 8. その他 () |
| 4. 入場料等の料金が安い | 9. 特に問題はない |

問 21. あなたは、この1年間に次のような「文化活動」(鑑賞・見学を除く)をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

*作品の制作・練習・習い事などを対象とします。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 音楽 (ポピュラー、クラシック、邦楽、合唱など) |
| 2. 美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真など) |
| 3. 演劇・演芸 (漫才、落語)・舞踊 (バレエ、ダンス、日本舞踊など) |
| 4. メディア芸術 (映像制作、ビデオ、アニメ、マンガなど) |
| 5. 歴史 (古文書調査、地元の歴史の調査・記録、歴史研究全般) |
| 6. 伝統芸能・郷土芸能 (歌舞伎、能・狂言、棒、囃子など) |
| 7. 文芸 (小説、俳句、和歌など) |
| 8. 生活文化・国民娯楽 (生け花、茶道、囲碁、将棋など) |
| 9. その他 () |
| 10. まったく活動していない |

問 22. あなたが「文化活動」をする上で、お困りのことはありますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 活動するための情報が少ない | 6. 指導者がいない |
| 2. 活動のきっかけがない | 7. 自分にはできないと思う |
| 3. 費用がかかりすぎる | 8. その他 () |
| 4. 活動に対する助成や支援が少ない | 9. 特に問題はない |
| 5. 活動する場所がない | |

問 23. あなたは、この1年間に、文化活動の支援をしたことがありますか。(1つに○)

*文化施設でのボランティア、子どもの文化体験支援、音楽祭の手伝いなど

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 支援をした | 2. 支援をしていない |
|----------|-------------|

問 24. あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするため、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. ホール、劇場、美術館、博物館などの文化施設の充実 |
| 2. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実 |
| 3. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存 |
| 4. 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進 |
| 5. 文化財を学んだり、活用する機会の充実 |
| 6. 芸術家や文化団体の活動の支援 |
| 7. 文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用 |
| 8. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 |
| 9. その他 () |
| 10. 特に必要はない |

問 25. 豊田市の歴史や文化財を継承し、その魅力を発信していくためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 文化財の公開の機会や場を増やす |
| 2. 文化財の保存や活用を積極的に進める |
| 3. 歴史・文化財に関する情報を積極的に提供する |
| 4. 歴史・文化財を楽しく体感できる体験教室や講座を開催する |
| 5. 歴史・文化財の保護や継承を行う団体などに対する支援・助成をする |
| 6. 伝統的な技術や祭礼などの記録・保存をする |
| 7. 歴史・文化財を観光資源として活用し、多くの人に知ってもらえるようにする |
| 8. その他 () |
| 9. 特に必要はない |

問 26. 地域の文化的環境が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 生きる楽しみを見出せる |
| 2. 市民の交流や社会参加が盛んになる |
| 3. 市や地域への愛着が高まる |
| 4. 市により良い人材が集まる |
| 5. 市民の創造性が高まり、地域社会・経済の活性化につながる |
| 6. 子どもが心豊かに成長する |
| 7. 市や地域のイメージが向上する |
| 8. 全国や諸外国から訪れる人が増える |
| 9. その他 () |
| 10. 特に期待することはない |

5. スポーツについて

問 27. あなたは、この1年間にどのような運動やスポーツをしましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 体操・ウォーキング・ランニング・陸上・ジム (ラジオ体操、健康体操、散歩などを含む) | |
| 2. 水泳 | |
| 3. 球技 (キャッチボール、サッカー、バスケットボール、卓球、テニス等を含む) | |
| 4. ゴルフ、ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ | |
| 5. アウトドア (スキー、スノーボード、マリンスポーツ、釣り、登山、キャンプ等を含む) | |
| 6. 日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動
(徒歩や自転車による買い物・通勤通学など) | |
| 7. その他 () | |
| 8. 運動やスポーツをしなかった | |

【問 27 で「1～7」を回答した方へお尋ねします。】

問 28. 問 27 の「1～7」の運動やスポーツをした日数を全部合わせると、どのくらいの頻度になりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 3か月に1～2日 |
| 3. 週に1～2日 | 6. 年に1～3日 |

【問 27 で「1～7」を回答した方へお尋ねします。】

問 29. 運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 健康・体力づくり | 6. 家族のふれあいとして |
| 2. 楽しみ・気晴らしとして | 7. 友人・仲間との交流として |
| 3. 運動不足を感じるから | 8. 美容や肥満解消のため |
| 4. 精神の修養や訓練のため | 9. その他 () |
| 5. 自己の記録や能力を向上させるため | 10. 特に理由はない |

【問 27 で「8. 運動やスポーツをしなかった」を回答した方へお尋ねします。】

問 30. この1年間に運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間が
ないから | 6. 指導者がいないから |
| 2. 体が弱いから | 7. お金がかかるから |
| 3. 年をとったから | 8. 運動・スポーツは好きではないから |
| 4. 場所や施設がないから | 9. 機会がなかったから |
| 5. 仲間がいないから | 10. その他 () |
| | 11. 特に理由はない |

市民 8

(すべての方にお尋ねします。)

問 31. あなたは、次のことをご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	名前・内容とも 知っている	名前を知っているが 内容は知らない	知らない
①スポーツ推進委員	1	2	3
②地域スポーツクラブ	1	2	3
③スポーツボランティアとよた	1	2	3

問 32. あなたはこの1年間に直接スポーツの試合・イベントを観たことがありますか。
(1つに○)

*プロや業団のスポーツの試合、マラソンや駅伝、少年スポーツなど

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問 32 で「1. ある」を回答した方へお尋ねします。】

問 33. 試合・イベントで観たスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 野球 | 6. 体操 |
| 2. サッカー | 7. 陸上・マラソン |
| 3. バレーボール | 8. ラグビー |
| 4. バスケットボール | 9. ソフトボール |
| 5. テニス | 10. その他 () |

(すべての方にお尋ねします。)

問 34. あなたは、豊田スタジアム、スカイホール豊田の活用について、どのように思いますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい |
| 2. アマスポーツ大会の開催を増やしてほしい |
| 3. コンサート、催事などのスポーツ以外のイベントを増やしてほしい |
| 4. 市民への開放を増やしてほしい |
| 5. その他 () |
| 6. 特にない |

問 35. この1年間にスポーツを支える活動をしたことがありますか。(1つに○)

*コーチ、審判、大会運営、団体運営、スポーツ施設の管理などスポーツに関わる活動を
指します。(報酬があるもの、ボランティア活動のもの、いずれも含みます。)

- | |
|----------------------------|
| 1. 活動をした |
| 2. 活動はしていないが、機会があれば活動したかった |
| 3. 活動はしていないし、活動したいとも思わなかった |

市民 9

【問 35 で「1. 活動をした」又は「2. 活動はしていないが、機会があれば活動したかった」と回答した方にお尋ねします。】

問 36. 具体的にどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. スポーツの指導や審判 | 4. 地域スポーツクラブやスポーツ |
| 2. 国際的・全国的なイベント運営や準備 | 少年団などの団体の運営 |
| 3. 市民向けのイベント運営や準備 | 5. スポーツ施設の管理 |
| | 6. その他 () |

【すべての方にお尋ねします。】

問 37. あなたは運動やスポーツをする上で、情報不足のために不便に思ったことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問 37 で「1. ある」を回答した方にお尋ねします。】

問 38. 情報不足を感じたのは、どのようなことに関してですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 施設の種類 | 6. 指導者 |
| 2. 施設の内容 | 7. 審判などの資格 |
| 3. 施設の用具や道具 | 8. 出版物等 |
| 4. クラブや同好会 | 9. 健康・スポーツ相談 |
| 5. 行事・イベント | 10. その他 () |

【すべての方にお尋ねします。】

問 39. 運動やスポーツに関して、豊田市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(5つまで○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 競技スポーツの推進 | 10. 大規模スポーツ施設(豊田スタジアム) |
| 2. 市民が参加できるスポーツイベントの開催 | やスカイホール豊田)の機能向上 |
| 3. 国際試合やプロスポーツの試合の開催誘致 | 11. 施設サービスの向上 |
| 4. 地域のクラブやサークルの育成 | 12. スポーツを通じた国際交流 |
| 5. スポーツ指導者の養成 | 13. 企業や大学と連携したスポーツ振興の推進 |
| 6. スポーツボランティアの支援 | 14. 年齢層にあったスポーツの普及 |
| 7. スポーツに関する広報活動 | 15. スポーツを通じた観光客増加の促進 |
| 8. 学校体育施設の開放・整備 | 16. その他 () |
| 9. 身近な地域のスポーツ施設の整備 | |

市民 10

6. 教育行政について

問 40. あなたは、ここ3年間で、市内の教育行政の情報について、どのような手段で得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

* 学校教育、家庭教育、文化、スポーツなどが対象です。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 広報とよた | 7. 市のホームページ |
| 2. 新聞 | 8. SNS などソーシャルメディア* |
| 3. テレビ | 9. メールマガジン |
| 4. ラジオ | 10. 知人や家族 |
| 5. 公共施設の職員や置いているチラシ | 11. その他 () |
| 6. 回覧板 | 12. 特に情報を得ていない |

※ブログ、ソーシャルネットワークサービス(SNS)、動画共有サイトなど、利用者が情報を発信し、形成していくメディア(ツイッター、フェイスブック、ラインを含みます)のことです。

問 41. あなたは、本市の教育行政全般にかかる市民への各種情報の提供について、満足していますか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. ほぼ満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからない |

問 42. 今後、教育行政に関するどのような内容の情報をもっと提供すべきだと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 教育委員会等での検討状況 | 5. 市内での文化やスポーツのイベント |
| 2. 学校教育に関する全市民的取組 | 6. 市民の文化団体やスポーツ団体の情報 |
| 3. 地元の小中学校の状況 | 7. その他 () |
| 4. 交流館等での各種講座などの情報 | 8. 特になし |

7. あなたご自身について

F 1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F 2. あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 6. 60~64歳 |
| 2. 20~29歳 | 7. 65~69歳 |
| 3. 30~39歳 | 8. 70~74歳 |
| 4. 40~49歳 | 9. 75歳以上 |
| 5. 50~59歳 | |

市民 11

F 3 あなたの世帯（同居家族）についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 3 世代世帯（親と子と孫） |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ ） |
| 3. 2 世代世帯（親と子） | |

F 4 あなたの同居の家族に次の方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 未就園児 | 4. 中学生 |
| 2. こども園・幼稚園児 | 5. 中学校卒業（～18 歳以下） |
| 3. 小学生 | |

F 5 あなたのお住まいの中学校区についてお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅坪台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 竜神 |
| 7. 稲武 | 14. 浄水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

* 中学校区がわからない場合は→（ ）町（ ）丁目

F 6 あなたの豊田市の在年数（通算で）をお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|----------|------------|--------------|-----------|
| 1. 5 年未満 | 2. 5 ～ 9 年 | 3. 10 ～ 19 年 | 4. 20 年以上 |
|----------|------------|--------------|-----------|

F 7 あなたの職業についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 無職・専業主婦（夫） | 4. 自営業・家業・農業 |
| 2. 学生 | 5. パート・アルバイト・派遣・内職等 |
| 3. 会社員・公務員 | 6. その他（ ） |

F 8 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

--

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

このアンケート調査は、みなさんが通っている学校をよりよくするために行うものです。この紙にある質問をよく読んで、あなたが思ったことをそのまま書いてください。もし、わからないところがあれば、先生に聞いてください。書いていただいた内容は、他の人が見ることがないように先生を通じて集めます。安心して書いてください。ご協力をお願いします。

令和2年8月
豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司

＜記入するときのおねがい＞

- 名前は書かないでください。
- 質問を読んで、当てはまる番号に○をつけてください。また、○の数は質問の文章にしたがってください。
- 「その他 ()」に○をつけたときは、() の中にくわしい内容をかいてください。

1. 学校生活や学習について

問1. あなたは、今の学校生活に満足していますか。(1つに○)

1. 満足 ⇒ 問2へ 4. やや不満 ⇒ 問3へ
2. ほぼ満足 ⇒ 問2へ 5. 不満 ⇒ 問3へ
3. どちらでもない ⇒ 問3へ 6. わからない

【問1で「1. 2」を選んだ人にお聞きます。】

問2. その理由は何か。(3つまで○)

1. 勉強がおもしろいから
2. 友達と楽しく遊んだりするの楽しいから
3. 部活動が楽しいから
4. 運動会や学芸会などの学校の行事が楽しいから
5. 学級の係や児童会、委員会の活動が楽しいから
6. 先生との関係がよいから
7. などなく
8. その他 ()

【問1で「3. 4. 5」を選んだ人にお聞きます。】

問3. その理由は何か。(3つまで○)

1. 勉強がよくわからないから
2. 友達との関係がうまくいっていないから
3. 先生との関係がうまくいっていないから
4. 部活動がうまくいっていないから
5. ゆとりや自由がないから
6. 楽しいと思うことがないから
7. その他 ()

問4. あなたは、学校の授業に満足していますか。(1つに○)

1. 満足 4. やや不満
2. ほぼ満足 5. 不満
3. どちらでもない 6. わからない

問5. 学校でどのような授業や学習が好きですか。(3つまで○)

1. 新しい知識や技能を学ぶ学習 7. 自分の考えを作品や動きで表現する活動 (漢字やリコーダーの練習など)
2. 自分でテーマを決めて調べる学習 8. 興味があることにじっくりと取り組む学習
3. グループで考えたり協力したりする学習 9. 自分が学習したことを発表する活動
4. パソコンやタブレットを使う 10. 地域の人などから話を聞いたり教わったりする活動
5. 学校の外で見たり体験したりする学習 11. 上級生や下級生といっしょに活動する学習
6. 自分なりに予想を立てて実験などを 12. 特にない 行う学習

問6. 学校の給食に満足していますか。(1つに○)

1. 満足 ⇒ 問7へ 4. やや不満 ⇒ 問8へ
2. ほぼ満足 ⇒ 問7へ 5. 不満 ⇒ 問8へ
3. どちらでもない ⇒ 問8へ 6. わからない

【問6で「1. 2.」を選んだ人にお聞きします。】

問7. 学校の給食のどのようになっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. おいしいから
2. みんなといっしょに食べられるから
3. いろいろなメニューがあるから
4. 栄養のバランスが取れているから
5. その他 ()

【問6で「3. 4. 5.」を選んだ人にお聞きします。】

問8. 学校の給食のどのようになっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. おいしくないから
2. みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から
3. 食べられなかったり、きらいなものばかりになる日があるから
4. 時間が短いから
5. 給食のきまりが多いから
6. アレルギ―があるから
7. 準備や片づけが大変だから
8. その他 ()

問9. あなたは次の内容について、どのようなことを伸ばしていきたい、または身につけたいと思いますか。(3つまで○)

1. 基本的な生活習慣
2. 感情のコントロール (心の強さ)
3. 学力
4. 健康や体力
5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲
6. アイデアや新しいものを考え出す力
7. 相手の気持ちになって考えることができる力
8. いろいろな人と協力する力
9. 美しいものや自然に感動する心
10. 夢や希望を持つこと
11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
12. コミュニケーション能力
13. その他 ()

2. 生活について

問10. あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話をしますか。(1つに○)

1. よく会話する
2. 時々会話する
3. あまりしない
4. まったくしない

問11. 学習塾に通っていますか。(1つに○)

1. 通っている ⇒ 週に () 回
2. 通っていない

問12. 習いごと(ピアノ、英会話、書道など)をしていますか。(1つに○)

* スポーツを除きます

1. している ⇒ 週に () 回
2. していない

問13. あなたは、学校以外で、1日どのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを使っていますか。(それぞれ1つずつ記入)

1. 使わない
2. 1時間以下
3. 2時間ぐらい
4. 3時間ぐらい
5. 4時間ぐらい
6. 4時間以上



* それぞれ番号を記入。

学校に行く日	学校が休みの日
--------	---------

問14. 今後、友だちとの会話や学校の授業、習いごとなどを直接会う、インターネット(オンライン)を通してやりとりする可能性がります。そのような生活について、どのように思いますか(あなたの考えに近いものを5つまで○)

良い点(メリット)	悪い点(デメリット)
1. 学校が休みでもインターネットを通して授業が受けられる	7. 生活のリズムが乱れる
2. 会ったことのない人と友達になれる	8. 個人情報(プライバシー)が他人に知られる
3. 移動にかかる時間やお金(費用)が減る	9. いじめや犯罪に合う機会が増える
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病(病気)やケガをする機会が減る	11. 体力や視力が落ちる
6. その他 ()	12. その他 ()

問15. 地域の行事や活動にどの程度参加していますか。(1つに○)

1. できる限り多く参加している
2. 時々参加している
3. ほとんど参加していない
4. その他 ()

問 16. 次のような地域の行事や活動などに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子ども会
2. お祭りなどの地域行事
3. ボランティア活動
4. 廃品回収などの環境美化活動
5. ボーイスカウト、ガールスカウト
6. その他 ()
7. どれも参加したことがない

問 17. あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(1つに○)

1. 感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

問 18. あなたは、登下校で知らない人に声をかけられたり、追いかけられたりして、怖いと思ったことがありますか。(1つに○)

1. 1年以内にある
2. 1年より前にある
3. ない

3. 生涯学習について

問 19. 学校以外で、どのくらい読書をしていますか。(1つに○)
*教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。

1. ほぼ毎日
2. 週に3日以上
3. 週に1日ぐらい
4. 月に1～2日
5. ほとんど読んでいない

問 20. 中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーを1年間にどのくらい利用しますか。(1つに○)

1. だいたい週に4回以上
2. 週に1～3回程度
3. 月に1～3回程度
4. 年に数回程度
5. ほとんど、または、まったく行かない

4. 文化について

問 21. あなたは、次のことについて、興味がありますか。(それぞれ1つに○)

	とても興味がある	どちらかといえば興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない
①文化・芸術	1	2	3	4
②住んでいる地域の歴史・文化財*	1	2	3	4
③ものづくり・科学	1	2	3	4
④読書	1	2	3	4

*文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

問 22. コンサートや文化財など、出かけて行って「文化鑑賞・見学」(豊田市外も含む)を、1年間に何回ぐらいしますか。(1つに○)

- *文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。
- *ホール・美術館・映画館・旅行などで直接鑑賞することが対象です。
- *学校の授業や遠足などは含みません。また、テレビ、CD、パソコン、図書などを見ることも含みません。

1. 5回以上
2. 3～4回
3. 1～2回
4. 0回

問 23. あなたは、次のようなことをしたいと思いますか。(3つまで○)

1. 絵をかいたり、彫刻を作ったりする
2. 楽器を演奏したり、歌を歌ったりする
3. 踊りや演劇をする
4. 歌手などのライブやクラシックのコンサートを見る
5. 絵や書道、写真などの展覧会を見る
6. ミュージカルや演劇を見る
7. 歌舞伎や能、狂言など、古くから伝わる日本の芸能を見る
8. まちの歴史や、むかしのくらしの様子などがわかる博物館や資料館を見学する
9. 映画を見る
10. その他 ()
11. どれもしたいと思わない

5. スポーツについて

問 24. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つに○)

*学校の体育の授業や行事は除きますが、学校の部活動や地域でのクラブ活動は含みます。
*体操、ランニング、陸上、水泳、球技、武道、スキー、キャンプ、ダンスなどを含みます。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 月に1日より少ない |
| 3. 週に1～2日 | |

問 25. 問 24 の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 月に1日より少ない |
| 3. 週に1～2日 | |

問 26. この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見ることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

*体操、陸上、水泳、球技、武道、格闘技、ウィンタースポーツ、ダンスなどを含みます。

- | |
|----------------------------------|
| 1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント ⇒ 問 27へ |
| 2. 大学生・高校生の試合・イベント |
| 3. 地域のスポーツ団体の試合・イベント |
| 4. 部活動の試合・イベント |
| 5. その他 () |
| 6. 特にない |

【問 26 で「1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」を選んだ人にお聞きします。】

問 27. 試合を見たスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 野球 | 6. 体操 |
| 2. サッカー | 7. 陸上・マラソン |
| 3. バレーボール | 8. ラグビー |
| 4. バスケボール | 9. ソフトボール |
| 5. テニス | 10. その他 () |

6. 豊田市について

問 28. あなたは、自分の住んでいる地域が好きですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 好き | 3. どちらかといえば好きではない |
| 2. どちらかといえば好き | 4. 好きではない |

7. あなたご自身について

F 1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

F 2. あなたがいっしょに住んでいる人についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. お父さん | 4. 弟・妹 |
| 2. お母さん | 5. おじいさん・おばあさん |
| 3. お兄さん・お姉さん | 6. その他 () |

F 3. あなたが住んでいる中学校区についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅坪台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 竜神 |
| 7. 稲武 | 14. 浄水 | 21. 豊南 | 28. 右衛門 |

※地区がわからない場合→ () 町 () 丁目

F 4. あなたのクラスの人数をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1～9人 | 3. 20～29人 | 5. 35人以上 |
| 2. 10～19人 | 4. 30～34人 | |

F 5. 学校や文化・スポーツについて、意見を自由に書いてください。

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

この調査は、これから豊田市の学校や教育をどのようにしたら良いかについて、考えていくために行うものです。
 豊田市民のみなさん、小学生・中学生とその保護者のみなさん、学校の先生を対象にしていますが、中学生については、豊田市内の中学2年生にお願いしています。
 質問を読んで、あなたが思ったことをそのまま記入してください。もし、わからないところがあれば、先生に質問してください。

記入していただいた内容は、他の人が見ることはありません。安心して書いてください。ご協力をお願いします。

令和2年8月
 豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司

<ご記入に当たってのお願い>

- 名前は書かないでください。
- 各質問とも、当てはまる番号に○をつけてください。また、回答する○の数は、各質問の内容にしたがってください。
- 「その他（ ）」に○をつけた場合は、（ ）の中にその具体的な内容を記入してください。
- 質問中の「学校」とは、特に断りがなければ「中学校」をさします。
- アンケート調査にお答えいただいた内容は、このアンケートの分析のみに利用し、調査目的以外に使用することはありません。

1. 学校生活や学習について

問1. あなたは、今の学校生活に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 満足 ⇒ 問2へ | 4. やや不満 ⇒ 問3へ |
| 2. ほぼ満足 ⇒ 問2へ | 5. 不満 ⇒ 問3へ |
| 3. どちらでもない ⇒ 問3へ | 6. わからない |

【問1で「1. 2.」を選んだ人にお聞きします。】

問2. その理由は何か。(3つまで○)

1. 勉強がおもしろいから
2. 友達といっしょに遊んだりするのが楽しいから
3. 部活動が楽しいから
4. 学校の行事が楽しいから
5. 学級の係や生徒会・委員会の活動が楽しいから
6. 先生との関係がよいから
7. などとなく
8. その他 ()

【問1で「3. 4. 5.」を選んだ人にお聞きします。】

問3. その理由は何か。(3つまで○)

1. 勉強がよくわからないから
2. 友達との関係がうまくいっていないから
3. 先生との関係がうまくいっていないから
4. 部活動がうまくいっていないから
5. ゆとりや自由がないから
6. 楽しいと思うことがないから
7. その他 ()

問4. あなたは、学校の授業に満足していますか。(1つに○)

1. 満足
2. ほぼ満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満
6. わからない

問5. 学校でどのような授業や学習が好きですか。(3つまで○)

1. 新しい知識や技能を学ぶ学習
2. 自分でテーマを決めて調べる学習
3. グループで考えたり協力したりする学習
4. パソコンやタブレットを使う
わかりやすい学習
5. 学校の外で見たり体験したりする学習
6. 自分なりに予想を立てて実験などを
行う学習
7. 自分の考えを作品や動きで表現する活動
8. 興味あることにじっくりと取り組む学習
9. 自分が学習したことを発表する活動
10. 地域の人などから話を聞いたり
教わったりする活動
11. 上級生や下級生といっしょに活動
する学習
12. 特にない

問6. 学校の給食に満足していますか。(1つに○)

1. 満足 ⇒ 問7へ
2. (ほぼ)満足 ⇒ 問7へ
3. どちらでもない ⇒ 問8へ
4. やや不満 ⇒ 問8へ
5. 不満 ⇒ 問8へ
6. わからない

【問6で「1, 2」を選んだ人にお聞きます。】

問7. 学校の給食のどのように満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. おいしいから
2. みんなと一緒しよに食べられるから
3. いろいろなメニューがあるから
4. 栄養のバランスが取れているから
5. その他 ()

【問6で「3, 4, 5」を選んだ人にお聞きます。】

問8. 学校の給食のどのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. おいしくないから
2. みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から
3. 食べられなかったり、嫌いなものばかりになる日があるから
4. 時間が短いから
5. 給食のままりが多いから
6. アレルギ-があるから
7. 準備や片づけが大変だから
8. その他 ()

問9. あなたは次の内容について、どのようなことを伸ばしていきたい、または身につけたいと思いますか。(3つまで○)

1. 基本的な生活習慣
2. 感情のコントロール (心の強さ)
3. 学力
4. 健康や体力
5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲
6. アイデアや新しいものを考え出す力
7. 相手の気持ちになって考えることができる力
8. いろいろな人と協力する力
9. 美しいものや自然に感動する心
10. 夢や希望を持つこと
11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
12. コミュニケーション能力
13. その他 ()

問10. 将来の職業を考えるために、学校でどのようなことがあればよいと思いますか。(3つまで○)

1. いろいろな職業の人の話を聞く機会をつくる
2. 自分になりたい仕事をしている人の話を実際に聞く機会をつくる
3. 職場体験などの機会を充実する
4. 自分にどんな仕事に向いているのかをじっくり考える機会をつくる
5. 仕事をするためにどんなことが大切で、どんな勉強をする必要があるのかを学ぶ
6. その他 ()

2. 生活について

問11. あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい話しますか。(1つに○)

1. よく話す
2. 時々話す
3. あまりしない
4. まったくしない

問12. 学習塾に通っていますか。(1つに○)

1. 通っている ⇒ 週に () 回
2. 通っていない

問13. 習いごと(ピアノ、英会話、書道など)をしていますか。(1つに○)

* スポーツを除きます

1. している ⇒ 週に () 回
2. していない

問14. あなたは、学校以外で、1日にどのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを見ていますか。(それぞれ1つずつ記入)

1. 使わない
2. 1時間以下
3. 2時間ぐらい
4. 3時間ぐらい
5. 4時間ぐらい
6. 4時間以上

* それぞれ番号を記入。

学校に行く日	学校が休みの日

問 15. 今後、友だちとの会話や学校の授業、習いごとなどを直接会って行うかわりに、インターネット（オンライン）を通してやりとりする可能性があります。そのような生活について、どのように思いますか（あなたの考えに近いものを5つまで○）

良い点（メリット）	悪い点（デメリット）
1. 学校が休みでもインターネットを通して授業が受けられる	7. 生活のリズムが乱れる
2. 会ったことのない人と友達になれる	8. 個人情報や他人に知られる
3. 移動にかかる時間やお金が減る	9. いじめや犯罪に合う機会が増える
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病気が減る機会が減る	11. 体力や視力が落ちる
6. その他（ ）	12. その他（ ）

問 16. 地域の行事や活動にどの程度参加していますか。（1つに○）

1. できる限り多く参加している	3. ほとんど参加していない
2. 時々参加している	4. その他（ ）

問 17. 次のような地域の行事や活動などに参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子ども会	5. 廃品回収などの環境美化活動
2. ジュニアクラブ	6. ボーイスカウト、ガールスカウト
3. お祭りなどの地域行事	7. その他（ ）
4. ボランティア活動	8. どれも参加したことがない

問 18. あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。（1つに○）

1. 感じる	3. あまり感じない
2. 時々感じる	4. 感じない

3. 生涯学習について

問 19. 学校以外で、どのくらい読書をしていますか。（1つに○）

*教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。

1. ほぼ毎日	4. 月に1～2日
2. 週に3日以上	5. ほとんど読んでいない
3. 週に1日ぐらい	

問 20. 中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーを1年間にどのくらい利用しますか。（1つに○）

1. だいたい週に4回以上	4. 年に数回程度
2. 週に1～3回程度	5. ほとんど、または、まったく行かない
3. 月に1～3回程度	

4. 文化について

問 21. あなたは、次のことについて、興味がありますか。（それぞれ1つに○）

	とても興味がある	どちらかといえば興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない
①文化・芸術	1	2	3	4
②住んでいる地域の歴史・文化財*	1	2	3	4
③ものづくり・科学	1	2	3	4
④読書	1	2	3	4

*文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

問 22. コンサートや文化財など、出かけて行って「文化鑑賞・見学」（豊田市外も含む）を、1年間に何回ぐらいますか。（1つに○）

*文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。
 *ホール・美術館・映画館・旅行などで直接鑑賞することが対象です。
 *学校の授業や遠足などは含みません。また、テレビ、CD、パソコン、図書などを見ることが含みません。

1. 5回以上	2. 3～4回	3. 1～2回	4. 0回
---------	---------	---------	-------

問 23. あなたは、次のようなことをしたいと思いますか。（3つまで○）

1. 絵をかいたり、彫刻を作ったりする	7. 歌舞伎や能、狂言など、古くから
2. 楽器を演奏したり、歌を歌ったりする	伝わる日本の芸能を見る
3. 踊りや演劇をする	8. まちの歴史や、むかしのくらしの様子
4. 歌手などのライブやクラシックのコンサートを見る	などがわかる博物館や資料館を見学する
5. 絵や書道、写真などの展覧会を見る	10. その他（ ）
6. ミュージカルや演劇を見る	11. どれもしたいと思わない

5. スポーツについて

問 24. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つに○)

* 学校の体育の授業や行事は除きますが、学校の部活動や地域でのクラブ活動を含みます。

* 体操、ランニング、陸上、水泳、球技、武道、スキー、キャンプ、ダンスなどを含みます。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 月に1日より少ない |
| 3. 週に1～2日 | |

問 25. 問 24 の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 月に1日より少ない |
| 3. 週に1～2日 | |

問 26. この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

* 体操、陸上、水泳、球技、武道、格闘技、ウィンタースポーツ、ダンスなどを含みます。

- | |
|----------------------------------|
| 1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント ⇒ 問 27へ |
| 2. 大学生・高校生の試合・イベント |
| 3. 地域のスポーツ団体の試合・イベント |
| 4. 部活動の試合・イベント |
| 5. その他 () |
| 6. 特になし |

【問 26 で「1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」を選んだ人にお聞きします。】

問 27. 試合を見たスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 野球 | 6. 体操 |
| 2. サッカー | 7. 陸上・マラソン |
| 3. バレーボール | 8. ラグビー |
| 4. バスケットボール | 9. ソフトボール |
| 5. テニス | 10. その他 () |

6. 豊田市について

問 28. あなたは、自分の住んでいる地域が好きですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 好き | 3. どちらかといえば好きではない |
| 2. どちらかといえば好き | 4. 好きではない |

7. あなたご自身について

F 1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

F 2. あなたと一緒に住んでいる人についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1. 父親 | 3. 兄・姉 | 5. 祖父・祖母 |
| 2. 母親 | 4. 弟・妹 | 6. その他 () |

F 3. あなたの中学校についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅平台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 竜神 |
| 7. 稲武 | 14. 浄水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

F 4. あなたのクラスの人数をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1～9人 | 3. 20～29人 | 5. 35人以上 |
| 2. 10～19人 | 4. 30～34人 | |

F 5. 豊田市の教育や学校、文化・スポーツについて、意見などを自由に書いてください。

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
本市では、平成30年3月に教育の総合的な計画である「第3次豊田市教育行政計画」を策定し、それに基づき施策を展開して参りました。

本計画は令和3年度で計画期間の最終年度を迎えるため、数値目標の達成度の検証と、新しい計画策定に向けた課題把握を行う必要があります。そうしたことから、市民の皆様、児童・生徒（小学5年生・中学2年生）とその保護者の皆様、教員、校長・教頭を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。

このたびの新型コロナウイルス感染拡大を受け、これまでとは違う生活に不安を感じ、落ち着かない日々が続いていることかと思えます。このような大変な状況において恐縮ではございますが、今後の豊田市の教育行政をより良くしていくための基礎資料となりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年8月
豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司



* 「第3次豊田市教育行政計画」は、豊田市のホームページからご覧いただけます。

<調査の取扱い>

- お名前は書かないでください。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的の以外に使用することはありません。

<ご記入に当たってのお願い>

- この調査票を持ち帰ったお子さんの保護者のうち、どなたか1名の方が記入してください。保護者全員の一致した意見でなくても結構です。
- 各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。
- 「その他（ ）に○を付けた場合は、（ ）の中にその具体的な内容を記入してください。
- 設問中の「学校」とは、この調査票を持ち帰ったお子さんが通う小中学校を指します。

<調査票の返信>

- ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、のりやテープで封をし、**令和2年9月4日（金）までにお子さんを通って学校へご届出ください。**

<問合せ先>

豊田市教育委員会 教育部 教育政策課（計画担当）
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前8時30分～午後5時15分）

豊田市の教育に関するアンケート調査

1. 豊田市の学校教育について

問1. あなたのお子さん（この調査票を持ち帰ったお子さん）は、今の学校生活に満足していると思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. ほぼ満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからない |

問2. あなたは、学校が児童・生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。（3つまで○）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 基礎的な知識や技能 | 6. 様々な考えをもつ人と協力して行動する力 |
| 2. 自立心やたくましさ | 7. 思いやりや優しさなどの心 |
| 3. 生きる指針や夢 | 8. ルールや決まりを守ること |
| 4. 一人ひとりの個性 | 9. 自分で考え、判断する力 |
| 5. 創造力（アイデア、発想力） | 10. その他（ ） |

問3. 学校の授業に満足していますか。（1つに○）

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. ほぼ満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからない |

問4. 学校の教師にどのようなことを期待しますか。（2つまで○）

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 子どもの気持ちを理解しようとする | 5. 子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること |
| 2. 専門的知識が豊富であったり、教え方がうまいこと | 6. 保護者や地域と適切にコミュニケーションをとれること |
| 3. 子どもと遊んだり、話し相手になれること | 7. 幅広い経験を持っていること |
| 4. 子どもに対して厳しくしつつできること | 8. その他（ ） |

問5. 児童・生徒の指導において、特にどのようなことが大切であると思いますか。
(3つまで○)

1. 学習規律（私語をしない、時間を守る等）、クラスの秩序をきちんとすること
2. 児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること
3. 繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身につけさせること
4. ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実すること
5. 自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られるような指導を充実すること
6. 受験等への対応として「解法テクニック」などの指導を充実すること
7. クラスやグループで助け合ったり教え合ったりするよう機会を充実すること
8. 児童・生徒の個性を見つけ、一人ひとりの個性を伸ばすような指導を充実すること
9. ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること
10. 生活で心がけるべきこと、気をつけるべきことなどを教える生活指導を充実すること
11. その他（ ）

問6. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとうまいと思えますか。(2つまで○)

1. ものづくり・科学	6. 国際化・多文化共生
2. 環境	7. 地域の伝統や歴史
3. 福祉	8. 運動・スポーツ
4. 情報	9. その他（ ）
5. キャリア教育(人生設計・職業体験)	10. わからない

問7. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム^{*}を推進するために、どういったことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

^{*}「インクルーシブ教育システム」：障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場を提供できるシステム

1. 学校の施設整備の拡充・充実	7. 就学相談機会の充実
2. 教員数の確保・増員	8. 教材・教具等の支援の充実
3. 支援人材の確保・増員	9. 少人数学級制の拡充
4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立	10. 関係機関の連携強化
5. ICT環境の整備	11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実
6. インクルーシブ教育システムに	12. その他（ ）
ついての理解啓発	13. わからない

保護者 2

問8. 新しい生活様式として、オンラインでの会議や授業が進んでいます。子どもがオンラインを通して他者とコミュニケーションをとる場合のメリットとデメリットについて、どのように思いますか。(あなたの考えに近いものを5つまで○)

メリット	デメリット
1. 休校等があっても授業が進められる	7. 生活のリズムが乱れる
2. SNS [*] 等コミュニケーション機会の増加	8. 個人情報漏洩
3. 移動に係る時間やお金の減少	9. SNS [*] 等によるいじめや犯罪の増加
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病気やケガをする機会が減る	11. 体力や視力の低下
6. その他（ ）	12. その他（ ）

^{*}SNSとは、利用者が情報を発信し、形成していくメディア（ツイッター、フェイスブック、ラインを含みます）のことです。

問9. あなたは、学校の給食に満足していますか。(1つに○)

1. 満足 ⇒ 問10へ	4. やや不満 ⇒ 問11へ
2. ほぼ満足 ⇒ 問10へ	5. 不満 ⇒ 問11へ
3. どちらでもない ⇒ 問11へ	6. わからない

【問9で「1. 2」と回答した方にお尋ねします。】

問10. 給食について、どのようなことに満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもが喜んでいるから	5. アレルギーマッチングしているから
2. おいしそうだから	6. 家事の手間が省けるから
3. 栄養のバランスがとれているから	7. 安いから
4. 食事や栄養の教育が行っているから	8. その他（ ）

【問9で「3. 4. 5」と回答した方にお尋ねします。】

問11. 給食について、どのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. おいしくなさそうだから	4. 栄養のバランスがとれていないから
2. 必要な量が同じで、一人一人の状況に	5. アレルギーマッチングしていないから
あていない(量が多い、少ない)から	6. 給食費が高いから
3. 食べられなかったり、嫌いなもの	7. その他（ ）
ばかりになる日があるから	

保護者 3

2. 地域ぐるみの教育について

問 12. あなたは、お子さんと、学校での生活や学習の状況について話しますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 1週間に何回か話す | 3. あまり話さない |
| 2. 1か月に何回か話す | 4. ほとんど話さない |

問 13. 現在の暮らしむきについて、どのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ゆとりがある | 4. やや苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 5. 苦しい |
| 3. ふつう | |

問 14. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。(3つまで○)

- | |
|---|
| 1. 親子のコミュニケーションが減っている |
| 2. 子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる |
| 3. 教育に関心が低くなっている |
| 4. しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない |
| 5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている |
| 6. 子どもが、お手伝いやいろいろな遊ばしなど、様々な体験をする機会が不足している |
| 7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている |
| 8. 経済的な問題を抱える家庭が増えている |
| 9. その他 () |
| 10. 特に低下しているとは思わない |

問 15. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 大人が、他人の子どものことに無関心である |
| 2. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある |
| 3. 地域の大人と子どもが会う機会が少ない |
| 4. 子どもが一人で遊ぶことが多い |
| 5. 世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない |
| 6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない |
| 7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない |
| 8. 地域団体と学校の連携が不十分である |
| 9. その他 () |
| 10. 特に問題はない |

保護者 4

問 16. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで記入)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1. 基本的な生活習慣 | 7. 相手の気持ちになって考えることができる力 |
| 2. 感情のコントロール (心の強さ) | 8. いろいろな人と協力する力 |
| 3. 学力 | 9. 美しいものや自然に感動する心 |
| 4. 健康や体力 | 10. 夢や希望を持つこと |
| 5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲 | 11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと |
| 6. アイデアや新しいものを考え出す力 | 12. コミュニケーション能力 |
| | 13. その他 () |



* それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所にご記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

問 17. 家庭や地域の教育について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

	満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
① 家庭	1	2	3	4	5	6
② 地域	1	2	3	4	5	6

問 18. 次のような行事・活動の中で、今後、お子さんの通っている学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. PTA活動 | 9. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備 |
| 2. 授業の準備や補助 | 10. 学校行事の事前準備や片付けの協力 |
| 3. 給食や休み時間における対応 | 11. 学校の教育活動に対する意見・感想 |
| 4. 部活動の指導・補助 | 12. 学校公開日や授業参観への参加 |
| 5. 登下校など子どもの安全管理 | 13. 学校外での地域活動体験の手伝い |
| 6. 非行防止や生徒指導への協力 | 14. その他 () |
| 7. 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 15. 特に協力や参加したいことではない |
| 8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ | |

保護者 5

3. 文化・スポーツについて

問 19. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について、お子さんと一緒に利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 豊田市美術館 | 9. 青少年センター |
| 2. 豊田中央図書館・交流館図書室 | 10. 総合野外センター |
| 3. 市民文化会館 | 11. コミュニティセンター・交流館 |
| 4. コンサートホール・能楽堂
(図書室を除く) | |
| 5. 郷土資料館・近代の産業とくらし発見館 | 12. 視聴覚ライブラリー |
| 6. 民芸館 | 13. 地域文化広場 |
| 7. 豊田スタジアム | 14. その他 () |
| 8. スカイホール豊田 | 15. 特に利用したいと思わない |

問 20. お子さんに、芸術や文化財の鑑賞や見学をさせたり、文化活動(習い事やお稽古事を含む)を行わせたいと思ったときに、お困りのことはありますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 芸術や文化財に関する情報が少ない | 7. 一緒に楽しむ仲間がいらない |
| 2. 子ども(親子)向けの催し物が少ない | 8. 親が連れていけない |
| 3. 子どもが関心を示す催し物が少ない | 9. その他 () |
| 4. 入場料等の料金が高い | 10. 子どもの関心がない |
| 5. チケットの入手方法がわかりにくい | 11. 特に問題はない |
| 6. 短時間の催し物や予約なしで鑑賞・見学できるものが少ない | |

問 21. お子さんが参加しやすい芸術や文化財の催し物や取組として、今後、充実していくとよいと思うものは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 解説付きのコンサートや展示等の催し物 | 6. 専門家や芸術家に参加する授業 |
| 2. 入門講座や体験講座 | 7. 授業として文化施設での展示や公演の鑑賞 |
| 3. 専門家や芸術家と接する機会がある催し物 | 8. 音楽・演劇などの学校公演 |
| 4. まちの中、交流館、自然の中など文化施設外での催し物 | 9. その他 () |
| 5. 子どもによる文化活動を発表する機会 | 10. 特になし |

保護者 6

問 22. あなたのお子さんは、この1年間に運動・スポーツを学校での体育の授業以外で、どのようなところで取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 学校の部活動、クラブ活動 |
| 2. 学校以外のスポーツ活動(市内) |
| 3. 学校以外のスポーツ活動(市外) |
| 4. 体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない |

4. 教育行政について

問 23. あなたは、学校の教育方針や学校での子どもの様子などの情報を十分に得られていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 十分に得られている | 4. ほとんど得られていない |
| 2. ある程度は得られている | 5. わからない |
| 3. あまり得られていない | |

問 24. 本市では、保護者やお子さんから学校評価を各学校の運営に生かしていますが、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

例) 学校から保護者やお子さんにアンケート調査を実施して、その結果から学校運営の状況を確認し、改善点を考えています。

- | |
|-------------------------------|
| 1. この取組自体をよく知らない |
| 2. アンケート調査で回答しづらい項目が多い |
| 3. 調査結果がどのように活用されているかわからない |
| 4. 調査結果をもとに学校と保護者が一緒に考える機会がない |
| 5. その他 () |
| 6. 現状で十分で特に問題はない |

5. あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

保護者 7

F 3 この調査用紙を持ち帰ったお子さんとの続柄についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|------|-------|--------|------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟 | 3. 祖父母 | 4. その他 () |
|------|-------|--------|------------|

F 4 この調査用紙を持ち帰ったお子さんの通学先についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------|--------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 |
|--------|--------|

F 5 あなたのお住まいの中学校区についてお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 達妻 | 8. 梅坪台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 滝神 |
| 7. 稲武 | 14. 浄水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

※中学校区がわからない場合は→ () 町 () 丁目

F 6 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

--

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解をご協力をいただき誠にありがとうございます。
豊田市教育委員会では、平成 30 年 3 月に「第 3 次豊田市教育行政計画」を策定し、
学校教育の分野はもとより、生涯学習・次世代育成、文化芸術・文化財、生涯スポーツ
といった幅広い分野において、施策を展開して参りました。

本計画は令和 3 年度で計画期間の最終年度を迎えるため、数値目標の達成度の検証
と、新しい計画策定に向けた課題把握を行う必要があります。そうしたことから、この
たび、市民、児童・生徒（小学 5 年生・中学 2 年生）とその保護者、教員、校長・教頭
を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。小中学校に勤務する教諭の
方には全員（非常勤、嘱託、休職者を除く）をお願いしております。

アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い
いたします。

令和 2 年 8 月
豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司



* 第 3 次豊田市教育行政計画は、豊田市のホームページからご覧いただけます。

<調査の取扱い>

- お前は書かないでください。
 - 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。
- <ご記入に当たってのお願い>
- 各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。
 - 「その他（ ）」に○を付けた場合は、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
 - 設問中の「学校」とは、特に断りがなければ「小中学校」を指します。

<調査票の返信>

- ご回答いただきました調査票は、返信用封筒に入れ、のりやテープで封をし、学校でとりまとめのうえ、**令和 2 年 9 月 11 日（金）までに公郵便で教育政策課までご送付ください。**

<問合せ先>
豊田市教育委員会 教育部 教育政策課（計画担当）
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金(祝日除く)の午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)

豊田市の教育に関するアンケート調査

1. 豊田市の学校教育について

問 1. ご自身の授業に対して、子どもの理解度はどの程度だと思いますか。（1 つに○）
* 小学校では担当教科を平均してください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. ほぼ全員、理解していると思う | 4. 半分以下しか、理解していないと思う |
| 2. 8割程度、理解していると思う | 5. わからない |
| 3. 半分程度、理解していると思う | |

問 2. あなたは、児童・生徒の指導において、特になどのようなことが大切であると思いますか。（3 つまで○）

- | |
|---|
| 1. 学習規律（私語をしない、時間を守る等）、クラスの秩序をきちんとすること |
| 2. 児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること |
| 3. 繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身につけさせること |
| 4. ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実すること |
| 5. 自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られるような指導を充実すること |
| 6. 受験等への対応として「解法テクニック」などの指導を充実すること |
| 7. クラスやグループで助け合ったり教え合ったりするよう機会を充実すること |
| 8. 児童・生徒の個性を見つけ、一人ひとりの個性を伸ばすような指導を充実すること |
| 9. ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること |
| 10. 生活で心がけるべきこと、気をつけるべきことなどを教える生活指導を充実すること |
| 11. その他（ ） |

問 3. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとうよいと思いますか。（2 つまで○）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. ものづくり・科学 | 6. 国際化・多文化共生 |
| 2. 環境 | 7. 地域の伝統や歴史 |
| 3. 福祉 | 8. 運動・スポーツ |
| 4. 情報 | 9. その他（ ） |
| 5. キャリア教育(人生設計・職業体験) | 10. わからない |

問4. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム^{*}を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場を提供できるシステム

1. 学校の施設整備の拡充・充実	7. 就学相談機会の充実
2. 教員数の確保・増員	8. 教材・教員等の支援の充実
3. 支援人材の確保・増員	9. 少人数学級制の拡充
4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立	10. 関係機関の連携強化
5. ICT環境の整備	11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実
6. インクルーシブ教育システムに	12. その他()
ついでに理解啓発	13. わからない

問5. 新しい生活様式として、オンラインでの会議や授業が進んでいますが、子どもがオンラインを通して他者とコミュニケーションをとる場合のメリットとデメリットについて、どのように思いますか。(あなたの考えに近いものを5つまで○)

メリット	デメリット
1. 休校等があっても授業が進められる	7. 生活のリズムが乱れる
2. SNS [*] 等コミュニケーション機会の増加	8. 個人情報の漏洩
3. 移動に係る時間やお金の減少	9. SNS [*] 等によるいじめや犯罪の増加
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病気やケガをする機会が減る	11. 体力や視力の低下
6. その他()	12. その他()

※SNSとは、利用者が情報を発信し、形成していくメディア(ツイッター、フェイスブック、ラインを含みます)のことです。

問6. あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。(それぞれ1つに○)

	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない
①十分な授業の準備をする	1	2	3
②子どもをよく理解する	1	2	3
③学級を円滑に運営する	1	2	3
④保護者と良好な関係をもつ	1	2	3
⑤職場で協働して個別の課題や学校運営に取り組む	1	2	3
⑥教員として必要な研修を積む	1	2	3

教員 2

問7. あなたは、小中学校が、児童・生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○)

1. 基礎的な知識や技能	6. 様々な考えをもつ人と協力して行動する力
2. 自立心やたくましさ	7. 思いやりや優しさなどの心
3. 生きる指針や夢	8. ルールや決まりを守ること
4. 一人ひとりの個性	9. 自分で考え、判断する力
5. 創造力(アイデア、発想力)	10. その他()

問8. 現在の校外での研修(市、県主催)について、どのようにお考えですか。

【内容について】(1つに○)

1. レベルが高い	2. 適当なレベルである	3. レベルが低い
-----------	--------------	-----------

【機会について】(1つに○)

1. 回数が多い	2. 適当な回数である	3. 回数が少ない
----------	-------------	-----------

問9. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。(3つまで○)

1. 学級経営	7. 国際理解教育・外国語教育
2. 教科の指導	8. カウンセリング・コーチングの技術
3. 道徳の指導	9. 教員の倫理観の向上
4. 生徒指導・生徒理解	10. 社会体験・企業体験
5. 特別支援教育	11. その他()
6. 情報教育(コンピュータ等)	

問10. 国際化・多文化共生が進む中で、「学校」ではどのようなことに、力を入れたらよいと思いますか。(3つまで○)

1. 英語の授業の充実
2. 外国人英語講師による英会話の授業
3. インターネットを通じた海外との交流
4. 海外の留学生の受け入れ、希望者の海外留学
5. 海外の暮らしや多様な文化等について学ぶ国際理解教育
6. 郷土の歴史や特徴について理解し、国際的な観点から考える体験
7. 外国人児童・生徒への支援(日本語の学習機会、世話役の配置など)
8. 外国人児童・生徒の保護者への支援(日本語の学習機会、通訳の配置、外国語表記など)
9. 外国人児童・生徒が母国語で学習する機会をつくる
10. その他()
11. 特になし

教員 3

2. 地域ぐるみの教育について

問 11. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで記入)

1. 基本的な生活習慣	7. 相手の気持ちになって考えることができる力
2. 感情のコントロール(心の強さ)	8. いろいろな人と協力する力
3. 学力	9. 美しいものや自然に感動する心
4. 健康や体力	10. 夢や希望を持つこと
5. 自分から進んで取り組み持ちや新しいことにチャレンジする意欲	11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
6. アイデアや新しいものを考え出す力	12. コミュニケーション能力
13. その他 ()	



※それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所にご記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

問 12. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。(3つまで○)

1. 親子のコミュニケーションが減っている
2. 子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる
3. 教育に関心が低くなっている
4. しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない
5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている
6. 子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している
7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
8. 経済的な問題を抱えている家庭が増えている
9. その他 ()
10. 特に低下しているとは思わない

教員 4

問 13. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

1. 大人が、他人の子どものことに無関心である
2. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある
3. 地域の大人と子どもが会う機会が少ない
4. 子どもが一人で遊ぶことが多い
5. 世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない
7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない
8. 地域団体と学校の連携が不十分である
9. その他 ()
10. 特に問題はない

問 14. 家庭や地域の教育について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

	満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
① 家庭	1	2	3	4	5	6
② 地域	1	2	3	4	5	6

問 15. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. PTA活動	9. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
2. 授業の準備や補助	10. 学校行事の事前準備や片付けの協力
3. 給食や休み時間における対応	11. 学校の教育活動に対する意見・感想
4. 部活動の指導・補助	12. 学校公開日や授業参観への参加
5. 登下校など子どもの安全管理	13. 学校外での地域活動体験の手伝い
6. 非行防止や生徒指導への協力	14. その他 ()
7. 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	15. 特に協力や参加して欲しいことはない
8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ	

3. 生涯学習について

問 16. 学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 団体貸出資料の充実	4. 調べ学習の教員向け研修の充実
2. レファレンスサービス(知りたい情報への案内)の充実	5. その他 ()
3. 調べ学習の事前授業の充実	6. 特に活用したいと思わない

教員 5

4. 文化・スポーツについて

問 17. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について授業等で活用したい、連携したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 豊田市美術館 | 9. 青少年センター |
| 2. 豊田中央図書館・交流館図書室 | 10. 総合野外センター |
| 3. 市民文化会館 | 11. コミュニティセンター・交流館
(図書室を除く) |
| 4. コンサートホール・能楽堂 | 12. 視覚ライブラリー |
| 5. 郷土資料館・近代の産業とくらし発見館 | 13. 地域文化広場 |
| 6. 民芸館 | 14. その他 () |
| 7. 豊田スタジアム | 15. 特に利用したいと思わない |
| 8. スカイホール豊田 | |

問 18. 郷土資料館や近代の産業とくらし発見館が学校と連携して、どのようなことにより力をいれて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 郷土資料館や発見館の見学への対応の充実 |
| 2. 歴史を体験するための体験学習の実施 |
| 3. 学芸員による学校での出前講座の開催 |
| 4. 学校への資料や教材の貸し出し |
| 5. 社会科の教師などとの合同研究 |
| 6. その他 () |
| 7. 特に活用したいと思わない |

問 19. 体育の授業や部活動以外で、業務時間外に地域のクラブなどでスポーツの指導を行っていますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 行っている |
| 2. 現在は行っていないが、機会があれば指導を行いたい |
| 3. 行っておらず、今後も行おう意向はない |

教員 6

5. 教育行政について

問 20. あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. ほとんど毎日忙しい | 3. 忙しいと余裕がある日がほぼ半々である |
| 2. 忙しい日が多い | 4. 忙しい日はそれほどない |

問 21. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 不登校・ひきこもり | 6. 家庭教育の相談 |
| 2. 発達障がい・特別支援教育 | 7. 家庭の経済的な困窮に対する支援 |
| 3. 非行・暴力行為 | 8. その他 () |
| 4. 保護者からの理不尽な要求 | 9. 特にない |
| 5. 在住外国人家族の支援 | |

問 22. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思いませんか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. 思わない |

6. あなたご自身について

F 1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F 2. あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 29 歳以下 | 4. 50～59 歳 |
| 2. 30～39 歳 | 5. 60 歳以上 |
| 3. 40～49 歳 | |

F 3. あなたの通算の教職期間をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 5 年未満 | 4. 20 年以上 30 年未満 |
| 2. 5 年以上 10 年未満 | 5. 30 年以上 |
| 3. 10 年以上 20 年未満 | |

教員 7

F 4 あなたの勤務先についてお答えください。(1つに○)

1. 小学校 ⇒ F 6 へ 2. 中学校 ⇒ F 5 へ

【中学校にお勤めの方にお尋ねします。】

F 5 担当教科 (1つに○)

- | | | |
|-------|----------|------------------|
| 1. 国語 | 5. 音楽 | 9. 英語 |
| 2. 社会 | 6. 美術 | 10. その他 () |
| 3. 数学 | 7. 保健体育 | |
| 4. 理科 | 8. 技術・家庭 | |

F 6 勤務先の学校の規模 [通常学級] (1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 6クラス未満 | 4. 18～23クラス |
| 2. 6～11クラス | 5. 24クラス以上 |
| 3. 12～17クラス | |

F 7 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は、豊田市の教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
豊田市教育委員会では、平成 30 年 3 月に「第 3 次豊田市教育行政計画」を策定し、
学校教育の分野はもとより、生涯学習・次世代育成、文化芸術・文化財、生涯スポーツ
といった幅広い分野において、施策を展開して参りました。

本計画は令和 3 年度で計画期間の最終年度を迎えるため、数値目標の達成度の検証
と、新しい計画策定に向けた課題把握を行う必要があります。そうしたことから、この
たび、市民、児童・生徒（小学 5 年生・中学 2 年生）とその保護者、教員、校長・教頭
を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。小中学校に勤務する教諭の
方には全員（非常勤、嘱託、休職者を除く）にごお願いしております。

アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い
いたします。

令和 2 年 8 月
豊田市教育委員会 教育長 山本 浩司



* 「第 3 次豊田市教育行政計画」は、豊田市のホームページからご覧いただけます。

<調査の取扱い>

- お名前は書かないでください。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

<ご記入に当たってのお願い>

- 各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。
- 「その他（ ）」に○を付けた場合は、（ ）の中にその具体的な内容を記入し
てください。
- 設問中の「学校」とは、特に断りがなければ「小中学校」を指します。

<調査票の返信>

- ご回答いただきました調査票は、返信用封筒に入れ、のりやテープで封をし、学校でとりまとめ
のうえ、**令和 2 年 9 月 11 日（金）**までに公郵便で教育政策課までご送付ください。

<問合せ先>

豊田市教育委員会 教育部 教育政策課（計画担当）
電話：0565-34-6658 / FAX：0565-34-6771 / Eメール：kyouiku@city.toyota.aichi.jp
（電話の場合は、月～金（祝日除く）の午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分）

豊田市の教育に関するアンケート調査

1. 豊田市の学校教育について

問 1. あなたは、児童・生徒の指導において、特にどのようなことが大切であると思います
か。（3 つまで○）

1. 学習規律（私語をしない、時間を守る等）、クラスの秩序をきちんとすること
2. 児童・生徒が興味を持てるような、楽しく、わかりやすい授業をすること
3. 繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身につけさせること
4. ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実すること
5. 自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られるような指導を充実すること
6. 受験等への対応として「解法テクニック」などの指導を充実すること
7. クラスやグループで助け合ったり教え合ったりするような機会を充実すること
8. 児童・生徒の個性を見つけ、一人ひとりの個性を伸ばすような指導を充実すること
9. ルールを守る、思いやりの心を持つ、目標に向かって努力することなど、人として
大切なことを教えること
10. 生活で心がけるべきこと、気をつけるべきことなどを教える生活指導を充実すること
11. その他（ ）

問 2. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思
いますか。（2 つまで○）

1. ものづくり・科学
2. 環境
3. 福祉
4. 情報
5. キャリア教育（人生設計・職業体験）
6. 国際化・多文化共生
7. 地域の伝統や歴史
8. 運動・スポーツ
9. その他（ ）
10. わからない

問3. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム^{*}を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場を提供できるシステム

1. 学校の施設整備の拡充・充実	7. 就学相談機会の充実
2. 教員数の確保・増員	8. 教材・教具等の支援の充実
3. 支援人材の確保・増員	9. 少人数学級制の拡充
4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立	10. 関係機関の連携強化
5. ICT環境の整備	11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実
6. インクルーシブ教育システムに	12. その他 ()
ついで理解啓発	13. わからない

問4. 新しい生活様式として、オンラインでの会議や授業が進んでいますが、子どもがオンラインを通して他者とコミュニケーションをとる場合のメリットとデメリットについて、どのように思いますか。(あなたの考えに近いものを5つまで○)

メリット	デメリット
1. 休校等があっても授業が進められる	7. 生活のリズムが乱れる
2. SNS [*] 等コミュニケーション機会の増加	8. 個人情報の漏洩
3. 移動に係る時間やお金の減少	9. SNS [*] 等によるいじめや犯罪の増加
4. どこに住んでいても同じことができる	10. ネットやゲームがやめられなくなる
5. 感染症の病気やケガをする機会が減る	11. 体力や視力の低下
6. その他 ()	12. その他 ()

※SNSとは、利用者が情報を発信し、形成していくメディア(ツイッター、フェイスブック、ラインを含みます)のことです。

問5. あなたの学校(教員)は、次のことについて、どの程度できていると思いますか。(それぞれ1つに○)

	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できていない
①十分な授業の準備をする	1	2	3	4
②子どもをよく理解する	1	2	3	4
③学級を円滑に運営する	1	2	3	4
④保護者と良好な関係をもつ	1	2	3	4
⑤職場で協力して個別の課題や学校運営に取り組む	1	2	3	4
⑥教員として必要な経験を積む	1	2	3	4

問6. あなたは、学校が、児童・生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があるか、と思いますか。(3つまで○)

1. 基礎的な知識や技能	6. 様々な考えをもつ人と協力して行動する力
2. 自立心やたくましさ	7. 思いやりや優しさなどの心
3. 生きる指針や夢	8. ルールや決まりを守ること
4. 一人ひとりの個性	9. 自分で考え、判断する力
5. 創造力(アイデア、発想力)	10. その他 ()

問7. 現在の校外での研修(市、県主催)について、どのようにお考えですか。

【内容について】(1つに○)		
1. レベルが高い	2. 適当なレベルである	3. レベルが低い

【機会について】(1つに○)

1. 回数が多い	2. 適当な回数である	3. 回数が少ない
----------	-------------	-----------

問8. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。(3つまで○)

1. 学級経営	7. 国際理解教育・外国語教育
2. 教科の指導	8. カウンセリング・コーチングの技術
3. 道徳の指導	9. 教員の倫理観の向上
4. 生徒指導・生徒理解	10. 社会体験・企業体験
5. 特別支援教育	11. その他 ()
6. 情報教育(コンピュータ等)	

問9. 国際化・多文化共生が進む中で、「学校」ではどのようなことに、力を入れたいか、と思いますか。(3つまで○)

1. 英語の授業の充実
2. 外国人英語講師による英会話の授業
3. インターネットを通じた海外との交流
4. 海外の留学生の受け入れ、希望者の海外留学
5. 海外の暮らしや多様な文化等について学ぶ国際理解教育
6. 郷土の歴史や特徴について理解し、国際的な観点から考える体験
7. 外国人児童・生徒への支援(日本語の学習機会、世話役の配置など)
8. 外国人児童・生徒の保護者への支援(日本語の学習機会、通訳の配置、外国語表記など)
9. 外国人児童・生徒が母国語で学習する機会をつくる
10. その他 ()
11. 特になし

問 10. 学校運営について、どのようなことに特に課題を感じていますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒の基礎学力が低下している 2. 児童・生徒の基礎体力が低下している 3. 生活指導の必要な児童・生徒が増えている 4. いじめ、暴力行為などの問題行動や不登校の児童・生徒が増えている 5. 指導力が十分でない教員が増えている 6. 教職員に学習指導以外の仕事が多く、指導力の向上に十分な時間が得られない 7. 教職員間の職務分担や情報共有が不十分である 8. 保護者や地域の要望が複雑になり、対応が難しくなっている 9. 保護者や地域の要望や意見を聞く機会がない・少ない 10. 学校運営に関する客観的な評価を得られる機会がない・少ない 11. 施設の安全性や情報セキュリティなど安全面に不安がある 12. その他 ()
--

2. 地域ぐるみの教育について

問 11. 家庭、学校、地域は、それぞれのどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで記入)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活習慣 2. 感情のコントロール (心の強さ) 3. 学力 4. 健康や体力 5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲 6. アイデアや新しいものを考え出す力 7. 相手の気持ちになって考えることができる力 8. いろいろな人と協力する力 9. 美しいものや自然に感動する心 10. 夢や希望を持つこと 11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと 12. コミュニケーション能力 13. その他 ()



※それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所にご記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

問 12. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 親子のコミュニケーションが減っている 2. 子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる 3. 教育に関心が低くなっている 4. しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない 5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている 6. 子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している 7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている 8. 経済的な問題を抱えている家庭が増えている 9. その他 () 10. 特に低下しているとは思わない
--

問 13. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 大人が、他人の子どものことに無関心である 2. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある 3. 地域の大人と子どもが会う機会が少ない 4. 子どもが一人で遊ぶことが多い 5. 世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない 6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない 7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない 8. 地域団体と学校の連携が不十分である 9. その他 () 10. 特に問題はない

問 14. 家庭や地域の教育について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

	満足	ほぼ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない
① 家庭	1	2	3	4	5	6
② 地域	1	2	3	4	5	6

問 15. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. P T A活動 | 9. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備 |
| 2. 授業の準備や補助 | 10. 学校行事の事前準備や片付けの協力 |
| 3. 給食や休み時間における対応 | 11. 学校の教育活動に対する意見・感想 |
| 4. 部活動の指導・補助 | 12. 学校公開日や授業参観への参加 |
| 5. 登下校など子どもの安全管理 | 13. 学校外での地域活動体験の手伝い |
| 6. 非行防止や生徒指導への協力 | 14. その他 () |
| 7. 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 15. 特に協力や参加して欲しいことはない |
| 8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ | |

3. 生涯学習について

問 16. 学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 団体貸出資料の充実 | 4. 調べ学習の教員向け研修の充実 |
| 2. レファレンスサービス (知りたい情報への案内) の充実 | 5. その他 () |
| 3. 調べ学習の事前授業の充実 | 6. 特に活用したいと思わない |

4. 文化・スポーツについて

問 17. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について授業等で活用したい、連携したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 豊田市美術館 | 9. 青少年センター |
| 2. 豊田中央図書館・交流館図書室 | 10. 総合野外センター |
| 3. 市民文化会館 | 11. コミュニティセンター・交流館 (図書室を除く) |
| 4. コンサートホール・能楽堂 | 12. 視聴覚ライブラリー |
| 5. 郷土資料館・近代の産業とくらし発見館 | 13. 地域文化広場 |
| 6. 民芸館 | 14. その他 () |
| 7. 豊田スタジアム | 15. 特に利用したいと思わない |
| 8. スカイホール豊田 | |

校長・教頭 6

問 18. 郷土資料館や近代の産業とくらし発見館が学校と連携して、どのようなことに一層力をいれて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 郷土資料館や発見館の見学への対応の充実 |
| 2. 歴史を体感するための体験学習の実施 |
| 3. 学芸員による学校での出前講座の開催 |
| 4. 学校への資料や教材の貸し出し |
| 5. 社会科の教師などとの合同研究 |
| 6. その他 () |
| 7. 特に活用したいと思わない |

5. 教育行政について

問 19. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 不登校・ひきこもり | 6. 家庭教育の相談 |
| 2. 発達障がい・特別支援教育 | 7. 家庭の経済的な困窮に対する支援 |
| 3. 非行・暴力行為 | 8. その他 () |
| 4. 保護者からの理不尽な要求 | 9. 特にない |
| 5. 在住外国人家族の支援 | |

問 20. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. 思わない |

校長・教頭 7

6. あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60歳以上 |
| 3. 40～49歳 | |

F3 あなたの職位についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 校長 | 2. 教頭 |
|-------|-------|

F4 あなたの通算の職位期間をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年以上4年未満 | 3. 4年以上 |
|---------|-------------|---------|

F5 あなたの勤務先についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------|--------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 |
|--------|--------|

F6 あなたの勤務先学校の規模（通常学級数）についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 6クラス未満 | 4. 18～23クラス |
| 2. 6～11クラス | 5. 24クラス以上 |
| 3. 12～17クラス | |

F7 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

--

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査報告書

令和3年3月

豊田市教育委員会

〒471-8501 豊田市西町三丁目 60 番地
